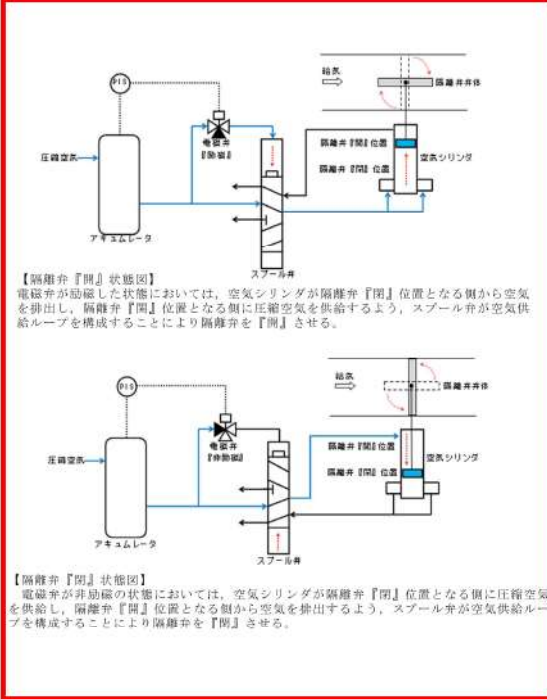
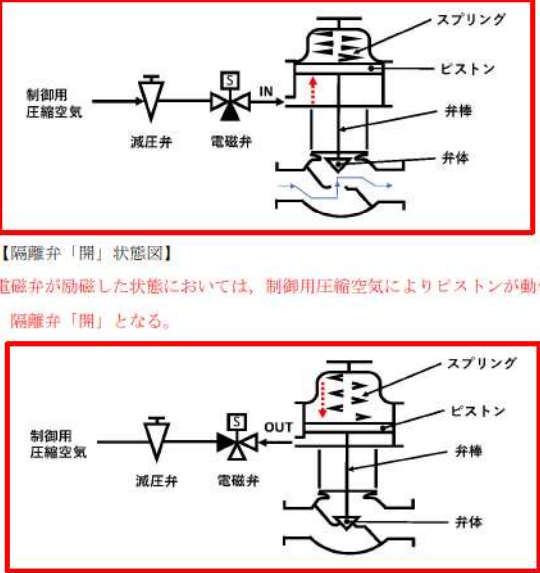


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p><b>a. 電磁弁(S0)への影響</b></p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 941 1232 1197"> </div> <p><b>弁“開”状態図</b>                  電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときバネは伸ばされ、常に弁「閉」側にバネ力が加わった状態となる。</p> <p><b>弁“閉”状態図</b>                  電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、バネが縮みバネ力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『開』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>          隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="703 895 1261 1417" data-label="Diagram"> <p>図8は、原子炉格納容器（RSC）と原子炉格納容器バウンダリ（RSCバウンダリ）を結ぶ系統の構成を示しています。RSCバウンダリには逆止弁（MO）が設置されています。また、RSCバウンダリには「要求機能を代替する設備」が設置されており、RSCバウンダリとRSCとの間に「没水影響評価から対象外とした防護対象設備」が設置されています。図は赤い枠で囲まれています。</p> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
1次冷却系	2原子炉容器		×	③	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3A, 3B, 3C, 3D加圧発生器		×	②	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁弁弁	③			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	③	AC	T48-F004A	格納容器外真空逃がし阻止隔離弁 (A)	①	1次冷却系	3LCV-451, 452	抽出ライン第1 (2) 止め弁	②			
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057		×	①	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし阻止隔離弁 (B)	①	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位		②	
	3A, 3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B		×	②	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁 (A)	③	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力		②	
	3A, 3B加圧器逃がし弁弁弁	3V-RC-054A, B		×	①	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁 (B)	③	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力		②	
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-077		×	②	AC	T48-F010	補給用空素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度 (狭域)		②	
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-078		×	①	AC	T48-F011	D/W補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③		3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度 (狭域)		②	
	3加圧器逃がしタンク空素供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-084		×	①	AC	T48-F012	S/C補給用空素ガス供給用第一隔離弁	③		3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度 (広域)		②	
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-095		×	①	AC	T48-F019	D/Wペント用出口隔離弁	③		3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度 (広域)		②	
	3A, 3B加圧器スプレイ弁	3PCV-451A, B		×	①	AC	T48-F020	ペント用SGT S側隔離弁	③	1次冷却系	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	1次冷却材流量		①	
	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430		×	②	AC	T48-F022	S/Cペント用出口隔離弁	③		1次冷却系	3V-RC-077		加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②
	3加圧器水位	3LT-401, 402, 453, 454		×	②	AC	T48-F023	D/Wペント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁		③	
	3A, B, C, D(バー)1次冷却材高温側・低温側温度 (狭域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445		×	②	AC	T48-F024	S/Cペント用出口隔離弁バイパス弁	③		1次冷却系	3V-RC-084		加圧器逃がしタンク空素供給ラインC/V外側隔離弁	③
	3A, B, C, D(バー)1次冷却材高温側・低温側温度 (狭域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	②	AC	T48-F026	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁		③	
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454		×	②	AC	T48-F069	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③		*1 評価対象外とした理由 ①原本により機能を喪失しない。 ②原子炉格納容器内環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる				
	3A, B, C, D(バー)1次冷却材流量	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445		×	②	AC	T48-F0901	バージ用空素供給流量	③						
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A		×	②	AC	T48-F019	圧力抑制弁圧力	③						
	3A, 3Bほう酸ポンプ			○	—	AC	T48-F042A	真空破壊弁 (A) 計装用空気配管隔離弁	③						
3A, 3B, 3C充てんポンプ			○	—	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁 (B) 計装用空気配管隔離弁	③							
3体積制御タンク			×	②	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁 (C) 計装用空気配管隔離弁	③							
3再生熱交換器			×	③	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁 (D) 計装用空気配管隔離弁	③							
3A, 3Bほう酸タンク			×	②	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁 (E) 計装用空気配管隔離弁	③							
3ほう酸フィルタ			×	②											
3貯水冷却器			×	③											
3A, 3B貯水注入フィルタ			×	③											
3貯水ストレーナ			×	③											
3体積制御タンク出口第1止め弁	3LCV-121B		○	—											
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C		○	—											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**			
化学体積制御系	3充てんポンプ入ロ燃料取替用水ベドト側積貯弁B	3V-CS-673	○	—	AC	F48-90-F042F	真空破壊弁 (F) 計装用空気配管隔離弁	③	化学体積制御系	3FCV-138	充てん流量制御弁	③			
	3充てんポンプ入ロ燃料取替用水ベドト側積貯弁B	3LUV-1210, E	○	—	AC	F48-90-F708	L.S.O.1.5 D/W冠水水位計差配管 (H) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③			
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-157	○	—	AC	F48-90-F710	L.S.O.1.5 D/W冠水水位計差配管 (L) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3CST1	体積制御タンク	①			
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	AC	F48-90-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③			
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	AC	F48-90-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②			
	3次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3PCV-146	×	①	AC	F48-90-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	④	化学体積制御系	3CSH1	再生熱交換器	①			
	3抽出ライン第1止め弁	3LUV-451	×	②	AC	F48-90-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	3CST5A, B	ほう酸タンク	①			
	3抽出ライン第2止め弁	3LUV-452	×	②	AC	F48-90-F725	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	3CST5A, B	ほう酸タンク	①			
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁	3V-CS-004A, B, C	×	②	AC	F48-90-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	3CSF4	ほう酸フィルタ	①			
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②	AC	F48-90-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③			
	3側抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	F48-90-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	④	化学体積制御系	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口隔離ライン切替弁	③			
	3側抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	F48-90-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口隔離ライン切替弁	③			
	3抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-607	×	①	AC	F48-90-F772	T 4 8 - L S O 2.5 D/W水位計差配管 (L) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口A (B) ほう酸タンク戻り弁	③			
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-151	×	①	AC	F48-90-F774	T 4 8 - L S O 2.5 D/W水位計差配管 (H) 側隔離弁	③	化学体積制御系	3V-CS-490A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③			
	3グループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	CAMS	023-0001A	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	3V-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁	②			
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①	CR0	012	制御棒駆動機構	①	化学体積制御系	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3V-CS-196A, B, C, D	×	①	CR0	012-0001-120	方向制御弁	③	化学体積制御系	3V-CS-208A, B, C, D	3充てんライン流量制御弁	③			
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CS-310	×	②	CR0	012-0001-123	方向制御弁	③	化学体積制御系	3LT-206, 208	3LT-206, 208	○			
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-125	アキュムレータ	①	化学体積制御系	3K3C	3K3C	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②	CR0	012-0001-126	スクラム入口弁	④	化学体積制御系	3CSM	3CSM	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-126	スクラム入口弁	④	化学体積制御系	3LB-5, 6, 7, 8	3LB-5, 6, 7, 8	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-128	寒気容器	①	化学体積制御系	3LB-9, 10	3LB-9, 10	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-132	制御棒駆動水圧差ラプチュアディスク	①	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-135	方向制御弁フィルタ	①	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-0001-138	スクラムバイロット弁	③	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-L08129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-P1131	HCUアキュムレータ圧力指示弁	③	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—	CR0	012-PS136	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ現場操作箱	○			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン流量制御弁	3V-CS-312	○	—											

※1 評価対象外とした理由  
①浸水により機能を喪失しない  
②PCV内耐環境仕様の設備  
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
①浸水により機能を喪失しない  
②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備  
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大飯】		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>#1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>#1</sup>			
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側注入ライン止め弁	3V-SI-067A,B	×	②	① ②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	CUW	G31-F002	C/UW入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク出口弁	3V-SI-132A,B,C,D	×	②			D0	R43-A001A	清水膨張タンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-061A,B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンプ水位 (狭域)・広域)	3LT-470, 471, 472A, 473	×	②			D0	R43-A001B	清水膨張タンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-062A,B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—			D0	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③	
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3FT-962, 963	○	—			D0	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③	
	3燃料取替用水ピット水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—			D0	R43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ	3PCV-601, 611	×	③			D0	R43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器	3PCV-603, 613	×	③			D0	R43-A200A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3PCV-603, 613	×	③			D0	R43-A200B	軽油タンク (B)	①	高圧注入系	3SITA1A,B,C	蓄圧タンク	①	
	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3PCV-604, 614	×	③			D0	R43-A200C	軽油タンク (C)	①	高圧注入系	3V-SI-123A,B,C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cルーパ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	D0	R43-A200D	軽油タンク (D)	①	高圧注入系	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	②	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-01-002A,B	×	②	D0	R43-A200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系	3V-SI-164	蓄圧タンク変換供給ライン C/V 外側隔離弁	③			
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-01-043A,B	×	①	D0	R43-A200F	軽油タンク (F)	①	高圧注入系	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②			
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-01-047A,B	×	②	D0	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③			
	3B, 3Cルーパ高圧側高圧注入ライン止め弁	3V-01-048A,B	×	②	D0	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	②			
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—	D0	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3RH1A,B	余熱除去冷却器	①			
	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	D0	R43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系	3PCV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③			
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	3LB-18, 19	○	—	D0	R43-A300C	空気だめ (自動) (C)	①	余熱除去系	3PCV-604, 614	余熱除去 (A) ライン流量制御弁	③			
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	3V-CP-059A,B	○	—	D0	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系	3PCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②			
	3よう素除去薬品タンク	3V-CP-059A,B	○	—	D0	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3V-SI-002A,B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②			
格納容器スプレイ系	3-PI調整弁タンク	3V-CP-059A,B	×	③	D0	R43-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系	3V-SI-020A,B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③			
	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-059A,B	○	—	D0	R43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3V-SI-033A,B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②			
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取替用水ピット挿入口止め弁	3V-CP-001A,B	○	—	D0	R43-B003-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①	余熱除去系	3V-SI-034A,B	高圧側低圧注入ライン止め弁	②			
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ挿入口格納容器隔離弁	3V-CP-001A,B	○	—	D0	R43-B003-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①	主給水系	3LT-460, 461, 462, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②			
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-002A,B	○	—	D0	R43-B003-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①	主給水系	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②			
	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—	D0	R43-B003-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①							
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-18, 19	○	—	D0	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①							
	3タービン駆動補助給水ポンプ	3V-CP-003A,B	○	—	D0	R43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①							
	3タービン駆動補助給水ポンプ	3V-CP-003A,B	○	—	D0	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①							
	3直水ピット	3V-WS-570A,B	○	—	D0	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①							
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3タービン駆動補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-WS-570A,B	○	—											
	3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-IV-574A,B,C,D	×	②											

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV内耐腐蝕仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 単体の設備で代替できる

#1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② 原子炉格納容器内耐腐蝕仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>	
主蒸気及び 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-F9-667A, B, C, D	×	①	⑥	06	R43-0200A	燃料移送ポンプ入ロストレーナ（A）	①	①	主蒸気バイパス隔離弁	③	
	3重水ビット電動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-680	×	①									
	3重水ビットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-681	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁	3HCV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①									
	3A, 3Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-675A, B	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-F9-620A, B, C, D	×	③									
	3重水ビット水位Ⅲ, IV	3LT-3760, 3761	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3FT-3715, 3725, 3735, 3745	○	—									
	3A, B, C, D蒸気発生器広域水位	3LT-464, 474, 484, 494	×	②									
	3A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②									
	3タービン駆動補助給水ポンプ起動継電器	3TD-A, B	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-630A, B, C, D	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3HCV-3615, 3625, 3635, 3645	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁	3HCV-3613, 3623, 3633, 3643	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-628A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-627A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-628A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-629A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-630A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-685A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気逃がし弁弁	3V-MS-620A, B, C, D	×	①									
	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—									
	原子炉補機 冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	—	○		—	06	R43-1S050A	潤滑油タンク水位指示計（検点付）				③
3原子炉補機冷却水サージタンク		—	×	③	06	R43-1S050B	潤滑油タンク水位指示計（検点付）	③					
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		—	×	③	06	R43-1S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	④					
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁		3V-CC-178A, B	○	—	06	R43-1S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	④					
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断弁		3V-CC-050A, B	○	—	06	R43-LS116A	機関付動弁注油タンク油面	④					
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断弁		3V-CC-043A, B	○	—	06	R43-LS116B	機関付動弁注油タンク油面	④					
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁		3V-CC-114A, B	○	—	06	R43-LS257A	シリンダー浸水スイッチ	④					
5-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁		3V-CC-405	○	—									
5-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁		3V-CC-427	×	②									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)					【大飯】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
原子炉機械冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器2台隔離弁	3V-CC-429	○	—	06	R43-LS257B	シリンダー戻水スイッチ	②	06	3SF01A, B	使用済燃料ビット冷却器	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3-1R0A冷却ユニット・本機抽出冷却器冷却水供給ラインの隔離弁	3V-CC-342	○	—	06	R43-P1052A	機油付清水ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF01A, B	使用済燃料ビット脱塩塔	①			
	3-1R0B冷却ユニット・本機抽出冷却器冷却水供給ラインの隔離弁	3V-CC-365	○	—	06	R43-P1052B	機油付清水ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF01A, B	使用済燃料ビット脱塩塔	①			
	3A-B, 3B-C 格納容器所蔵燃料ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-189A, B	○	—	06	R43-PI391A	機油付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF01A, B	使用済燃料ビットフィルタ	①			
	3-1R0A冷却ユニット・本機抽出冷却器冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-198A, B, C, D	○	—	06	R43-PI391B	機油付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF01A, B	使用済燃料ビットフィルタ	①			
	3A-B, 3B-C, 3D 格納容器所蔵燃料ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-600, 600	○	—	06	R43-PI202A	機油付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF01A, B, C, D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①			
	3A-B, 3B-C, 3D 格納容器所蔵燃料ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-600, 600	○	—	06	R43-PI202B	機油付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③	06	3SF-02A, B, C, D	原子炉補機冷却海水入口ストレーナ	①			
	3A, 3B, 3C, 3D 原子炉補機冷却水ポンプ取組機作動弁	3LB-20, 21, 22, 23	○	—	06	R43-PI203A	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	R43-PI203B	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③			
	3A, 3B, 3C 海水ポンプ	—	○	—	06	R43-PI203B	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	R43-PI203B	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③			
	3A, 3B, 3C 海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D 海水ストレーナ	3S-SF-01A, B, C, D	× <sup>†</sup>	③	06	R43-PI203B	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③	06	R43-PI203B	機油付移送ポンプ出口圧力指示計	③			
	3A, 3B, 3C 海水ポンプ輸送ストレーナA, B	3S-SF-02A, B, C 3S-SF-03A, B, C	×	③	06	R43-PI211A	機油付燃料油圧力指示計	③	06	R43-PI211A	機油付燃料油圧力指示計	③			
	3A, 3B 原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	3V-SF-670A, B	○	—	06	R43-PI211B	機油付燃料油圧力指示計	③	06	R43-PI211B	機油付燃料油圧力指示計	③			
	3A, 3B1, 3B2, 3C 海水ポンプ現場操作弁	3LB-26, 27, 28, 29	○	—	06	R43-PI255A	機油付入口吸気圧力 (LMO) 指示計	③	06	R43-PI255B	機油付入口吸気圧力 (LMO) 指示計	③			
	3A, 3B 使用済燃料ビットポンプ	—	○	—	06	R43-PI255A	機油付入口吸気圧力 (LMO) 指示計	③	06	R43-PI256A	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③			
	燃料ビット冷却浄化系	3A, 3B 使用済燃料ビット	×	②	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		*1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない。 ② 原子炉格納容器内耐環境仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他の設備で代替できる	
3A, 3B 使用済燃料ビット冷却器		×	②	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③				
3A, 3B 使用済燃料ビット脱塩塔		×	②	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③				
3A, 3B 使用済燃料ビットフィルタ		×	②	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③				
3A, 3B 使用済燃料ビットポンプ現場操作弁		3LB-24, 25	○	—	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③			
燃料取替用水系		3A, 3B 燃料取替用水ポンプ	—	○	—	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		
		3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作弁	—	○	—	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		
		3A, 3B 燃料取替用水ポンプ現場操作弁	3LB-33, 34	○	—	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		
		3A, 3B, 3C, 3D プロローダライン格納容器隔離弁	3V-BD-101A, B, C, D	×	①	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		
		3A, 3B, 3C, 3D 高気圧生蒸気試験線ライン格納容器隔離弁	3V-BD-018A, B, C, D	×	①	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③		
	3A, 3B, 3C, 3D 高気圧生蒸気試験線ライン格納容器隔離弁	3V-SS-503	×	②	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③	06	R43-PI256B	機油付入口吸気圧力 (RMO) 指示計	③			
	3 加工液相部試験線採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-506	×	②	06	R43-Ps8200A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-522	×	②	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-507	×	①	06	R43-Ps8200A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-525	×	②	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
1次系試験線採取系	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-507	×	①	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-525	×	②	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-505	×	①	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3Dグループ高気圧試験線採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-525	×	②	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③	06	R43-Ps8200B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③			
	3A, 3B, 3C, 3D 高圧タンク試験線採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A, B, C, D	×	②	06	R43-PS250A	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	06	R43-PS250A	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③			
	3 高圧タンク試験線採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③			
	3-1次冷却材試験線採取ライン格納容器隔離弁	3V-SS-574	×	①	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③	06	R43-PS250B	空気だめ圧力 (自動) スイッチ	③			
	前扉用空気系	3A, 3B 前扉用空気圧縮機	—	○	—										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器	3IAH1A, B	×*1	②	06	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	②	B (C) ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	3V-SS-514, 519	B (C) ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁		②
	3A, 3B制御用空気乾燥器	3IAT1A, B	×*1	②		R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	②			B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁		
	3A, 3B制御用空気主配管空気速がしきり等供給ラインの気栓	3V-1A-505A, B	○	—		R43-TE331A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			C/V 外側隔離弁		
	3A-C, 3B-C制御用空気清浄管連絡弁	3V-1A-504A, B	○	—		R43-TE331B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁		
	3A, 3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—		R43-TE325A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③			PASS 1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁		
	3A, 3B格納容器内前扉8クラス制御用空気装置停止弁	3V-1A-510A, B	×	②		R43-TE325B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③			格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁		
	3A, 3B制御用空気供給管管圧力	3PT-1800, 1810	○	—		R43-TE333A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③			格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備		
	3A, 3B制御用空気圧縮機制御弁	3IAC-A, B	○	—		R43-TE333B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③			格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備		
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分取ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②		R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			格納容器減圧設備及び格納容器水素制御設備		
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分取ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①		R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③			格納容器水素パーージ給気ライン格納容器外側隔離弁		
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-083	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	3V-BC-304A, B	格納容器水素パーージ給気ライン格納容器外側隔離弁		③	
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①		R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①		R43-TE325A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-042	×	②		R43-TE325B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-043	×	①		R43-TE336A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-143	×	②		R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-144	×	①		R43-TE337A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-141	×	②		R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-142	×	①		R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③					
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵ろ過ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-141	×	②		R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③					
消火水素	3消火水素ライン格納容器隔離弁	3V-FS-002	×	①	06	R43-TE339A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	3V-RM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁		②	
	3消火水素ライン格納容器隔離弁	3V-FS-002	×	①		R43-TE339B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
炉内格納容器ガスオーバープレッシャー	3炉内格納容器ガスオーバープレッシャー格納容器第1隔離弁	3V-TG-009	×	②	06	R43-TE341A	非常用D/G (A) 轉変温度検出器	③	3V-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁		③	
	3炉内格納容器ガスオーバープレッシャー格納容器第2隔離弁	3V-TG-008	×	①		R43-TE341B	非常用D/G (B) 轉変温度検出器	③					
熱気空調系	手動弁一式		×	③	06	R43-TE340A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	3V-RM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁		②	
	遮断弁一式		×	③		R43-TE340B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3熱気空調機	3VB	○	—		R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室空調ファン		○	—		R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室循環ファン		○	—		R43-TE341A	非常用D/G (A) 轉変温度検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	3VSP22A, B	○	—		R43-TE341B	非常用D/G (B) 轉変温度検出器	③		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-604A, B	×	①		R43-TI051A	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-VS-602A, B	○	—		R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	④		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A, B	○	—		R43-TI0504A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	④		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ	3D-VS-604A, B	○	—		R43-TI0504B	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計 (接点付)	④		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3BCD-2874, 2875	○	—		R43-TI0509A	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	④		格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁			
	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ	3BCD-2885, 2886	○	—									
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3BCD-2887, 2888	×	①									
	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3BCD-2889, 2890	○	—									

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内前扉或仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内前扉或仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>①</sup>			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常時前扉開放制御ダンパ	3BCF-2991, 2992	○	—	① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内面腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ その他の設備で代替できる	0C	R43-T1S1096	機内入口潤滑油温度指示計（接点付）	②	燃料取替用水系	3BF-P	燃料取替用水ヒット	①		
	3A, 3B中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—		0C	R43-T1S343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計（接点付）	②	燃料取替用水系	3BFH1	燃料取替用水加熱器	①		
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—		0C	R43-T1S343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計（接点付）	②	制御用空気系	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②		
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—		0C	R43-TS112A	潤滑油プライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3D-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③		
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FD-VS-605, 606	×	①		0C	R43-TS112B	潤滑油プライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3VSL7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2874, 2875	○	—		PCS	T49-A001A	FCS再結合器(A)	①	換気空調系	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定	3HC-2885, 2886	○	—		PCS	T49-A001B	FCS再結合器(B)	①	換気空調系	—	排気筒	①		
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2899, 2890	○	—		PCS	T49-B001A	FCS冷却器(A)	①	換気空調系	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3A, 3B中央制御室非常時前扉ダンパ流量設定	3HC-2891, 2892	○	—		PCS	T49-B001B	FCS冷却器(B)	①	換気空調系	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-D001A	FCS気水分離器(A)	①	換気空調系	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-D001B	FCS気水分離器(B)	①	換気空調系	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI001A	FCS(A) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3VSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI001B	FCS(B) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009A-1	FCS再結合器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009A-2	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009B-1	FCS再結合器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI009B-2	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	①		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FDW	R21-F052A	FDW第二隔離弁(A)	②	換気空調系	3VSG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FDW	R21-F052B	FDW第二隔離弁(B)	②	換気空調系	3VSA6A, B	安全補機閉閉器室給気ユニット	①		
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	F31	使用済燃料プール	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-A001A	スキマナージタンク	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-A001B	スキマナージタンク	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-B001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-B001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-D006A	プール浄化水戻りデフューザ	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-D006B	プール浄化水戻りデフューザ	①						
	3A, 3B安全補機閉閉器室空調ファン	3TS-2917, 2918	○	—		FPV	641-F013	FPVから過剰気量出口弁	②						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由①	系統	機器番号	機器名称	理由①			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ	3D-Y5-104A, B	○	—	FPC	641-LS016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調系	3VS44A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-Y5-102A, B	○	—	FPC	641-PT006	F P C ポンプ出口圧力指示計	③	換気空調系	3D-V5-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-Y5-103A, B	○	—	FPC	641-TB001	F P C ポンプ入口温度検出器	③	換気空調系	3D-V5-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	④			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御器	3W-2522, 2542	×	①	FPC	641-TB014A	F P C 熱交換器 (A) 出口温度検出器	③	換気空調系	3HCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	④			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-V5-068A, B	×	①	FPC	641-TB014B	F P C 熱交換器 (B) 出口温度検出器	③	換気空調系	3VS08	中央制御室非常用簡易フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3D-V5-041	×	①	FPC	641-TB015	燃料貯蔵プール水位	③	換気空調系	3D-V5-053	格納容器給気密閉ダンパ	③			
	3補助建屋排気風量調節ダンパ	3HCD-2590	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U W ポンプ入口圧力	③	換気空調系	3D-V5-064	格納容器排気密閉ダンパ	③			
	3補助建屋排気止めダンパ	3D-Y5-351	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-V5-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③			
	34放射線管理室排気風量制御ダンパ	34DCY-2976	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力伝送器	③	換気空調系	3D-V5-232	補助建屋排気隔離ダンパ	④			
	34放射線管理室排気止めダンパ	34D-V5-658	×	①	H2CK	P25-A002A	換気空調種機非常用冷却水水系サージタンク (A)	①	換気空調系	3PCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	④			
	3A, 3B安全補機室排気ダンパ	3D-V5-105A, B	○	—	H2CK	P25-A002B	換気空調種機非常用冷却水水系サージタンク (B)	①	換気空調系	3PCD-2526	補助建屋排気風量制御ダンパ	④			
	3安全補機室給気第1, 2隔離ダンパ	3D-V5-301, 302	×	①	H2CK	P25-P007A	中央制御室給気冷却コイル (A) 温度調節弁	③	空調用冷水系	3DHT1	空調用冷水貯留タンク	①			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-V5-303, 304	×	①	H2CK	P25-P007B	中央制御室給気冷却コイル (B) 温度調節弁	③	水消火系	3V-FS-504	消火水 C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3D-V5-052, 053	×	①	H2CK	P25-P018A	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバーgee設備系	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バーgeeライン C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3D-V5-054, 059	×	①	H2CK	P25-P018B	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	炉内核計装装置ガスバーgee設備系	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バーgeeライン C/V 内側隔離弁	②			
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-Y5-054	×	①	H2CK	P25-PX24A	原子炉補機 (A) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	原子炉格納容器真空送ガス装置	3V-YR-001A, B	真空送ガス装置 C/V 外側隔離弁	③			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-Y5-055	×	②	H2CK	P25-PX24B	原子炉補機 (B) 室給気冷却コイル温度調節弁	③	非常用所内電源系	3DG11A, B	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①			
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-Y5-056	×	②	H2CK	P25-LS011A	H E C W サージタンク (A) 水位スイッチ	③	非常用所内電源系	3DG12A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-Y5-057	×	①	H2CK	P25-LS011B	H E C W サージタンク (B) 水位スイッチ	③							
	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	H2CK	P25-P1001A	H E C W 冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A1・A2, 3B1・B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-84, 85	○	—	H2CK	P25-P1001B	H E C W 冷水ポンプ (B) 出口圧力	③							
	3A, 3B電機種機給水ポンプ給気ファン現場操作箱	3LB-86, 87	○	—	H2CK	P25-P1001C	H E C W 冷水ポンプ (C) 出口圧力	③							
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	H2CK	P25-P1001D	H E C W 冷水ポンプ (D) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-95, 99	○	—	H2CK	P25-P1007A	H E C W 冷水ポンプ (A) 入口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	H2CK	P25-P1007B	H E C W 冷水ポンプ (B) 入口圧力	③							
	3A4, 3B4, 3C, 3D安全補機用閉塞室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	H2CK	P25-P1007C	H E C W 冷水ポンプ (C) 入口圧力	③							
	3A, 3Bほう機ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77, 78	○	—	H2CK	P25-P1007D	H E C W 冷水ポンプ (D) 入口圧力	③							
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—											
	3A, 3B中央制御室非常用簡易ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—											
	3空調用冷水貯留タンク			×	①										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ			○	—										
	34C, 34D安全補機用閉塞室空調ユニット冷水温度制御弁	34DCY-2890, 2891	○	—											
	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCY-2878, 2879	○	—											

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内前燃焼比類の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内前燃焼比類の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉				相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)			表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称		理由 <sup>※1</sup>	
冷水系	5空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁	3V-CF-002, 003	○	—	HPCW	F24-F102	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	②	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②		
	5高圧格納容器空冷却ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CF-453, 457	×	①	HPCW	E24-F107	HNCW戻りライン第一隔離弁	④						
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ奥場過弁	3A-B-103, 104, 105, 106	○	—	HPCS	E22-0010	高圧炉心スプレイストレーナ	①						
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離弁	3V-4P-003A, B	×	②	HPCS	E22-4P1006	HPCSノズル差圧伝送器	③						
格納容器減圧装置及び水素材料格納庫	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離弁	3V-4P-003A, B	×	②	HPCS	E22-F1016	HPCS S/C001000用調整弁	③	②	3NE31, 32	中性子領域検出器	②		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器隔離弁	3V-4P-003A, B	×	①	HPCS	E22-F1016	HPCS S/C001000用調整弁	③						
	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器隔離弁	3V-1B-300A, B	×	①	HPCS	E22-F021	HPCS圧入ライン試験可能逆止弁短圧弁	②						
	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器隔離弁	3V-1B-300A, B	×	①	HPCS	E22-F1006B	HPCSポンプ出口流量変換器	③						
放射線監視設備 空気サンプリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁	3V-1B-001	×	②	HPCS	E22-P1001	HPCSポンプ入口圧力	③	②	3RE-91A, 92A 3RE-91B, 92B	格納容器高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器高レンジエリアモニタ (高レンジ)	②		
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁	3V-1B-002	×	①	HPCS	E22-P1004	HPCSポンプ出口圧力	③						
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁	3V-1B-003	×	①	HPCS	E22-P1004	HPCSポンプ出口圧力	③						
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器隔離弁	3V-1B-013	×	①	HPCS	E22-PT001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③						
電気盤	3主盤 (原子炉盤)	3M3B	○	—	HPCSOG	R44-A001	清水循環タンク	①	① 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② 原子力格納容器内環境保護仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ その他の設備で代替できる	①	—	—	①	
	3原子炉補助盤	3M3D	○	—	HPCSOG	R44-A102	潤滑油供給タンク	①						
	3原子炉安全保護計装機1, 2, 3, 4	3M3E-1, 2, 3, 4	○	—	HPCSOG	R44-A200	軽油タンク (G)	①						
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3M3F-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-A201	燃料ディスタック	①						
	3安全保護シーケンス盤001, 002, 003, 004	3M3G-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-A300	空気だめ (自動)	①						
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ゾレノイド分電盤	3M3H-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPCSOG	R44-B001	清水冷却器	①						
	3原子炉トリップ遮断装置	3M3I	○	—	HPCSOG	R44-B003	機関付空気冷却器	①						
	3A, 3Bドロップ盤	3M3J-A-D0P, 3M3K-B-D0P	○	—	HPCSOG	R44-B100	潤滑油冷却器	①						
	3A, 3B直流き電盤	3M3L-A, B	○	—	HPCSOG	R44-B102	発電機軸受潤滑油冷却器	①						
	3A, 3B直流分電盤	3M3M-A, B	○	—	HPCSOG	R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①						
	3A, 3B蓄電池	3M3N-A, B	○	—	HPCSOG	R44-D200	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクランプスイッチギア	3M3O-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D201	HPCS-D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3M3O-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉フロントコントロールセンタ	3M3O-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①						
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電解盤 (1)~(3)	3M3P-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-D300	船舶用空気Y型ストレーナ	①						
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3M3Q-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	HPCSOG	R44-D301	船舶用空気Y型ストレーナ	①						
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電解器装置	3M3R-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-0P5112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③						
	3所内盤	3M3S	○	—										
	3AC, 3BD計装用後着分電盤	3M3T-AC, BD	○	—										
	3事故時放射線監視盤	3M3U-III, IV	○	—										
	計器	3H1力領域中性子束	3H-41, 42, 43, 44	×	②									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)					
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>		
計器	S中性子線領域中性子束	30V-31,32	×	②	HPYSDG	R44-4P5210	燃料油フリクタブレイスイッチ	③		<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">女川審査実績の反映</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p><a href="#">プラント設計の違いによる相違</a></p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p><a href="#">プラント設計の違いによる相違</a></p>
	S格納容器高レベルアラームユタ(既レンジ)・(高レベル)	30H-91A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPYSDG	R44-6200	フレキシブルチューブ	①		
	非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関		○	—	HPYSDG	R44-L1S050	清水膨張タンク水位指示計(接点付)	④	
3A, 3Bディーゼル発電機			○	—	HPYSDG	R44-LS257	シリンドラ浸水スイッチ	③		
3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンサ		300C-A,B	○	—	HPYSDG	R44-P1052	機関付清水ポンプ出口圧力	③		
3A, 3Bディーゼル発電機制御装置		300C-A,B	○	—	HPYSDG	R44-P1102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルセーフとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない(動作要求のない原子格納容器格納容器隔離弁を含む) ②原子格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水現象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆止弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					HPYSDG	R44-P1202	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		
＜溢水影響評価対象外の注記＞ ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象装置リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。					HPYSDG	R44-P1203	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1211	機関入口燃料油圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1256	機関入口吸気圧力指示計	③		
					HPYSDG	R44-P1S108	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計(接点付)	③		
					HPYSDG	R44-P1S113	機関入口潤滑油圧力	③		
					HPYSDG	R44-P1S253	空気だめ圧力(自動)指示計(接点付)	③		
					HPYSDG	R44-P6S260	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-P6S262	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-PS250	空気だめ圧力(自動)スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-PS261	空気だめ圧力(自動)スイッチ	③		
					HPYSDG	R44-TE301E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE302H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE303H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE304H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE305H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE306H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE307H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相予備) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE308H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相予備) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE309H	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相予備) 検出器	③		
					HPYSDG	R44-TE341E	H P C S D / G 反直結軸角速度検出器	③		
					<p>※1 評価対象外とした理由</p> <p>①溢水により機能喪失しない</p> <p>②PCV内耐震増仕様設備</p> <p>③動作機能の喪失により安全機能に影響しない</p> <p>④他の設備で代替できる</p>					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)								【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	最大影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由				
1次冷却材系	4号炉容器		×	②	HPCSDG	R44-TS342H	H P C S D / G直結軸受温度検出器	③				
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器		×	⑤	HPCSDG	R44-T1051	機関入口グライゼール冷却水温度指示計	④				
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①	HPCSDG	R44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③				
	4号圧容器		×	⑤	HPCSDG	R44-TS3454	機関出口グライゼール冷却水温度指示計（接点付）	④				
	4A, 4B, 4C, 4D圧容器安全弁	4Y-BC-055, 056, 057	×	③	HPCSDG	R44-TS111	機関潤滑油温度	③				
	4A, 4B, 4C, 4D圧容器遮断弁	4Y-BC-054A, B	×	①	HPCSDG	R44-TS343H	H P C S D / G直結軸受温度指示計（接点付）	④				
	4号圧容器送給タンクガス分析ライン格納容器（直結付）	4Y-BC-077	×	②	HPCSDG	R44-TS344H	H P C S D / G直結軸受温度指示計（接点付）	④				
	4号圧容器送給タンクガス分析ライン格納容器（直結付）	4Y-BC-078	×	①	HPCSDG	R44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③				
	4号圧容器送給タンク蒸気発生ライン格納容器（直結付）	4Y-BC-084	×	①	HPCW	PH7-A001	高圧炉心スプレイト補機冷却水サージタンク	①				
	4号圧容器送給タンク蒸気発生ライン格納容器（直結付）	4Y-BC-095	×	①	HPCW	PH7-B001	高圧炉心スプレイト補機冷却水蒸気交換器	①				
	4A, 4B, 4C, 4D圧容器スプレイト弁	4Y7-451A, B	×	①	HPCW	PH7-L1007	H P C Wサージタンク水位	③				
	4-1次冷却材圧力	4Y7-429, 430	×	②	HPCW	PH7-P1001	H P C Wポンプ出口圧力	③				
	4号圧容器水位	4LT-451, 452, 453, 454	×	②	HPCW	PH7-P1006	H P C Wポンプ入口圧力	③				
	4A, B, C, D/Aーンプ1次冷却材高温側・低温側流量（広域）	41E-410, 415, 420, 425 430, 435, 440, 445	×	②	HPCW	PH7-P1004	H P C W冷却水供給圧力伝送器	③				
	4A, B, C, D/Aーンプ1次冷却材高温側・低温側流量（狭域）	41E-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	HPCW	PH7-TS003	H P C W冷却水供給温度検出器	③				
	4号圧容器圧力	4Y7-451, 452, 453, 454	×	②	HPSW	PH8-0001A	高圧炉心スプレイト補機冷却水システムトレーナ（A）	①				
	4A, B, C, D/Aーンプ1次冷却材流量	421-422, 423, 424, 425 432, 433, 434, 435 442, 443, 444, 445	×	②	HPSW	PH8-0001B	高圧炉心スプレイト補機冷却水システムトレーナ（B）	①				
	1次冷却材ポンプ回転数	45E-4185, 425A 4385, 4485	×	②	HPSW	PH8-4P1002	H P S Wシステムトレーナ流量指示計	③				
	化学体積制御系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器		○	—	HPSW	PH8-4P1003	H P S W熱交換器管側流量指示計	③			
		4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器		○	—	HPSW	PH8-P1001	H P S Wポンプ出口圧力	③			
4号圧容器タンク			×	⑤	HPSW	PH8-P1001	H P S Wポンプ出口圧力伝送器	③				
4号再生熱交換器			×	⑤	-	-	排気筒	①				
4A, 4B, 4C, 4D蒸気タンク			×	⑤	HVAC	V10-0201A	C AMS（A）緊急常用給気隔離ダンパ	④				
4号排気フィルター			×	⑤	HVAC	V10-0201B	C AMS（B）緊急常用給気隔離ダンパ	④				
4号冷却器			×	⑤	HVAC	V10-0202A	C AMS（A）緊急常用排気隔離ダンパ	④				
4A, 4B, 4C, 4D水注入フィルタ			×	⑤	HVAC	V10-0202B	C AMS（B）緊急常用排気隔離ダンパ	④				
4号水システム			×	⑤	HVAC	V10-0203	D C-M C C 2 A緊急常用給気隔離ダンパ	④				
4号水システム			×	⑤								

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②炉内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
化学種補綴系	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4FCV-121D, E	○	—	HVAC	V10-3024	D/C-MCC 2A変圧器用排気隔離ダンパ	③	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違						
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-137	○	—	HVAC	V10-F901A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-155	○	—	HVAC	V10-F901A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	②							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4FCV-138	×	①	HVAC	V10-F901B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4FCV-140	×	①	HVAC	V10-F901B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	②							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4FCV-451	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4FCV-452	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	②							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-004A, B, C	×	②	HVAC	V10-F902A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-109	×	②	HVAC	V10-F902B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-301	×	②	HVAC	V10-F902B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	②							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-302	×	②	HVAC	V10-F902B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-007	×	①	HVAC	V10-F522A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-151	×	①	HVAC	V10-F522B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-163	×	①	HVAC	V10-F530A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-177	×	①	HVAC	V10-F530B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-190A, B, C, D	×	①	HVAC	V10-F15015A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-310	×	②	HVAC	V10-F15015B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-312	○	—	HVAC	V10-F15016A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V10-F15016B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4LT-205, 208	○	—	HVAC	V11-3001	原子炉補機(A) 空給気冷却コイル	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3002	原子炉補機(A) 空給気加熱コイル	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3001	原子炉補機(A) 空給気バッグエアフィルタ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3002	D/G(A) 空給気バッグエアフィルタ	①							
	4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-4P1001	原子炉補機(A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③							
4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-4P1003	D/G(A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③								
4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3001	原子炉補機(A) 空給気ルーバ	①								
4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3002	原子炉補機(A) 空給気ルーバ	①								
4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3003	D/G(A) 空給気ルーバ	①								
4号炉燃料ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆送バルブ	4V-CS-208A, B, C, D	×	②	HVAC	V11-3004	D/G(A) 空給気ルーバ	①								

※1 評価対象外とした理由  
 ①浸水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐震増仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3ノ4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（3/10）						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（13/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
安全注水系	IA, IB, IC, 40層圧タンク出口弁	4V-S1-132A, B, C, D	×	②		HVAC	V12-1001	原子炉補機（B） 窒給気冷却コイル	①			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4格納容器内循環ポンプ水底（排気）（圧縮）	4LT-976, 977, 978, 979	×	②		HVAC	V12-1002	原子炉補機（B） 窒給気加熱コイル	①			
	IA, 40層圧注入ポンプ監視操作箱	4IB-12, 13	○	—		HVAC	V12-1001	原子炉補機（B） 窒給気バッグエアフィルタ	①			
	4燃料取扱用ホット水位I, II, III, IV	4LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-1002	D/G（B） 窒給気バッグエアフィルタ	①			
	4高圧注入流量（I）, 4高圧注入流量（II）	4PT-962, 963	○	—		HVAC	V12-4PT001	原子炉補機（B） 窒給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
余熱除去系	IA, 40余熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4PT003	D/G（B） 窒給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 40余熱除去冷却器		×	②		HVAC	V12-3001	原子炉補機（B） 窒給気ルーバ	①			
	IA, 40余熱除去ポンプスクラムブローイング止め弁	4PCV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3002	原子炉補機（B） 窒排気ルーバ	①			
	IA, 40余熱除去冷却器出口流量設定弁	4BCV-603, 613	×	①		HVAC	V12-3003	D/G（B） 窒給気ルーバ	①			
	IA, 40余熱除去冷却器バイパス流量調整弁	4PCV-604, 614	×	①		HVAC	V12-3004	D/G（B） 窒排気ルーバ	①			
	IA, 40余熱除去ポンプ出口格納容器隔離弁	4V-RH-043A, B	×	①		HVAC	V13-1001A	原子炉補機（HPCS） 窒給気加熱コイル（A）	①			
	IA, 40余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-RH-043A, B	×	①		HVAC	V13-1001B	原子炉補機（HPCS） 窒給気加熱コイル（B）	①			
	IA, 40余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-RH-047A, B	×	②		HVAC	V13-1001	原子炉補機（HPCS） 窒給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, 40余熱除去冷却器出口連絡弁	4V-RH-047A, B	×	②		HVAC	V13-1002	D/G（HPCS） 窒給気バッグエアフィルタ	①			
	IB, 40ルーバ流量調整圧注入ライン止め弁	4V-RH-048A, B	×	②		HVAC	V13-4PT001	D/G（HPCS） 窒給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
IA, 40余熱除去ポンプ出口流量	4PT-601, 611	○	—		HVAC	V13-3001	原子炉補機（HPCS） 窒給気ルーバ	①				
IA, 40余熱除去ポンプ監視操作箱	4IB-14, 15	○	—		HVAC	V13-3002	原子炉補機（HPCS） 窒排気ルーバ	①				
格納容器スプレイ系	IA, 40格納容器スプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-3003	D/G（HPCS） 窒排気ルーバ	①			
	IA, 40格納容器スプレイ冷却器		×	②		HVAC	V13-3004	D/G（HPCS） 窒排気ルーバ	①			
	4より蒸気発生タンク		×	②		HVAC	V30-1001A	中央制御窒給気冷却コイル（A）	①			
	4圧調整弁タンク		×	③		HVAC	V30-1001B	中央制御窒給気冷却コイル（B）	①			
	IA, 40より蒸除去薬品注入ライン第1止め弁	4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V30-1001C	中央制御窒給気冷却コイル（C）	①			
	IA, 40より蒸除去薬品注入ライン第2止め弁	4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V30-1001D	中央制御窒給気冷却コイル（D）	①			
	IA, 40格納容器スプレイポンプ燃料取扱用ホット水位入口止め弁	4V-CP-001A, B	○	—		HVAC	V30-1001E	中央制御窒給気冷却コイル（E）	①			
	IA, 40格納容器スプレイポンプ再循環ポンプ種入口隔離弁	4V-CP-003A, B	○	—		HVAC	V30-1001F	中央制御窒給気冷却コイル（F）	①			
	IA, 40格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	4V-CP-002A, B	○	—								
	4格納容器圧力（圧縮）I, II, III, IV	4PT-950, 951, 952, 953	○	—								
主要気及び主給水系、補助給水系	IA, 40格納容器スプレイポンプ監視操作箱	4IB-18, 19	○	—								
	4タービン動機補助給水ポンプ		○	—								
	IA, 40電動機補助給水ポンプ		○	—								
	4復水ピット		×	②								
	4タービン動機補助給水ポンプ起動弁A, B	4V-MS-570A, B	○	—								
IA, IB, IC, 40層圧給水隔離弁	4V-FH-574A, B, C, D	×	②									
IA, IB, IC, 40電動機補助給水ライン流量調整弁	4V-FH-557A, B, C, D	×	①									

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (4/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (14/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
主蒸気及び 主給水蒸、 補助給水系	4号水ピット電動補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-580	×	①	BRAC	V30-B002A	中央初級空給気加熱コイル (A)	①			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号水ピットタービン補助給水ポンプ停止弁	4V-F9-581	×	①	BRAC	V30-B002B	中央初級空給気加熱コイル (B)	①			
	4A, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量調整弁	4BVC-3715, 3725, 3735, 3745	×	①	BRAC	V30-B002C	中央初級空給気加熱コイル (C)	①			
	4A, 4Bタービン補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	4V-MS-575A, B	×	①	BRAC	V30-B002D	中央初級空給気加熱コイル (D)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-F9-520A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B002E	中央初級空給気加熱コイル (E)	①			
	4号水ピット水位Ⅲ, IV	4LT-3700, 3761	○	—	BRAC	V30-B002F	中央初級空給気加熱コイル (F)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量	4FT-3710, 3720, 3730, 3740	○	—	BRAC	V30-B002G	中央初級空給気加熱コイル (G)	①			
	4A, B, C, D蒸気発生器広域水位	4LT-494, 474, 484, 494	×	②	BRAC	V30-B002H	中央初級空給気加熱コイル (H)	①			
	4A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	4LT-490, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②	BRAC	V30-B002I	中央初級空給気加熱コイル (I)	①			
	4タービン駆動給水ポンプ駆動蒸気II	4TDP-A, B	○	—	BRAC	V30-B002J	中央初級空給気加熱コイル (J)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-MS-533A, B, C, D	○	—	BRAC	V30-B002K	中央初級空再循環高性能エアフィルタ (A)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4BVC-3615, 3625, 3635, 3645	×	①	BRAC	V30-B002L	中央初級空再循環高性能エアフィルタ (B)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気遮り弁	4BVC-3610, 3620, 3630, 3640	○	—	BRAC	V30-B003	中央初級空再循環チャコールエアフィルタ	①			
	4A, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-MS-520A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B004A	MCR給気バッグフィルタ (A)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-MS-527A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B004B	MCR給気バッグフィルタ (B)	①			
	4A, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-MS-528A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B005A	中央初級空加温器 (A)	③			
	4A, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-MS-529A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B005B	中央初級空加温器 (B)	③			
	4A, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-MS-530A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B005C	中央初級空加温器 (C)	③			
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	4V-MS-585A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-B005D	中央初級空加温器 (D)	③			
	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気遮り弁元弁	4V-MS-523A, B, C, D	×	①	BRAC	V30-4PT001A	中央初級空給気バッグエアフィルタ (A) 差圧指示計	③			
I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—	BRAC	V30-4PT001B	中央初級空給気バッグエアフィルタ (B) 差圧指示計	③				
原子炉補機 冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—	BRAC	V30-4PT005	中央初級空再循環高性能エアフィルタ差圧指示計	③			
	4原子炉補機冷却水サージタンク		×	②	BRAC	V30-4PT006	中央初級空再循環高性能エアフィルタ (A) 差圧指示計	③			
	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器		×	②	BRAC	V30-4PT007	中央初級空再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁	4V-CC-178A, B	○	—	BRAC	V30-4PT008	中央初級空再循環高性能エアフィルタ (B) 差圧指示計	③			
	4A-C, 4B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断弁	4V-CC-050A, B	○	—	BRAC	V30-MET003A	中央初級空湿度度 (A) 輸送器 (変換器付)	③			
	4A-C, 4B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断弁	4V-CC-043A, B	○	—	BRAC	V30-MET003B	中央初級空湿度度 (B) 輸送器 (変換器付)	③			
	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水止弁	4V-CC-114A, B	○	—	BRAC	V30-3001	MCR給気ルーバ	①			
	4A, 4B冷却器ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	4V-CC-400	○	—							
	4A, 4B冷却器ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	4V-CC-420	×	②							
	4A, 4B冷却器ポンプ冷却水戻りライン格納容器遮断弁	4V-CC-420	○	—							

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐震域仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)										
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
原子炉補機 冷却系	H10炉冷却ユニット・空熱抽出冷却器 取水冷却ユニットの保護弁	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-X002	MCR排気ループ	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違						
	H10炉冷却ユニット・空熱抽出冷却器 取水冷却ユニットの保護弁	4V-CC-365	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源（A）室給気冷却コイル	①							
	H10, H11炉冷却ユニット冷却器 冷却ファン駆動電源	4V-CC-180A, B	○	—	BYAC	V31-B002	計測制御電源（A）室給気加熱コイル	①							
	H10, H11, H12炉冷却ユニット高圧 水取りファン駆動電源	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BYAC	V31-D001	計測制御電源（A）室給気バッグフィルタ	①							
	H10炉冷却ユニット冷却ファン第1,2 止め弁（見逃機）	4V-CC-605, 606	○	—	BYAC	V31-4P1001	計測制御電源（A）室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	⑤							
	H10炉冷却器取水ポンプタンク水位重 置	4LT-1200, 1201	○	—	BYAC	V31-X001	計測制御電源（A）室給気ループ	①							
	H10, H11, H12炉冷却器取水ポンプ現用 機作番	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BYAC	V31-X002	計測制御電源（A）室排気ループ	①							
	H10, H11, H12炉冷却器取水ポンプ 作番	4S-SF-01A, B, C, D	× <sup>※1</sup>	③	BYAC	V32-B001	計測制御電源（B）室給気冷却コイル	①							
	H10, H11, H12炉冷却器取水ポンプ 作番	4S-SF-02A, B, C 4S-SF-03A, B, C	×	③	BYAC	V32-B002	計測制御電源（B）室給気加熱コイル	①							
	H10, H11, H12炉冷却器取水ポンプ 作番	4V-SF-570A, B	○	—	BYAC	V32-D001	計測制御電源（B）室給気バッグフィルタ	①							
	H10, H11, H12, H13炉冷却器取水ポンプ 現用機作番	4LB-25, 27, 28, 29	○	—	BYAC	V32-4P1001	計測制御電源（B）室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	⑤							
	H10, H11, H12, H13炉冷却器取水ポンプ 作番	4S-SF-570A, B, C, D	×	③	BYAC	V32-X001	計測制御電源（B）室排気ループ	①							
	H10, H11, H12, H13炉冷却器取水ポンプ 作番	4LB-26, 27, 28, 29	○	—	IA/H/FPN	F52-F111	I A第二隔離弁	④							
	H10, H11, H12, H13炉冷却器取水ポンプ 作番	4LB-24, 25	○	—	IA/H/FPN	F54-F015	H P I N 常用第二隔離弁	④							
	燃料取扱用水系	燃料取扱用水ポンプ		○	—	IA/H/FPN	F54-F068A	H P I N 非常用第二隔離弁（A）		④					
燃料取扱用水ポンプ現用機作番		4LB-33, 34	○	—	IA/H/FPN	F54-F068B	H P I N 非常用第二隔離弁（B）	④							
蒸気発生器 ブローダウンス系	H10, H11, H12, H13ブローダウンスライン格納容器 隔離弁	4V-BD-101A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-D001	圧入ガスブレイク系ストレーナ	①							
	H10, H11, H12, H13蒸気発生器燃料採取ライン格 納容器隔離弁	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-F006	L P C S 試験用調整弁	③							
1次系燃料採取 系	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-503	×	③	LPCS	E21-F016	L P C S 注入ライン試験可能遮止弁	③							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 2隔離弁	4V-SS-505	×	③	LPCS	E21-P1001	L P C S ボンプ入口圧力	③							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 3隔離弁	4V-SS-522	×	③	LPCS	E21-P1004	L P C S ボンプ出口圧力	③							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 4隔離弁	4V-SS-507	×	①	LPCS	E21-PT005	L P C S ボンプ出口圧力	③							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 5隔離弁	4V-SS-525	×	③	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ークエンチャ（A）	①							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 6隔離弁	4V-SS-525	×	③	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ークエンチャ（B）	①							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 7隔離弁	4V-SS-593A, B, C, D	×	③	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ークエンチャ（C）	①							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 8隔離弁	4V-SS-594	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ークエンチャ（D）	①							
	H10上蒸気相燃料採取ライン格納容器第 9隔離弁	4V-SS-574	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ークエンチャ（D）	①							
	制御用空気系	H10制御用空気圧縮機		○	—										
H10制御用空気乾燥器		4AADA, B	× <sup>※1</sup>	③											

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV内耐震度仕様の設置  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>					
制御用空気系	4A、4B制御用空気ため	4IAT1A、B	× <sup>①</sup>	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (E)	①					
	4A、4B制御用空気主蒸気逃がし弁弁部結露防止弁	4V-1A-505A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (F)	①				
	4A、C、4B-C制御用空気母管連絡弁	4V-1A-503A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (G)	①				
	4A、4B制御用空気格納容器隔離弁	4V-1A-505A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (H)	①				
	4A、4B格納容器内前部クラス制御用空気母管止弁	4V-1A-510A、B	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (I)	①				
	4A、4B制御用空気母管管圧力	4PT-1800、1810	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (J)	①				
廃棄物処理系	4A、4B制御用空気圧縮機制御盤	4IAC-A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (K)	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-078	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (L)	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-079	×	①		MS	B21-000JA	主蒸気逃し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-080	×	②		MS	B21-000JB	主蒸気逃し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-084	×	①		MS	B21-000JC	主蒸気逃し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク背面供給ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-094	×	②		MS	B21-000JD	主蒸気逃し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	4V-FL-042	×	②		MS	B21-000JE	主蒸気逃し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	4V-FL-043	×	②		MS	B21-000JF	主蒸気逃し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第3隔離弁	4V-FL-043	×	②		MS	B21-000JG	主蒸気逃し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第4隔離弁	4V-FL-144	×	①		MS	B21-000JH	主蒸気逃し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
直大水系	4直大水ライン格納容器隔離弁	4V-FS-502	×	①	MS	B21-000JI	主蒸気逃し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
6号内排気調整系	46号内排気調整装置スパーージライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-009	×	②	MS	B21-000JJ	主蒸気逃し安全弁 (J) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	46号内排気調整装置スパーージライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-008	×	①	MS	B21-000JK	主蒸気逃し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
—	手動弁 一式		×	②	MS	B21-000JL	主蒸気逃し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
—	遮止弁 一式		×	③	MS	B21-0002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①					
換気空調系	4換気空調盤	4VB	○	—	MS	B21-0002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	B21-0002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン		○	—	MS	B21-0002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン	4VSP22A、B	○	—	MS	B21-0002I	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (I) ADS	①					
	4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A、B	×	①	MS	B21-0002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン入口ダンパ	4D-VS-602A、B	○	—	MS	B21-0003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A、B	○	—	MS	B21-0003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン入口ダンパ	4D-VS-604A、B	○	—	MS	B21-0003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4BKP-2874、2875	○	—									
	4A、4B中央制御室新成量調節ダンパ	4BKP-2885、2886	○	—									
	4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4BKP-2887、2888	×	①									
	4A、4B中央制御室事故時空気取入流量調節ダンパ	4BKP-2889、2890	○	—									
	4A、4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ	4BKP-2891、2892	○	—									

※1 評価対象外とした理由  
 ①原水により機能を喪失しない  
 ②PCVが耐震規格仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (17/24)						【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
換気空調系	中央制御室温度(1)、(2)	4TS-2908,2909	○	—	MS	B21-A003D	主蒸気第一隔離弁(D)用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904, 2905	○	—		B21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910, 2911	○	—		B21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アキュムレータ	①			
	34キョテン排気第1,2隔離ダンパ	34D-VS-905,606	×	①		B21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	4HC-2874, 2875	○	—		B21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アキュムレータ	①			
	4A, 4B中央制御室排気ダンパ流量設定	4HC-2885, 2886	○	—		B21-F001A	主蒸気逃がし安全弁(A)	②			
	4A, 4B中央制御室外気取入ダンパ流量設定	4HC-2887, 2888	×	①		B21-F001B	主蒸気逃がし安全弁(B)	②			
	4A, 4B中央制御室事故時排気取入調節ダンパ流量設定	4HC-2889, 2890	○	—		B21-F001C	主蒸気逃がし安全弁(C)	②			
	4A, 4B中央制御室事故時循環ファン流量設定	4HC-2891, 2892	○	—		B21-F001D	主蒸気逃がし安全弁(D)	②			
	34A, 34B安全解除時間調整空調ファン		○	—		B21-F001E	主蒸気逃がし安全弁(E)	②			
	34C, 34D安全解除時間調整空調ファン		○	—		B21-F001F	主蒸気逃がし安全弁(F)	②			
	4安全系電気盤室排気止めダンパA, B	4D-VS-532, 533	○	—		B21-F001G	主蒸気逃がし安全弁(G)	②			
	4安全系電気盤室排気止めダンパA, B	4D-VS-536, 537	○	—		B21-F001H	主蒸気逃がし安全弁(H)	②			
	4A, 4B安全解除時間調整室温度	4TS-2917, 2918	○	—		B21-F001I	主蒸気逃がし安全弁(I)	②			
	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—		B21-F001J	主蒸気逃がし安全弁(J)	②			
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	4D-VS-431A, B	○	—		B21-F001K	主蒸気逃がし安全弁(K)	②			
	4制御用空気圧縮機室温度(1)、(2)、(3)、(4)	4TS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—		B21-F001L	主蒸気逃がし安全弁(L)	②			
	4A, 4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—		B21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	②			
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	4D-VS-411A, B	○	—		B21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	②			
	4A, 4B電動補助給水ポンプ室温度(1)、(2)	4TS-2741, 2742, 2743, 2744	○	—		B21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	②			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2ディーゼル発電機室給気ファン		○	—		B21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	②			
	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	4D-VS-401A, B, 403A, B	○	—		B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③			
	4A, 4Bディーゼル発電機室温度(1)、(2)、(3)、(4)	4TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—		B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③			
	4A, 4B安全解除室冷却ファン		○	—		B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③			
	4A, 4B安全解除室温度(1)、(2)	4TS-2680, 2681, 2680, 2681	○	—		B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③			
	4A, 4B3号酸ポンプ室空調ファン		○	—		B21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②			
	4A, 4B3号酸ポンプ室空調ファン前気熱コイル		○	—		B21-F045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④			
	4A, 4B3号酸ポンプ室温度調節計	4TS-2691, 2691	○	—		B21-F061	事故後貯水サンプリング第一隔離弁	②			
	4B3号酸タンク室温度(1)、(2)、(3)、(4)	4TS-2602, 2603, 2612, 2613	○	—							
4A, 4Bアンモニアガス空気浄化ファン	4FS94, B	○	—								
アンモニアガス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	4V9H18A, B	×	①								
4A, 4Bアンモニアガス排気ダンパ	4D-VS-101A, B	○	—								
4A, 4Bアンモニアガス戻りダンパ	4D-VS-104A, B	○	—								
4A, 4Bアンモニアガス全量排気弁	4V-VS-102A, B	○	—								

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)										
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1	系統	機器番号	設備	理由※1			
換気空調系	4A, 4Bアニューラス少基排気弁	4A-VS-103A, B	○	—	MS	8C1-F062	事故時炉水サンプリング第二隔離弁	㊸	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違						
	4A, 4Bアニューラス圧力制御器	4PT-2522, 2542	×	㊸	PLR	8B2-F002A	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	㊸							
	4A, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4B-VS-060A, B	×	㊸	PLR	8B2-F002B	原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁	㊸							
	4格納容器排気止めダンパ	4B-VS-061	×	㊸	PLR	8B2-F013	P L R サンプライン第一隔離弁	㊸							
	4補助屋排気装置調整ダンパ	4BKP-2590	×	㊸	PLR	8B2-F014	P L R サンプライン第二隔離弁	㊸							
	4補助屋排気止めダンパ	4B-VS-051	×	㊸	RCIC	8B1-0004	原子炉隔離時冷却系ストレータ	㊸							
	34放射線管理室排気装置制御ダンパ	34PCD-2975	×	㊸	RCIC	8B1-0005	スパーージャ	㊸							
	34放射線管理室排気止めダンパ	34B-VS-408	×	㊸	RCIC	8B1-F007	R C I Cタービン入口蒸気ライン第一隔離弁	㊸							
	4A, 4B安全補機室排気ダンパ	4B-VS-105A, B	○	—	RCIC	8B1-F027	R C I Cタービン入口蒸気ライン継機弁	㊸							
	4安全補機室給気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-301, 302	×	㊸	RCIC	8B1-F001	R C I Cポンプ入口圧力指示計	㊸							
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-303, 304	×	㊸	RCIC	8B1-F003	R C I Cポンプ出口圧力指示計	㊸							
	4アニューラス給気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-052, 053	×	㊸	RCIC	8B1-F007	R C I Cポンプ電動用タービン入口蒸気圧力指示計	㊸							
	4アニューラス排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-058, 059	×	㊸	RCIC	8B1-F009	R C I Cタービン排気圧力指示計	㊸							
	4格納容器給気第2隔離弁	4B-VS-054	×	㊸	RCIC	8B1-P000A	R C I Cポンプ入口圧力伝送器	㊸							
	4格納容器給気第1隔離弁	4B-VS-055	×	㊸	RCW	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク(A)	㊸							
	4格納容器排気第1隔離弁	4B-VS-056	×	㊸	RCW	P42-A001B	原子炉補機冷却水サージタンク(B)	㊸							
	4格納容器排気第2隔離弁	4B-VS-057	×	㊸	RCW	P42-B001A	原子炉補機冷却水系熱交換器(A)	㊸							
	4A, 4B安全補機室冷却ファン駆動機作箱	4LB-82, 83	○	—	RCW	P42-B001B	原子炉補機冷却水系熱交換器(B)	㊸							
	4A1, 4B1, 4B2ワイヤケーブル電機室給気ファン駆動機作箱	4LB-84, 85	○	—	RCW	P42-B001C	原子炉補機冷却水系熱交換器(C)	㊸							
	4A, 4B電線補助給水ポンプ供給ファン駆動機作箱	4LB-86, 87	○	—	RCW	P42-B001D	原子炉補機冷却水系熱交換器(D)	㊸							
	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン駆動機作箱	4LB-90, 91	○	—	RCW	P42-F006A	R C W冷却水供給温度熱交換器(A) 調整弁弁	㊸							
	4A, 4B中央制御室通風ファン駆動機作箱	4LB-95, 96	○	—	RCW	P42-F006B	R C W冷却水供給温度熱交換器(B) 調整弁弁	㊸							
	4A, 4B中央制御室空調ファン駆動機作箱	4LB-101, 102	○	—	RCW	P42-F010A	R C W冷却水供給温度ポンプ(A) 調整弁弁	㊸							
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室空調ファン駆動機作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	RCW	P42-F010B	R C W冷却水供給温度ポンプ(B) 調整弁弁	㊸							
	4A, 4B3号除染用空気空調ファン駆動機作箱	4LB-77, 78	○	—	RCW	P42-F089A	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(A)	㊸							
	4A, 4Bアニューラス空気浄化ファン駆動機作箱	4LB-82, 83	○	—	RCW	P42-F089B	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(B)	㊸							
4A, 4B中央制御室非常用通風ファン駆動機作箱	4LB-97, 98	○	—	RCW	P42-F089C	R C W常用冷却水緊急シャ断弁(C)	㊸								
4空調用冷水膨脹タンク			×	㊸											
4A, 4B, 4C, 4D空調用冷庫機			○	—											
4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—											
4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度検測計	4TCV-2878, 2879	○	—												
34A, 34B安全補機室空調ユニット冷水温度検測計	34TCV-2796, 2799	○	—												
4空調用冷水N-ヘッダ供給, 戻りライン止め弁	4V-CH-032, 033	○	—												
4制御室給気室冷却ユニット冷水入口, 出口供給装置制御弁	4V-CH-453, 457	×	㊸												
4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ駆動機作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能全喪失しない  
 ②RCV内前段専任機の設備  
 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方		系統	機器番号	設備	理由※1			
格納容器減圧装置 及び水素抑制 装置	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納器 設置用配管	4V-DF-001A,B	×	②		R CW	P42-F089D	R CW常用冷却水緊急し断弁 (D)	③			
	4A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納器 設置用配管	4V-DF-002A,B	×	①		R CW	P42-F112A	R CW供給側第二隔離弁 (A)	④			
	4A, 4B格納容器排気ライン格納器 設置用配管	4V-DF-003A,B	×	①		R CW	P42-F112B	R CW供給側第二隔離弁 (B)	④			
	4A, 4B格納容器排気ライン格納器 設置用配管	4V-DF-004A,B	×	①		R CW	P42-F115A	R CW戻り側第一隔離弁 (A)	②			
放射性監視設備 空気サンプリング 系	4格納容器サンプル取り出しライン格納器 設置用配管	4V-RM-001	×	②		R CW	P42-F115B	R CW戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	4格納容器サンプル取り出しライン格納器 設置用配管	4V-RM-002	×	①		R CW	P42-F115B	R CW戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	4格納容器サンプル取り出しライン格納器 設置用配管	4V-RM-013	×	①		R CW	P42-FT006A	R CW A系系統流量発信器	⑤			
	4格納容器サンプル取り出しライン格納器 設置用配管	4V-RM-013	×	①		R CW	P42-FT006B	R CW B系系統流量発信器	⑤			
電気盤	4土盤 (原子炉室)	4BC3	○	—		R CW	P42-FT014A	R CW A系常用系入口流量発信器	⑤			
	4原子炉補助盤	4BAR	○	—		R CW	P42-FT014B	R CW B系常用系入口流量発信器	⑤			
	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4BPP-1, II, III, IV	○	—		R CW	P42-FT016A	R H R熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	⑤			
	4土盤 (原子炉室)	4BPL-A, B, C, D	○	—		R CW	P42-FT016B	R H R熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	⑤			
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4BPL-A, B, C, D	○	—		R CW	P42-L1009A	R CWサーージタンク (A) 水位	⑤			
	4安全保護シークス盤A01, B02, B01, B02	4BSP-A1, A2, B1, B2	○	—		R CW	P42-L1009B	R CWサーージタンク (B) 水位	⑤			
	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4フレ イド分電盤	4BSP-A1, A2, A3, A4 , B1, B2, B3, B4	○	—		R CW	P42-LT010A	R CWサーージタンク (A) 水位発信器	⑤			
	4原子炉トリップ遮断盤	4BTS	○	—		R CW	P42-LT010B	R CWサーージタンク (B) 水位発信器	⑤			
	4A, 4Bドロップ盤	4BTP-A-100P , 4BTP-B-100P	○	—		R CW	P42-P1001A	R CWポンプ (A) 出口圧力	⑤			
	4A, 4B直流電盤	4BMP-A, B	○	—		R CW	P42-P1001B	R CWポンプ (B) 出口圧力	⑤			
	4A, 4B交流電盤	4BMP-A, B	○	—		R CW	P42-P1001C	R CWポンプ (C) 出口圧力	⑤			
	4A, 4B蓄電池	4BMP-A, B	○	—		R CW	P42-P1001D	R CWポンプ (D) 出口圧力	⑤			
	4A, 4B充電盤	4BMP-A, B	○	—		R CW	P42-P1007A	R CWポンプ (A) 入口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクワッドスイッ チ	4BMC-A1, A2, B1, B2	○	—		R CW	P42-P1007B	R CWポンプ (B) 入口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4BPC-A1, A2, B1, B2	○	—		R CW	P42-P1007C	R CWポンプ (C) 入口圧力	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2電子コントロールセ ンタ	4BPC-A1, A2, B1, B2	○	—		R CW	P42-P1007D	R CWポンプ (D) 入口圧力	⑤			
	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (I) ~ (D)	4BPC-A, B, C, D	○	—		R CW	P42-TD005A	R CW A系冷却水供給温度検出器	⑤			
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用 分電盤	4BPC-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—		R CW	P42-TD005B	R CW B系冷却水供給温度検出器	⑤			
	4A, 4B, 4C, 4D計装用交直流電源母線	4BSP-A, B, C, D	○	—		R CW	P42-TD017A	R H R熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	⑤			
	4所内盤	4BSP	○	—		R CW	P42-TD017B	R H R熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	⑤			
	4AC, 4BC計装用負荷分電盤	4BSP-AC, BC	○	—								
	4事故時放射線監視盤	4BRS-III, IV	○	—								
	計装	4出力領域中性子束	4B-41, 42, 43, 44	×	②							
		4中性子領域中性子束	4B-31, 32	×	②							
4格納容器高レベルエリアモニタ (低レン ジ)・ (高レンジ)		4BE-91A, 91B , 92A, 92B	×	②								

【大飯】  
 記載表現の相違  
 女川審査実績の反映  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違

【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②CVI内耐環境仕様様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（10/10）</p> <table border="1" data-bbox="136 217 672 343"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>4A, 4Bディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>40CC-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機燃料調整</td> <td>40GC-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方                  ①プラント停止時に動作要求のない電動弁及び動作機軸喪失によりフェイルポジションとなる空気動作弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機軸に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外部設置の格納容器隔離弁を含む）。                  ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震設計であるため機能喪失しない。又は、溢水事象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。                  ③タンク、熱交換器、遮断弁、弁駆動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。                  ④他の設備で代替できる。</p> <p>&lt;溢水影響評価対象種別は記号&gt;                  *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに通知した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—	4A, 4Bディーゼル発電機燃料調整	40GC-A, B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（20/24）</p> <table border="1" data-bbox="705 217 1272 970"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>*1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BD</td><td>E11-F003</td><td>D/W L C Wサンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BD</td><td>E11-F103</td><td>D/W H C Wサンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-B001A</td><td>残留熱除去系熱交換器（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-B001B</td><td>残留熱除去系熱交換器（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-D001A</td><td>残留熱除去系A系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-D001B</td><td>残留熱除去系B系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-D001C</td><td>残留熱除去系C系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-dPT0009A</td><td>L P C I系A / L P C S注入ライン差圧伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-dPT0009B</td><td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F012A</td><td>R H R A系試験用調整弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F012B</td><td>R H R B系試験用調整弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F012C</td><td>R H R C系試験用調整弁</td><td>④</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F014A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F014B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F015A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F015B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F021</td><td>R H R ヘッドスプレー注入隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F044A</td><td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F044B</td><td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F044C</td><td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F045A</td><td>R H R A系 R W連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F045B</td><td>R H R B系 R W連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F046A</td><td>R H R A系系統継機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F046B</td><td>R H R B系系統継機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F058A</td><td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F058B</td><td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BR</td><td>E11-F014</td><td>原子炉ヘッドスプレー流量変換器</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②RCV内耐震設計時の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>*1</sup>	BD	E11-F003	D/W L C Wサンプ第一隔離弁	②	BD	E11-F103	D/W H C Wサンプ第一隔離弁	②	BR	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①	BR	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①	BR	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	BR	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	BR	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	BR	E11-dPT0009A	L P C I系A / L P C S注入ライン差圧伝送器	③	BR	E11-dPT0009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器	③	BR	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	④	BR	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	④	BR	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	④	BR	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①	BR	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①	BR	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BR	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BR	E11-F021	R H R ヘッドスプレー注入隔離弁	③	BR	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BR	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BR	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BR	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③	BR	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③	BR	E11-F046A	R H R A系系統継機弁	③	BR	E11-F046B	R H R B系系統継機弁	③	BR	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BR	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BR	E11-F014	原子炉ヘッドスプレー流量変換器	④		<p>【大飯】                  記載表現の相違                  女川審査実績の反映                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機燃料調整	40GC-A, B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由 <sup>*1</sup>																																																																																																																																						
BD	E11-F003	D/W L C Wサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F103	D/W H C Wサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①																																																																																																																																						
BR	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①																																																																																																																																						
BR	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BR	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BR	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BR	E11-dPT0009A	L P C I系A / L P C S注入ライン差圧伝送器	③																																																																																																																																						
BR	E11-dPT0009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器	③																																																																																																																																						
BR	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	④																																																																																																																																						
BR	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	④																																																																																																																																						
BR	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	④																																																																																																																																						
BR	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BR	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BR	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F021	R H R ヘッドスプレー注入隔離弁	③																																																																																																																																						
BR	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BR	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BR	E11-F046A	R H R A系系統継機弁	③																																																																																																																																						
BR	E11-F046B	R H R B系系統継機弁	③																																																																																																																																						
BR	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BR	E11-F014	原子炉ヘッドスプレー流量変換器	④																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 212 1281 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口温度検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口温度検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口温度検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口温度検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(A)</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(B)</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(C)</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(D)</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊦	RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊦	RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊦	RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊦	RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊦	RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊦	RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊦	RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊦	RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊦	RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊦	RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊦	RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊦	RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊦	RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊦	RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊦	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(A)	㊦	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(B)	㊦	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(C)	㊦	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(D)	㊦	RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊦	RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊦	RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊦	RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊦	RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊦	RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊦	RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊦	RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊦		<p>【女川】  <span style="color: green;">記載表現の相違</span>  <span style="color: red;">設計方針の相違</span>                      プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊦																																																																																																																
RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊦																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(A)	㊦																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(B)	㊦																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(C)	㊦																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却廃水系ストレーナ(D)	㊦																																																																																																																
RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊦																																																																																																																
RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊦																																																																																																																
	<p>※1 評価対象外とした理由                      ① 溢水により機能を喪失しない                      ② PCV内耐環境仕様の設備                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替できる</p>																																																																																																																		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 210 1281 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ESW</td><td>P45-PI001A</td><td>R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-PI001B</td><td>R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-PI001C</td><td>R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-PI001D</td><td>R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004A</td><td>R CW熱交換器 (A) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004B</td><td>R CW熱交換器 (B) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004C</td><td>R CW熱交換器 (C) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004D</td><td>R CW熱交換器 (D) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI002A</td><td>空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI002B</td><td>空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI004</td><td>フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dPI013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒーター</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒーター</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-LE001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-LI001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-LI001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-PI010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-PI010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②PCI内耐震増強仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	ESW	P45-PI001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	P45-PI001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	P45-PI001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	P45-PI001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	P45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸	ESW	P45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸	ESW	P45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸	ESW	P45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸	SGTS	T46-dPI002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-dPI002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-dPI004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-dPI005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-dPI010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-dPI013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸	SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸	SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸	SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ (A)	㊸	SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ (B)	㊸	SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒーター	㊸	SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒーター	㊸	SLC	E41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸	SLC	E41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸	SLC	E41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸	SLC	E41-PI010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸	SLC	E41-PI010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
ESW	P45-PI001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	P45-PI001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	P45-PI001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	P45-PI001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	P45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	P45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	P45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	P45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-dPI013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸																																																																																																																
SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸																																																																																																																
SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸																																																																																																																
SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ (A)	㊸																																																																																																																
SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ (B)	㊸																																																																																																																
SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒーター	㊸																																																																																																																
SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒーター	㊸																																																																																																																
SLC	E41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸																																																																																																																
SLC	E41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸																																																																																																																
SLC	E41-LI001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸																																																																																																																
SLC	E41-PI010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																
SLC	E41-PI010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

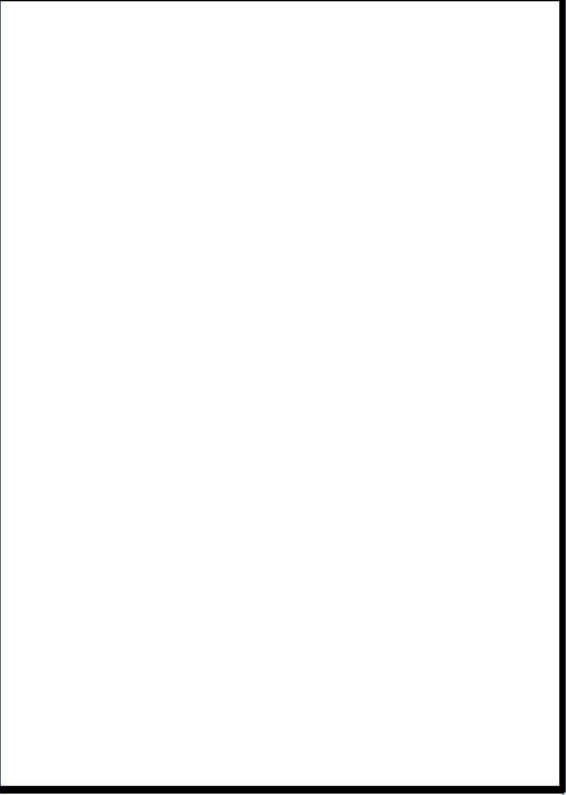
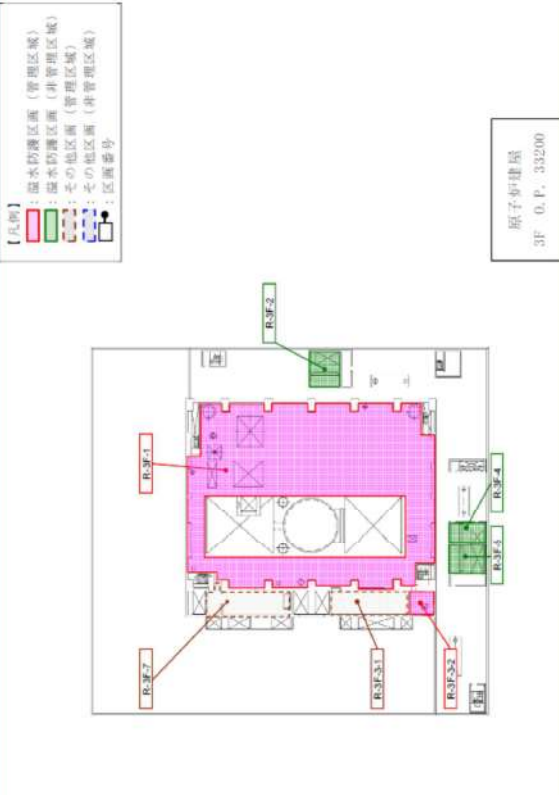
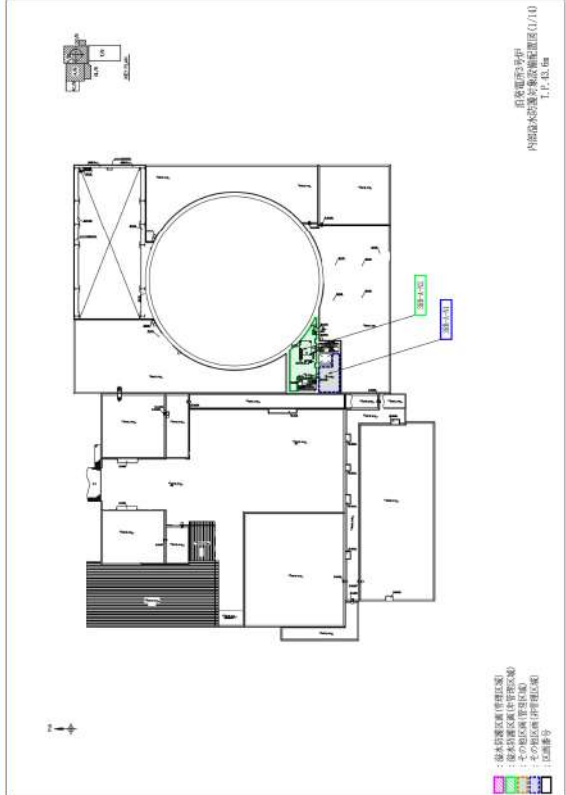
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1281 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TE002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TE003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TE004</td><td>S/LC貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TIS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TIS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TIS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117">                     ※1 評価対象外とした理由                      ① 溢水により機能を喪失しない                      ② PCV内耐爆域仕様の設備                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替できる                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	S/LC	C41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TE004	S/LC貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度検出器	③	S/LC	C41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度	③	SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
S/LC	C41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TE004	S/LC貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク風度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータシース表面温度	③																																																																																																																
SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

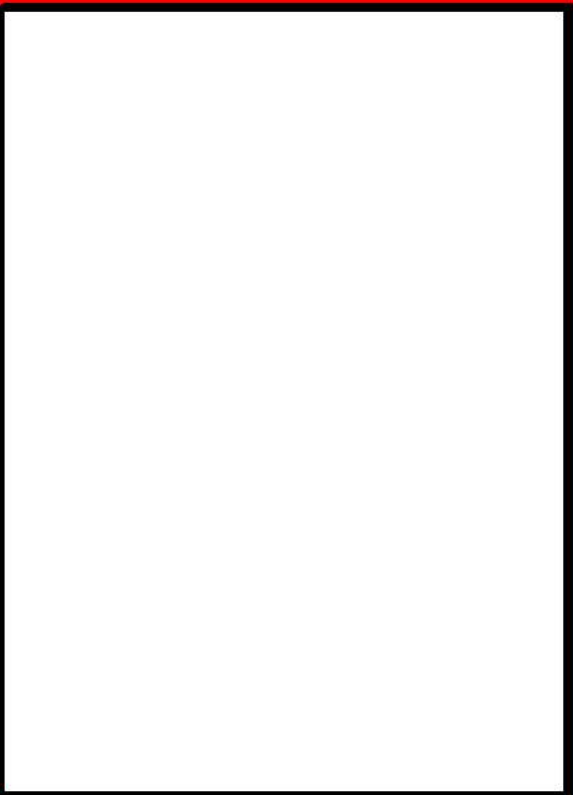
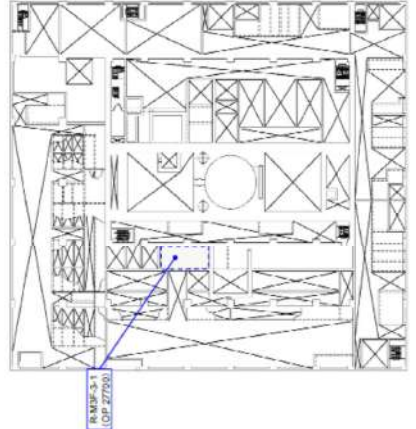
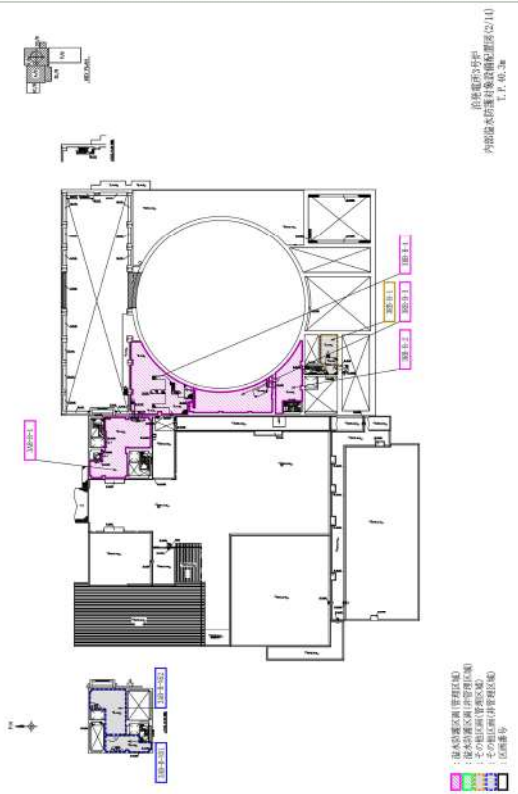
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 217 1281 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブレッシュンブル水温度(23.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブレッシュンブル水温度(25.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブレッシュンブル水温度(25.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブレッシュンブル水温度(28.1°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブレッシュンブル水温度(28.1°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブレッシュンブル水温度(30.4°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブレッシュンブル水温度(30.4°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブレッシュンブル水温度(32.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブレッシュンブル水温度(32.6°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブレッシュンブル水温度(34.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブレッシュンブル水温度(34.9°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ(ボール弁A・発電弁A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ(ボール弁B・発電弁B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ(ボール弁C・発電弁C)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ(ボール弁D・発電弁D)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>G51-F083</td><td>T1Pバージ隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>④</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>逆止弁一式</td><td>④</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117">                     ※1 評価対象外とした理由                      ① 溢水により機能を喪失しない                      ② PCV内射撃域仕様の設置                      ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない                      ④ 他の設備で代替できる                 </p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SPTM	T11-TE011B	サブレッシュンブル水温度(23.6°)	②	SPTM	T11-TE012A	サブレッシュンブル水温度(25.9°)	②	SPTM	T11-TE012B	サブレッシュンブル水温度(25.9°)	②	SPTM	T11-TE013A	サブレッシュンブル水温度(28.1°)	②	SPTM	T11-TE013B	サブレッシュンブル水温度(28.1°)	②	SPTM	T11-TE014A	サブレッシュンブル水温度(30.4°)	②	SPTM	T11-TE014B	サブレッシュンブル水温度(30.4°)	②	SPTM	T11-TE015A	サブレッシュンブル水温度(32.6°)	②	SPTM	T11-TE015B	サブレッシュンブル水温度(32.6°)	②	SPTM	T11-TE016A	サブレッシュンブル水温度(34.9°)	②	SPTM	T11-TE016B	サブレッシュンブル水温度(34.9°)	②	TIP	G51-F081A	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁A・発電弁A)	③	TIP	G51-F081B	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁B・発電弁B)	③	TIP	G51-F081C	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁C・発電弁C)	③	TIP	G51-F081D	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁D・発電弁D)	③	TIP	G51-F083	T1Pバージ隔離弁	③	その他	-	手動弁一式	④	その他	-	逆止弁一式	④	その他	-	配管一式	④		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブレッシュンブル水温度(23.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブレッシュンブル水温度(25.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブレッシュンブル水温度(25.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブレッシュンブル水温度(28.1°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブレッシュンブル水温度(28.1°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブレッシュンブル水温度(30.4°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブレッシュンブル水温度(30.4°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブレッシュンブル水温度(32.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブレッシュンブル水温度(32.6°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブレッシュンブル水温度(34.9°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブレッシュンブル水温度(34.9°)	②																																																																																
TIP	G51-F081A	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁A・発電弁A)	③																																																																																
TIP	G51-F081B	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁B・発電弁B)	③																																																																																
TIP	G51-F081C	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁C・発電弁C)	③																																																																																
TIP	G51-F081D	T1Pバルブアセンブリ(ボール弁D・発電弁D)	③																																																																																
TIP	G51-F083	T1Pバージ隔離弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	④																																																																																
その他	-	逆止弁一式	④																																																																																
その他	-	配管一式	④																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

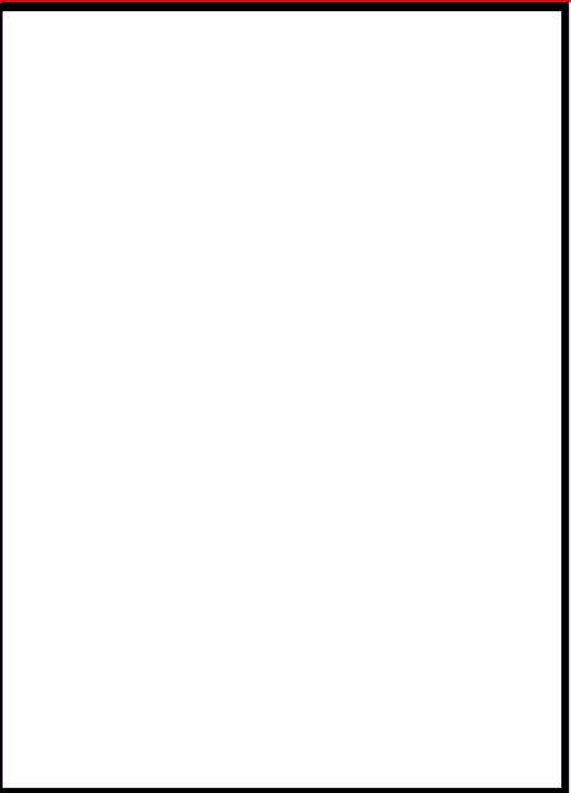
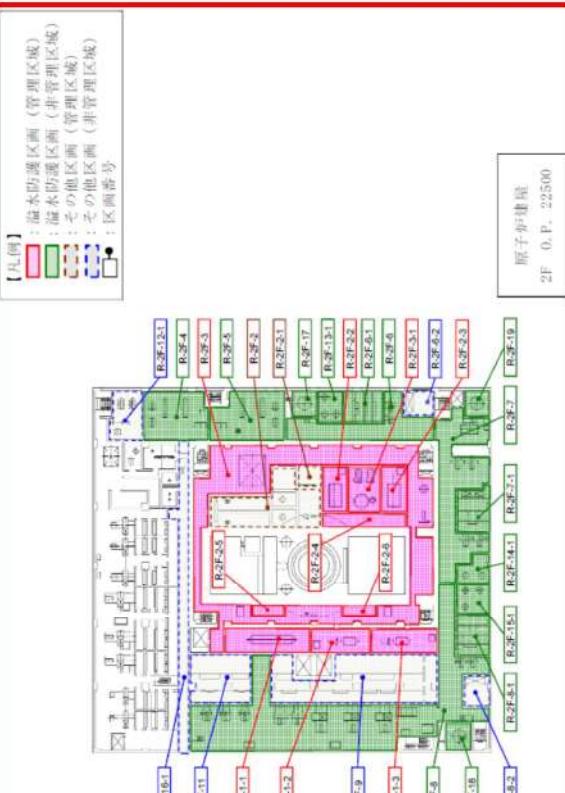
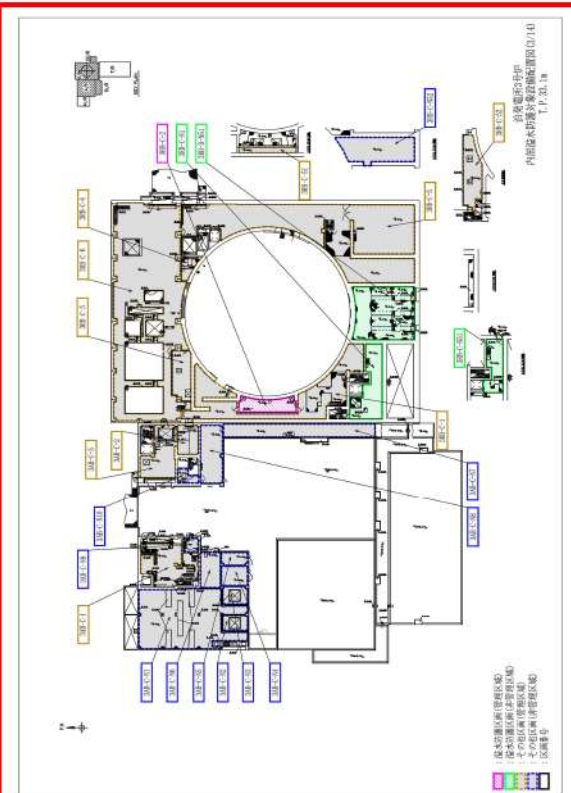
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	【大飯】 記載表現の相違
 <p data-bbox="264 1059 680 1088">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="1196 373 1263 517">原子炉建屋 3F 0.P. 33200</p>	 <p data-bbox="1800 261 1845 405">内部給水設備設置位置図(1/10) 1.P. 43.4m</p> <p data-bbox="1778 922 1845 1066">                 基本防護区画(管理区画)                  基本防護区画(非管理区画)                  その他区画(管理区画)                  その他区画(非管理区画)                  区画番号             </p>	【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違


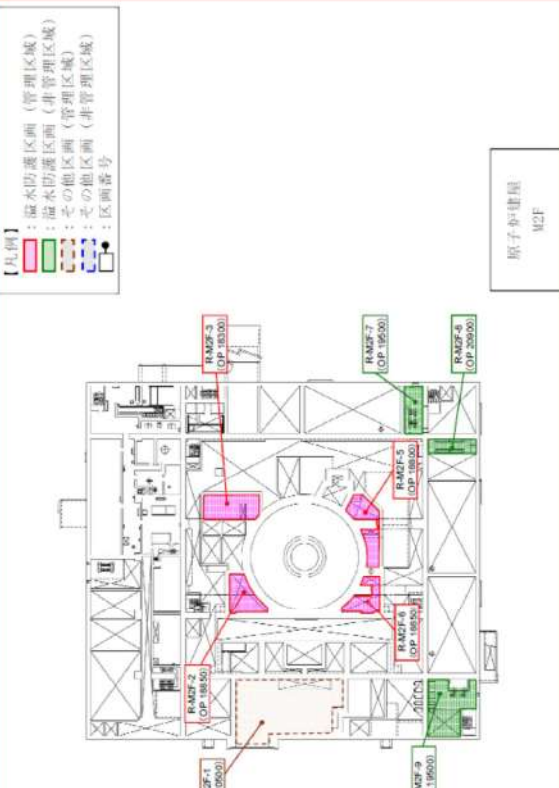
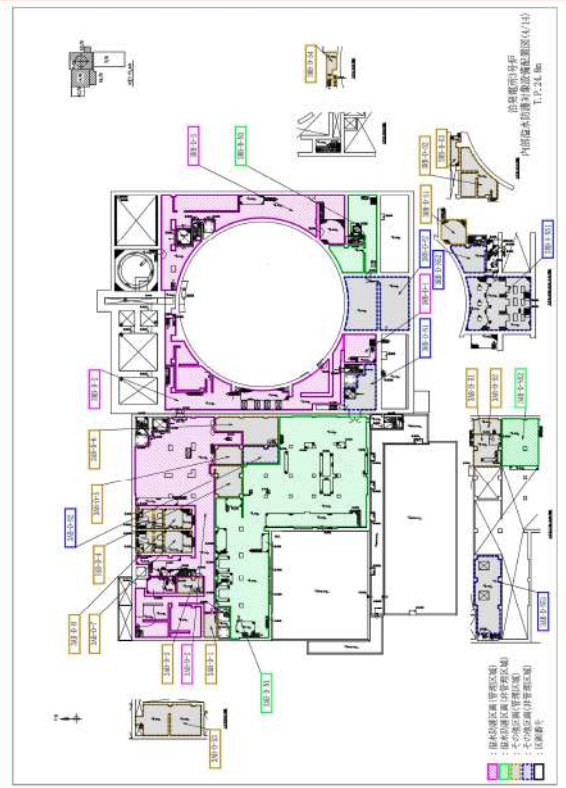
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 997 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 183 817 462">【凡例】                  赤：溢水防護区画（管理区域）                  青：溢水防護区画（非管理区域）                  緑：その他区画（管理区域）                  黄：その他区画（非管理区域）                  白：区画番号</p> <p data-bbox="1198 327 1265 462">原子炉建屋 M3F</p>  <p data-bbox="862 917 907 981">RAMP-5-1 OP-27200</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 343">内部設備の相違対象設備配置図(2/10) T.P. 40.3a</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤：溢水防護区画（管理区域）                  青：溢水防護区画（非管理区域）                  緑：その他区画（管理区域）                  黄：その他区画（非管理区域）                  白：区画番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

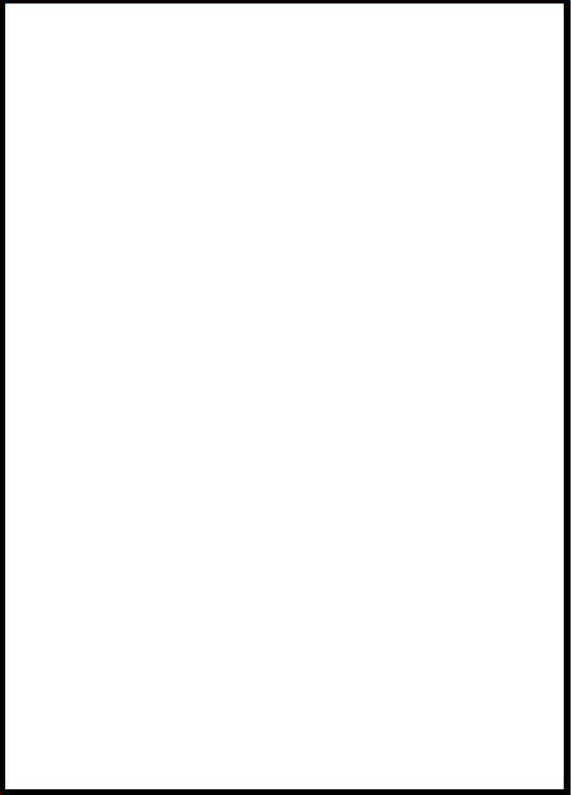
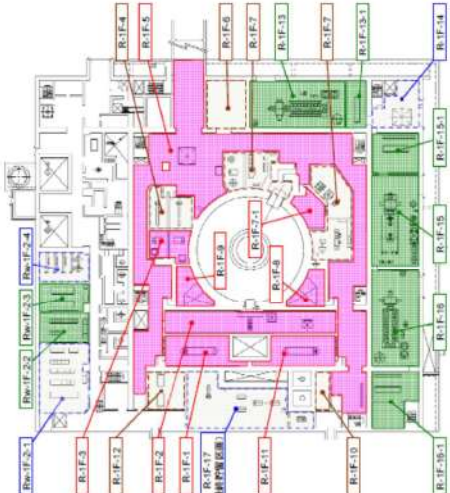
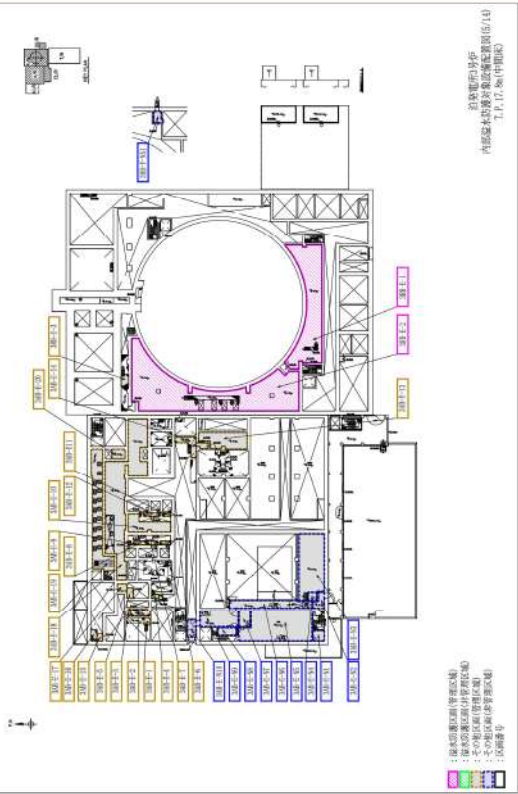
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1874 177 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 983 680 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 197 824 472">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1191 338 1263 472">原子炉建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1774 197 1845 338">泊発電所3号炉 内部溢水防護非管理区域(M/F) 17.24 m</p> <p data-bbox="1774 849 1845 976">■：溢水防護区域(管理区域)                  ■：溢水防護区域(非管理区域)                  ■：その他区域(管理区域)                  ■：その他区域(非管理区域)                  ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 178 1989 201">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>


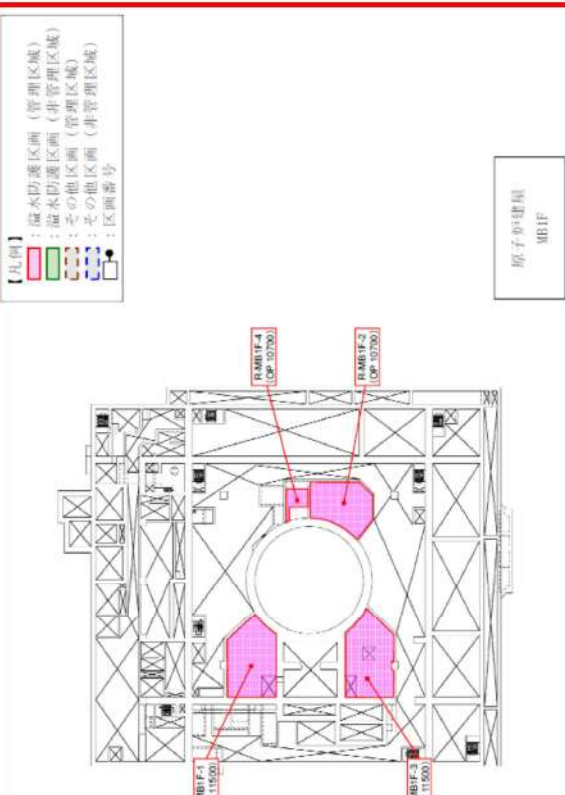
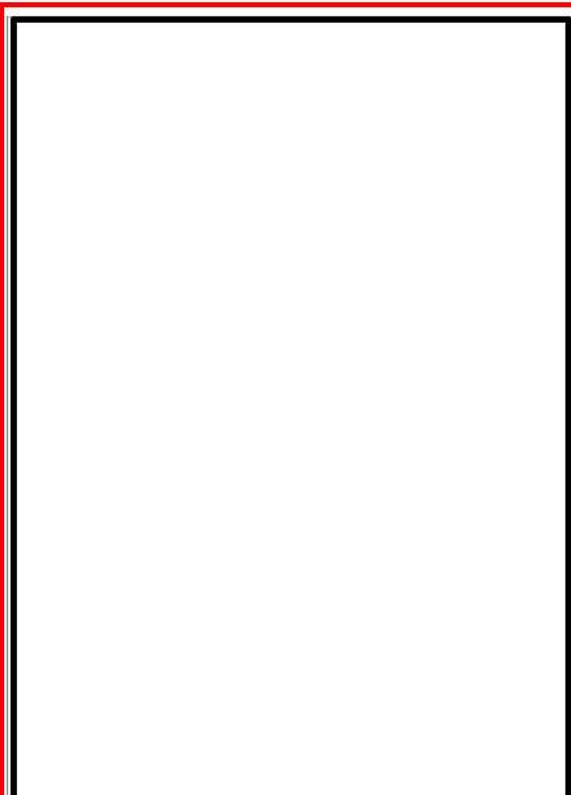
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 181 1018">↑</p> <p data-bbox="264 995 674 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】                  赤：溢水防護区域 (管理区域)                  青：溢水防護区域 (非管理区域)                  緑：その他区域 (管理区域)                  黄：その他区域 (非管理区域)                  白：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 343 1254 470">原子炉建屋 1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 343">泊発電所3号炉 内部基本防護対策設備設置箇所 (L1, L17, 8号中置庫)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤：溢水防護区域 (管理区域)                  青：溢水防護区域 (非管理区域)                  緑：その他区域 (管理区域)                  黄：その他区域 (非管理区域)                  白：区域番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1982 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 263">プラント構成及び機器配置の相違</p>

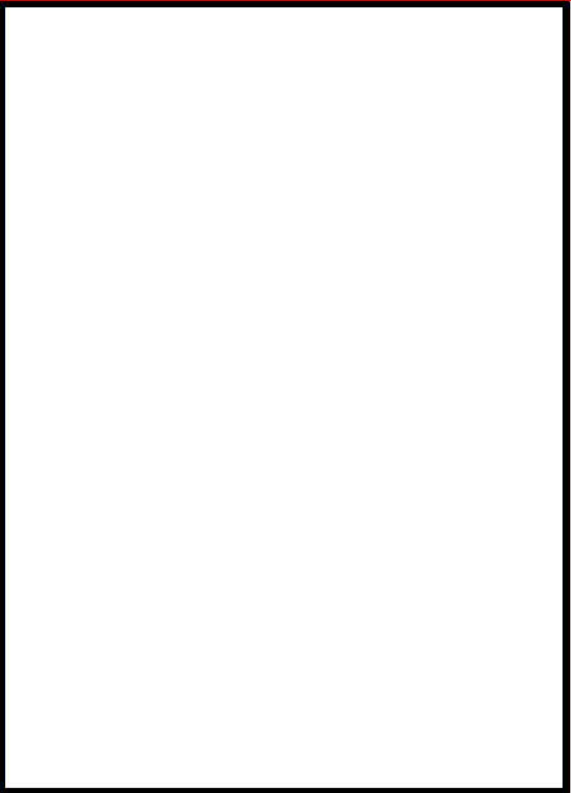
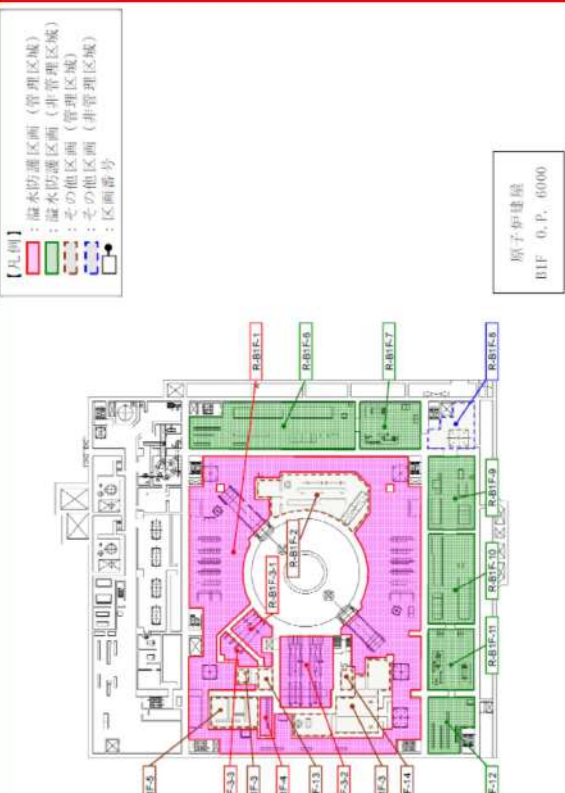
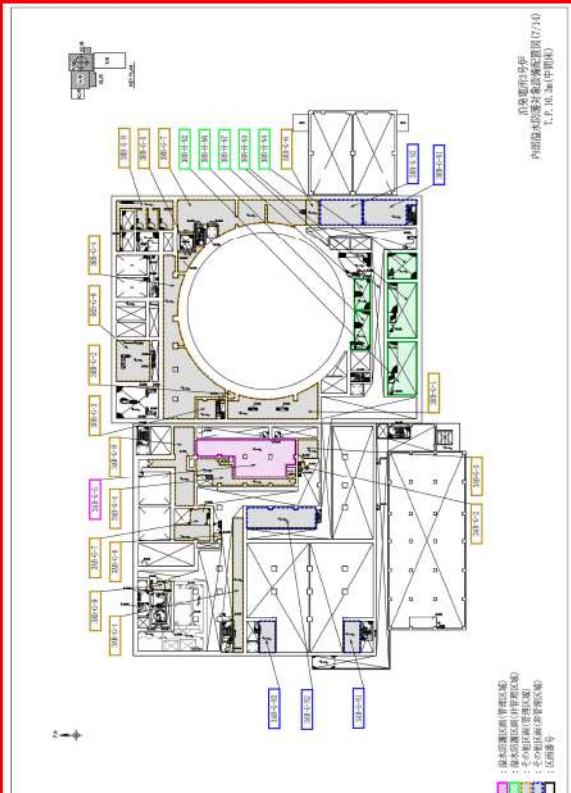


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



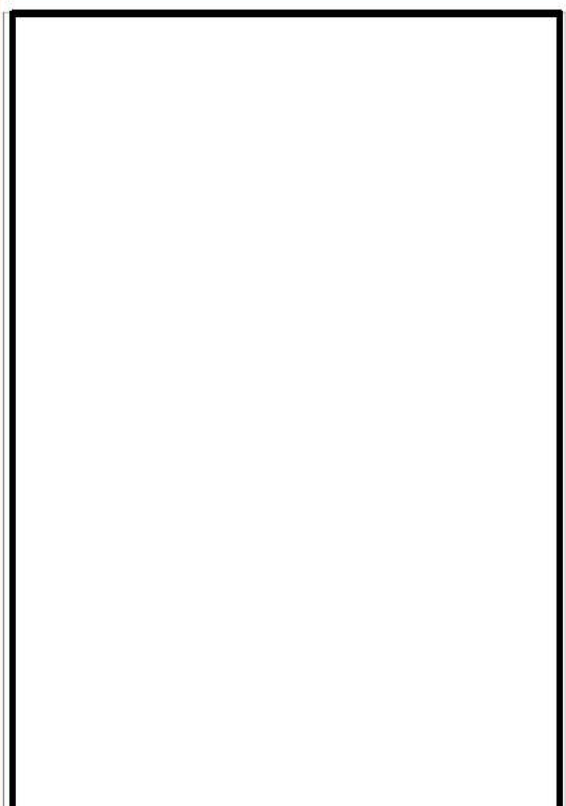
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1023">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 177 824 480">【凡例】  <span style="color: pink;">■</span>：溢水防護区画 (管理区域)  <span style="color: green;">■</span>：溢水防護区画 (非管理区域)  <span style="color: blue;">■</span>：その他区画 (管理区域)  <span style="color: orange;">■</span>：その他区画 (非管理区域)  <span style="color: black;">■</span>：区画番号</p> <p data-bbox="1189 336 1265 480">原子炉建屋 MB1F</p> <p data-bbox="1279 1038 1852 1070">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1285 1038 1854 1070">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1868 177 2136 268">【女川・大飯】  <span style="color: red;">設計方針の相違</span>  <span style="color: red;">プラント構成及び機器配置の相違</span></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

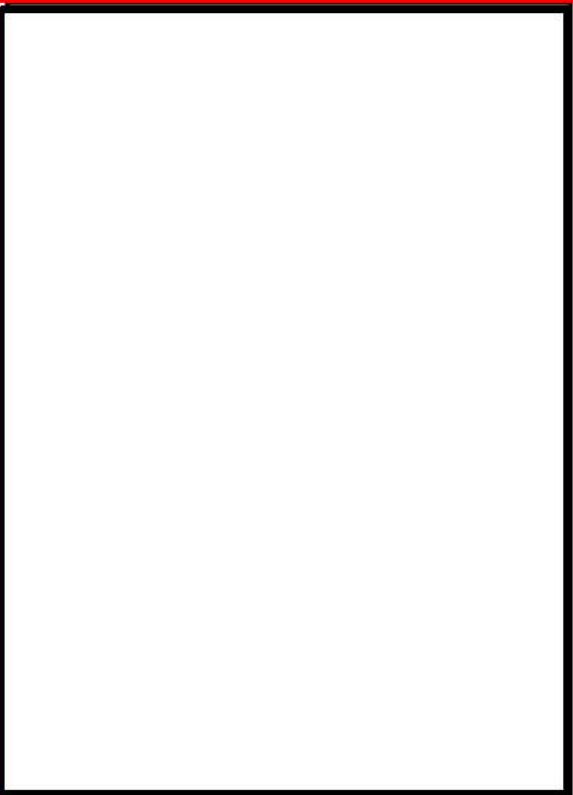

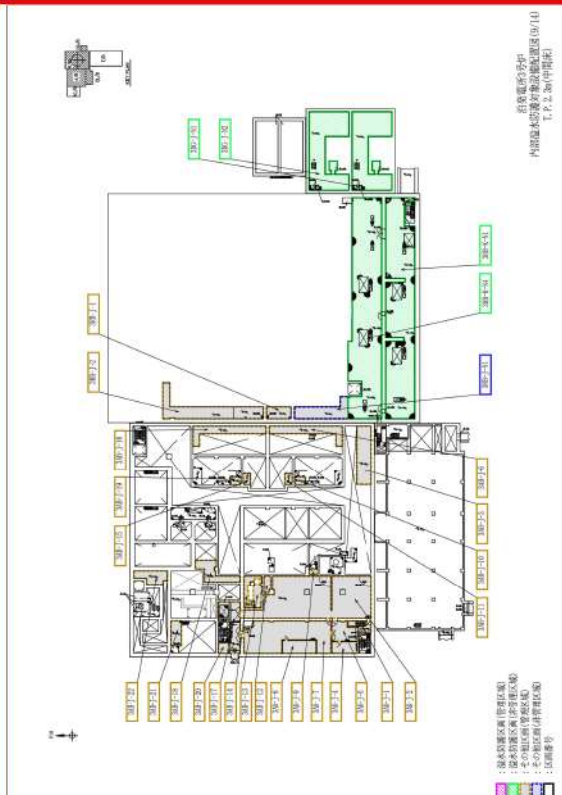
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1069">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="703 183 1265 470"> <b>【凡例】</b>                      ■：基本防護区域 (管理区域)                      ■：溢水防護区域 (非管理区域)                      ■：その他区域 (管理区域)                      ■：その他区域 (非管理区域)                      ■：区域番号                      原子炉建屋                      BIF 0.P. 6000                 </p>	 <p data-bbox="1285 183 1854 973">                     設備番号                      内部防本防護対象設備配置図(7/10                      4.2.10.3a(中図版))                      ■：基本防護区域 (管理区域)                      ■：基本防護区域 (非管理区域)                      ■：その他区域 (管理区域)                      ■：その他区域 (非管理区域)                      ■：区域番号                 </p>	<p data-bbox="1874 177 2130 263"> <b>【女川・大飯】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1008 680 1040">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1008 1263 1040">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1008 1854 1040">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 185 2134 217">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 223 2134 255">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 261 2134 293">プラント構成及び機器配置の相違</p>


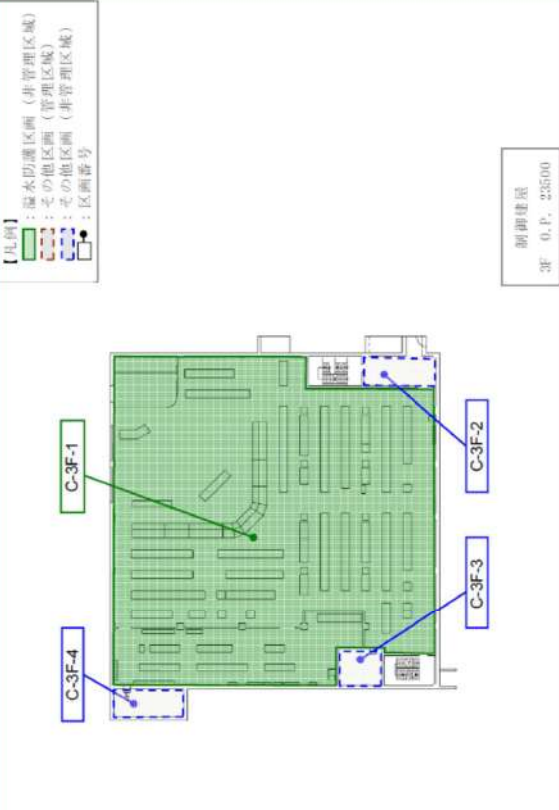
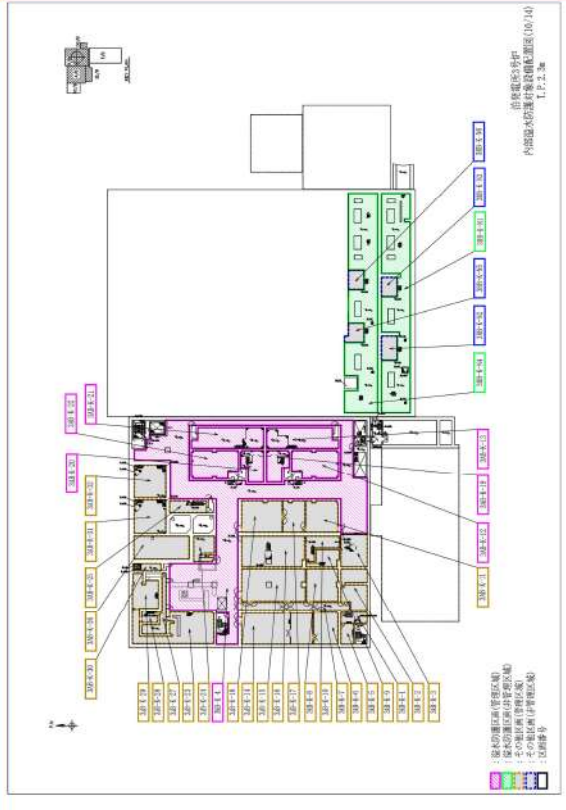
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

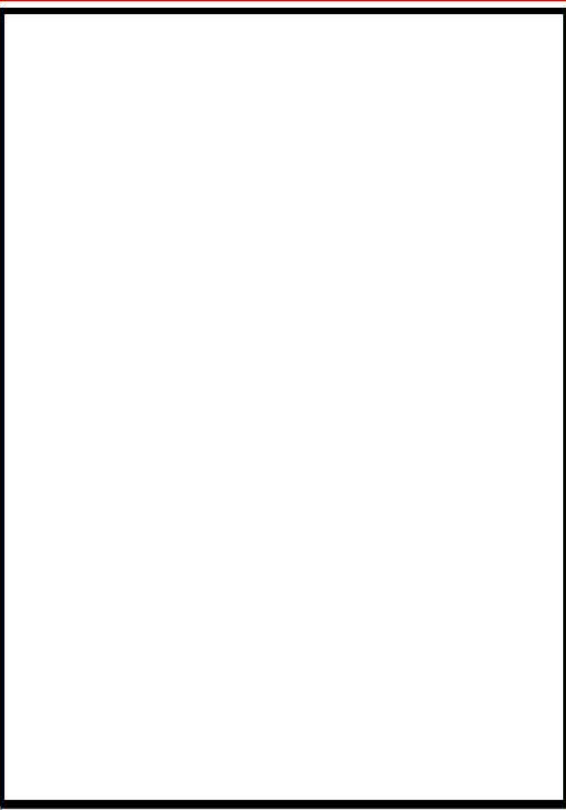
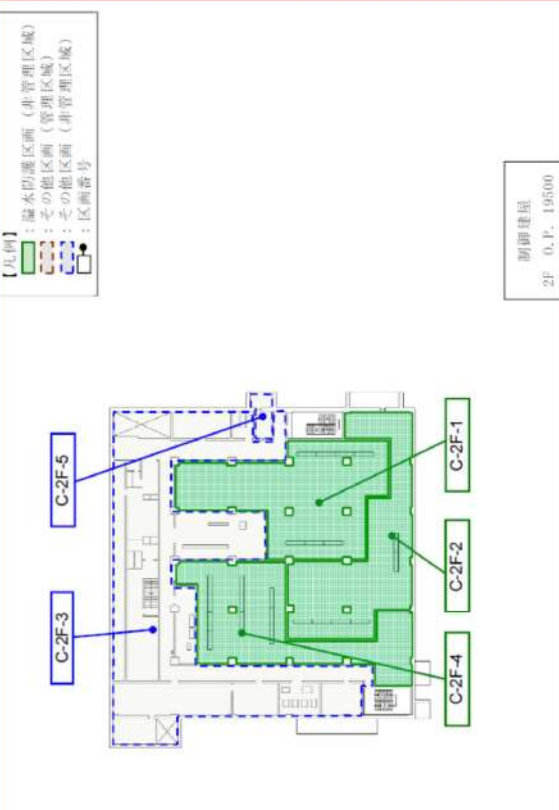
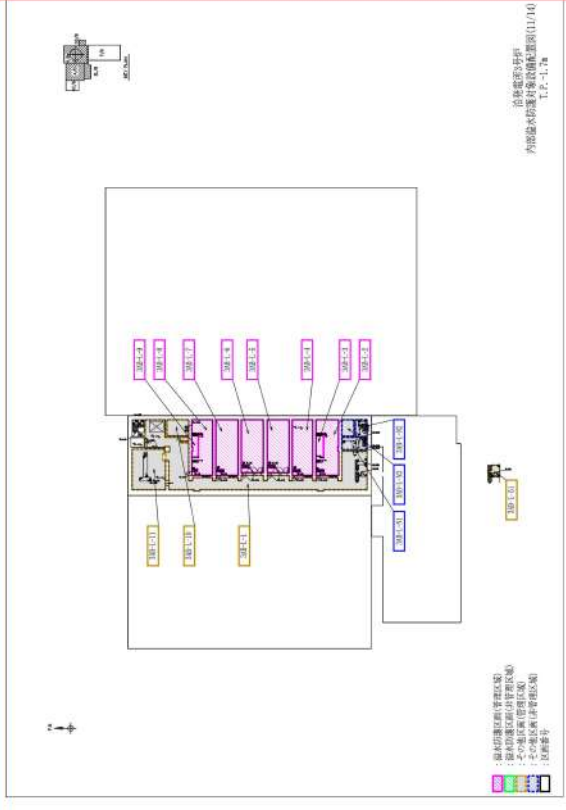
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 191 817 470">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：漏水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋                  R3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 335">特設部分の名称                  外部設備及び機器の設置位置(図/目)                  T. P. 2. 26(中程度)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 973">■：溢水防護区域(非管理区域)                  ■：漏水防護区域(非管理区域)                  ■：その他管理区域                  ■：その他非管理区域                  ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1870 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

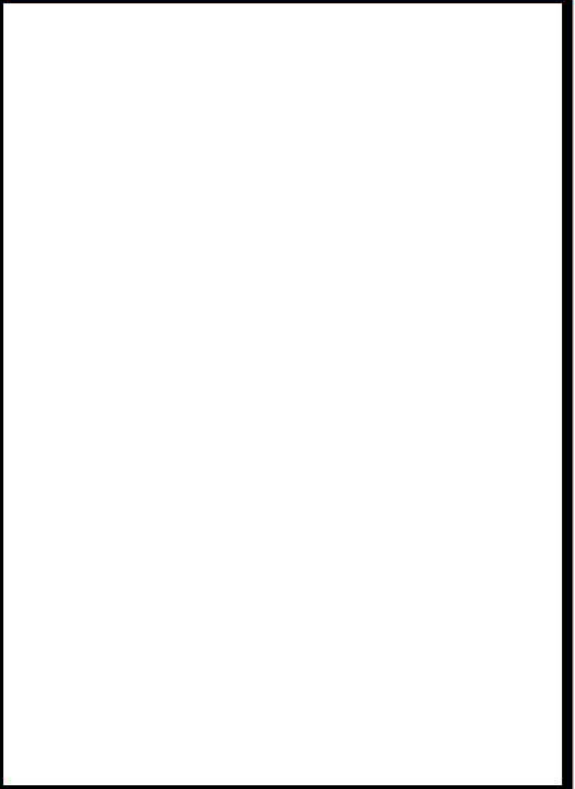
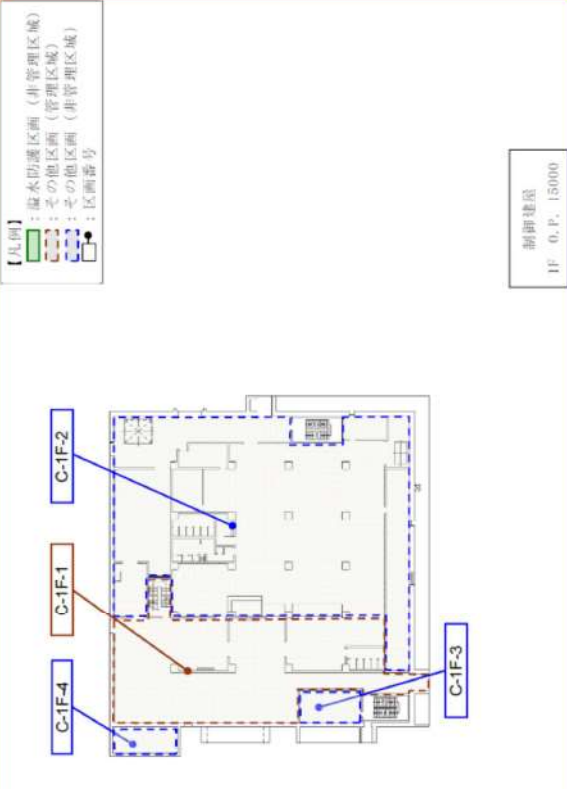
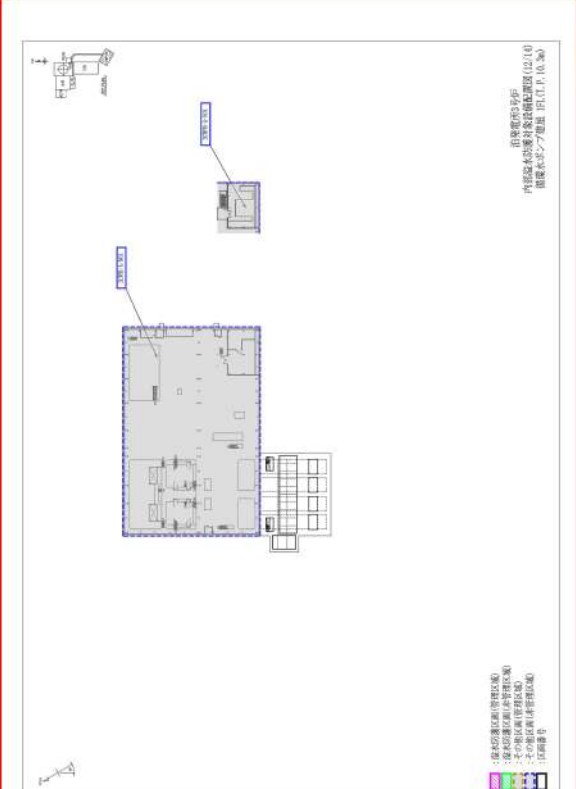
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>			<p data-bbox="1881 183 2125 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1881 215 2125 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1881 247 2125 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


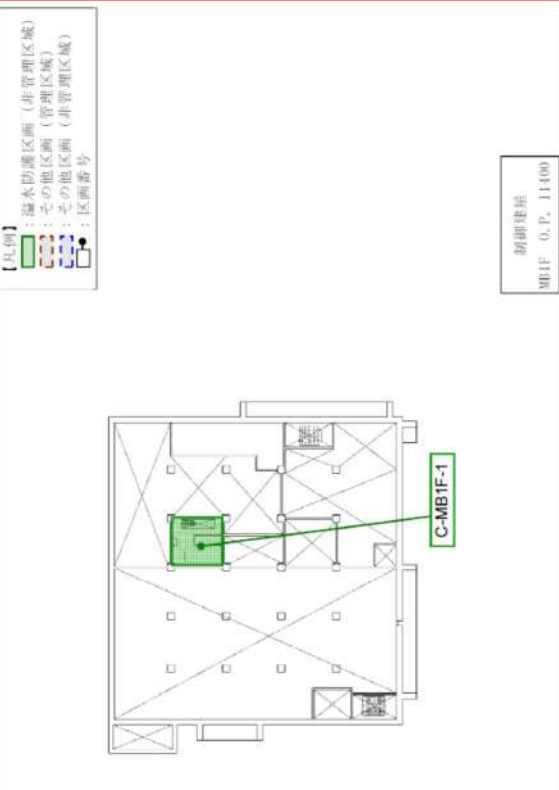
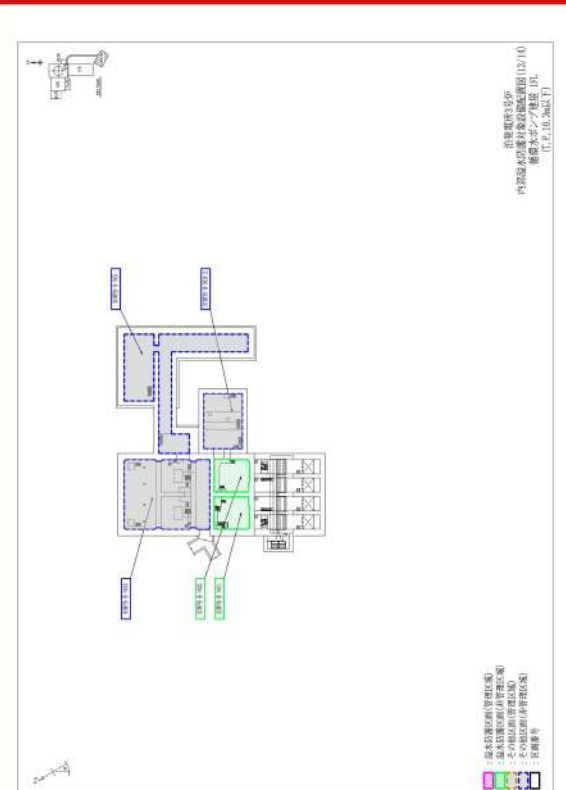
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1069">                     特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="707 199 801 478"> <b>【凡例】</b>                      ■：漏水防護区域（非管理区域）                      ■：その他区域（管理区域）                      ■：その他区域（非管理区域）                      ■：区域番号                 </p> <p data-bbox="1205 343 1263 486">                     明脚建屋                      2F O.P. 19500                 </p>	 <p data-bbox="1290 183 1854 343">                     活体機器建屋                      内部設備の設計対象機器配置箇所(1)100                      T.F. 1-1.7                 </p> <p data-bbox="1290 853 1854 997">                     ■：漏水防護区域(管理区域)                      ■：その他区域(管理区域)                      ■：その他区域(非管理区域)                      ■：区域番号                 </p>	<p data-bbox="1872 183 2134 271"> <b>【女川・大飯】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 989 685 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 181 739 446">【凡例】                  ■：洪水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1209 335 1254 462">制御 building IF 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1747 223 1836 383">泊発電所3号炉 内部保安対策計画（設計）(02.1.0) 機器配置プランニング 15.11.11. (A3.36)</p> <p data-bbox="1747 845 1836 973">                 ■：洪水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号             </p>	<p data-bbox="1877 181 1971 204">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 220 1993 242">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

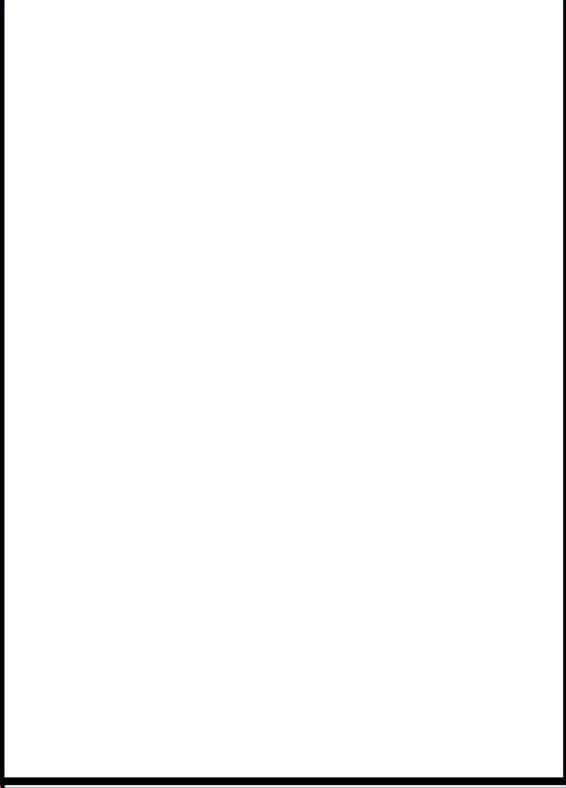

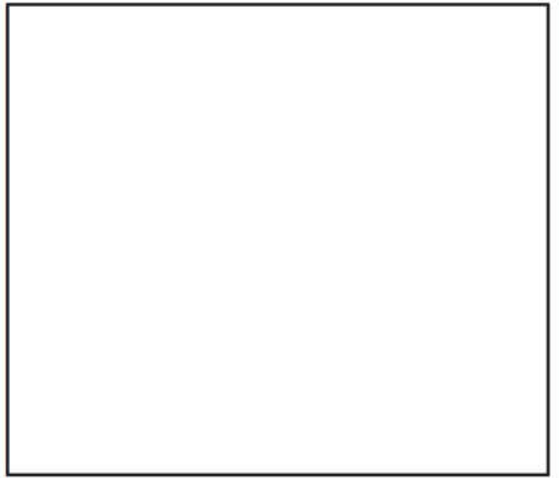
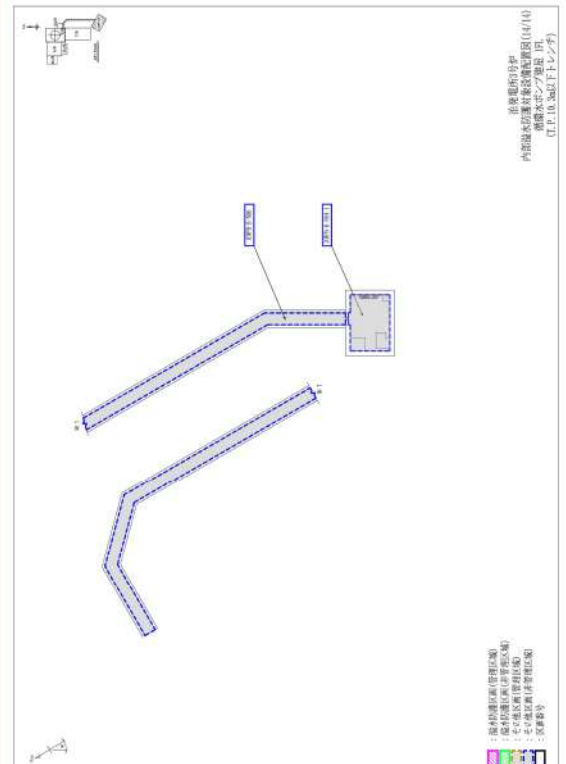
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 191 801 470">【凡例】                  ■：基本防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1205 335 1263 478">附属建屋                  MB1F 0. P. 11100</p>	 <p data-bbox="1765 223 1845 343">泊発電所3号炉                  内部設計図                  基本設計（2010）                  基本設計（2011）                  (T. E. 10. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 841. 842. 843. 844. 845. 846. 847. 848. 849. 850. 851. 852. 853. 854. 855. 856. 857. 858. 859. 860. 861. 862. 863. 864. 865. 866. 867. 868. 869. 870. 871. 872. 873. 874. 875. 876. 877. 878. 879. 880. 881. 882. 883. 884. 885. 886. 887. 888. 889. 890. 891. 892. 893. 894. 895. 896. 897. 898. 899. 900. 901. 902. 903. 904. 905. 906. 907. 908. 909. 910. 911. 912. 913. 914. 915. 916. 917. 918. 919. 920. 921. 922. 923. 924. 925. 926. 927. 928. 929. 930. 931. 932. 933. 934. 935. 936. 937. 938. 939. 940. 941. 942. 943. 944. 945. 946. 947. 948. 949. 950. 951. 952. 953. 954. 955. 956. 957. 958. 959. 960. 961. 962. 963. 964. 965. 966. 967. 968. 969. 970. 971. 972. 973. 974. 975. 976. 977. 978. 979. 980. 981. 982. 983. 984. 985. 986. 987. 988. 989. 990. 991. 992. 993. 994. 995. 996. 997. 998. 999. 1000.</p>	<p data-bbox="1872 180 2134 263">【女川・大飯】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

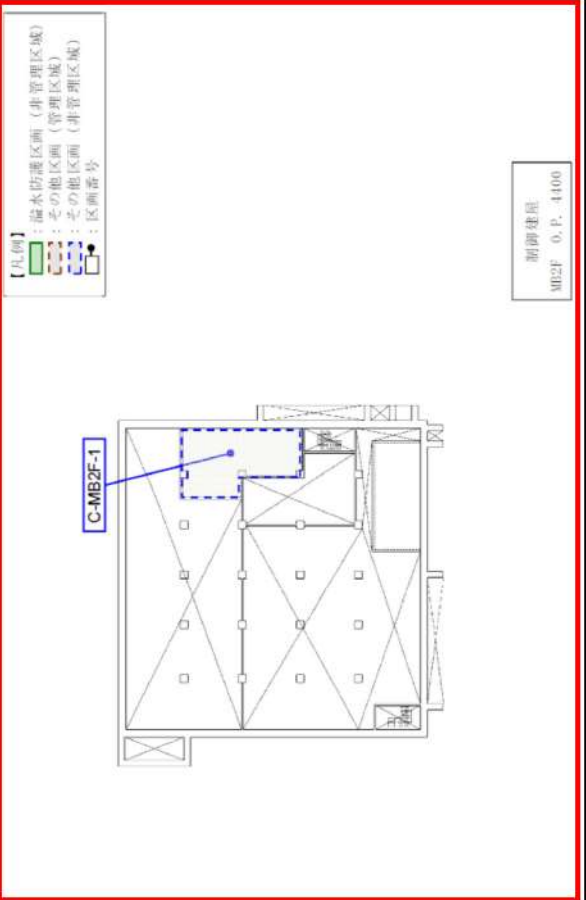


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 983 680 1072">  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</span> </p>	<p data-bbox="707 210 806 491"> <b>【凡例】</b>                  溢水防護区画（非管理区域）                  其他地区区画（管理区域）                  其他地区区画（非管理区域）                  区画番号             </p>  <p data-bbox="1191 354 1263 491" style="text-align: right;">                 制御建屋                  B1F 0. P. 8000             </p> <p data-bbox="770 983 1263 1072" style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</span> </p>	 <p data-bbox="1765 210 1854 370" style="text-align: right;">                 泊発電所3号炉                  内部溢水防護対策設備設置図(04/14)                  設備完成予定日 月                  (注) 1. 2023.12.27(予定)             </p> <p data-bbox="1765 849 1854 976" style="text-align: right;">                 溢水防護区画(管理区域)                  其他地区区画(管理区域)                  其他地区区画(非管理区域)                  区画番号             </p>	<p data-bbox="1872 178 2134 210">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 2134 248">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 280">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

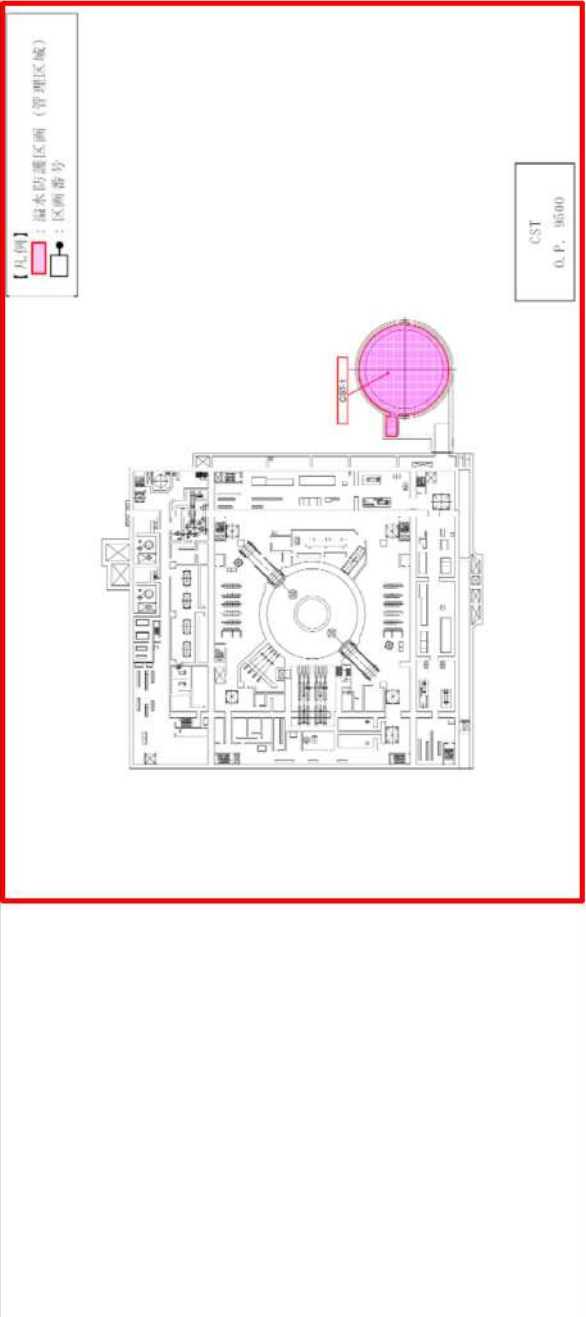
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】  <span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：溢水防護区画（非管理区画）  <span style="border: 1px dashed blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：その他区画（管理区画）  <span style="border: 1px dashed red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：その他区画（非管理区画）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：区画番号</p> <p>新脚建屋          B2F 0. P. 1500</p>		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

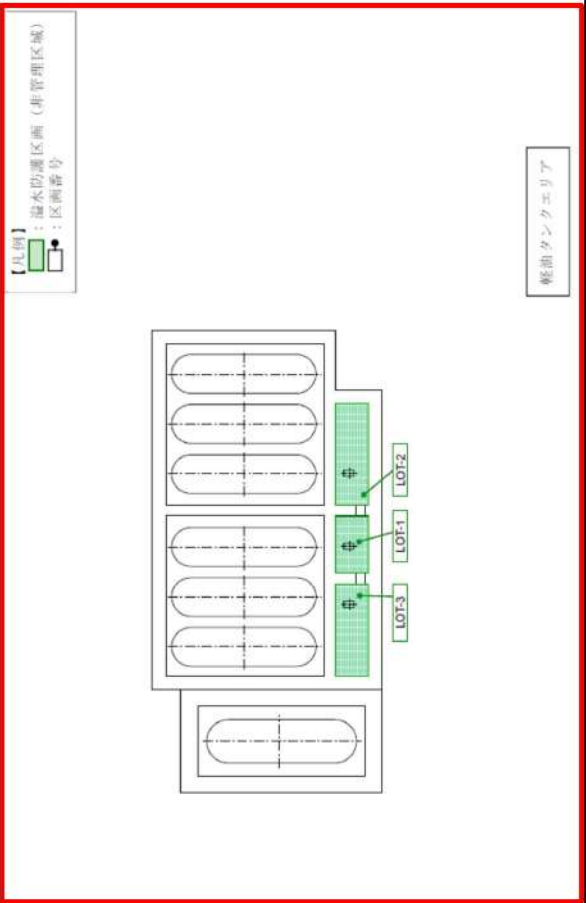
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="701 196 797 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【凡例】</p> <p>■：溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>■：その他区画（非管理区域）</p> <p>●：区画番号</p> </div> <div data-bbox="1227 347 1263 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>海水ポンプ室</p> </div> <div data-bbox="701 491 1263 979" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin-top: 10px;"> </div> <div data-bbox="770 995 1263 1027" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

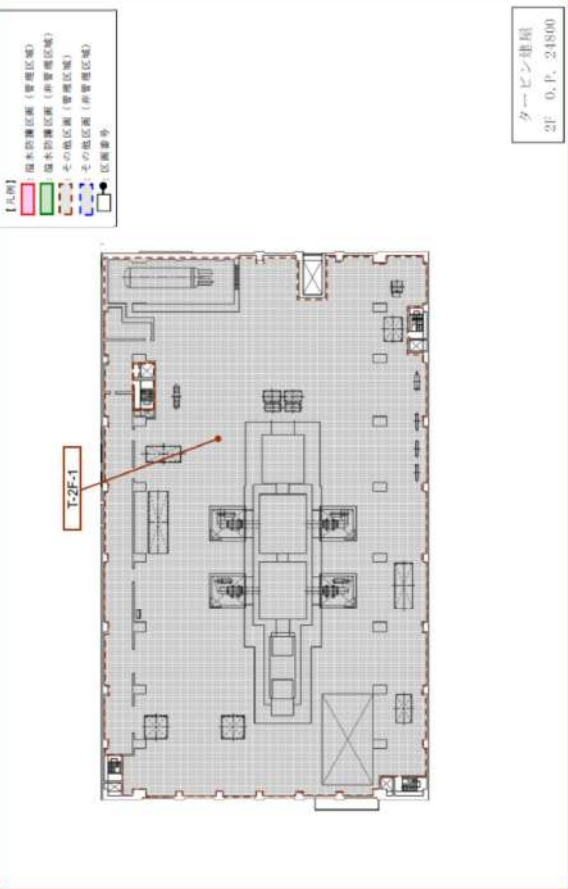
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

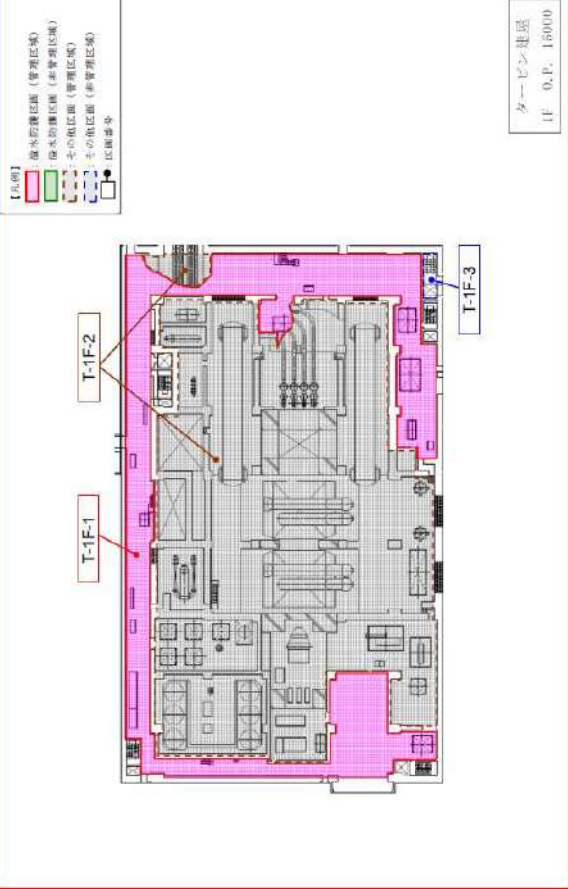
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

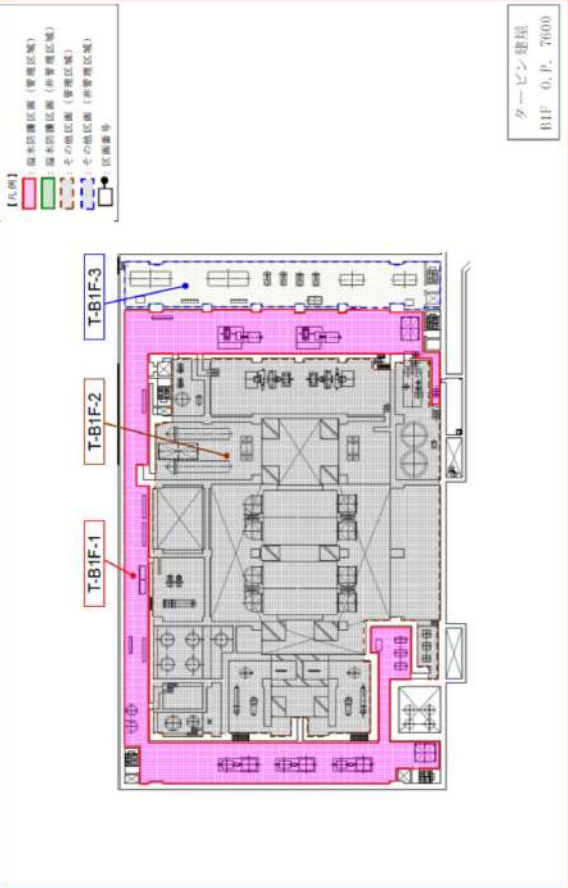
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

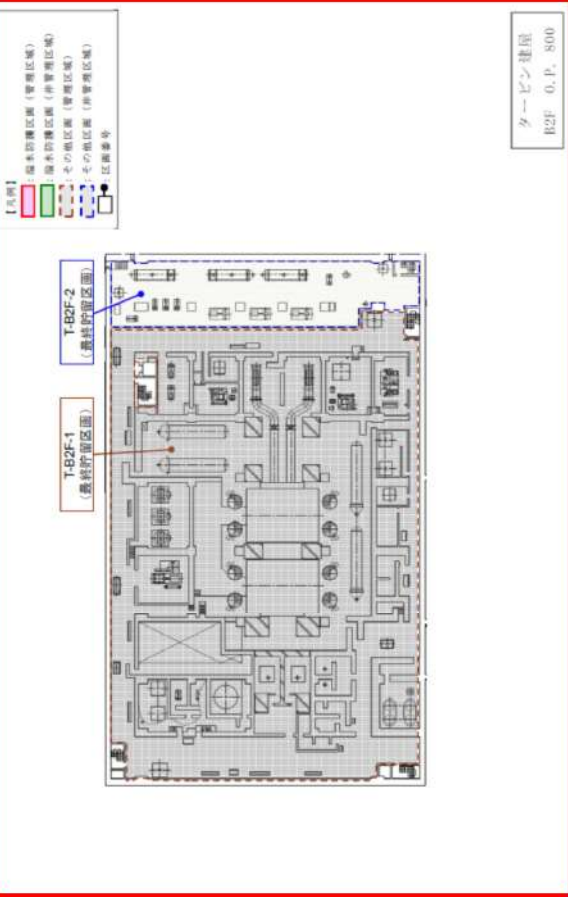
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 726 656 949"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>② 滞留面積 [m<sup>2</sup>]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td rowspan="2">21.6</td> <td>165.7</td> <td rowspan="2">0.00</td> <td rowspan="2">0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③&lt;④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>71.8</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後	71.8	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを<b>基本</b>とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ビット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記 a. で算出した面積より、b. 及び c. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大飯は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「基本」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																															
	① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																							
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																							
変更後		71.8																													

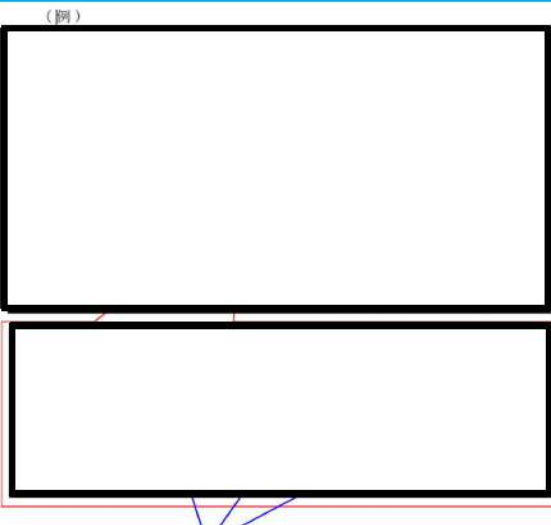
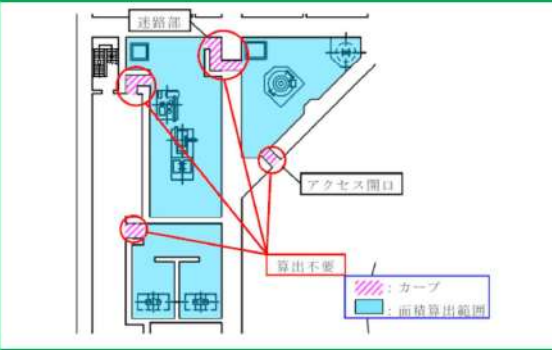
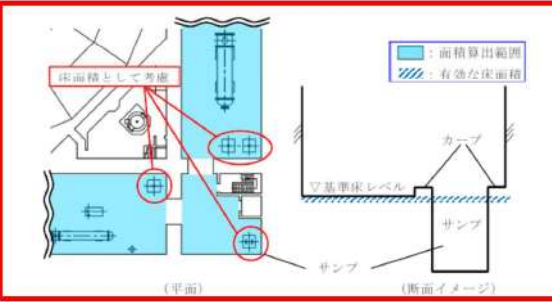
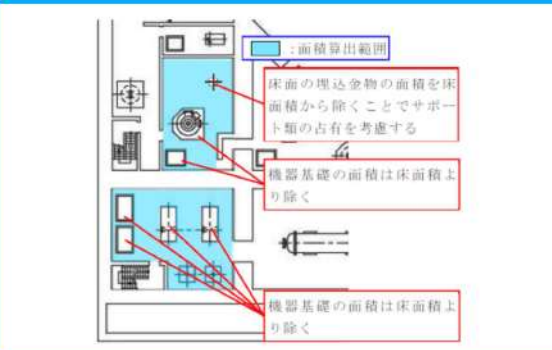
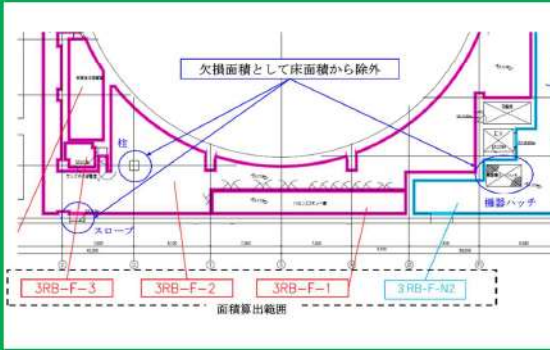
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が繁雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では迷路部も床面積として算出している。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

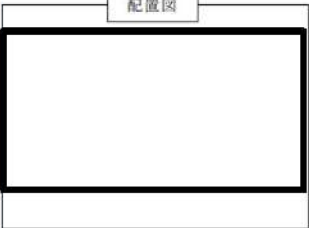









大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1279 909"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1204 1279 1388"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>理込全物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>156.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室*</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p>  <p>（例）</p> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。<b>（床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。）</b></p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い （例：最地下階サンプ）</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲（例）</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>                      建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊ではビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																														
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 火災防護設備(盤)</p> <p>大飯3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="159 359 674 587"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033</td> <td>① 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>② 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>③ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>④ 土台</td> <td>850mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p>  <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考	縦	横	033	① 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	② 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	034	① 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個	034	② 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1285 256 1854 547"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">高さ(m)</th> <th colspan="2">内径(m)</th> <th colspan="2">水中設置寸法(m)</th> <th colspan="2">水中設置高さ(m)</th> </tr> <tr> <th>前</th> <th>後</th> <th>直径</th> <th>管長</th> <th>設置高さ</th> <th>管長</th> <th>Y</th> <th>上端</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>電圧計盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>電圧計盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>電圧計盤</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>電圧計盤</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>電圧計盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 1, 2</p>  <p>No. 3</p>  <p>No. 4</p>  <p>No. 5</p>  <p>No. 6</p>  <p>No. 7</p>	No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)		前	後	直径	管長	設置高さ	管長	Y	上端	10	電圧計盤			300	0.103					0	110	11	電圧計盤			300	0.103					0	110	12	電圧計盤	600	300	0.103						0	100	13	電圧計盤	600	300	0.103						0	100	14	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	15	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	16	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	17	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	18	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	19	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	20	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	21	電圧計盤	300	300	0.103						0	100	<p>【女川】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																																																									
	縦	横																																																																																																																																																																																																															
033	① 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
033	② 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
033	③ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
033	④ 土台	850mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
034	① 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
034	② 土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1個																																																																																																																																																																																																												
No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)																																																																																																																																																																																																									
		前	後	直径	管長	設置高さ	管長	Y	上端																																																																																																																																																																																																								
10	電圧計盤			300	0.103					0	110																																																																																																																																																																																																						
11	電圧計盤			300	0.103					0	110																																																																																																																																																																																																						
12	電圧計盤	600	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
13	電圧計盤	600	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
14	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
15	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
16	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
17	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
18	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
19	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
20	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
21	電圧計盤	300	300	0.103						0	100																																																																																																																																																																																																						
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																																																															

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																
添付資料1.3-3						添付資料9						添付資料9																																																																						
溢水影響評価で止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/3)																																																																						
表1 止水を期待できる設備																																																																																		
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	2	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	相違理由																																																									
				ペント逆止弁	新設	1																				原子炉建屋 原子炉棟	B3F	R-33F-2	水密扉	既設 (改造)	1	T.P. 2.3m	3V-W-500 (3-T/D AFPP 排気管温水ビ ット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1	【大飯】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映により表の 名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異 なるが、「号炉」以外の記載情報 量に差異はない。																																													
				目皿逆止弁	新設	11																						R-33F-8	水密扉	新設	5			T.P. 4.35m	3V-W-501 (3-T/D AFPP リーク管温水 ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁		新設	1	【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違																																										
			サンプタンク*	既設	1	R-33F-7																						水密扉	既設 (改造)	1	T.P. 10.5m					3V-W-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管 定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)		逆止弁	新設		1	T.P. 17.8m	3V-W-503 (3-主蒸気管室ドレン管定流 ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1																																				
			機器ドレン 逆止弁	既設	3	R-33F-6																						水密扉	既設	1								原子炉種類	水密扉 No. 69 (3RB-K-N4)		水密扉			新設	1	T.P. 10.5m	水密扉 No. 93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1																																
			目皿逆止弁	新設	14	R-33F-5																						水密扉	既設	1											T.P. 17.8m			水密扉 No. 154 (3RB-H-N1)	水密扉			新設	1	T.P. 24.8m	止水板 No. A (3RB-H-N5)	止水板	新設	1																												
		水密扉	新設	1	HPCS ポンプ室 (R-33F-5)	水密扉																						既設	1	T.P. 17.8m															止水板 DG-A (3RB-H-N1)			止水板	新設			1	T.P. 29.4m	止水板 DG-B (3RB-H-N10)	止水板	新設	1																									
		E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	3																						B2F	CUW 配管・バルブ室 (R-32F-6)																			堰	新設			1			T.P. 17.8m	水密扉 No. 140 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1	T.P. 29.9m	水密扉 No. 155 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1																		
		E.L. + 17.1m		目皿逆止弁	新設	14																																										B2F	MURC ポンプ室 (R-32F-5)			堰					新設	1	T.P. 17.8m			水密扉 No. 156 (3RB-F-N3)	止水板	新設	1	T.P. 29.9m	水密扉 No. 157 (3RB-H-N3)	水密扉	新設	1												
		E.L. + 26.0m		堰	新設	2																																														B2F					共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-32F-1)	堰					新設	1	T.P. 24.8m			水密扉 No. 158 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	T.P. 33.1m	水密扉 No. 146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1						
		E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン 逆止弁	既設	2																																																				B1F					R-32F-4	堰					新設	1	T.P. 17.8m			水密扉 No. 147 (3RB-B-1)	水密扉	新設	1	T.P. 40.7m	水密扉 No. 147 (3RB-B-1)	水密扉	新設	1
				目皿逆止弁	新設	11																																																										B1F					TIP 駆動装置室 (R-31F-3)	堰					新設	1	T.P. 33.1m			33.1m (区画境界②) 堰 (-)	堰	既設
サンプタンク*	既設			1	B1F	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1	T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1																																																															
E.L. + 10.0m	水密扉		新設	1			B1F	MS トンネル室 (R-31F-2)	堰			新設	1	T.P. 33.1m			33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1	T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1																																																									
E.L. + 17.1m	堰		新設	1					B1F			(R-02)北東階段室	堰					新設	1	T.P. 33.1m			33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1	T.P. 33.1m					33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設	1																																															
E.L. + 22.0m	堰		新設	1									B1F					共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-31F-1)	堰					新設	1	T.P. 33.1m					33.1m (区画境界④) 堰 (-)		堰	既設	1	T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)			堰		既設	1																																							
E.L. + 26.0m	堰	新設	2	B1F															共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-31F-1)					堰	新設								1	T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)			堰	既設	1		T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)			堰	既設																							1												
4号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁																					機器ドレン 逆止弁	既設								2					1F	RHR 熱交換器室(A)室 (R-1F-1)	水密扉	新設			1		T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)			堰	既設																			1					T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)					堰	既設
																								目皿逆止弁	新設					11			1F							FPC ポンプ室 (R-1F-3)	堰			新設	1					T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)		堰	既設																1											T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)
																								サンプタンク*	既設			1	1F	(R-01)北西階段室											堰			新設	1								T.P. 33.1m	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰	既設				1	T.P. 33.1m									33.1m (区画境界④) 堰 (-)												
		E.L. + 10.0m	水密扉																					新設	1			1F													RHR 熱交換器室(A)室 (R-1F-1)			水密扉	新設			1	T.P. 33.1m						33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰			既設	1		T.P. 33.1m				33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰															
		E.L. + 17.1m	堰																					新設	1																			1F	FPC ポンプ室 (R-1F-3)			堰				新設				1	T.P. 33.1m		33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰					既設		1	T.P. 33.1m				33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰									
		E.L. + 22.0m	堰																					新設	1																							1F				(R-01)北西階段室				堰		新設		1			T.P. 33.1m		33.1m (区画境界④) 堰 (-)		堰				既設		1	T.P. 33.1m				33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰			
E.L. + 26.0m	堰	新設	2																					1F	RHR 熱交換器室(A)室 (R-1F-1)																															水密扉		新設		1				T.P. 33.1m			33.1m (区画境界④) 堰 (-)		堰		既設		1				T.P. 33.1m		33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰		

※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。



泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用小屋</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2F</td> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="3">T.P.-3.7m</td> <td>湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.68(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.2.8m</td> <td>止水板 2.8-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.73(3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.6.3m</td> <td>止水板 6.3-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 6.3-B(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">T.P.10.3m</td> <td>水密扉 No.77(3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.78(3AB-H-3A)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.87(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.85(3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口扉(-)</td> <td>扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.80(3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.81(3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No.82(3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1	3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)	逆止弁	新設	1	水密扉 No.68(-)	水密扉	新設	1	T.P.2.8m	止水板 2.8-A(-)	止水板	新設	1	水密扉 No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1	T.P.6.3m	止水板 6.3-A(-)	止水板	新設	1	止水板 6.3-B(-)	止水板	新設	1	T.P.10.3m	水密扉 No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1	水密扉 No.78(3AB-H-3A)	水密扉	新設	1	水密扉 No.87(-)	水密扉	新設	1	水密扉 No.85(3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口扉(-)	扉	既設	1	10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板 No.80(3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No.81(3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No.82(3AB-H-N1)	止水板	新設	1	<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																												
			(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
			CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																												
RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)			水密扉	既設	1																																																																																																																																																																													
HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)			水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																													
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1																																																																																																																																																																													
		3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)逆止弁) (3AB-L-N1)	逆止弁	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No.68(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.2.8m	止水板 2.8-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.6.3m	止水板 6.3-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 6.3-B(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.10.3m	水密扉 No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No.78(3AB-H-3A)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No.87(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
水密扉 No.85(3AB-H-N2)		水密扉	新設	1																																																																																																																																																																														
管理区域出入り口扉(-)		扉	既設	1																																																																																																																																																																														
10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)		堰	既設	1																																																																																																																																																																														
止水板 No.80(3AB-H-M6)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																														
止水板 No.81(3AB-H-M6)		止水板	新設	1																																																																																																																																																																														
止水板 No.82(3AB-H-N1)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋付属棟</td> <td rowspan="3">B2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B1F</td> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G(HPCS)室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rv制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rv制御室扉	水密扉	新設	1	Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">原子炉補助建屋</td> <td rowspan="6">T.P.17.8m</td> <td>水密扉 No.141 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.142 (—)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No.143 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.21.2m</td> <td>水密扉 No.144 (3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.33.1m</td> <td>33.5m (区画境界) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m (区画境界) 堰 (—)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い変更が生じる可能性がある。</p>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉 No.142 (—)	水密扉	新設	1	水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	T.P.21.2m	水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違          記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																										
原子炉建屋付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		2F通路 (O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		原子炉補機(B)室送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																																																																										
	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
			主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
1F		1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		Rv制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																												
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																										
原子炉補助建屋	T.P.17.8m	水密扉 No.141 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		水密扉 No.142 (—)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		水密扉 No.143 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
		A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
		B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
	T.P.21.2m	水密扉 No.144 (3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																										
	T.P.33.1m	33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																										
		33.5m (区画境界) 堰 (—)	堰	既設	1																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由	
	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)						<p>【女川】</p> <p><a href="#">設備名称の相違</a></p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>	
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分			箇所数
	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)			1
			T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
		B1F	計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			常用及び共通M/C、P/C室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設			1
			T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
		1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			2
		2F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設			1
			1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
		3F	区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設			1
			常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設			2
1号 MCR 境界		水密扉	新設	1				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

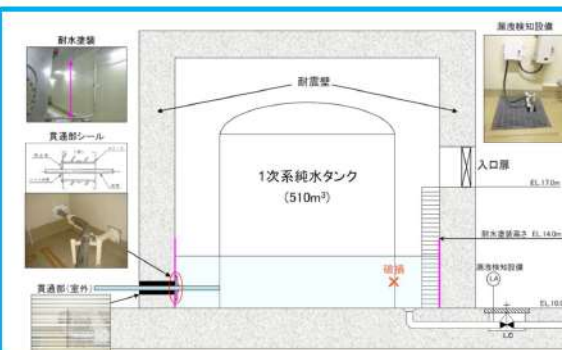
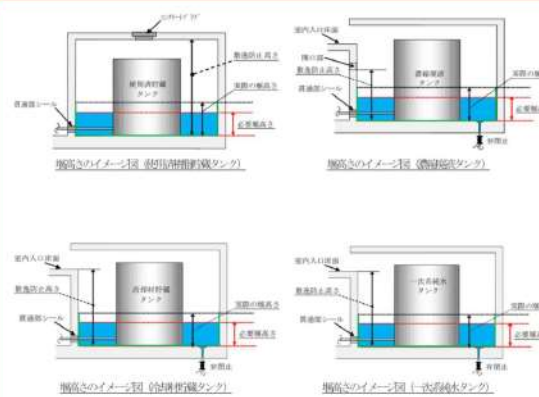
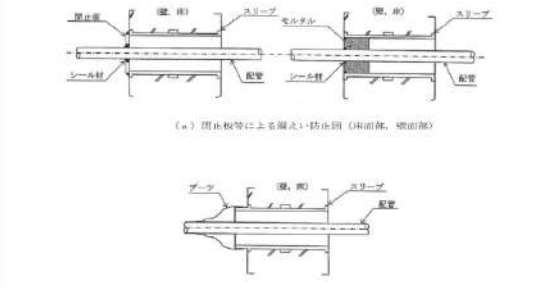

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】                  別紙1 <a href="#">設計方針の相違</a>                  泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。                  （泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。）                  【伊方】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																	
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>炉内容量</th> <th>室面積</th> <th>溢水高さ</th> <th>耐水塗装高さ</th> <th>室入口高さ</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>304/基</td> <td>150</td> <td>3.66<sup>①</sup></td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>5.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>5.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂炉</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>凝縮炉A</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>凝縮炉B</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水炉</td> <td>B/F EL. 10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮炉冷投入炉A</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮炉冷投入炉B</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮炉</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>0.9</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮炉冷投入炉</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：冷却材貯蔵タンクは全容量の10%（304m<sup>3</sup>）以上の突入を貯え確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（突入率インターロック閉止水位）×2基の水量（548m<sup>3</sup>）を適用した。（冷却材貯蔵炉A、B型は普通炉で共通）</p> <p>②：区画壁は、「①耐震設計と考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していないが「②字協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「字協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設特殊コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会、2005年）「19章 耐震壁の断面算定」第3項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の直筋配筋、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	室面積	溢水高さ	耐水塗装高さ	室入口高さ	区画壁	冷却材貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	304/基	150	3.66 <sup>①</sup>	3.7	3.7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m							使用済燃料貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)	使用済燃料貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂炉	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)	凝縮炉A	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	凝縮炉B	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	一次系純水炉	B/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)	濃縮炉冷投入炉A	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	濃縮炉冷投入炉B	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮炉	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮炉冷投入炉	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)		<p>表 1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>室面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗装高さ (cm)</th> <th>室入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮炉蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮炉蔵タンク</td> <td>T.P. 17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>T.P. 2.8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉 建屋</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、          「②鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	室面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	室入口高さ (cm)	区画壁	A-濃縮炉蔵タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮炉蔵タンク	T.P. 17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70	一次系純水タンク	原子炉 建屋	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>相違理由</p> <p><b>【伊方】</b>  <u>設計方針の相違</u>          伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p><b>【伊方】</b>  <u>設備名称の相違</u>  <u>記載表現の相違</u></p> <p><b>【伊方】</b>  <u>記載表現の相違</u>  <u>【伊方】</u>  <u>記載方針の相違</u>          泊は漏えい検知器若しくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	室面積	溢水高さ	耐水塗装高さ	室入口高さ	区画壁																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	304/基	150	3.66 <sup>①</sup>	3.7	3.7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m																																																																																																																																																																			
使用済燃料貯蔵炉A	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済燃料貯蔵炉B	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂炉	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
凝縮炉A	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
凝縮炉B	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
一次系純水炉	B/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
濃縮炉冷投入炉A	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
濃縮炉冷投入炉B	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
予備濃縮炉	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
洗浄排水濃縮炉冷投入炉	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	室面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗装高さ (cm)	室入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																													
A-濃縮炉蔵タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																													
B-濃縮炉蔵タンク	T.P. 17.8m	25																																																																																																																																																																		
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																													
B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	70																																																																																																																																																																		
C-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70																																																																																																																																																																		
一次系純水タンク	原子炉 建屋	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																													
<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図-1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏洩しない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレンラインの隔離弁は通常施錠閉としており、漏洩検知設備を設置。</p>		<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図 1 に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置している。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮している。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉運用としており、水密区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	<p><b>【伊方】</b>  <u>記載表現の相違</u>  <u>【伊方】</u>  <u>記載方針の相違</u></p>																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

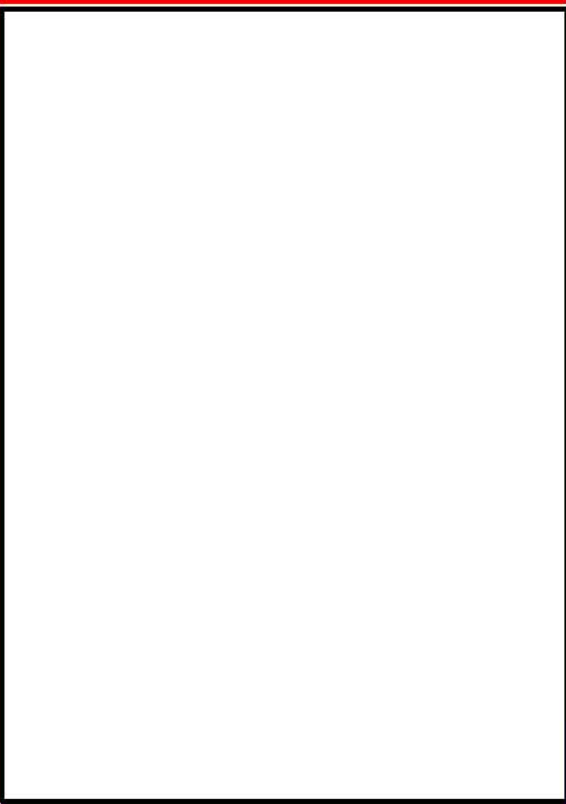
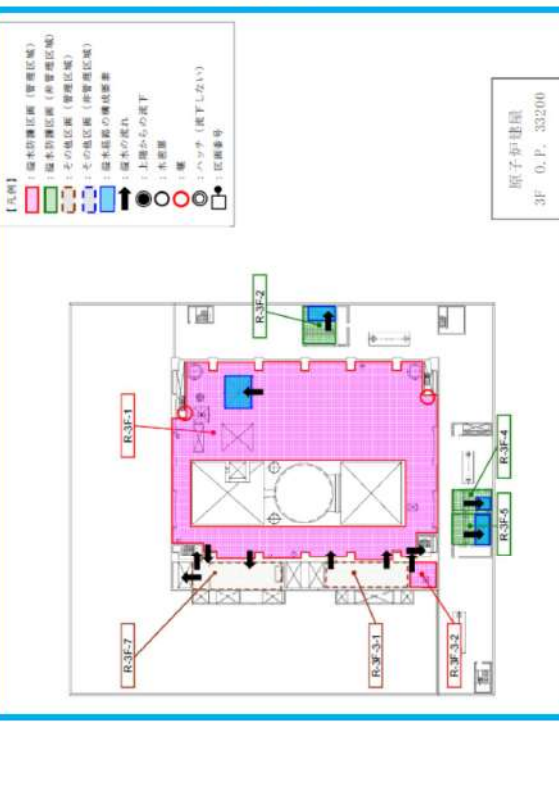
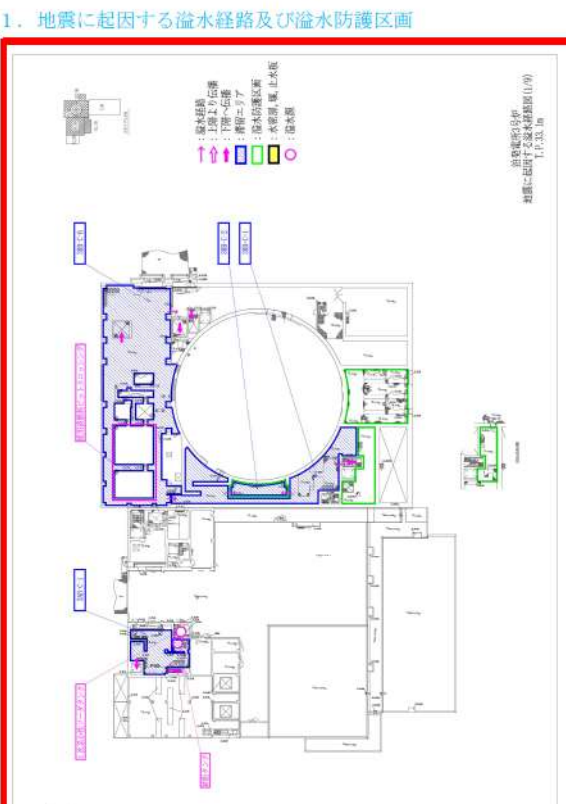
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>  <p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		 <p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>  <p>図2 貫通部シール施工概要図</p> <p>&lt;現地施工状況例&gt;</p>  <p>図3 貫通部シール施工例</p>	<p>【伊方】                  記載表現の相違                  ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。                  ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び貫通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁はマッシブな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 <math>S_s</math> による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規                  準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であ                  るが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひ                  ずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生によ                  る漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討                  した結果、最大残留ひび割れ幅は「維持管理指針」に示される評                  価基準である「0.2mm」を超えないことを確認した。補足説明資                  料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」に検討                  結果を示す。</p>	<p><b>【伊方】</b>  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・伊方は対象の隔壁を総称してマ                  ッシブな鉄筋コンクリートと表現                  しているが、泊は耐震壁及び規準                  上の耐震壁と同等な壁として分類                  し、記載している。（補足説明資料                  29）                  ・検討結果より、最終貯留区画の                  耐震壁及び規準上の耐震壁と同等                  な壁において、ひび割れによる漏                  水が極めて少量であり、溢水影響                  評価へ影響しないことを確認し                  た。</p>

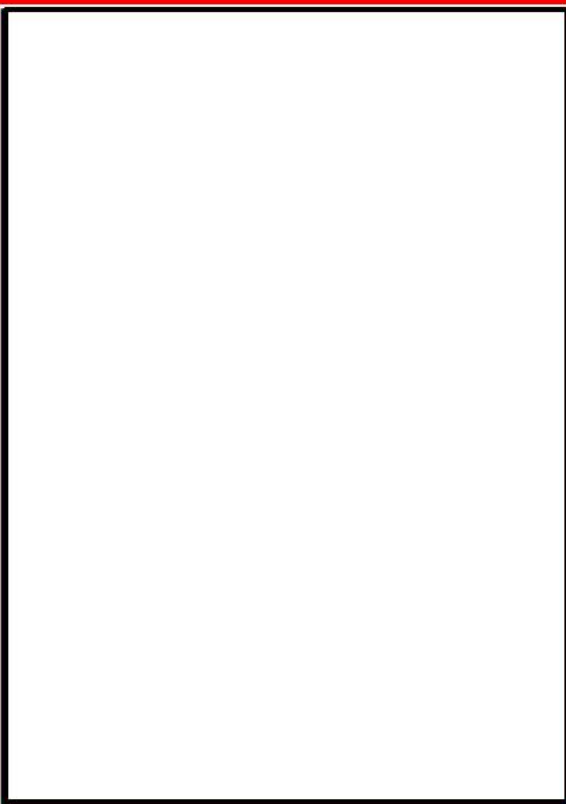
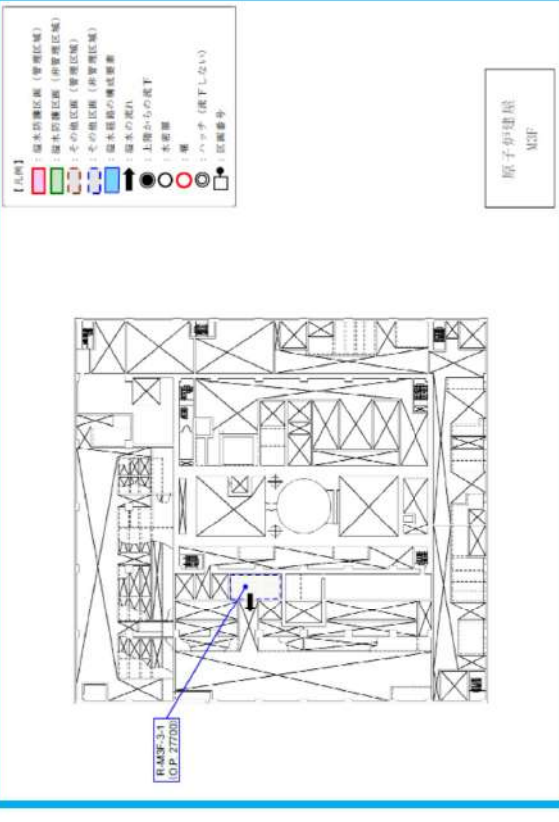
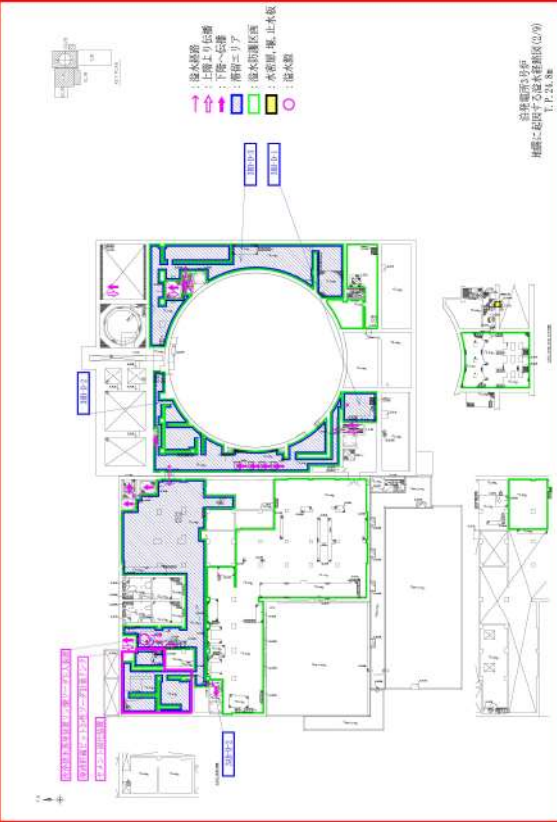
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

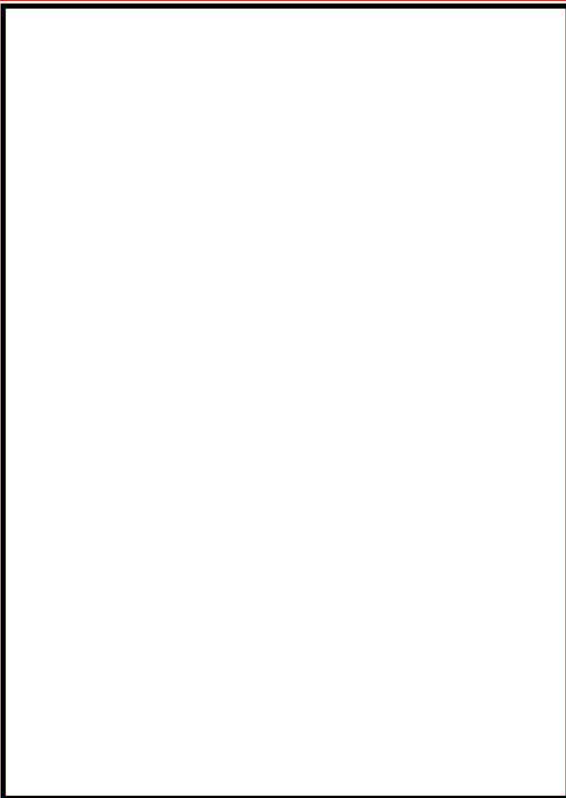
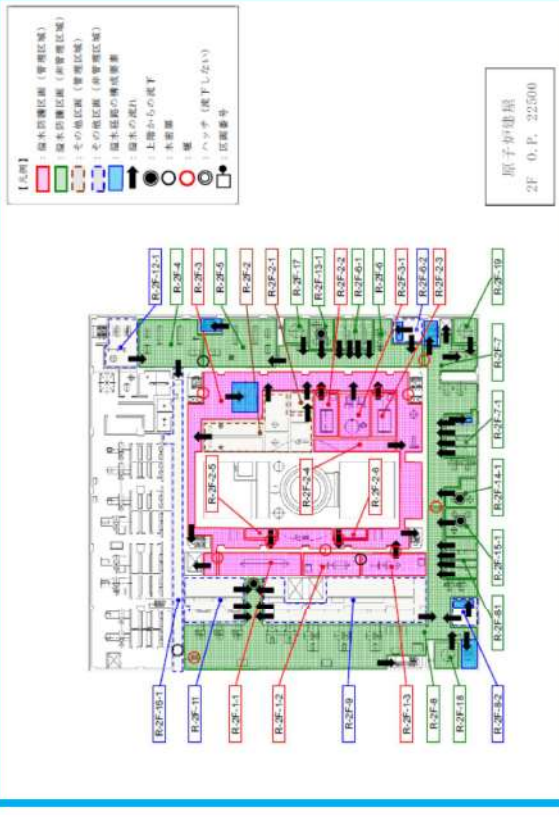
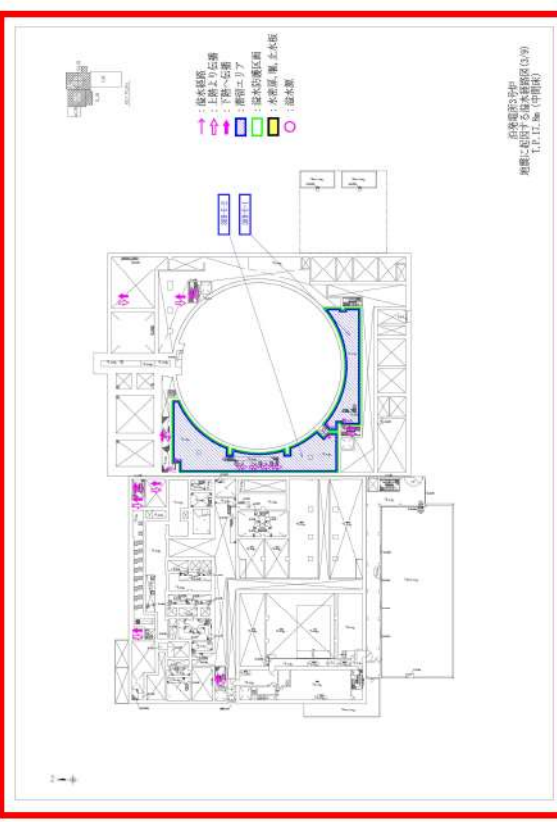
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>女川原子力発電所2号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>泊発電所3号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大飯】                  記載表現の相違</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			




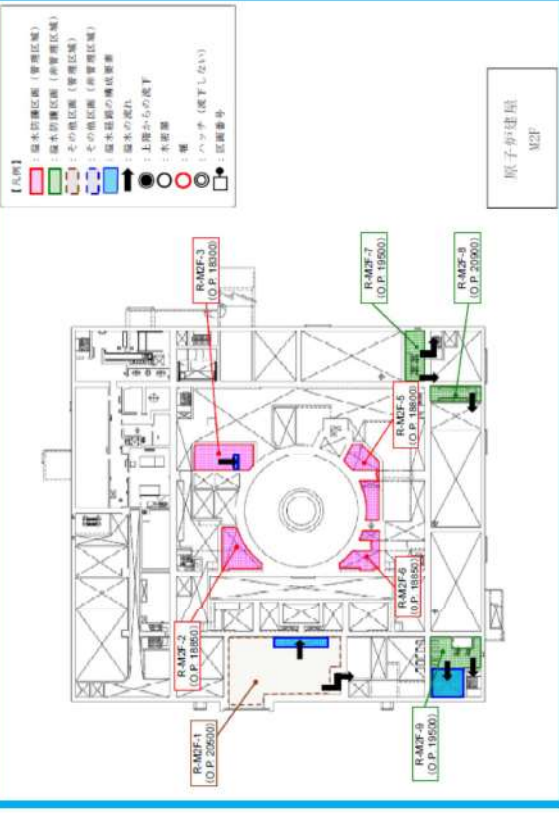
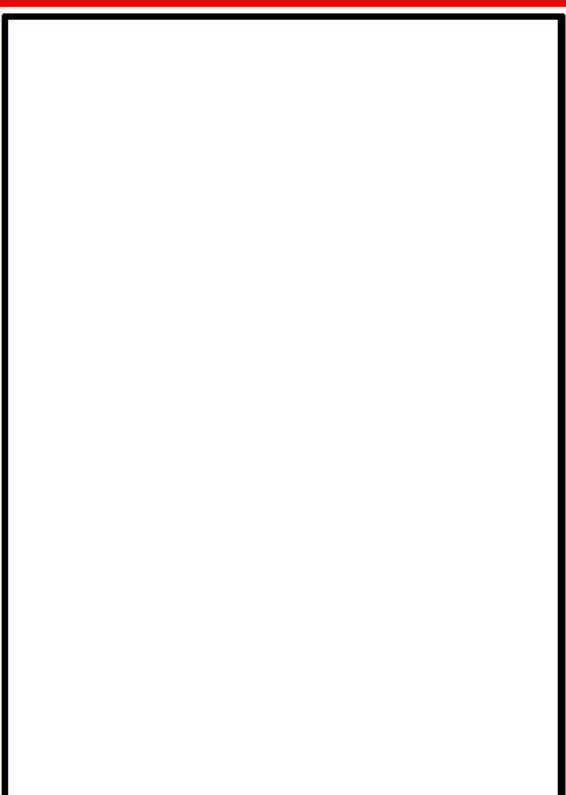
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【注例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>溢水防護区画（管理区域）</li> <li>溢水防護区画（非管理区域）</li> <li>その他区域（管理区域）</li> <li>その他区域（非管理区域）</li> <li>溢水部分の構成要素</li> <li>溢水の配水</li> <li>上層からの配水</li> <li>本装置</li> <li>層</li> <li>ハッチ（開閉しない）</li> <li>設備番号</li> </ul> <p>原子炉建屋 WCF</p>	 <p>溢水防護区画（管理区域）</p> <p>溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>その他区域（管理区域）</p> <p>その他区域（非管理区域）</p> <p>溢水部分の構成要素</p> <p>溢水の配水</p> <p>上層からの配水</p> <p>本装置</p> <p>層</p> <p>ハッチ（開閉しない）</p> <p>設備番号</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

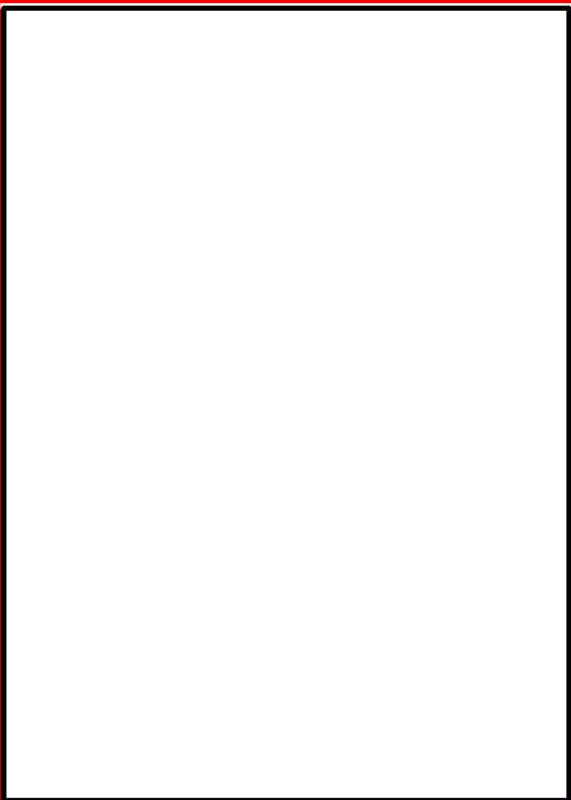
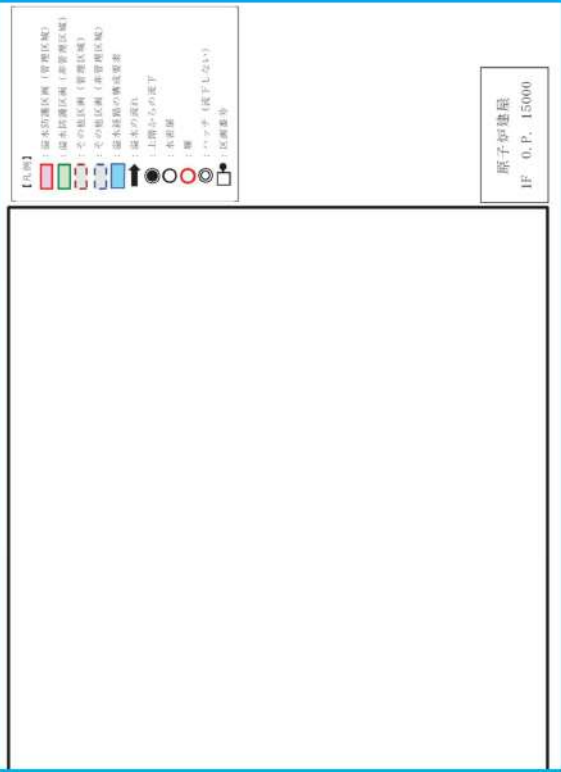
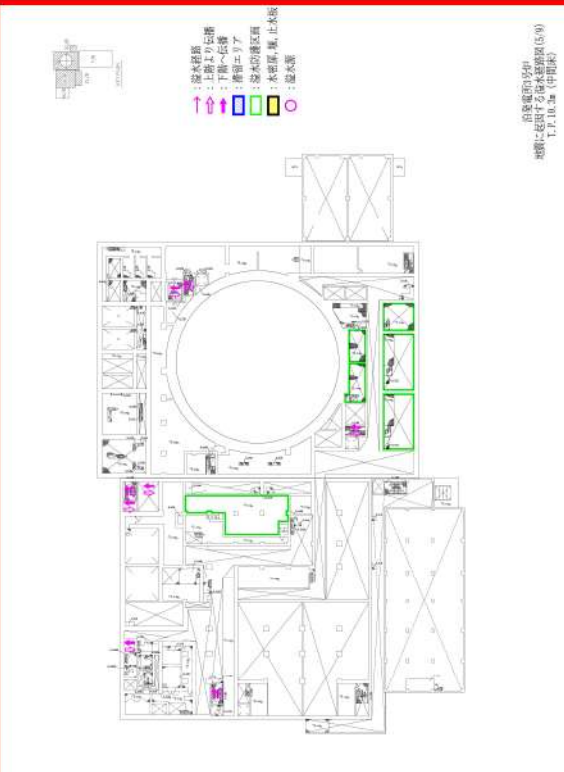
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 2F 0.P. 22500</p>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

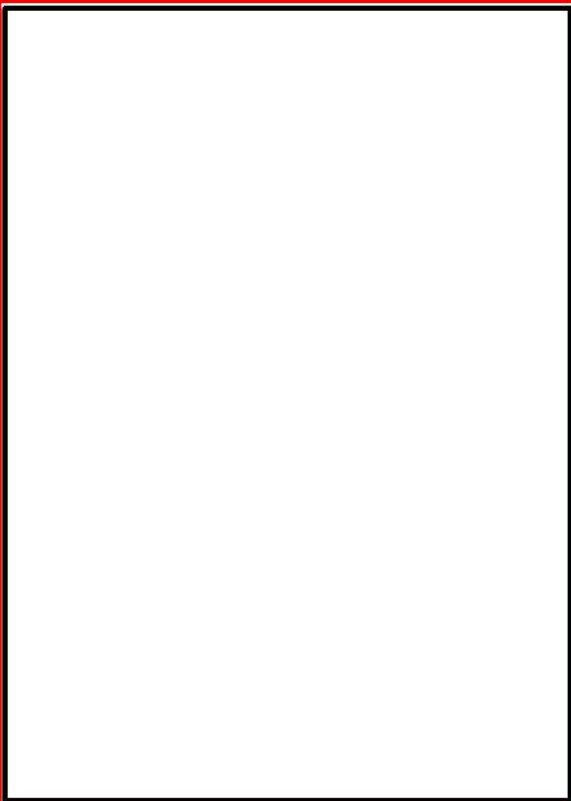
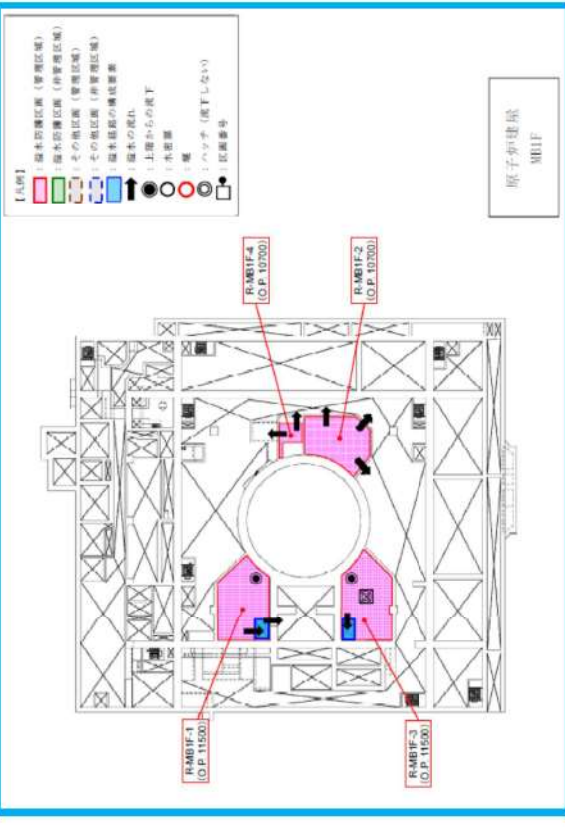
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>持組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

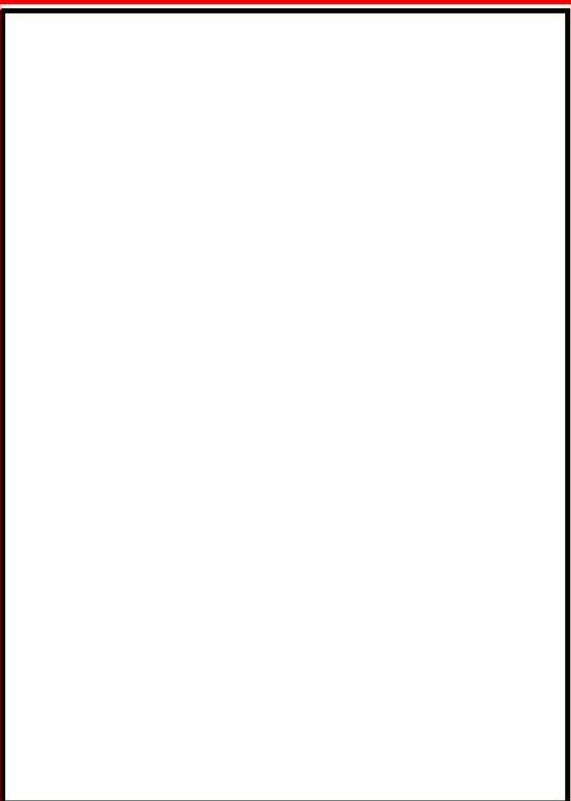

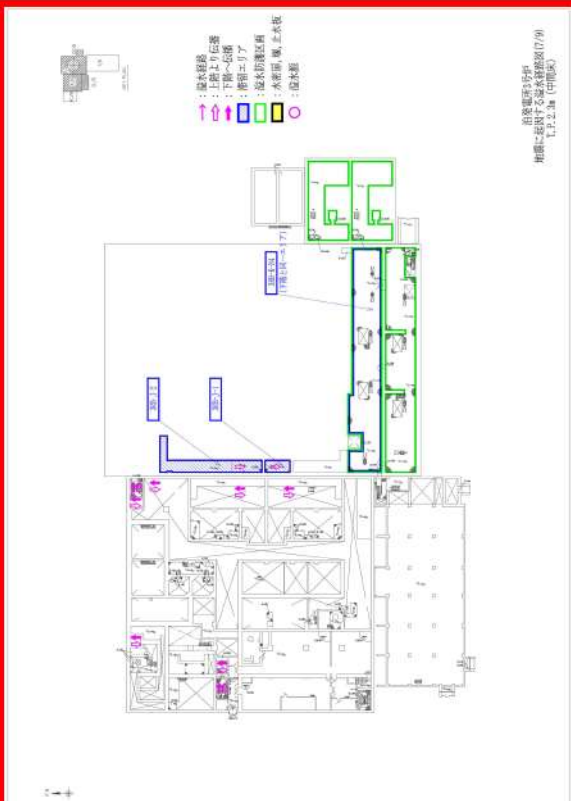
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p><b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

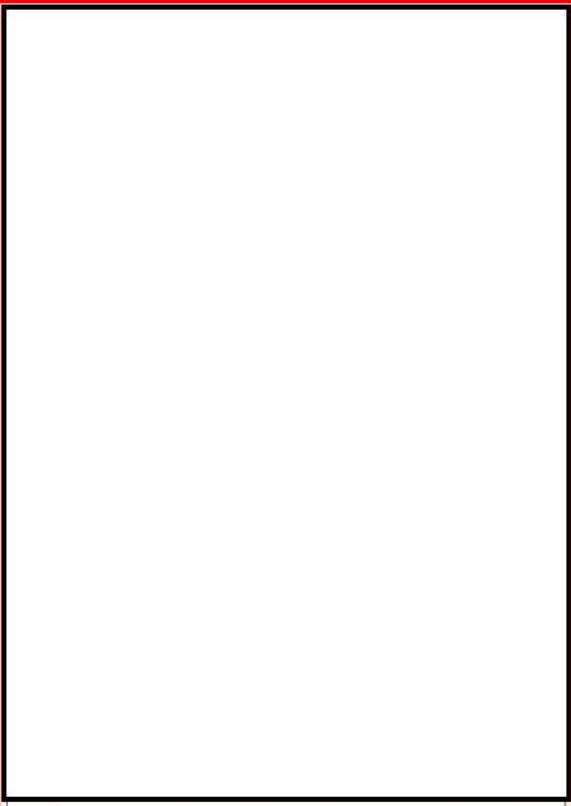
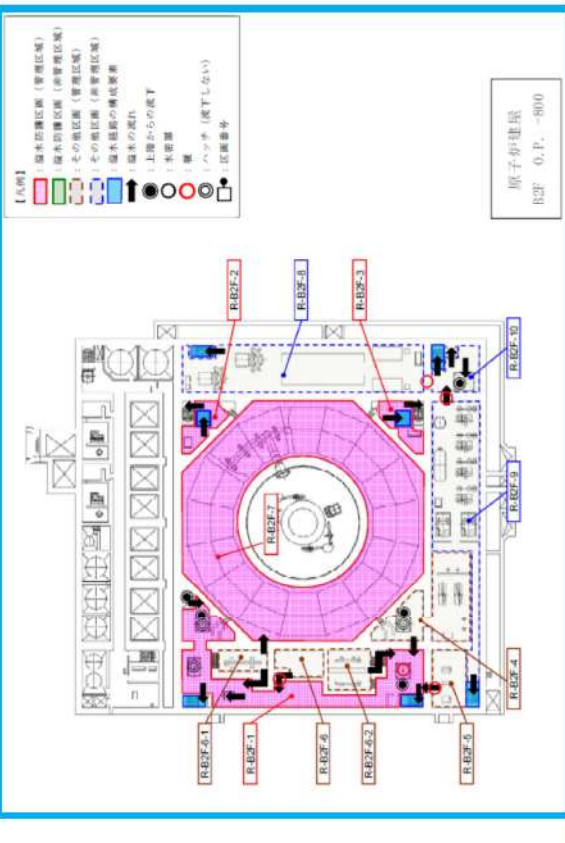

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>棒囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

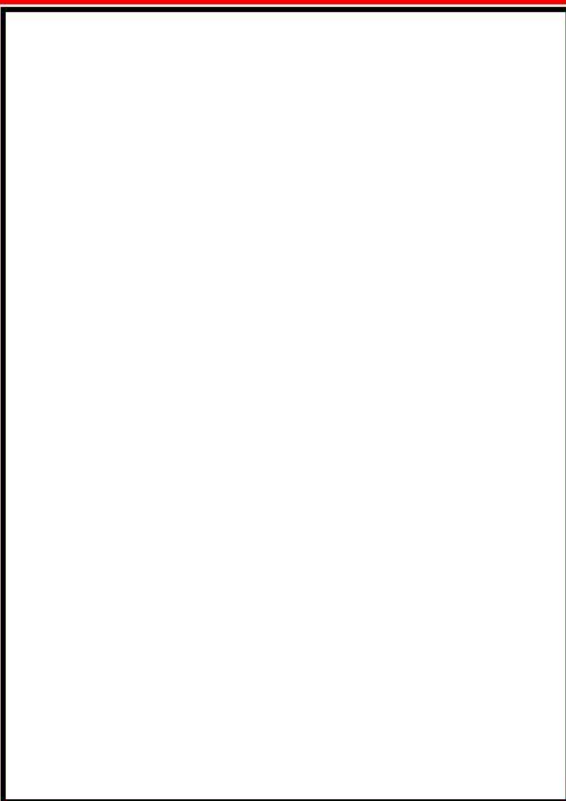
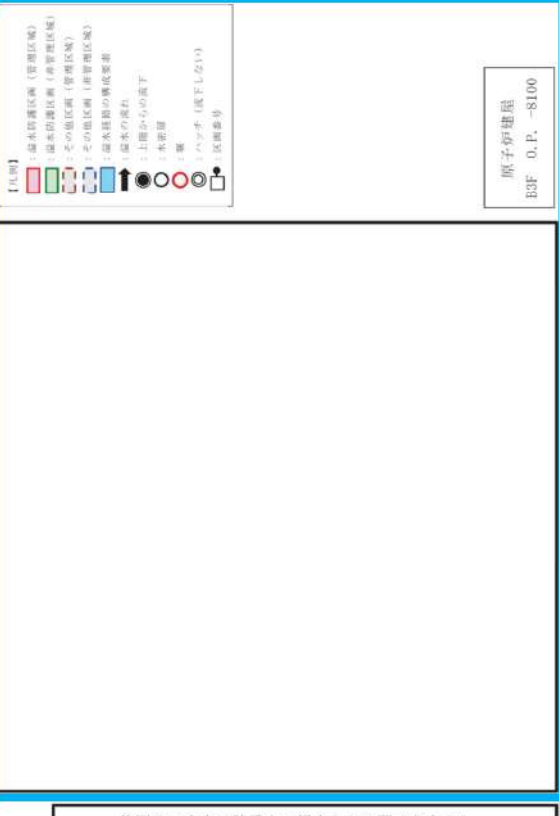
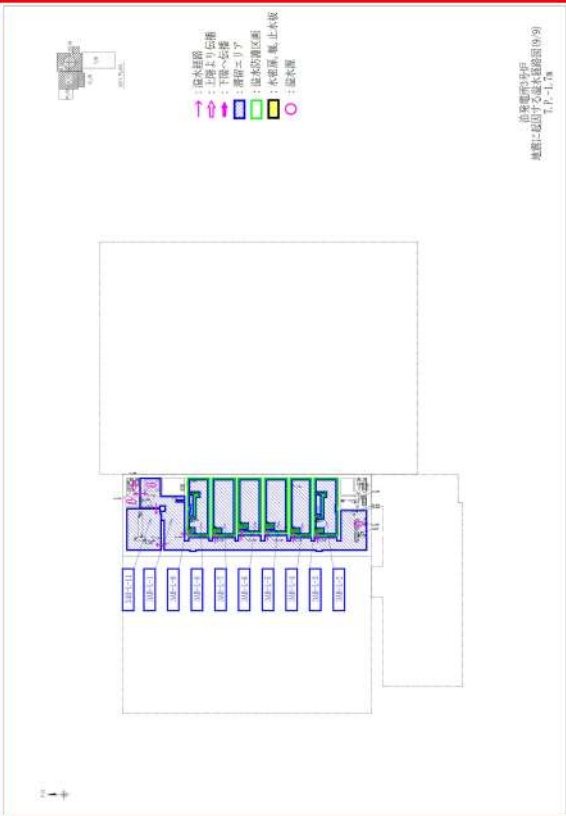
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

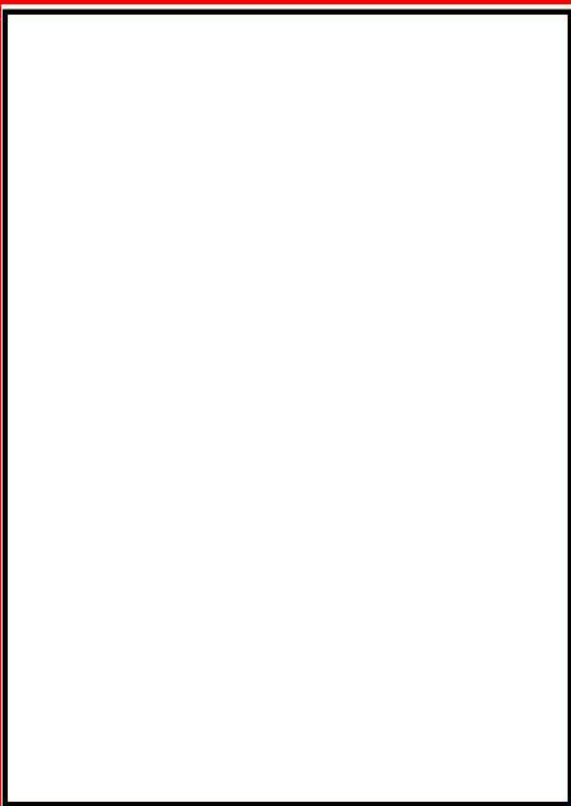

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 B3F 0.E. -8100</p>		<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

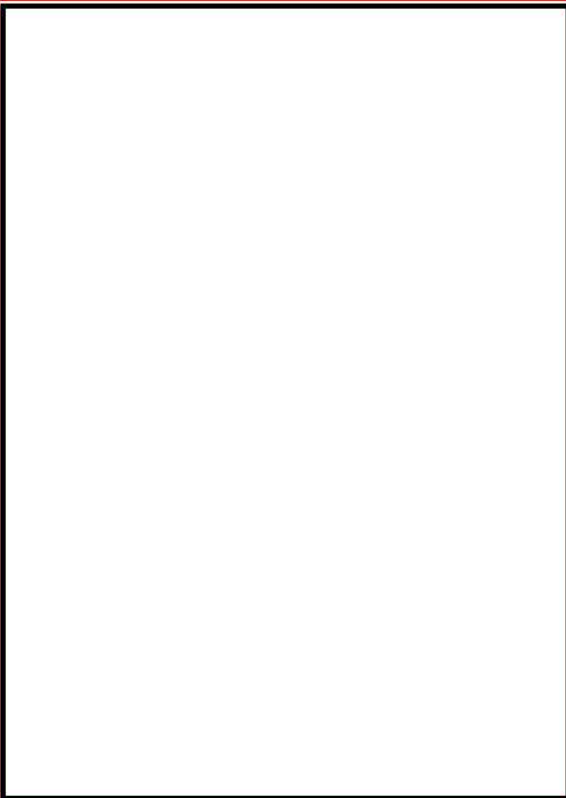
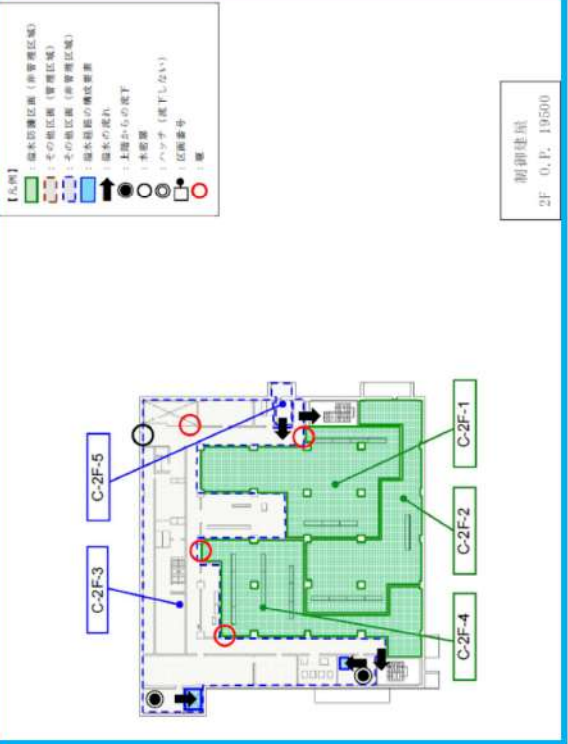


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

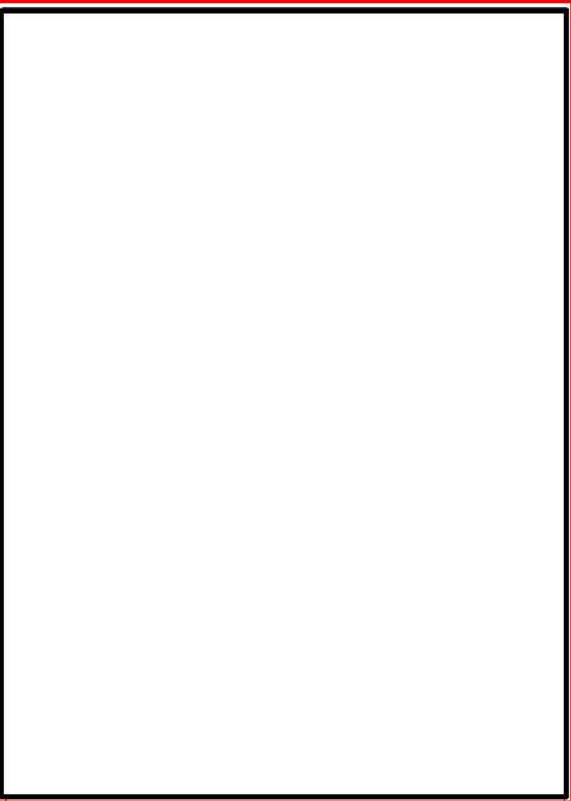
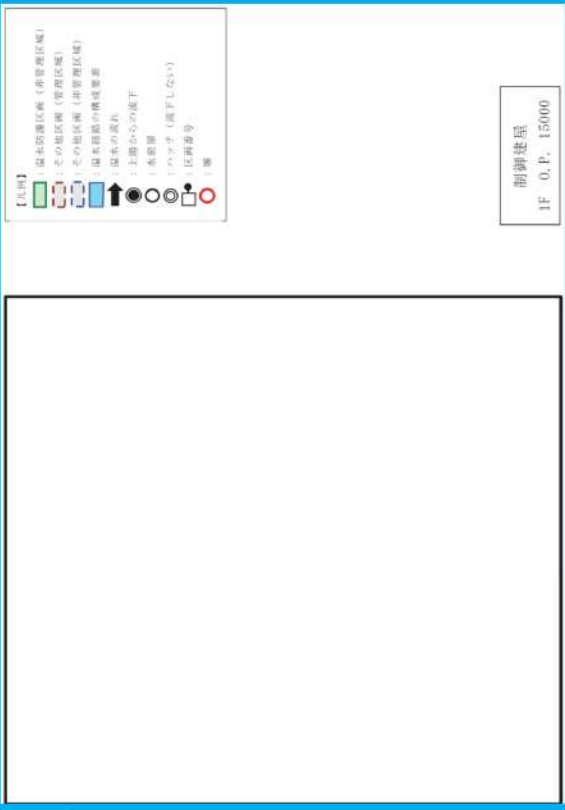
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1023 683 1050">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1007 1189 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1874 177 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 237">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 438">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 454 1937 477">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 486 2004 509">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 518 2027 541">プラント設計の相違</p>


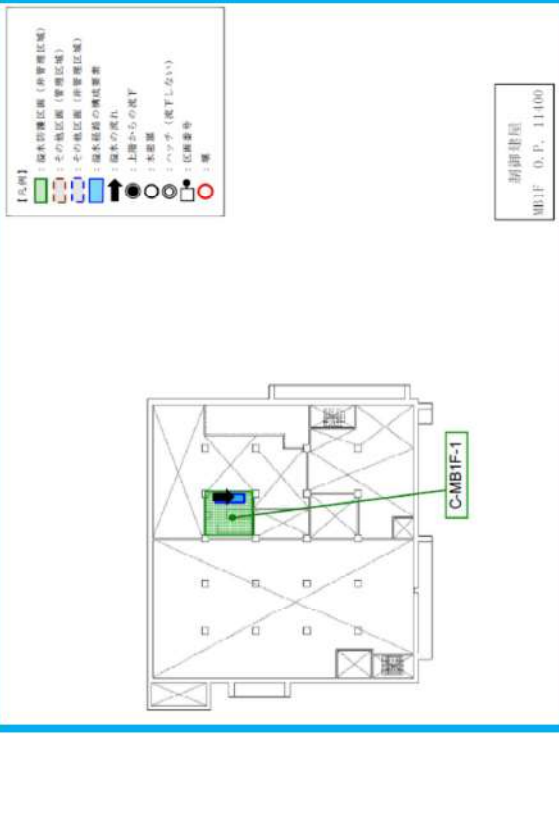
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

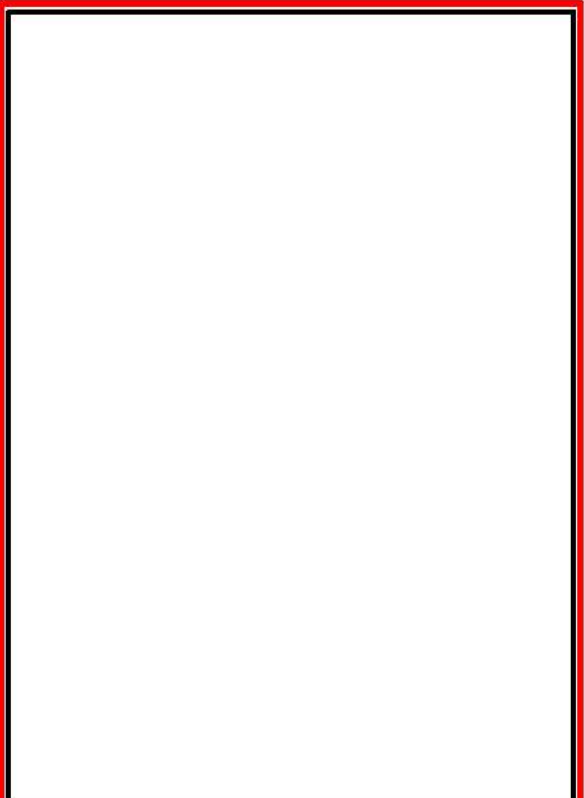

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1018 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1007 1198 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1874 177 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2130 438">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 453 1937 475">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 486 1995 509">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 520 2027 542">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


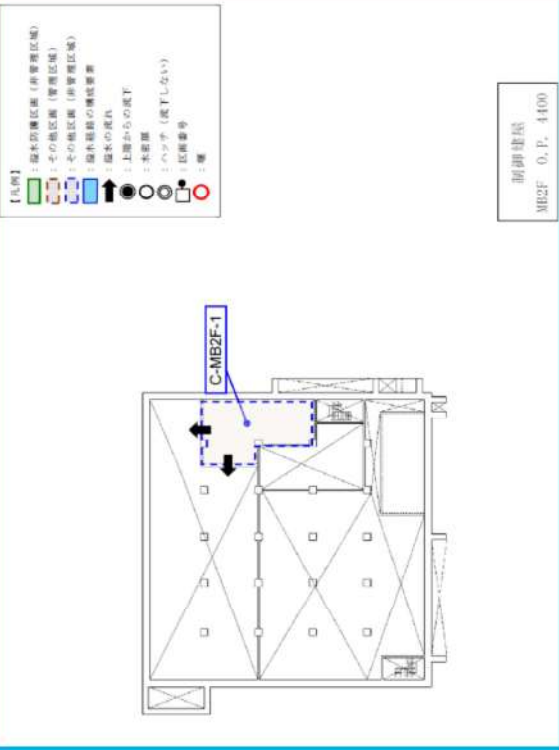
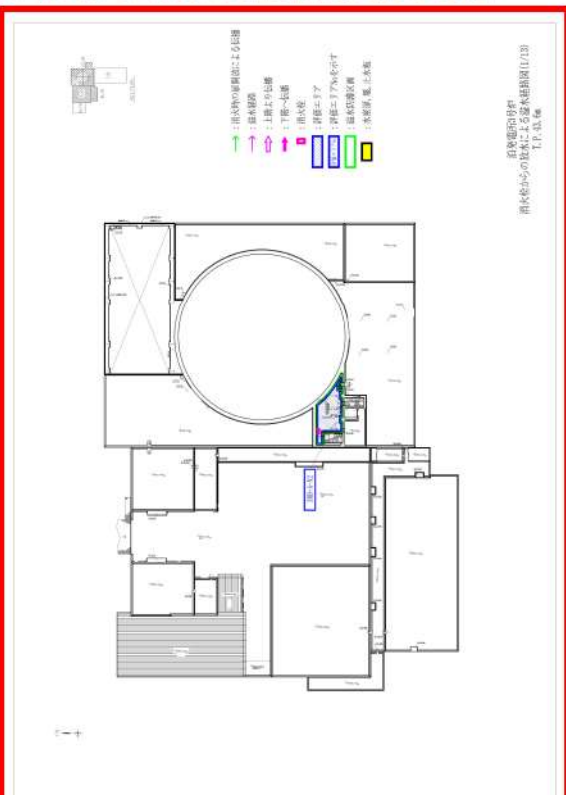
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

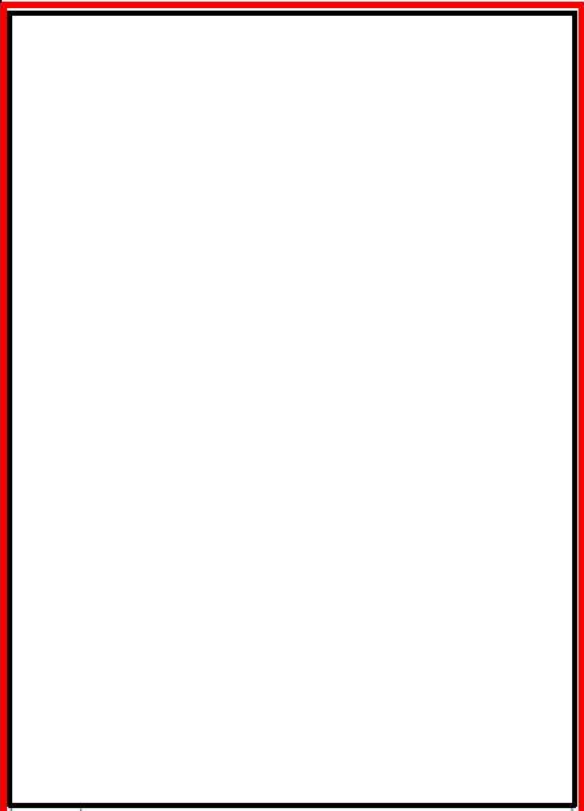
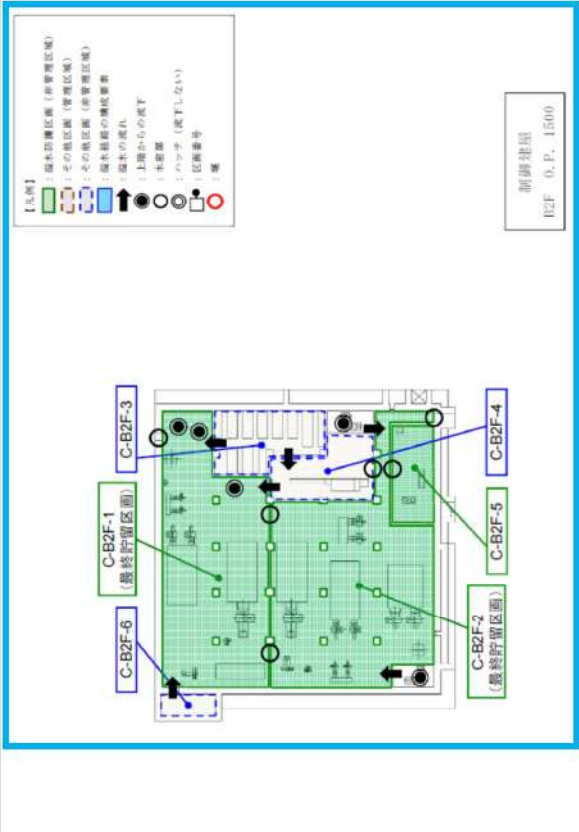
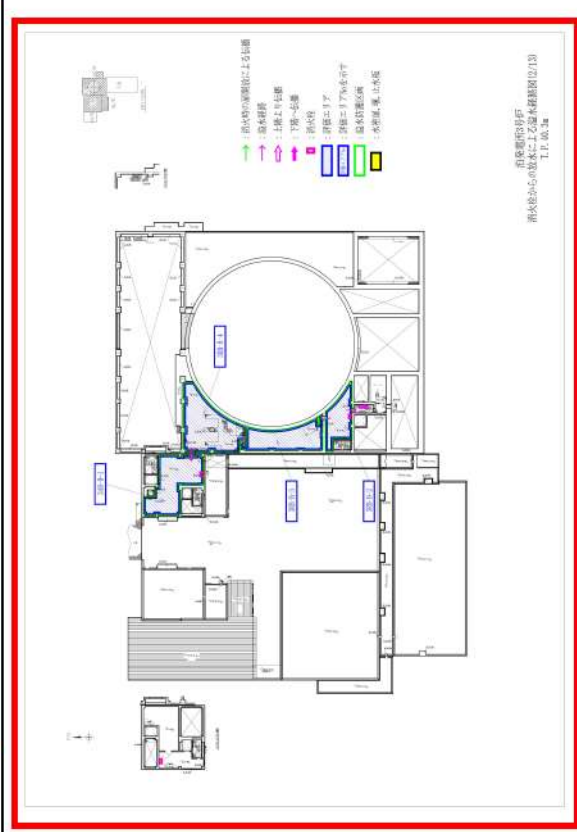
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■：基本防護区画（非管理区画）</li> <li>■：その他区画（管理区画）</li> <li>■：その他区画（非管理区画）</li> <li>■：基本防護区画の構成要素</li> <li>↑：原子炉の位置</li> <li>↑：主配管からの配下</li> <li>○：冷却器</li> <li>○：コンテナ（既下しなし）</li> <li>○：圧力容器</li> <li>○：圧力調整弁</li> <li>○：管</li> </ul> <p>制御建屋 BIF 0. P. 8000</p>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

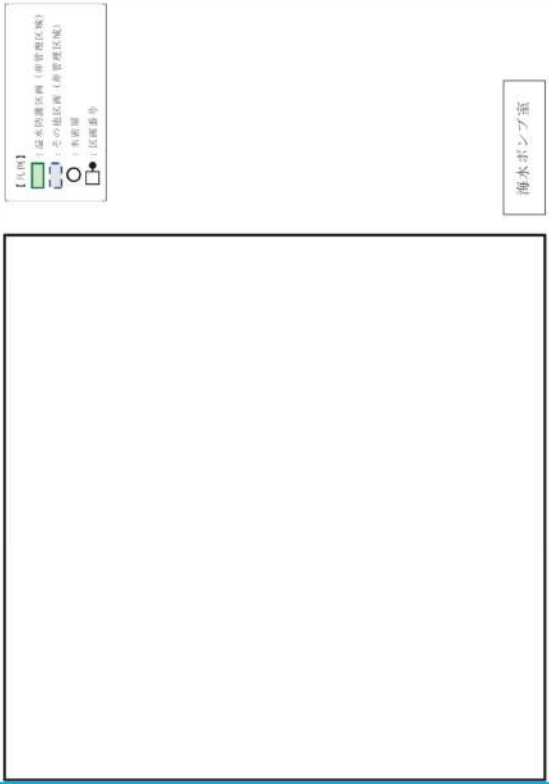
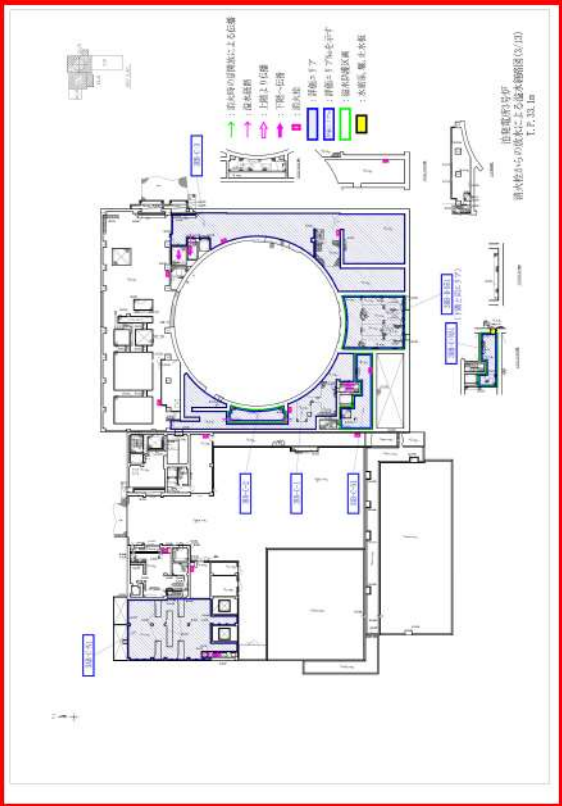
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.2-3</p> 	<p>前脚建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違  <u>記載表現の相違</u></p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

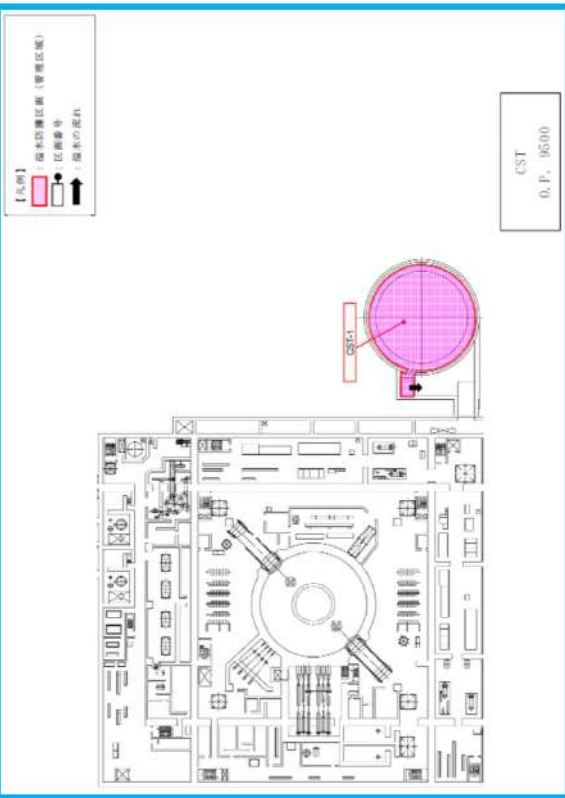
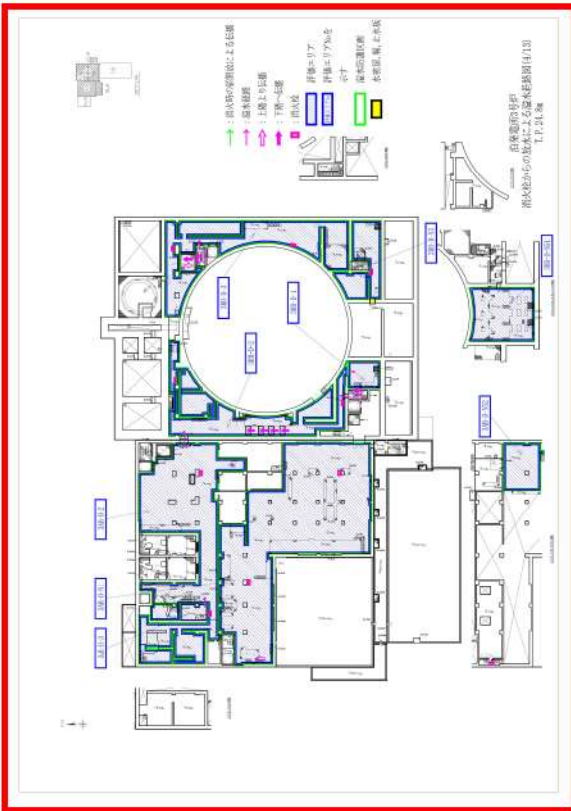
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：炉本防護区域（非常時区域）</li> <li>：その他の区域（非常時区域）</li> <li>：その他の区域（非常時区域）</li> <li>：炉本建屋の開放扉</li> <li>：炉本の扉</li> <li>：上層からの扉</li> <li>：本扉</li> <li>：パッチ（表示しない）</li> <li>：区域番号</li> <li>：壁</li> </ul> <p>耐震建屋 B2F 0.P. 1500</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>：防壁の位置に5分間</li> <li>：炉本建屋</li> <li>：上層からの扉</li> <li>：下層からの扉</li> <li>：開放扉</li> <li>：B2F-17</li> <li>：B2F-17の扉</li> <li>：B2F-17の扉</li> <li>：B2F-17の扉</li> </ul> <p>耐震建屋3号炉 B2F 0.P. 1500</p>	<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>          女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>          プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

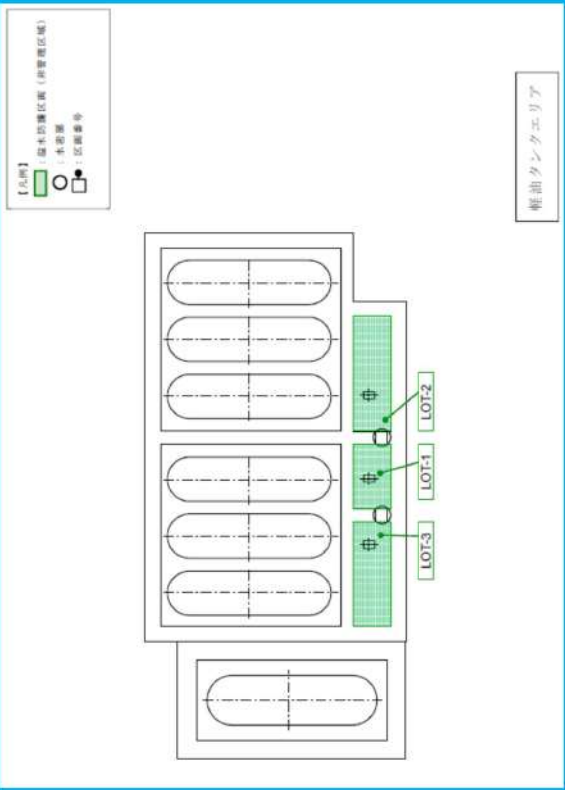
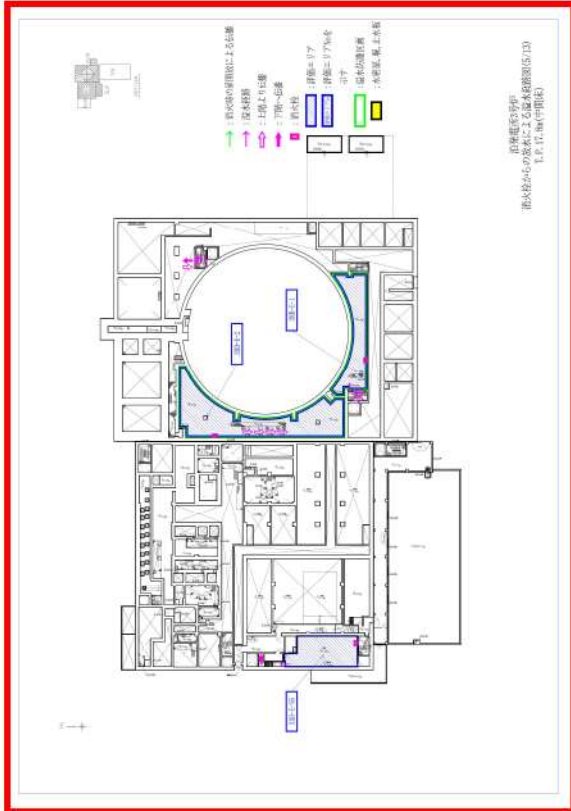
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="1214 279 1249 391" style="writing-mode: vertical-rl;">海水ポンプ室</p> <p data-bbox="772 981 1249 1005">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1877 454 1937 475">【大飯】</p> <p data-bbox="1877 486 2004 507">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 518 2027 539">プラント設計の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>

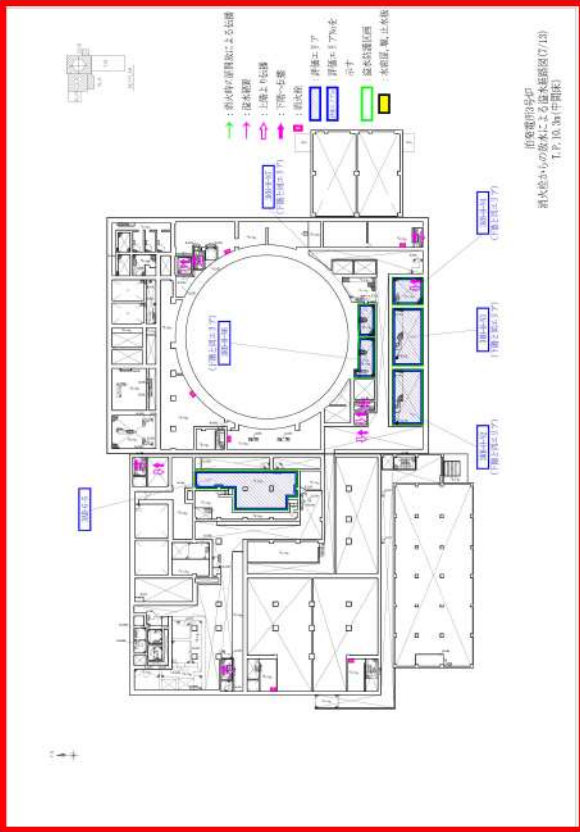
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <!-- Redacted content --> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <span style="background-color: black; color: black;">[REDACTED]</span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>

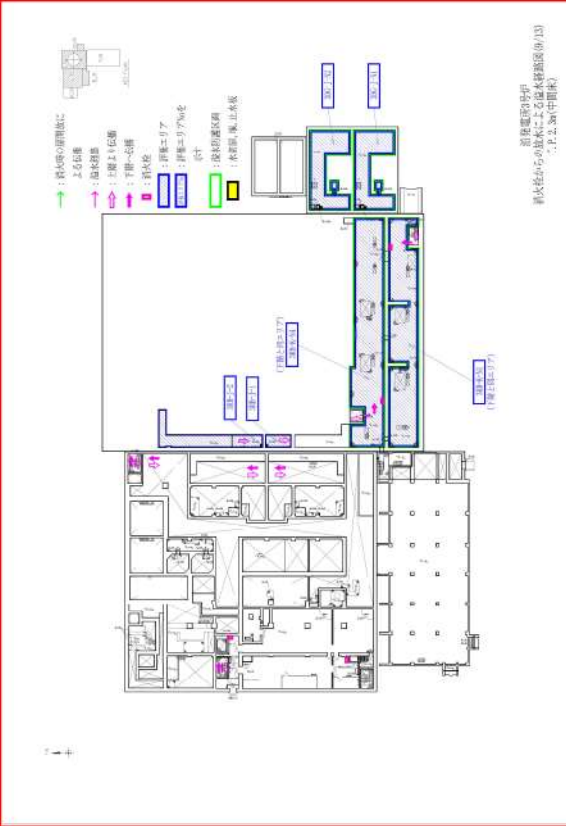
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

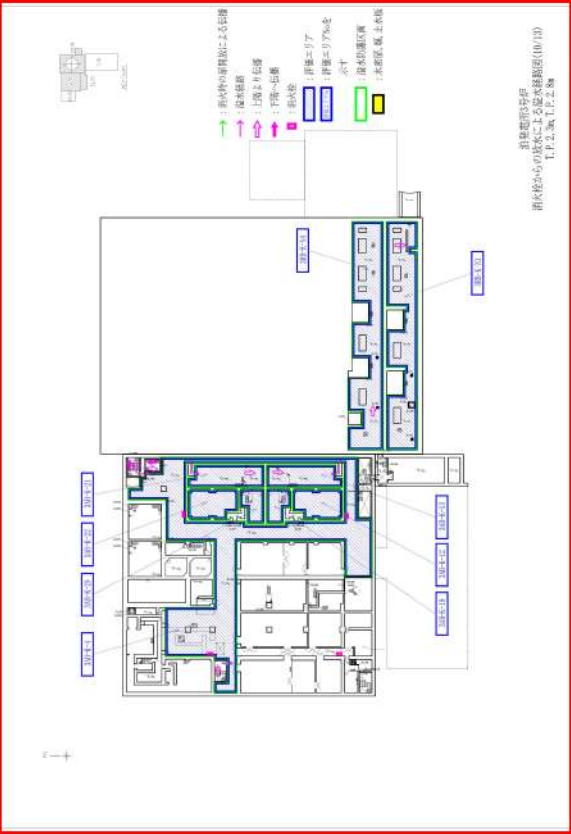
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1283 1085 1865 1117"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p data-bbox="1870 175 2134 207">【大飯】</p> <p data-bbox="1870 215 2134 247">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2134 279">プラント設計の相違</p>

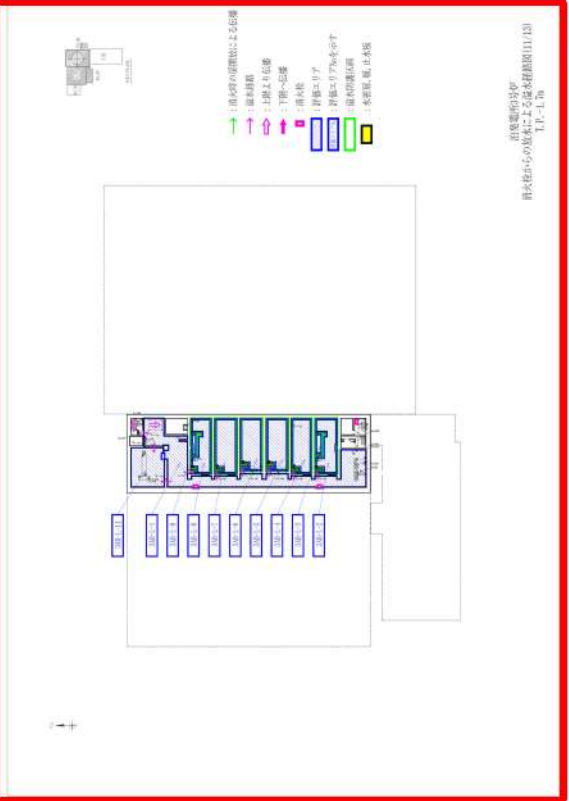
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

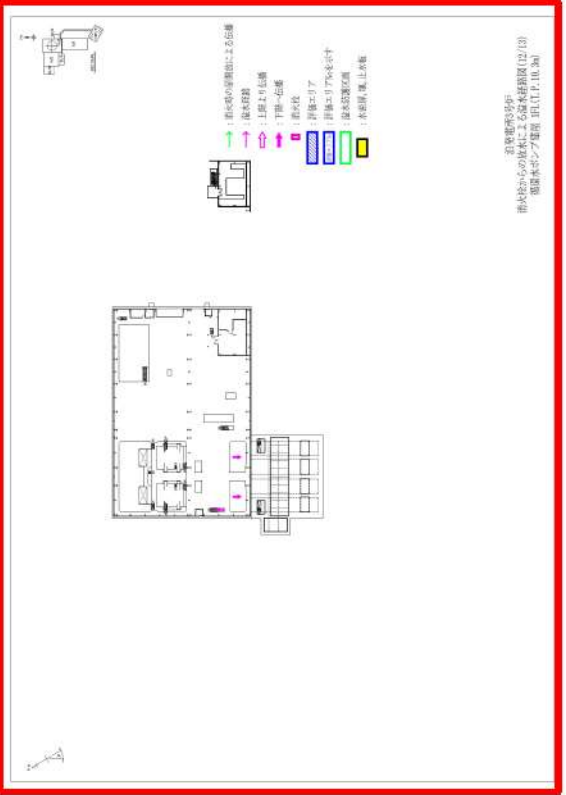
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>



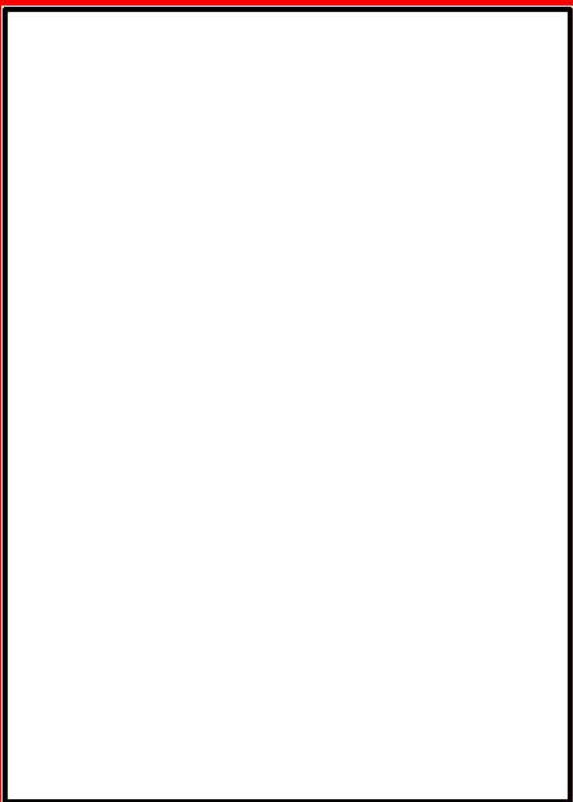
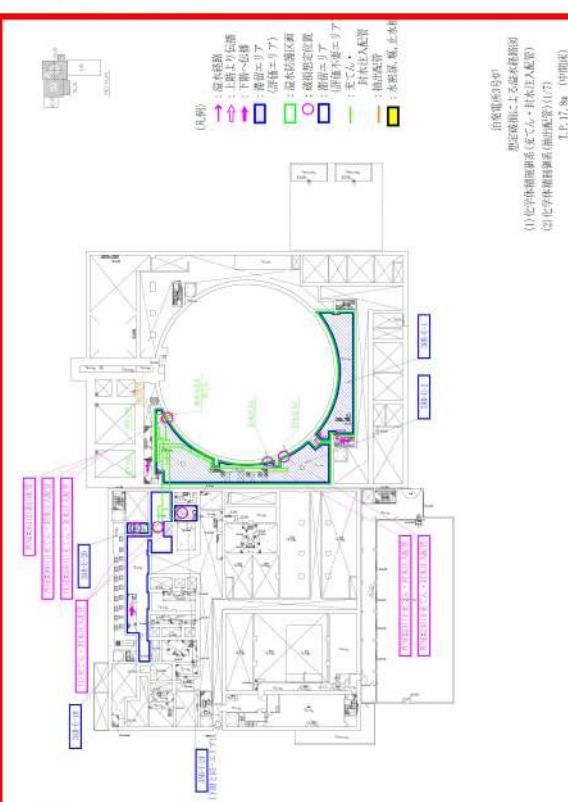
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>設計変更箇所              設備名称              設備名称</p>	<p>【大飯】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

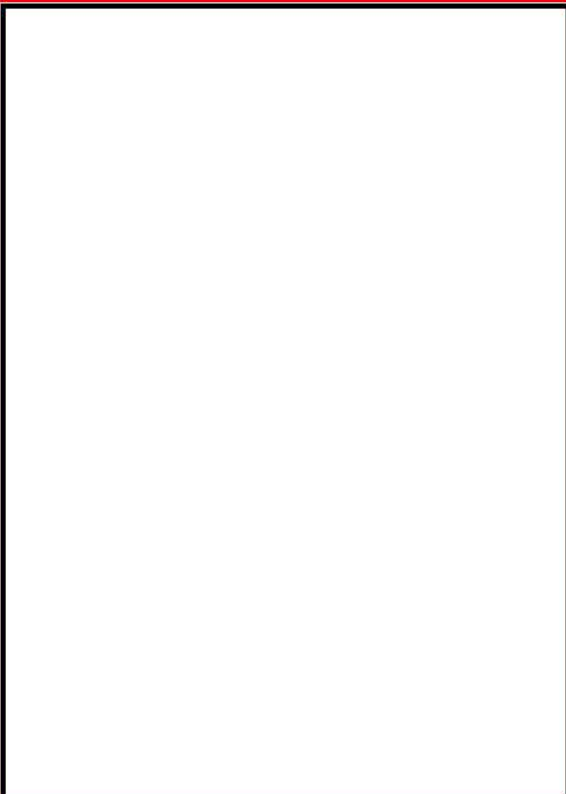

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                  (1) 化学体積制御系統</p>	 <p>由発電所の号炉                  想定破損による溢水経路図                  (1)化学体積制御系統(主待機・封水注入配管)                  型化学体積制御系統(抽出配管)(1/7)                  T.P.17.8a (中略図)</p>	<p><b>【女川】</b>                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画面図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p><b>【大飯】</b>                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

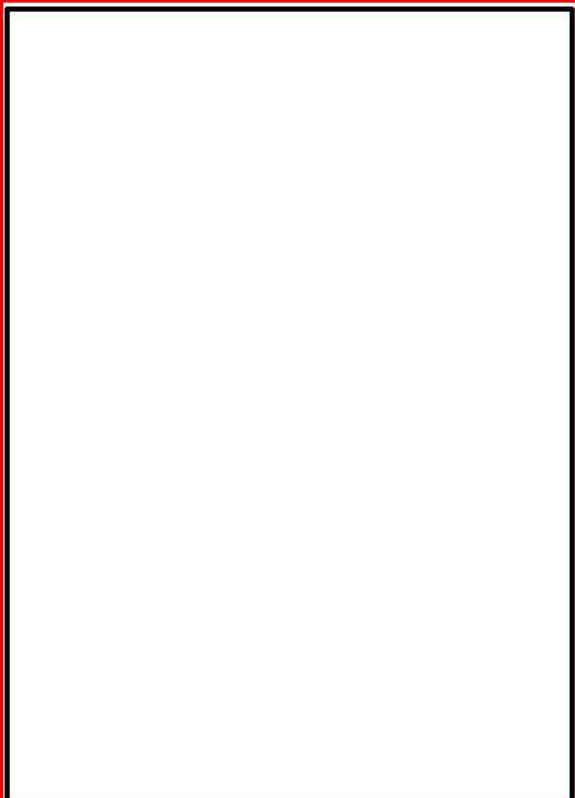
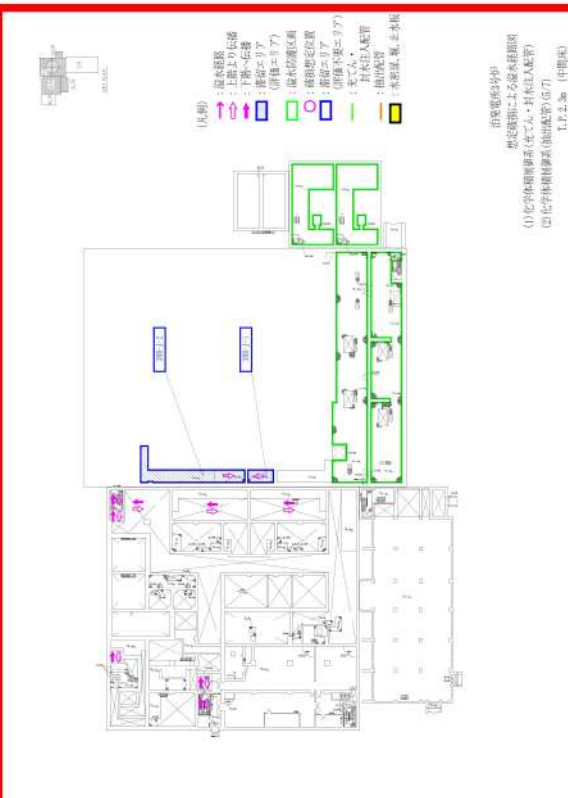
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

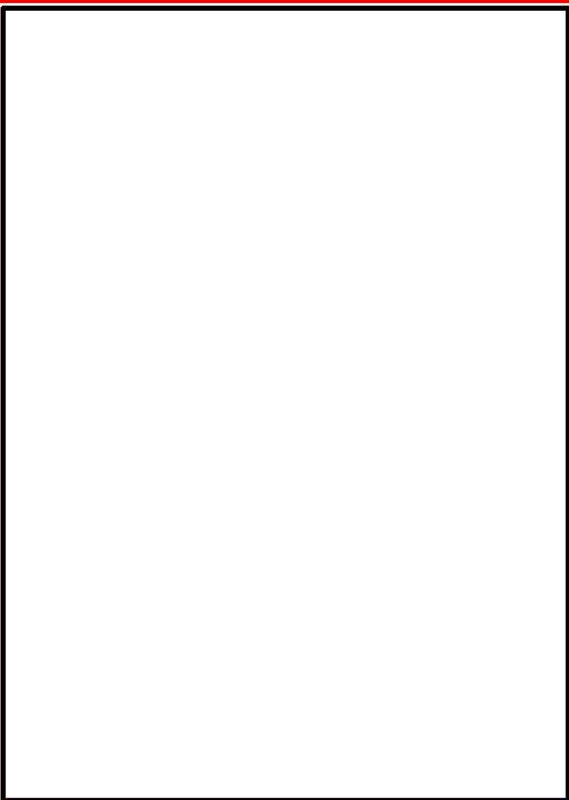
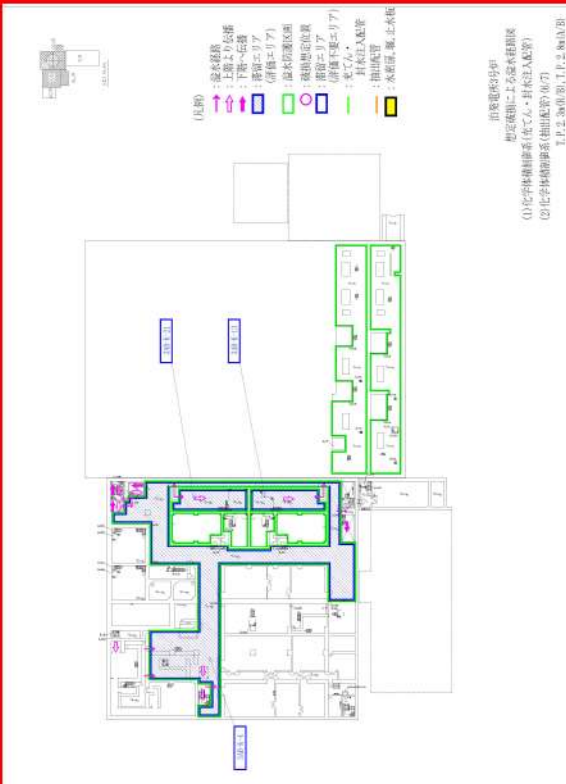
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>特記事項の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>特記事項の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>【大飯】              設計方針の相違              プラント設計の相違</p>	
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

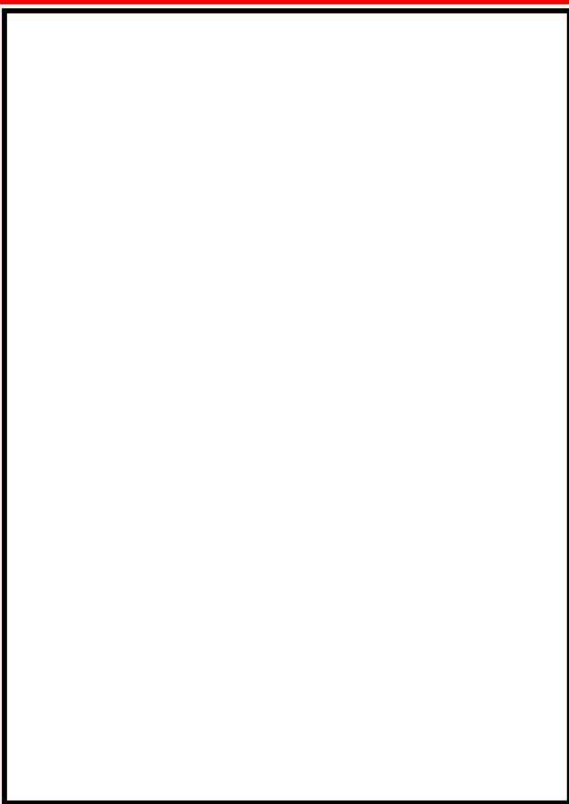

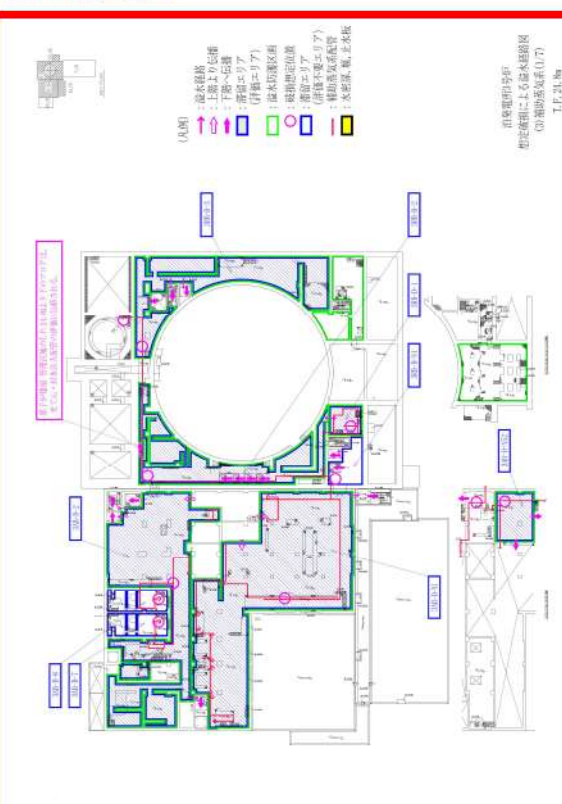
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉              想定範囲による漏水区域              (1)化学体系機組部系(炉心・封入圧配管)              (2)化学体系機組部系(抽出配管/炉心)              T.P.2.3a(1)表, T.P.2.3a(1)B</p>	<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違              プラント設計の相違</p>
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



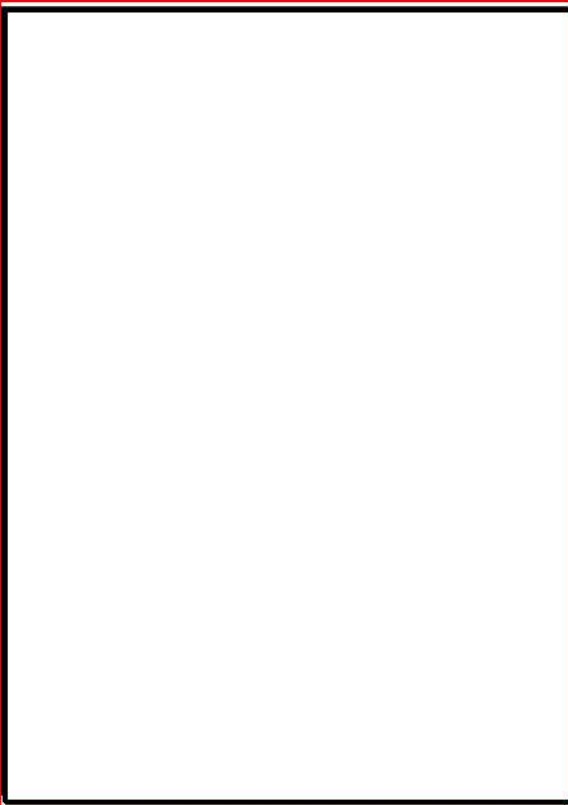

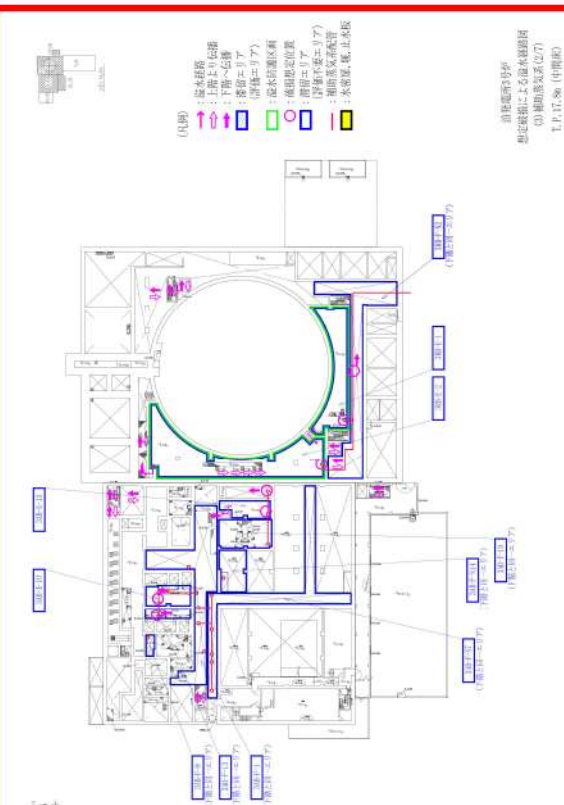

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p><b>【大飯】</b></p> <p>設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
		<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	

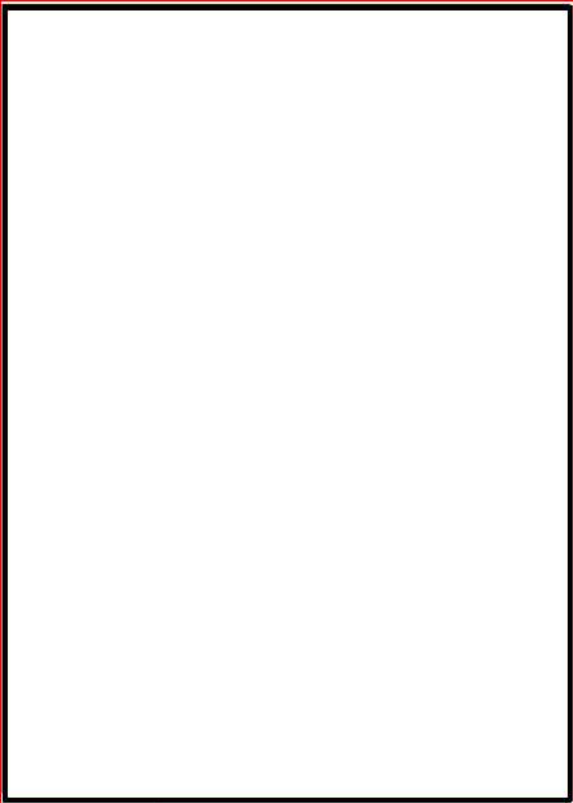
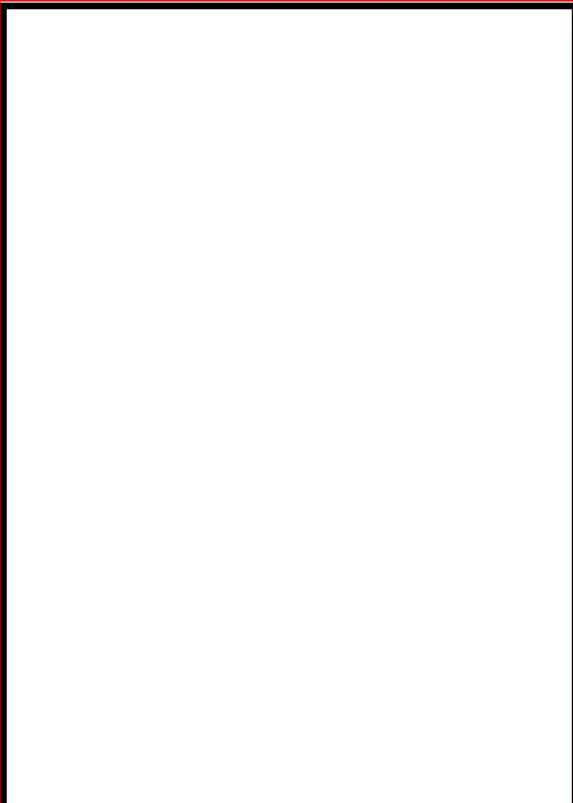
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p>  <p>赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）          青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）          緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p> <p>泊発電所3号炉          指定範囲による漏水経路図          (2) 補助蒸気系統(17)          T.P. 24.8m</p>	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>          女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>          プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

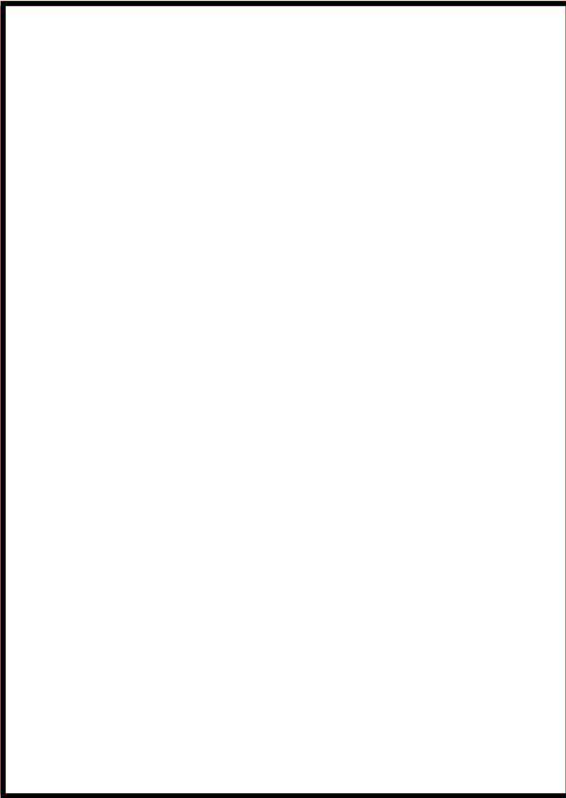

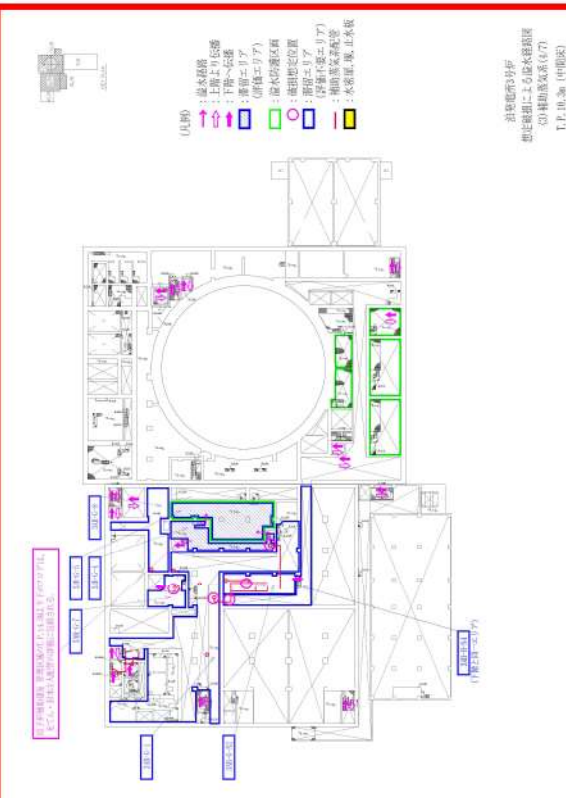
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u></p>
 <p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

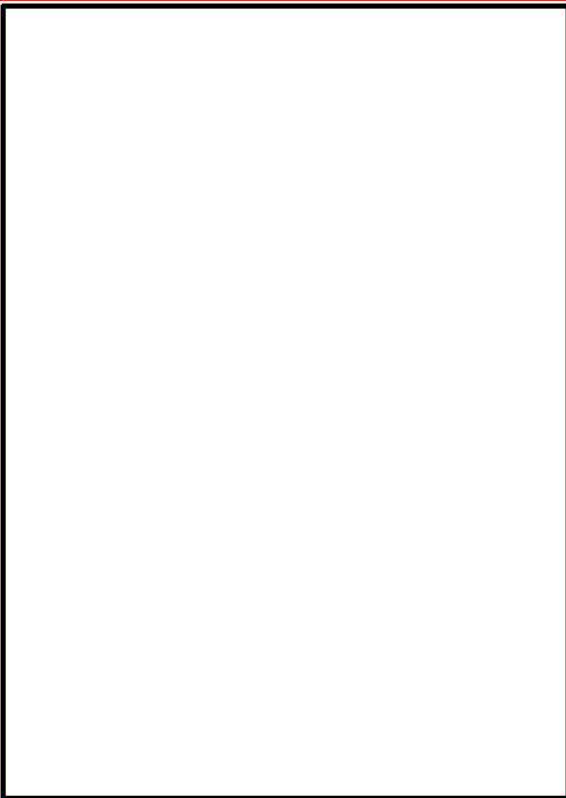



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>冷温みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>冷温みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

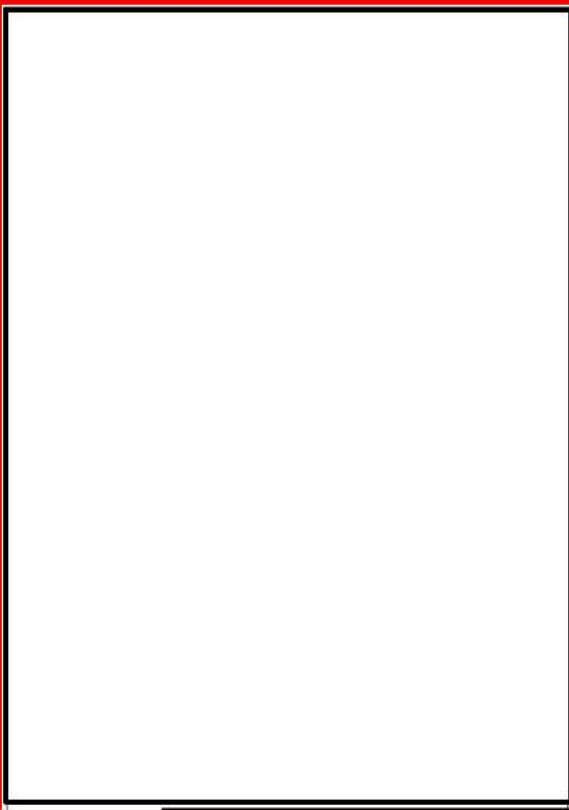
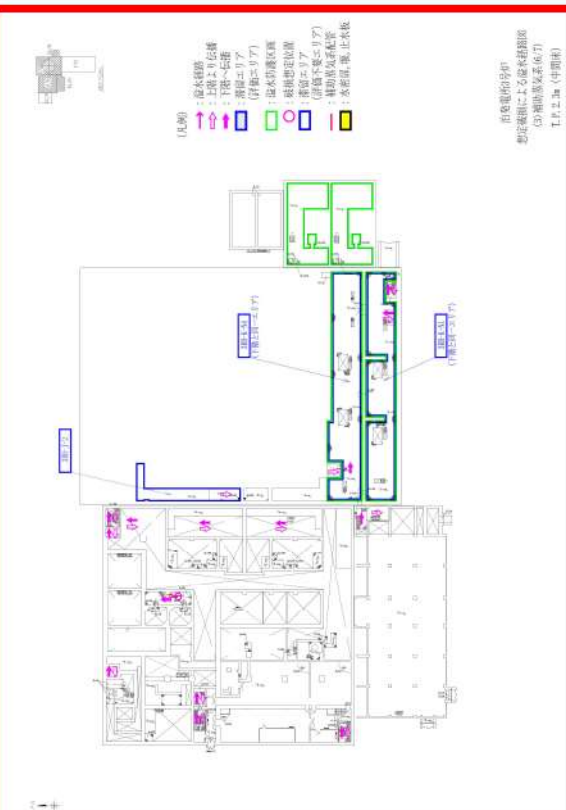
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。		 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	


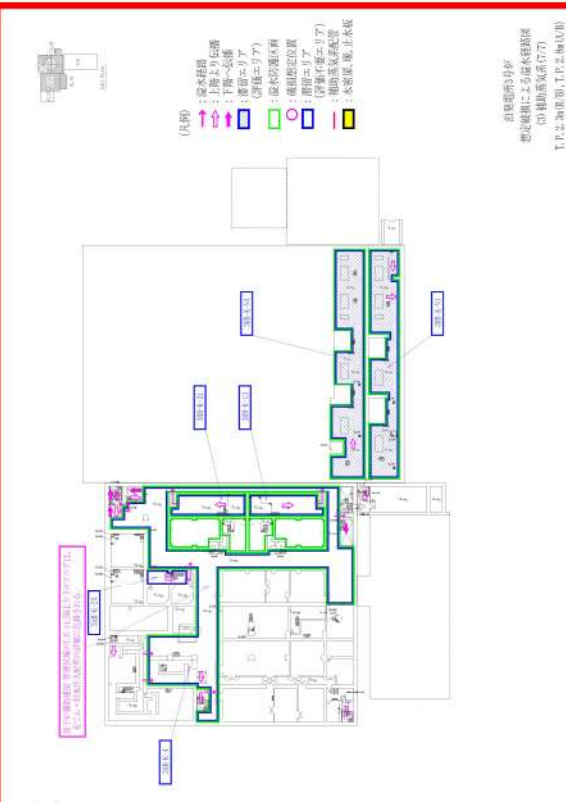
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

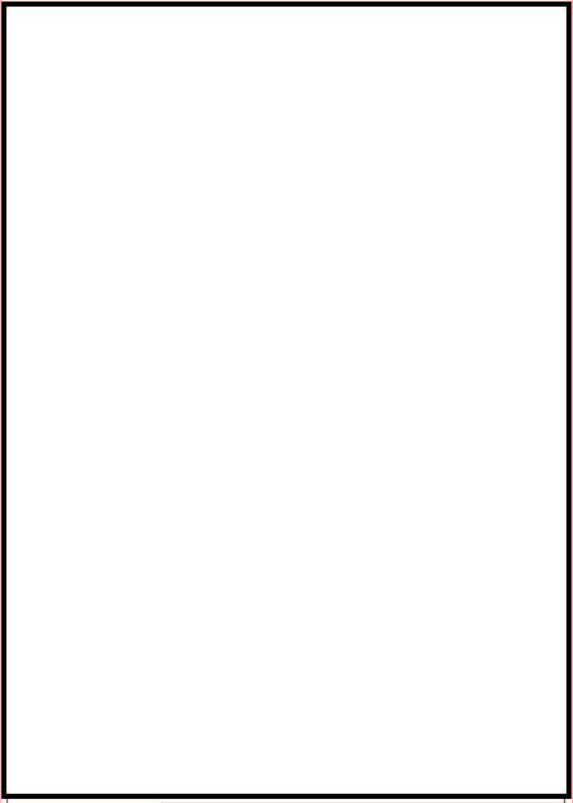
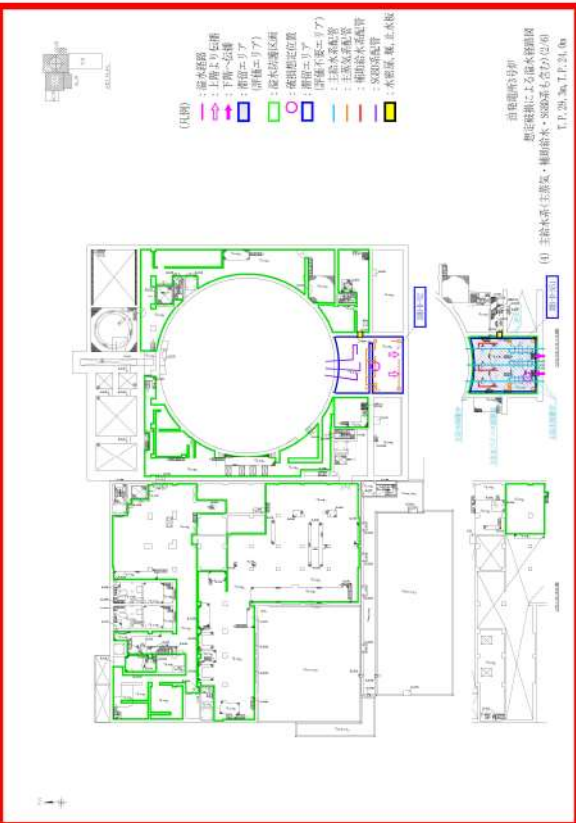
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←→ 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



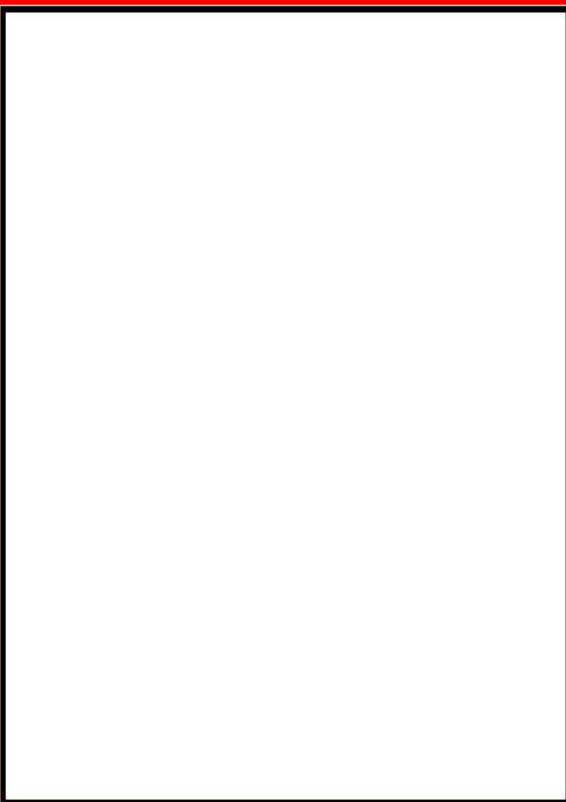
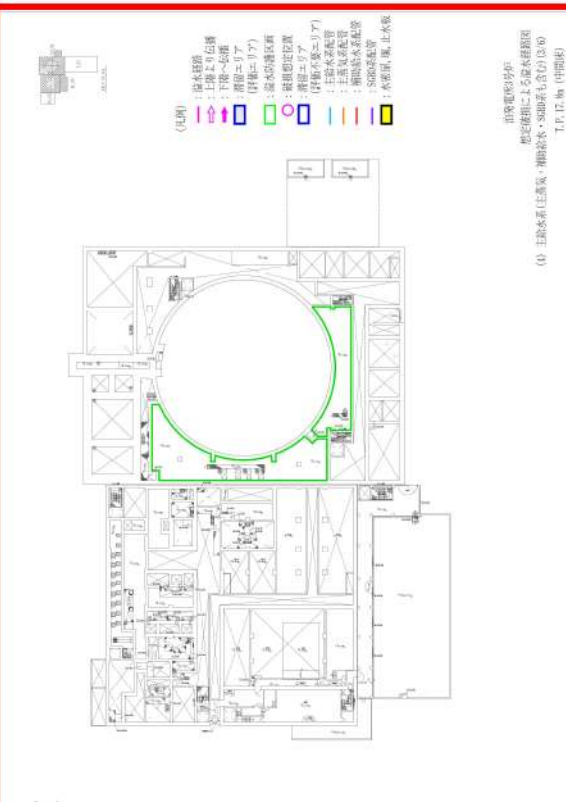
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 685 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 685 1043" style="font-size: small;">                     冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>		<p data-bbox="1294 180 1845 201">(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p> <div data-bbox="1279 212 1861 1050" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> </div>	<p data-bbox="1877 180 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2134 440">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1877 456 1935 477">【大飯】</p> <p data-bbox="1877 488 1995 509">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 520 2024 541">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1023 685 1046"> <span>←+</span> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>		 <p data-bbox="1865 180 2134 204">【大飯】</p> <p data-bbox="1865 212 2134 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1865 244 2134 268">プラント設計の相違</p>	

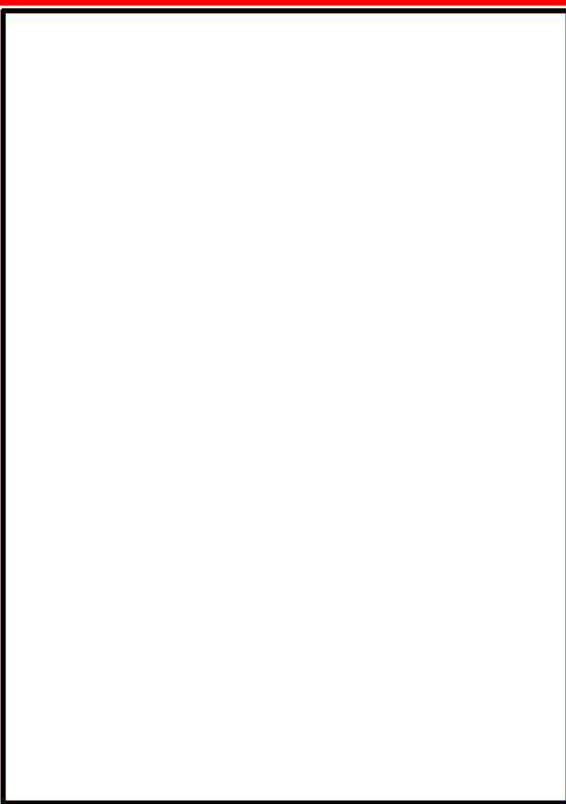
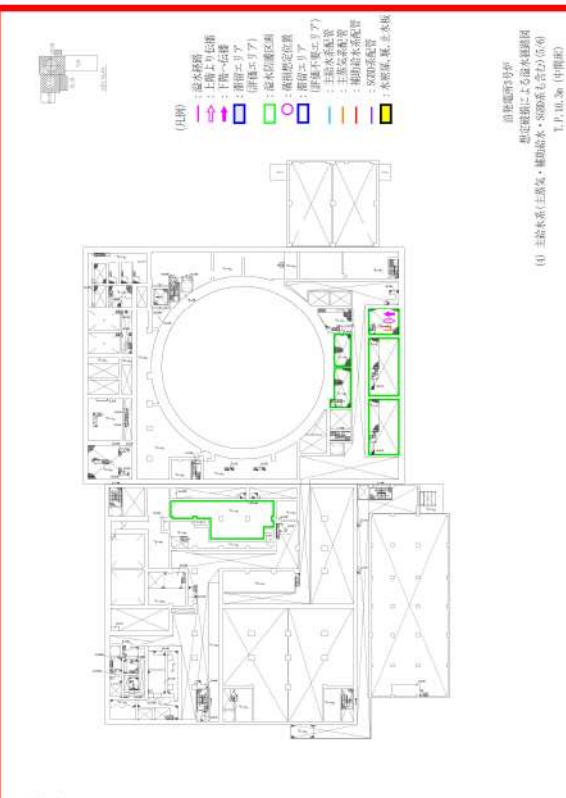
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>← 中</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>← 中</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）              青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）              緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p> <p>（注）              赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）              青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）              緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p> <p>泊発電所3号炉              設計図書による図本参照図              (0) 主排水系（圧縮機・補助排水・SBO排水）等              T.P. 10.36（中開図）</p>	<p>【大飯】              設計方針の相違              プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

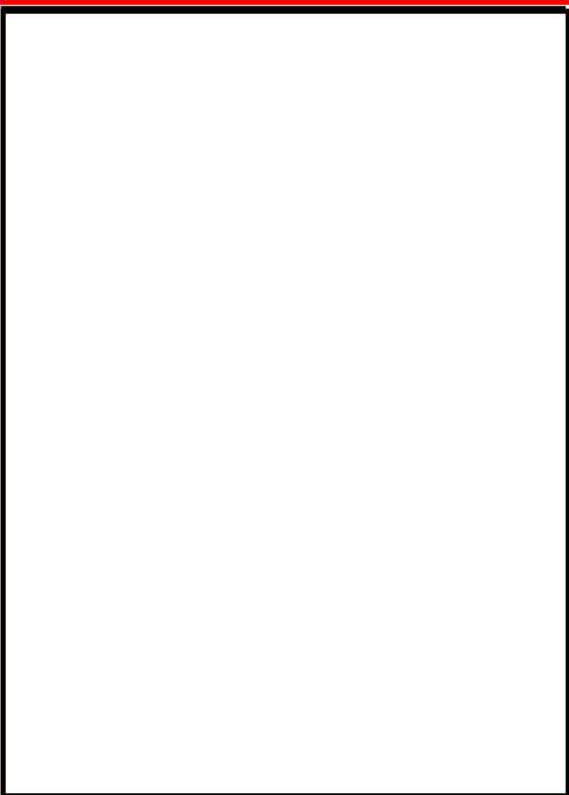
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

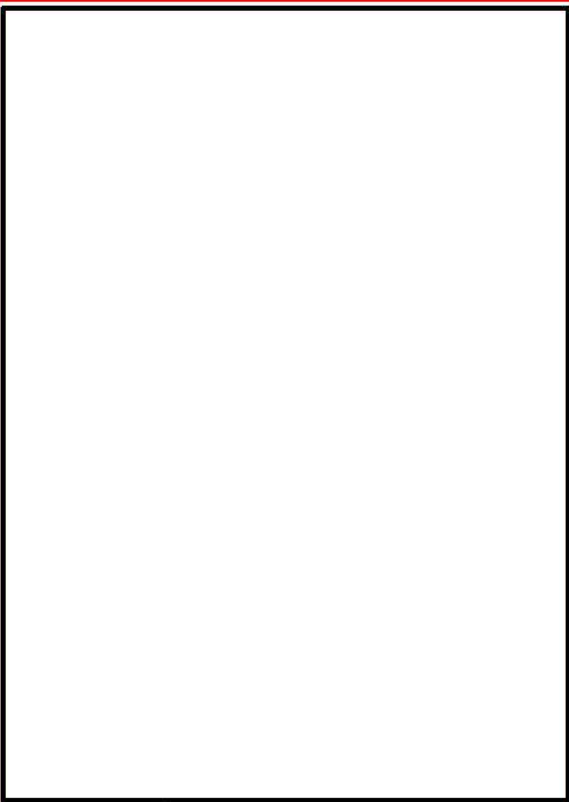
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



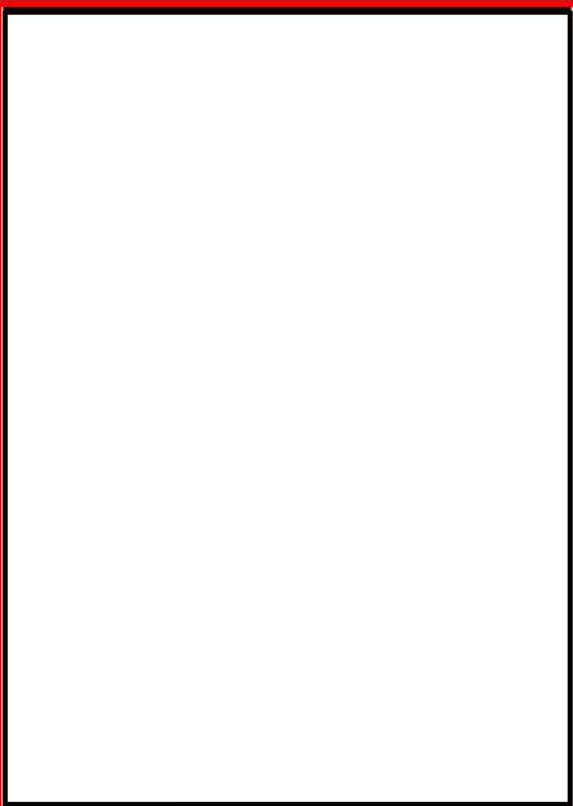
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>図10-5 炉心冷却系（RCS）の構成</p> <p>炉心冷却系（RCS）は、炉心から発生する熱を冷却し、蒸気発生器（SG）に伝熱し、蒸気を発生させる。蒸気はタービン駆動機（TDM）を駆動し、発電機（G）を駆動して電力を発生させる。蒸気発生器（SG）は、炉心冷却系（RCS）と二次冷却系（SCS）の間で熱交換を行う。二次冷却系（SCS）は、蒸気を凝縮し、水を生成し、炉心冷却系（RCS）に戻す。炉心冷却系（RCS）は、炉心から発生する熱を冷却し、蒸気発生器（SG）に伝熱し、蒸気を発生させる。蒸気はタービン駆動機（TDM）を駆動し、発電機（G）を駆動して電力を発生させる。蒸気発生器（SG）は、炉心冷却系（RCS）と二次冷却系（SCS）の間で熱交換を行う。二次冷却系（SCS）は、蒸気を凝縮し、水を生成し、炉心冷却系（RCS）に戻す。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

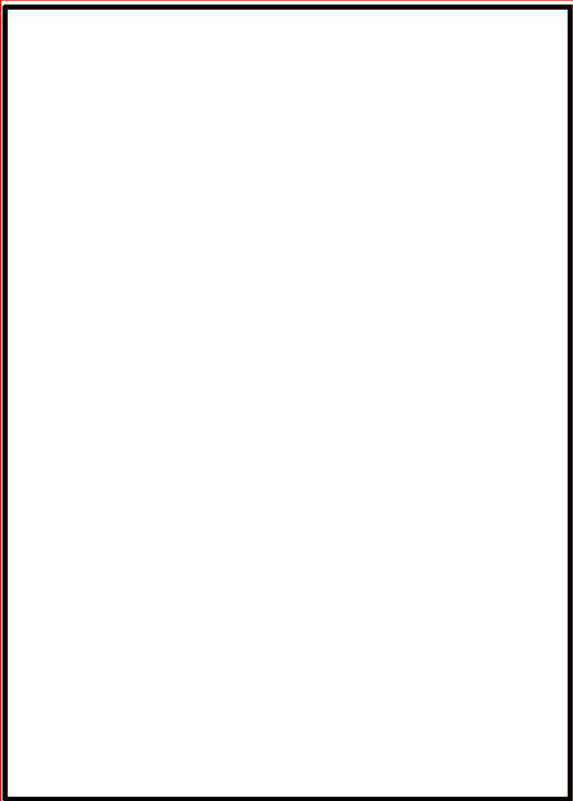
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>図4-4 炉内及び炉間は機器に接する事項ですが公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

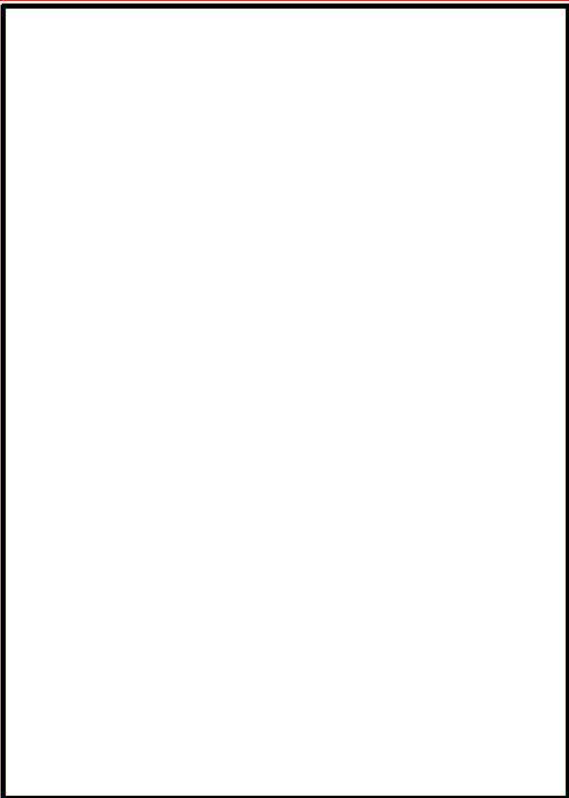
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <small>※</small> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

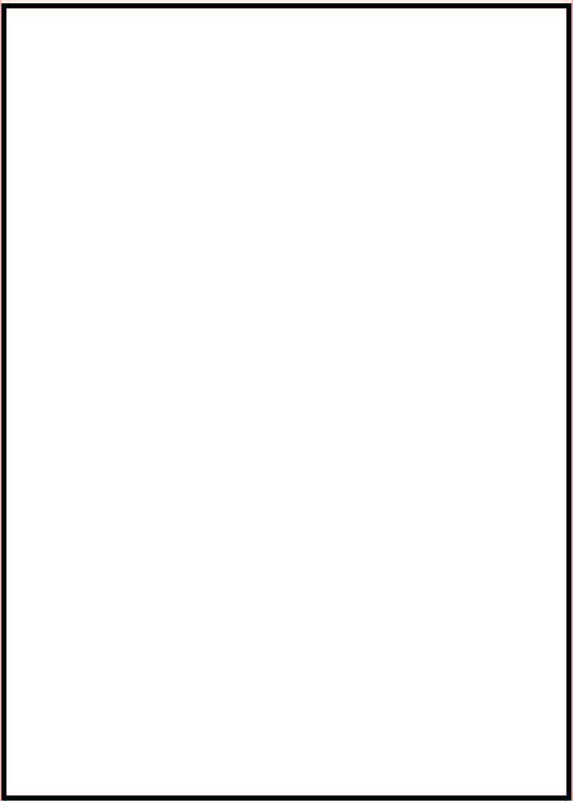
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ ← 特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※                      枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料 p.2-9-別1-60 より抜粋                      2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-4-3 より抜粋                      4. 3 溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに                      機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。                      ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果                      下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。                      また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる。若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図1：流下経路の例</p> </div>	<p>【女川・大阪】                      記載方針の相違</p> <p>・女川と大阪も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。</p> <p>・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>



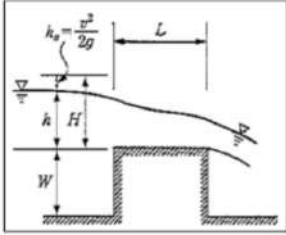
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>扉開運用</b>などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-R3F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-B2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M31F-1	吹抜	1	R-M31F-2	吹抜	1	R-M31F-3	吹抜	1	R-M31F-4	吹抜	1	R-R3F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>床開口部</b>により流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1279 1007 1861 1107"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      ・建屋名称、区画番号の相違。                      ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-B2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-B2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-4	吹抜	1																																																																													
	R-R3F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 15%;">区画番号</th> <th style="width: 45%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-M32F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3		吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	C-M32F-1	吹抜	1	タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2	T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・建屋名称、区画番号の相違。</p> <p>・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																															
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																															
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																															
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																															
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																															
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																															
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																															
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																															
	R-3F-2	吹抜	1																																																																															
	R-3F-4	吹抜	1																																																																															
	R-3F-5	吹抜	1																																																																															
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																															
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																															
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																															
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																															
	R-M2F-9	吹抜	1																																																																															
	制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																														
C-3F-4		床開口	1																																																																															
C-2F-3		床開口	3																																																																															
		吹抜	1																																																																															
C-1F-4		床開口	3																																																																															
C-M31F-1		吹抜	1																																																																															
C-M32F-1	吹抜	1																																																																																
タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																															
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																															
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ，土木学会編，技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																															

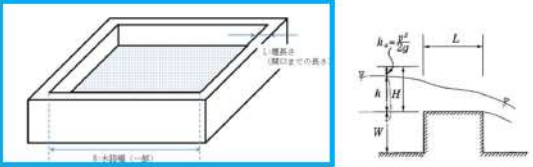
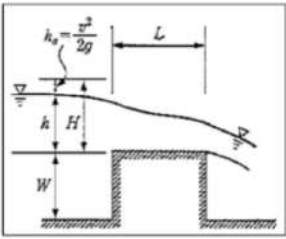
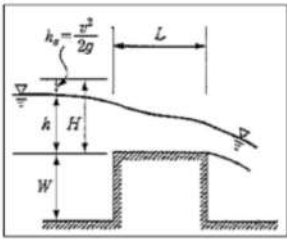
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><math>Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}</math> …… ①式</p> <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C=1.444+0.352(\frac{h}{L})</math></p> <p>Q：越流量(m<sup>3</sup>/s)                      B：堰の幅(m)                      h：越流水深(m)                      C：流量係数(m<sup>3/2</sup>/s)                      L：堰長さ(m)                      W：堰高さ(m)</p>  </div> <p style="text-align: center;">図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m<sup>3</sup>/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m<sup>3</sup>/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p style="text-align: center;">表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PRRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床開口は満水流れとして評価を実施する。</li> <li>下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。</li> <li>床開口は円形とし、φ100mmと設定する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <math display="block">Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}</math> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                  A：断面積(m<sup>2</sup>)                  H：落差(m)                  d：内径(m)                  L：直管長(m)                  ξ：損失係数                  λ：摩擦係数                  g：重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m<sup>3</sup>/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 368"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1 (消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1 (所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (BWC)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4	C-1F-4	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1 (消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1 (所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補足 4-1 より抜粋                      1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。                      開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Q<sub>out</sub> : 排出流量 [m³/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">B : 開口の幅 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">C<sub>out</sub> : 排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">h : 溢水水位 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">L : 開口までの長さ [m]</span>                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量                      「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲                      3. 流下開口（扉）からの流出量                      (1) 扉からの流出量                      常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]                      B : 堰の幅 [m]                      h : 越流水深 [m]                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ [m]                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量                      (1) グレーチング、吹抜からの流出量                      グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、<math>0 &lt; h/L \leq 0.1</math> ; <math>C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]                      B : 開口の幅 [m]                      h : 越流水深 [m]                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ [m]                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。                      ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。                      また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。                      ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)</p> <p><u>設計方針の相違</u>                      堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】  <u>記載方針の相違</u>                      流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。  <u>記載表現の相違</u></p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。                      また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。                      表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 656 453"> <tr><td>B：開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h：溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L：開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C<sub>dis</sub>：排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q<sub>dis</sub>：排出流量 [m<sup>3</sup>/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B：開口の幅 [m]	12.5	h：溢水水位 [m]	0.32	L：開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C <sub>dis</sub> ：排出係数 [m <sup>1/2</sup> /s]	1.47	Q <sub>dis</sub> ：排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 209 1265 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F1F-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F1F-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F1F-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F1F-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F1F-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画                  ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-4F1F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4F1F-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-4F1F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4F1F-4	1	5.6	0.13	0.2	R-4F1F-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 248 1854 397"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定                  ※2 開口までの長さLを長くするほどに感流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。</li> <li>・泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。</li> <li>・泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。</li> <li>・女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。</li> <li>・女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様）</li> </ul> <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。</li> </ul>
B：開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h：溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L：開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C <sub>dis</sub> ：排出係数 [m <sup>1/2</sup> /s]	1.47																																																																																																																							
Q <sub>dis</sub> ：排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F1F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F1F-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F1F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F1F-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F1F-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 799 1265 1107"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (6.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F1F-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-4F-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F1F-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4F2F-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価                  ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-4F1F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-4F1F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-4F2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (6.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F1F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-4F-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F1F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4F2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m<sup>3</sup>/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果                      流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。                      越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果                      流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。                      結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m<sup>3</sup>/h（主給水系）よりも上回っている。                      また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m<sup>3</sup>/h（化学体積制御系（充てん配管））よりも上回っている。                      以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      泊では、島根の構文を参考にして、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】                      設計方針の相違                      ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。                      ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。                      記載方針の相違                      ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。                      ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。                      記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>	R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-H-2	吹抜	4,243	3AB-H-9	吹抜	4,243	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。                      ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として                      いるところに対して、泊は、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      （島根と同様）</p>
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-H-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-H-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯3/4号炉】                      まとめ資料 p.2-9-14 より抜粋                      ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について                      女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。                      (1) 評価条件                      ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。                      ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><math>Q = AC\sqrt{2gH}</math> …… ③式</p> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：開口の有効面積(m<sup>2</sup>)                      H：当該区画の水位(m)                      C：流出流量損失係数 (=0.82)                      g：重力加速度 (m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について                      女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について                      泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は床ドレンからの排水に期待せず溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p style="text-align: right;">添付資料12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p>【女川・大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。</li> <li>・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉

添付資料1.4.1-1

表1 配管破損を想定する高エネルギー配管の抽出結果

系統名	溢水評価における対象範囲	対象範囲における使用条件	配置
化学体積制御系	封水注入配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	充てん配管	運転圧力：約 17MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器出口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 50℃	E/B
	抽出配管／非再生冷却器入口	運転圧力：約 2.2MPaG 運転温度：約 140℃	E/B
主蒸気系統	主蒸気管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気逃がし弁	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気隔離弁 バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	主蒸気ドレン配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
	タービン動補助給水ポンプ 駆動用蒸気配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室
主給水系統	主給水管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
	主給水バイパス配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
蒸気発生器 ブローダウン系	蒸気発生器ブローダウン 配管（貫通部へアングル弁）	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 277℃	MS室、 BD室
補助給水系	補助給水配管	運転圧力：約 6.03MPaG 運転温度：約 224℃	MS室
補助蒸気系	補助蒸気供給配管	運転圧力：約 0.7MPaG 運転温度：約 170℃	E/B、 C/B

E/B：原子炉周辺建屋 C/B：制御建屋  
 MS室：主蒸気・主給水管室 BD室：ブローダウンタンク室

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
 (1/6)

系統	設計条件	分類		設置エリア	
		低エネ	高エネ	原子炉建屋	
				付属種	付属種(保安施設 設置エリア)
給水系	5.62	○	○	○	○
新設機動給水注系	13.83	○	○	○	○
ほう湯水注入系	1.72	○	○	○	○
西原機動注系	10.79	○	○	○	○
低圧中心スプレイス	3.73	○	○	○	○
高圧中心スプレイス	4.41	○	○	○	○
原子炉隔離時冷却系	10.79	○	○	○	○
原子炉冷却時浄化系	5.62	○	○	○	○
燃料プール冷却 浄化系	10.20	○	○	○	○
放射性ドレン 浄化系	1.37	○	○	○	○
機動ドレン系	4.37	○	○	○	○
	0.98	○	○	○	○
	0.99	○	○	○	○
	1.94	○	○	○	○

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する  
 ※2 廃燃料処理エリアのみ  
 ※3 潤水相給水系の潤水量で考慮する  
 ※4 休止設備であり保有本なし

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
 (1/3)

系統	設計条件	分類		設置エリア	
		低エネ	高エネ	原子炉建屋	
				管理	非管理
1号炉排系	運転圧力 (MPa)	15.4	325	○	○
化学体積制御系(主蒸気配管)	運転温度 (℃)	1.3	40	○	○
		17.5	232	○	○
化学体積制御系(抽出配管)		0.11	46.1	○	○
		15.4	193	○	○
化学体積制御系(その他)		1.8	46.1	○	○
		3.1	77	○	○
安全注入系 <sup>※</sup>		0.3	40	○	○
		0.35	40	○	○
主蒸気系		5.6	274	○	○
		3.8	220	○	○
主給水系		0.35	40	○	○
		1.1	43	○	○
原子炉隔離時冷却系		1.1	65	○	○
		0.61	26	○	○
気体冷却器給水系		1.01	40	○	○
				○	○

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】  
記載表現の相違  
設計方針の相違  
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)  
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。  
 【大飯】  
記載方針の相違  
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取り表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3／4号炉

表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果

系統名
原子炉補機冷却系
格納容器スプレイ系
化学体積制御系
冷水系
1次系洗浄水系
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)
1次系放射性ドレン系(床ドレン)
消火水系
1次系補給水系
余熱除去系
燃料取替用水系
燃料ピット冷却浄化系
安全注入系
液体廃棄物処理系
固体廃棄物処理系
補助給水系（低温配管該当部分）

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/6)

系統	設計条件 最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度(°C)	分類		設置エリア	
			低エネ	高エネ	原子炉建屋	タービン 建屋
床ドレン・化学廃液系	0.35	66	○*	○	○	○
			○	○	○	○
ストームドレン系	0.34	145	-	○	○	○
			-	○	○	○
廃スラッジ系	1.37	66	-	○	○	○
			-	○	○	○
濃縮廃液系	1.37	66	-	○	○	○
			-	○	○	○
酸化系	1.37	95	-	○	○	○
			-	○	○	○
排水系	0.35	66	○	○	○	○
			○	○	○	○
給水系	1.94	66	○	○	○	○
			○	○	○	○
給水系	15.49	180	-	○	○	○
			-	○	○	○
給水加熱器ドレン系	0.62	302	-	○	○	○
			-	○	○	○
原水ろ過設備	1.94	66	-	○	○	○
			-	○	○	○
排水ろ過設備	0.39	66	○	○	○	○
			○	○	○	○
排水ろ過設備	1.94	66	○	○	○	○
			○	○	○	○

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する  
 ※2 廃棄物処理エリアのみ  
 ※3 排水補給水系の排水量で考慮する  
 ※4 休止設備であり保有水なし  
 ※5 CSTエリア：排水貯蔵タンクエリア  
 ※6 LOTエリア：電源タンクエリア

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/3)

系統	設計条件 運転圧力 (MPa)	運転温度 (°C)	分類		設置エリア	
			低エネ	高エネ	原子炉建屋	タービン 建屋
液体廃棄物処理系	1.01	80	-	○	○	○
			-	○	○	○
固体廃棄物処理系	1.01	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
飲料採取系	0.7	46.1	-	○	○	○
			-	○	○	○
蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274	-	○	○	○
			-	○	○	○
燃料取替用水系	0.87	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
原子炉補給水系(純水)	1.01	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
補助蒸気系	0.7	170	-	○	○	○
			-	○	○	○
水消火系	0.1	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
地下水排水系	1.8	49	-	○	○	○
			-	○	○	○
飲料水系	0.47	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
海水電解装置排水供給・注入系	0.51	40	-	○	○	○
			-	○	○	○
空調用給水系	0.61	26	-	○	○	○
			-	○	○	○
空調用給水系	1.0	10	-	○	○	○
			-	○	○	○

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】  
[記載表現の相違](#)  
[設計方針の相違](#)  
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)  
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。  
 【大飯】  
[記載方針の相違](#)  
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属機(廃熱処理 機エリア)</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> <th colspan="2">タービン 建屋 付属機</th> <th colspan="2">補助 ボイラー 建屋</th> <th colspan="2">機水 ポンプ 建屋</th> <th colspan="2">LOIエ リア</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.86</td> <td>74</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却機</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実用炉加圧水</td> <td>0.85</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱交換器冷却機</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.86</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水系</td> <td>0.75</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水系</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原簿対応配管エリアのみ          ※3 機水冷却給排水系の機水量で考慮する          ※4 休止設備であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										静水圧力 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属機(廃熱処理 機エリア)		タービン 建屋		タービン 建屋 付属機		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		LOIエ リア		管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	固定子冷却給排水系	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱交換器冷却機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	実用炉加圧水	0.85	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱交換器冷却機	1.15	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	固定子冷却給排水系	0.86	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却給排水系	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却給排水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度 (℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属機</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> <th colspan="2">タービン 建屋 付属機</th> <th colspan="2">補助 ボイラー 建屋</th> <th colspan="2">機水 ポンプ 建屋</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>5.25</td> <td>208</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.1</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>3.8</td> <td>220</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.3</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>1.05</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.91</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>3.48</td> <td>271</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却給排水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										静水圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属機		タービン 建屋		タービン 建屋 付属機		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	機水冷却水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	1.2	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	3.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	1.05	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	3.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却給排水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</li> <li>プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</li> </ul>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	静水圧力 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属機(廃熱処理 機エリア)		タービン 建屋		タービン 建屋 付属機		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		LOIエ リア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		管理				井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
固定子冷却給排水系	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
熱交換器冷却機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
実用炉加圧水	0.85	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
熱交換器冷却機	1.15	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
固定子冷却給排水系	0.86	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タービン冷却給排水系	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
タービン冷却給排水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	静水圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属機		タービン 建屋		タービン 建屋 付属機		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水冷却水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
循環水系	1.2	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	3.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	1.05	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	3.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
機水冷却給排水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 245 1167 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉設置場</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラー設備</th> <th rowspan="2">機軸ポンプ室</th> <th rowspan="2">LOTエリア※6</th> </tr> <tr> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>付属種別</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東江原子炉スプレッド</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸冷却水系統</td> <td>2.55</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-循環系</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー-冷却系</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び暖水戻り系</td> <td>1.57</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>○※1</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内蒸気系</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>東江原子炉スプレッド/原子炉発電設備冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>95 (通常運転時) (最高は94~95℃)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原燃物処理エリアのみ          ※3 原本機軸冷却水系統の流量で考慮する          ※4 休止設備であり無圧水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						機軸使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉設置場		タービン建屋		補助ボイラー設備	機軸ポンプ室	LOTエリア※6	原子炉種別	付属種別	付属種別	付属種別	管理	管理	東江原子炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	機軸冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	補助ボイラー-循環系	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	補助ボイラー-冷却系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	加熱蒸気及び暖水戻り系	1.57	204	○	○※1	-	○	○	-	○	○	-	-	-	炉内蒸気系	1.15	85	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	東江原子炉スプレッド/原子炉発電設備冷却水系統	0.64	95 (通常運転時) (最高は94~95℃)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</li> <li>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</li> </ul>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																										
	機軸使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉設置場		タービン建屋		補助ボイラー設備	機軸ポンプ室	LOTエリア※6																																																																																																																																																	
		原子炉種別				付属種別	付属種別	付属種別	管理	管理																																																																																																																																																					
東江原子炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
機軸冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
補助ボイラー-循環系	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
補助ボイラー-冷却系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
加熱蒸気及び暖水戻り系	1.57	204	○	○※1	-	○	○	-	○	○	-	-	-																																																																																																																																																		
炉内蒸気系	1.15	85	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-	-																																																																																																																																																		
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
東江原子炉スプレッド/原子炉発電設備冷却水系統	0.64	95 (通常運転時) (最高は94~95℃)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																	
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸吐出 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">機軸吐出 温度(℃)</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉棟</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> <th rowspan="2">補助 ボイ ラー 棟</th> <th rowspan="2">機水 ポン プ室</th> <th rowspan="2">LOTエ リア ※6</th> <th rowspan="2">LOTエ リア ※5</th> </tr> <tr> <th>機軸吐出 配管</th> <th>機軸吐出 配管</th> <th>機軸吐出 配管</th> <th>機軸吐出 配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>0.38</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン潤滑油系</td> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機軸吐出 配管</td> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 原燃物処理エリアのみ                  ※3 機水供給水系の過水量で考慮する                  ※4 休止設備であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：機水貯蔵タンクエリア                  ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						機軸吐出 圧力 (MPa)	機軸吐出 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉建屋		原子炉棟		タービン 建屋		補助 ボイ ラー 棟	機水 ポン プ室	LOTエ リア ※6	LOTエ リア ※5	機軸吐出 配管	機軸吐出 配管	機軸吐出 配管	機軸吐出 配管	機軸吐出 配管	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	機軸吐出 配管	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機軸吐出 配管	0.59	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	機軸吐出 配管	0.98	66	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	機軸吐出 配管	0.98	66	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	タービン潤滑油系	2.16	79	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	タービン潤滑油系	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	タービン潤滑油系	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	タービン潤滑油系	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	タービン潤滑油系	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	機軸吐出 配管	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	機軸吐出 配管	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</li> <li>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</li> </ul>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																															
	機軸吐出 圧力 (MPa)		機軸吐出 温度(℃)	低エネ	高エネ	原子炉建屋		原子炉棟		タービン 建屋		補助 ボイ ラー 棟	機水 ポン プ室	LOTエ リア ※6	LOTエ リア ※5																																																																																																																																																																																																					
		機軸吐出 配管				機軸吐出 配管	機軸吐出 配管	機軸吐出 配管																																																																																																																																																																																																												
機軸吐出 配管	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	0.59	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	0.98	66	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	0.98	66	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																																																						
タービン潤滑油系	2.16	79	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
タービン潤滑油系	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
タービン潤滑油系	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
タービン潤滑油系	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
タービン潤滑油系	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
機軸吐出 配管	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																						



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 862 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機系使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">機系使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネルギー</th> <th rowspan="2">低エネルギー</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラールーム</th> </tr> <tr> <th>付属機</th> <th>付属機</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非放射能性ドレン移送系</td> <td>0.39</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 廃棄物処理エリアのみ                  ※3 復水冷却水系の排水量で考慮する                  ※4 休止容量であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：復水貯蔵タンクエリア                  ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができる」と定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				機系使用圧力(MPa)	機系使用温度(℃)	高エネルギー	低エネルギー	原子炉建屋		タービン建屋		補助ボイラールーム	付属機	付属機	管理	管理	非放射能性ドレン移送系	0.39	66	-	○	○	○	-	○	-	-	炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	-	-	-	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができる」と定められている。</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大飯、高浜、美浜と同様）                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大飯も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																										
	機系使用圧力(MPa)		機系使用温度(℃)	高エネルギー	低エネルギー	原子炉建屋		タービン建屋		補助ボイラールーム																																					
		付属機				付属機	管理	管理																																							
非放射能性ドレン移送系	0.39	66	-	○	○	○	-	○	-	-																																					
炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	-	-	-																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																												
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーバランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p><b>【女川】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による相違  <u>記載表現の相違</u>                      BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p> <p><b>【女川】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違                      ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p> <p><b>【大飯】</b>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>																																																																																												
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統。                  ※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーバランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーバランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式（X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A):0.05% (B):0.05%</td> <td>(A):(63h)/(133921h)=0.05% &lt; 1% (B):(63h)/(133921h)=0.05% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%</td> <td>(A):(28h)/(133921h)=0.03% &lt; 1% (B):(23h)/(133921h)=0.02% &lt; 1% (C):(14h)/(133921h)=0.02% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10%</td> <td>(133h)/(133921h)=0.10% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15%</td> <td>(189h)/(133921h)=0.15% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08%</td> <td>(99h)/(133921h)=0.08% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）</td> <td>0.01%</td> <td>(3h)/(133921h)=0.01% &lt; 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）                  ※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検解除（平成22年11月）</p>	系統	運転時間割合	計算式（X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> ）	ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63h)/(133921h)=0.05% < 1% (B):(63h)/(133921h)=0.05% < 1%	残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28h)/(133921h)=0.03% < 1% (B):(23h)/(133921h)=0.02% < 1% (C):(14h)/(133921h)=0.02% < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133h)/(133921h)=0.10% < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189h)/(133921h)=0.15% < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99h)/(133921h)=0.08% < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）	0.01%	(3h)/(133921h)=0.01% < 1%	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式（X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>(A):0.85% (B):0.85%</td> <td>(A):(176h)/(20,760h)=0.85% &lt; 1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03% &lt; 1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系（電動補助給水ポンプ）</td> <td>(A):0.11% (B):0.03%</td> <td>(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11% &lt; 1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）</td> <td>0.05%</td> <td>(9h)/(20,760h)=0.05% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03% &lt; 1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03% &lt; 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）                  ※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検解除（平成24年5月）</p>	系統	運転時間割合	計算式（X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> ）	余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85% < 1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85% < 1%	原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03% < 1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03% < 1%	補助給水系（電動補助給水ポンプ）	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11% < 1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03% < 1%	補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05% < 1%	安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03% < 1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03% < 1%
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>																																																																																													
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																													
格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																													
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																													
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																													
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%																																																																																													
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																													
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																													
安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																													
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																													
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																													
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																													
補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																													
系統	運転時間割合	計算式（X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> ）																																																																																													
ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63h)/(133921h)=0.05% < 1% (B):(63h)/(133921h)=0.05% < 1%																																																																																													
残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28h)/(133921h)=0.03% < 1% (B):(23h)/(133921h)=0.02% < 1% (C):(14h)/(133921h)=0.02% < 1%																																																																																													
低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133h)/(133921h)=0.10% < 1%																																																																																													
高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189h)/(133921h)=0.15% < 1%																																																																																													
原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99h)/(133921h)=0.08% < 1%																																																																																													
加熱蒸気及び復水戻り系（原子炉隔離時冷却系タービンテストライン）	0.01%	(3h)/(133921h)=0.01% < 1%																																																																																													
系統	運転時間割合	計算式（X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> ）																																																																																													
余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85% < 1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85% < 1%																																																																																													
原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03% < 1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03% < 1%																																																																																													
補助給水系（電動補助給水ポンプ）	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11% < 1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03% < 1%																																																																																													
補助給水系（タービン駆動補助給水ポンプ）	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05% < 1%																																																																																													
安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03% < 1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03% < 1%																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
<p style="text-align: right;">補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sa)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器 ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護 区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="6">H S C R</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B2F-1</td> <td rowspan="5">H S C R</td> <td>20A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-2</td> <td rowspan="3">H S</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RCIC-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>C-1F-3</td> <td>H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23		H S C R	25A-HSCR-220	STPA23	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		R-B2F-1	H S C R	20A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		20A-HSCR-466-1		R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	STS42	100A-RCIC-6-2		制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38	C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">補助蒸気系配管*</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>主蒸気系(主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370	原子炉補助建屋	STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370	原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。(大飯, 高浜, 美浜, 玄海, 川内, 伊方と同様)</li> <li>・建屋名称, 対象系統, 材質の相違。</li> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様)</li> <li>・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																							
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																								
主蒸気系																																																																																																										
主給水系																																																																																																										
蒸気発生器 ブローダウン系																																																																																																										
補助給水系																																																																																																										
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																								
設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																							
			ライン番号	材質																																																																																																						
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																						
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																						
	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38																																																																																																						
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																						
	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																						
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																						
		H S C R	25A-HSCR-220	STPA23																																																																																																						
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																						
			40A-IS-110	STPT38																																																																																																						
			200A-HSCR-152-2																																																																																																							
			200A-HSCR-153																																																																																																							
			100A-HSCR-152-3																																																																																																							
	R-B2F-1	H S C R	20A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																						
			40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																						
			25A-HSCR-159																																																																																																							
25A-HSCR-206																																																																																																										
20A-HSCR-466-1																																																																																																										
R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																							
R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38																																																																																																							
		20A-IS-562-1	STS42																																																																																																							
		100A-RCIC-6-2																																																																																																								
制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																						
			C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																				
設置エリア	対象配管	材質																																																																																																								
原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370																																																																																																								
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																								
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																								
原子炉補助建屋		主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>と、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計による系統の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は<math>S_n</math>（一次応力+二次応力）が許容応力<math>S_a</math>の0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することにしているが、泊はそれに加えて、許容応力<math>S_a</math>の0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することにしている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違                      女川審査実績の反映                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>b. <math>S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75h_1(M_a + M_b) + h_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)  <math>h_1, h_2</math> : 応力係数  <math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)  <math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)  <math>M_b</math> : 管の機械的荷重(透し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)  <math>D_o</math> : 管の外径 (mm)  <math>t</math> : 管の厚さ (mm)  <math>M_a</math> : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_s = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f)S_h</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)  <math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)  <math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p>	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系配管は、通年（運転時、定検時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p>	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）配管は、通年（運転時、定期事業者検査時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない。<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計による系統の相違  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 1129 1189 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 1129 1756 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT38の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math>（MPa）（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT370の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 116.25 + 134.85</math>  <math>= 116 + 134</math>（小数点以下を切り捨て）<math>= 250</math></p> <p>したがって、<math>0.8Sa = 0.8 \times 250 = 200</math>（MPa）、<math>0.4Sa = 0.4 \times 250 = 100</math>（MPa）となる。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による材質の相違。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）                      ・Saが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することとしているため、0.8Saの算出について記載している。  <u>記載方針の相違</u>                      ・0.8Sa及び0.4Saの算出における小数点以下の切り捨て処理は、STPT370の計算においては発生しないため、記載しない。                      ・泊でも小数点以下の数字がある場合は、切り捨てを実施している。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200A-HS-100-1, 200A-HSCR-152-2, 200A-HSCR-153 100A-HSCR-152-3, 25A-HSCR-220, 20A-HSCR-452-1 40A-HSCR-208, 25A-HSCR-159, 25A-HSCR-206, 25A-HSCR-466-1 100A-RCIC-6-2（原子炉隔離時冷却水系としては最高使用温度302℃, 8.62MPa）最高使用温度：188℃ 最高使用圧力：0.96MPa</li> <li>・20A-HS-562-1, 40A-HS-110, 50A-HS-4, 100A-HS-109, 250A-HS-3, 最高使用温度：204℃ 最高使用圧力：1.57MPa</li> </ul>	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa</li> <li>・蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> <li>・主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> </ul>	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa</li> <li>・蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> <li>・主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、3次元はりモデル解析を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法による評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析を実施している。（大阪、川内、玄海と同様）</li> </ul> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設計による系統の相違。</li> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はないが、3次元はりモデル解析を実施する一部の配管については解析モデル図で対象配管を明確にしている。（後段の9-別添1-添13-8の大阪の図1を参照。）</li> <li>・系統の相違による最高使用温度、最高使用圧力の相違。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 391 676 529"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                  まとめ資料 p. 1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 662 660 817"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                       SOLVER Rev. 02.05</p> <p>(4) その他                      100A-RCIC-6-2 については、運転期間が短期間（プラントの通常運転時の 1% より小さい）であることから、低エネルギー配管に分類した上で、評価を実施する。</p>	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                      ・標準支持間隔法                      SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0                      ・3次元はりモデル解析                      MSAP PCI.0 版</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。                      ・SPANコードについては、大飯も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。                      ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PCI.0 版」を用いている。本解析コードについては、先行PWRの資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</p> <p>【大飯】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載内容の相違</u>                      女川は区画内のHS系について抽出した上で、HS系に含まれているRCIC配管の運転時間が短期間で低エネルギー配管であることを記載している。泊では、その他として記載する内容は無い。</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。（評価フローについては、大飯と同様）</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違                  大飯の図の名称が評価フロー、タイトルが設定フローとなっているため、泊ではタイトルと図の名称の統一を図り、評価フローとして記載する。</p>
<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.8Saを下回っていることを確認した。したがって、高エネルギー配管に想定する破損形状は貫通クラックとした。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（加熱蒸気系）の想定破損除外の評価結果</p> <p>評価の結果、加熱蒸気系及び復水戻り系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系、主蒸気系）の応力評価結果</p> <p>評価の結果、補助蒸気系配管の応力は <math>0.4S_a &lt; S_n \leq 0.8S_a</math> となり、貫通クラックを適用できることを確認した。また、蒸気発生器ブローダウン系及び主蒸気系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管もあるため、応力評価結果としている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      ・女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力 <math>S_n</math> の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違。                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p>
<p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 <math>S_s</math> に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>対象とした加熱蒸気系配管のモデル図を図1~3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3に示す。</p>	<p>対象とした補助蒸気系配管、蒸気発生器ブローダウン系配管及び主蒸気系配管のモデル図を図2,3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3,4に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による系統の相違  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																				
<p>【玄海3 / 4号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補3-1-16 より抜粋                      表-1 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 335 667 414"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値※ 0.8Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>1-1/2B-sch40</td> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>101</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)	A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 217 1263 989"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td>HS-002 (200A-HS-100-1)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>48</td> <td>66<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>49<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R-1F-12</td> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>79</td> <td>92<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B1F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>85<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>77</td> <td>100<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (25A-HSCR-220)</td> <td colspan="5">評価除外 (25A以下)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R-B2F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>91<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-123)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>64</td> <td>88<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-127)</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>59</td> <td>84<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>72</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>105<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-153)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>45<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>95<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100	R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100	R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)						R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果（貫通クラック）</p> <table border="1" data-bbox="1290 217 1854 335"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.8Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>22.1</td> <td>32.3</td> <td>100</td> <td>159</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊は想定破損除外を適用する他に、貫通クラックを適用するパターンがあり、想定破損除外と貫通クラックで許容値が異なるため、表3（貫通クラック）と表4（想定破損除外）に分けて記載している。                      ・女川は、溢水防護区画内の応力評価が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。一方、泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載しない。（玄海と同様）                      ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として補助蒸気配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																		
A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170																																																																																																																																																		
区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)																																																																																																																																																					
R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169																																																																																																																																																

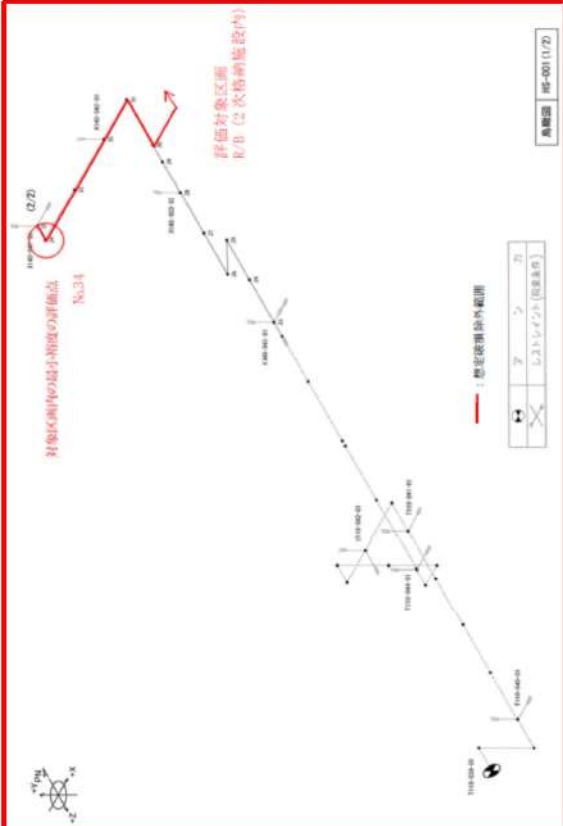
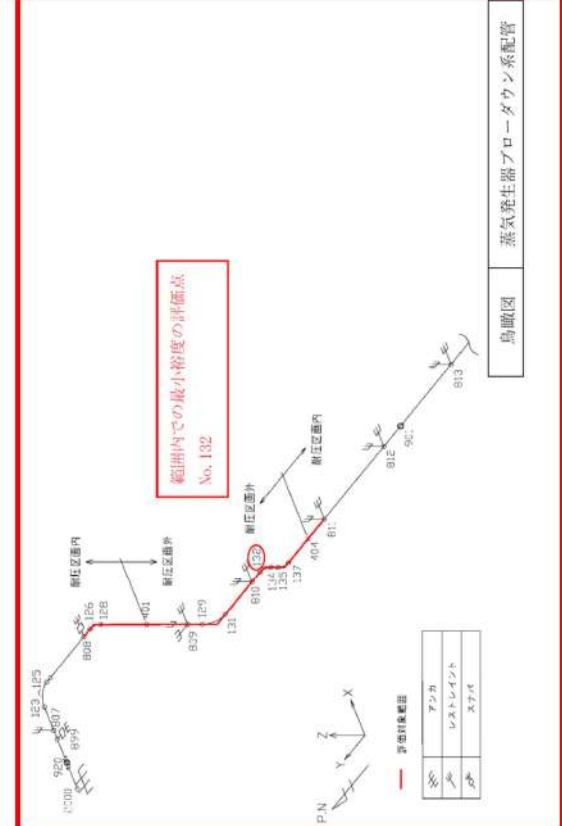
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

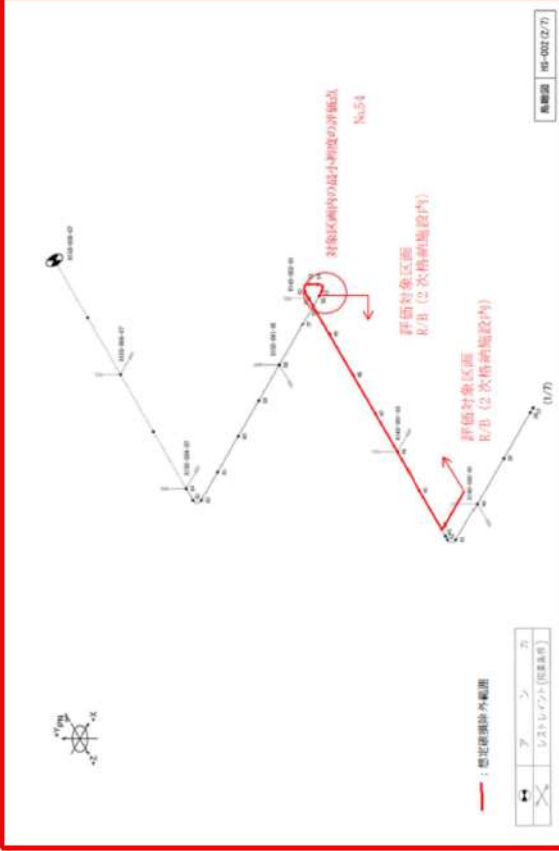
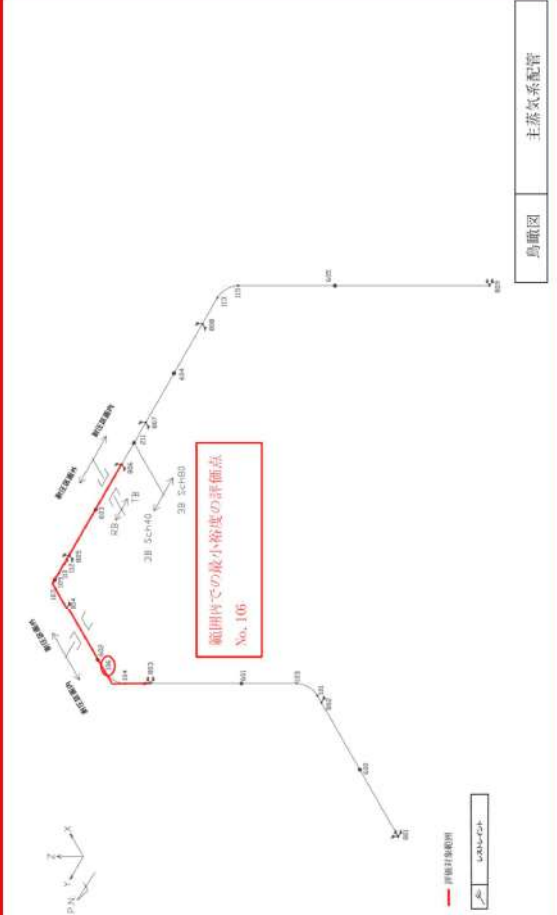
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B2F-1</td> <td>HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)</td> <td colspan="5" rowspan="2">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)</td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>85</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B3F-2</td> <td>HS-130 (20A-HS-129)</td> <td colspan="5" rowspan="5">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>HS-104 (20A-HS-733)</td> </tr> <tr> <td>HS-105 (20A-HS-734)</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>87</td> <td>97<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>68</td> <td>88<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>47<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対新機)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)						HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)	R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100	R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)						HS-104 (20A-HS-733)	HS-105 (20A-HS-734)	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)		C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111	C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111	<p>表4 最大応力発生箇所における応力評価結果(想定破損除外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器ブロー ダウン系配管</td> <td>3</td> <td>33.3</td> <td>0.6</td> <td>32.9</td> <td>13.3</td> <td>81</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管</td> <td>3</td> <td>32.9</td> <td>0.4</td> <td>57.7</td> <td>1.5</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100	主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																														
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)																																																																																																							
R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HS-104 (20A-HS-733)																																																																																																							
	HS-105 (20A-HS-734)																																																																																																							
	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)																																																																																																							
C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																	
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100																																																																																																	
主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 217 1272 453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="4">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非管理 区域 (T/D)</td> <td>HSCR-003 (150A-HSCR-79)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>60<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>102<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (50A-HSCR-75)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>85</td> <td>110<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)				許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>・泊でも3次元よりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																											
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力																															
非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111																													
	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111																													
	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111																													

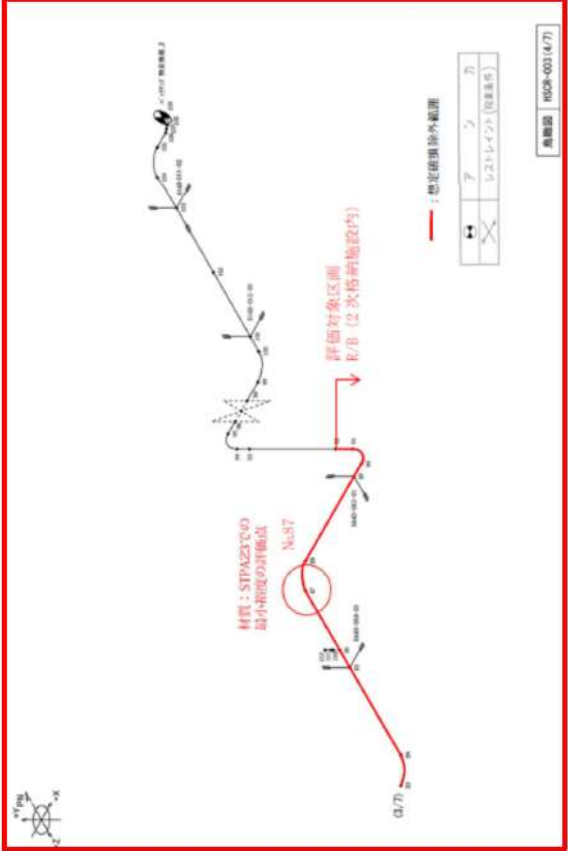
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p>
	<p>図1 HS-001 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>	<p>図2 蒸気発生器ブローダウン系配管 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違</p>

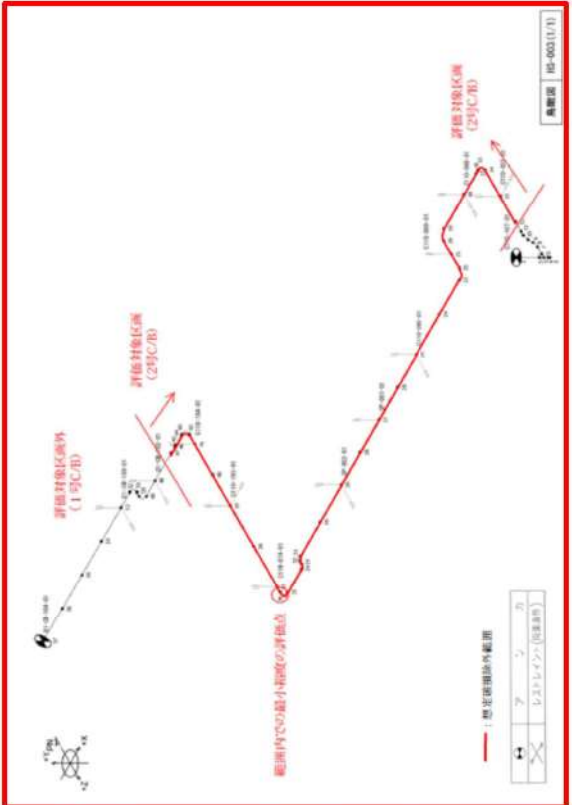
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1136 1182 1161">図2 HS-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1339 1136 1809 1161">図3 主蒸気系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1872 178 1935 204">【女川】</p> <p data-bbox="1872 210 2123 268">設計方針の相違 応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1872 1104 1935 1129">【女川】</p> <p data-bbox="1872 1136 1998 1161">記載表現の相違</p>



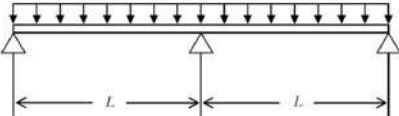
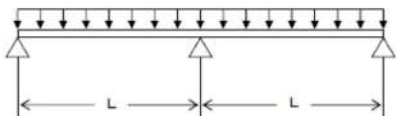
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="707 1136 1272 1161">図3 HSCR-003 解析モデル図（STPA23 最小裕度の範囲）（1/2）</p>		<p data-bbox="1881 185 2134 271">【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                      応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1881 1034 2134 1091">【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="703 997 1272 1021">図3 HS-003 解析モデル図 (STPT38 最小裕度の範囲) (2/2)</p>		<p data-bbox="1874 177 2136 268">【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 962 2136 1021">【女川】  <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>本件の想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管と低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動 <math>S_d</math> に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1. 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動 <math>S_d</math> による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2. 直管部の支持間隔</p> <p>2.2.1. 解析モデル</p> <p>各種配管を図5のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図5 標準支持間隔法の解析モデル</p>		<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気系統配管及び低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1 標準支持間隔法の解析モデル</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、想定破損における一次応力を算出するために標準支持間隔法を用いている。一方、女川では溢水影響評価に必要な配管について、3次元はりモデル解析を実施しているため、別紙の内容については、大飯の資料との比較を実施する。</p> <p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>2.2.2.解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表2のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表2 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="118 560 680 715"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ E.L.+(m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>低:17.1、26.0、33.6、47.3</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>周辺建屋</td> <td>高:33.6~17.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td>低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:33.6~15.8、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p> <p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図6に示す。</p>	建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)	原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0	周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0	制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0		<p>2.2.2 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1292 560 1854 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (FH/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWP/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p> <p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図2に示す。</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWP/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 プラント設計による建屋名称、床応答曲線高さ、減衰の相違。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p>
建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)																																					
原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0																																					
周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0																																					
	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)																																					
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																					
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																					
燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																					
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																					
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																					
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																					
循環水ポンプ建屋 (CWP/B)	低:10.05	0.5、2.0																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3)Sd <sup>®</sup>
減衰	DEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線容れめ	有
床応答曲線ヒーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 別冊書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表		標準支持間隔表	
炭素鋼, 減衰○	格高	EL. Cm	EL. Om
仕様		EL. Om	EL. Om
○B Sch○		○, Cm (○MPa)	○, Om (○MPa)
...			

比較

施工図

図6 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」  
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf>

女川原子力発電所2号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3) Sd
減衰	圧高等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線容れめ	有
床応答曲線ヒーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 付属書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表		標準支持間隔表	
炭素鋼, 減衰○%	格高	T.P. Cm	T.P. Om
仕様		T.P. Cm	T.P. Om
○B Sch○		○, Cm (○MPa)	○, Om (○MPa)
...			

比較

施工図

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

泊発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3) Sd
減衰	圧高等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線容れめ	有
床応答曲線ヒーク保持	有
NS・EV包括	有

※スペクトル波と断層波を包括

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 付属書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表		標準支持間隔表	
炭素鋼, 減衰○%	格高	T.P. Cm	T.P. Om
仕様		T.P. Cm	T.P. Om
○B Sch○		○, Cm (○MPa)	○, Om (○MPa)
...			

比較

施工図

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

相違理由

【大飯】  
 記載表現の相違

【大飯】  
 記載方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料14）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙2）</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>配管破損を想定する系統の低エネルギー配管について、溢水ガイド附属書A の低エネルギー配管の評価対象（25A 以上）に対し、許容応力の0.4 倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>本資料は低エネルギー配管の応力評価とその結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																												
<p>補足資料3-2</p>	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p>	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (1/2)</p>	<p>【女川】</p>																																																																																																																																																																																																																												
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p>	<p>設置エリア</p>	<p>設置エリア</p>	<p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p>																																																																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器 スプレイ系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却 浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器 スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却 浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW</td> <td>50A-HNCW-41</td> <td></td> <td>STPG38</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-3</td> <td rowspan="3">RHR (A)</td> <td>350A-RHR-2-1</td> <td></td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-24-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-33</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td rowspan="2">RHR (B)</td> <td>350A-RHR-4-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-25-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-7</td> <td rowspan="3">RHR (C)</td> <td>350A-RHR-6-1</td> <td></td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-26-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td rowspan="2">LPCS</td> <td>300A-LPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-LPCS-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td rowspan="2">HPCS</td> <td>300A-HPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-HPCS-6-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">RCIC</td> <td>100A-RCIC-3-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-RCIC-5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質	ライン番号		原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42	100A-RHR-24-1		100A-RHR-33		R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1		STS42	100A-RHR-25-1		R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42	100A-RHR-41		100A-RHR-26-1		R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42	50A-LPCS-7		R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42	100A-HPCS-6-1		R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42	50A-RCIC-5		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉 建屋</th> <th>原子炉 補助建屋</th> <th>循環水 ポンプ 建屋</th> <th>ディーゼル 発電機 建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（充てん）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（抽出）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（その他）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>安全注入系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370 SM400A STPT370</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却 系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>STPG370 STPV400 SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>試料採取系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（脱塩水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（海水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉 建屋	原子炉 補助建屋	循環水 ポンプ 建屋	ディーゼル 発電機 建屋	1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP	安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP	余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP	原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370	使用済燃料ピット水浄化冷却 系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPV400 SUS304TP	液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP	固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP	試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP	<p>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</p> <p>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大飯と同様）</p> <p>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</p> <p>・泊では低エネルギー配管に対しては、大飯と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  女川の審査実績を反映し、想定破損除外を適用する系統、設置エリア、材質を表で読み取れるように記載する。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																																													
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																																																																																																																																																													
格納容器 スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																																																																																																																																																													
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%																																																																																																																																																																																																																													
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																													
燃料ピット冷却 浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																													
安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																																																																																																																																																													
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																																																																																																																																																													
固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質																																																																																																																																																																																																																										
			ライン番号																																																																																																																																																																																																																												
原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38																																																																																																																																																																																																																										
	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			100A-RHR-24-1																																																																																																																																																																																																																												
			100A-RHR-33																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			100A-RHR-25-1																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			100A-RHR-41																																																																																																																																																																																																																												
			100A-RHR-26-1																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
50A-LPCS-7																																																																																																																																																																																																																															
R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																											
		100A-HPCS-6-1																																																																																																																																																																																																																													
R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42																																																																																																																																																																																																																											
		50A-RCIC-5																																																																																																																																																																																																																													
対象配管	設置エリア				材質																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉 建屋	原子炉 補助建屋	循環水 ポンプ 建屋	ディーゼル 発電機 建屋																																																																																																																																																																																																																											
1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ピット水浄化冷却 系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPV400 SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
<p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベイランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベイランスで代表しても評価に影響しない。</p>																																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1281 252 1861 635"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>水消火系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系配管</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>飲料水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>補助給水系配管</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>所内用水系配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水ストレージ排水系配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備配管</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>SGP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	補助蒸気系配管	○	○	-	-	STPG370	水消火系配管	○	○	-	○	STPG370	地下水排水系配管	-	○	-	-	STPG370	飲料水系配管	○	○	-	-	STPG370	空調用冷水系配管	○	○	-	-	STPG370	補助給水系配管	○	-	-	-	SUS304TP	所内用水系配管	-	-	○	-	SUS304TP	海水電解装置海水供給・注入系配管	-	-	○	-	SUS304TP	海水ストレージ排水系配管	-	-	○	-	STPG370	海水淡水化設備配管	-	-	○	-	SGP	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大飯と同様）</li> <li>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</li> <li>・泊では低エネルギー配管に対しては、大飯と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</li> </ul>
対象配管	設置エリア				材質																																																																				
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																					
補助蒸気系配管	○	○	-	-	STPG370																																																																				
水消火系配管	○	○	-	○	STPG370																																																																				
地下水排水系配管	-	○	-	-	STPG370																																																																				
飲料水系配管	○	○	-	-	STPG370																																																																				
空調用冷水系配管	○	○	-	-	STPG370																																																																				
補助給水系配管	○	-	-	-	SUS304TP																																																																				
所内用水系配管	-	-	○	-	SUS304TP																																																																				
海水電解装置海水供給・注入系配管	-	-	○	-	SUS304TP																																																																				
海水ストレージ排水系配管	-	-	○	-	STPG370																																																																				
海水淡水化設備配管	-	-	○	-	SGP																																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>b. <math>S_n = \frac{P_e D_o}{4t} + \frac{0.75 I_1 (M_a + M_b) + I_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)</p> <p><math>I_1, I_2</math> : 応力係数</p> <p><math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)</p> <p><math>M_b</math> : 管の機械的荷重(逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>D_o</math> : 管の外径 (mm)</p> <p><math>t</math> : 管の厚さ (mm)</p> <p><math>M_a</math> : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>d. <math>S_a = 1.25 f_s + (1.2 + 0.25 f) S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p><math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: right;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p> </div>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_h \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)          (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2、3又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」の「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_h \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)          (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7,000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7,000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>【大飯】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>          泊は想定破損除外の対象となる低エネルギー配管にクラス3配管が含まれていることによる相違。          (大飯と同様)</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>          泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法を用いて応力評価を実施している。</p> <p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>          ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない。<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。          ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 209 1189 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG38 の場合）を代入し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1391 209 1753 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=97MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG370 の場合）を代入し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 79 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 79</math>  <math>= 98.75 + 114.55</math>  <math>= 98 + 114</math>（小数点以下を切り捨て）= 212</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 212 = 84.8 \rightarrow 84</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>相違理由</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      ・プラント設計による材質の相違。                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）</p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1265 855"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>66</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>RHR</td> <td>196<sup>※1</sup></td> <td>3.73</td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>100</td> <td>4.42</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>100</td> <td>10.79</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td>66</td> <td>11.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 RHR(A),(B)系については、S/C吸込弁が「閉」となっている運転モードを除いた場合のRHR(A),(B)系の最高使用温度となる100°Cで評価を実施した。</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	HNCW	66	1.28	RHR	196 <sup>※1</sup>	3.73	LPCS	100	4.42	HPCS	100	10.79	RCIC	66	11.78	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 743 1848 842"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低エネルギー配管 全系統</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>1.9<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 低エネルギー配管の上限値</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、代表ブロックに対して、3次元はりモデル解析による確認を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法により評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析による確認を実施する評価フローとなっている。(大飯と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊では、全ての低エネルギー配管に対して、低エネルギー配管の上限値である温度及び圧力を設定して解析を行っている。(大飯と同様)</p>
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
HNCW	66	1.28																									
RHR	196 <sup>※1</sup>	3.73																									
LPCS	100	4.42																									
HPCS	100	10.79																									
RCIC	66	11.78																									
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 255 676 395"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                      まとめ資料 p.1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 523 660 679"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(3) 解析コード</p> <p>SOLVER Rev.02.05                      ISAP-III</p>	<p>(3) 解析コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準支持間隔法 SPAN2000 Ver.4.0 Ver.5.0 Ver.6.0</li> <li>3次元はりモデル解析 MSAP PC1.0版</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。（大阪と同様）</li> <li>SPANコードについては、大阪も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。</li> <li>泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PC1.0版」を用いている。本解析コードについては、先行の資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p><u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、別紙1図1「高エネルギー配管の破損形状の評価フロー」と同じである。</p> <p>【大飯3号炉】                  まとめ資料 p.2-9-別1補-174より抜粋</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <p>図1 低エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  大飯では、低エネルギー配管の破損形状の評価フローについて、高エネルギー配管と同様としているが、実際には低エネルギー配管においては、許容応力0.4Saを満足することを確認しているため、記載を適正化している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.4Saを下回っていることを確認した。したがって低エネルギー配管に破損を想定する必要はないことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動Ssに対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> </div>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図1~12に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図2に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に、<b>低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果を表5</b>に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力Snの数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象配管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

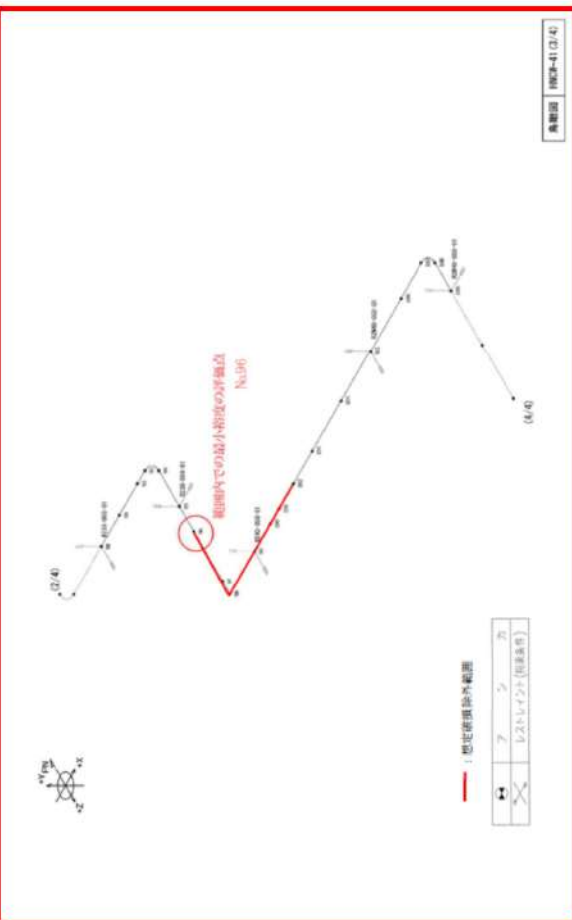
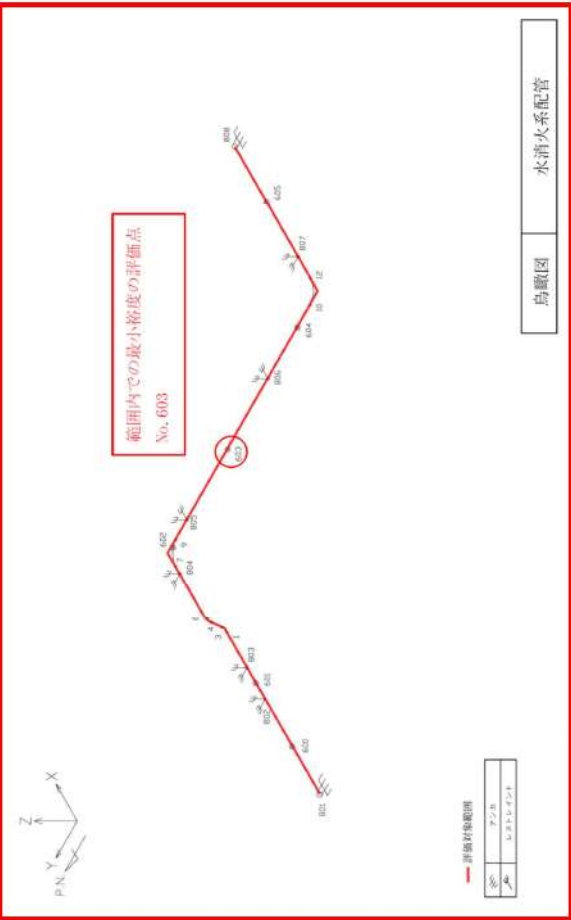
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補3-1-18 より抜粋                      表-3 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 327 667 391"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>目. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>2B-sch40</td> <td>水消火系統配管</td> <td>80</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	目. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 247 1265 933"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW-41 (50A-HNCW-41)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td>KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>81</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-116 (100A-KRR-24-1)</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>73</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td>KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>77</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>81</sup> (100A-KRR-25-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td>KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>54</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>81</sup> (100A-KRR-26-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td>LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>51</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>39</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100	R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102	R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102	KRR-146 <sup>81</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102	KRR-146 <sup>81</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-4	LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 247 1848 367"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統配管</td> <td>4</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>0.0</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>表5 低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1285 486 1848 638"> <thead> <tr> <th>配管名</th> <th>評価方法</th> <th>建屋</th> <th>T.P. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>一次応力+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表配管 (水消火系)</td> <td>3次元はりモデル解析</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>40.3</td> <td>4B Sch40</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全評価対象配管</td> <td>標準支持間隔法</td> <td colspan="5">建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84	配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84	全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。					<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・泊では、低エネルギー配管については、建設時と同様に、室温との温度差が有意でないとし、熱応力を考慮していない。（大飯と同様）</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> <li>・代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</li> </ul> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として水消火系統配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。玄海では、代表配管ブロックのみについて、評価を示している。</p>
建屋	目. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																					
A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85																																																																																																																																					
区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100																																																																																																																																			
R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102																																																																																																																																			
	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102																																																																																																																																			
R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>81</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>81</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-4	LPCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102																																																																																																																																			
	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102																																																																																																																																			
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84																																																																																																																																			
配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																				
代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84																																																																																																																																				
全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

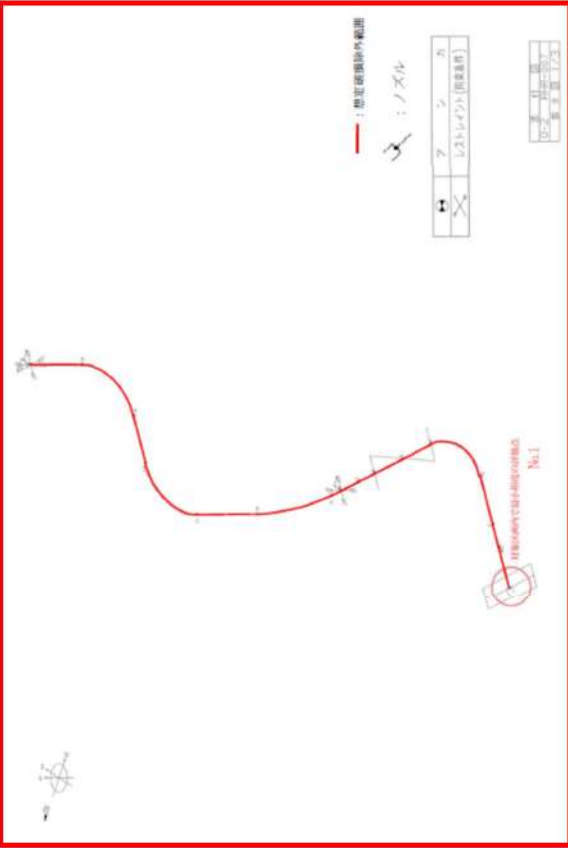
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="698 204 1267 539"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4S<sub>0</sub> (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td>HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)</td> <td>34</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>53</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>48</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-2</td> <td>RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRC1C-121 (50A-RC1C-5)</td> <td>15</td> <td>47</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>90</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 KMR-146については、R-B3F-6及びR-B3F-7の両区画内で最小裕度となる箇所の評価結果を記載する。</p>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4S <sub>0</sub> (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102	R-B3F-2	RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)	25	21	21	3	70	102	KRC1C-121 (50A-RC1C-5)	15	47	16	12	90	102		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> </ul>
区画番号	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4S <sub>0</sub> (MPa)																																				
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																								
R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102																																							
	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102																																							
R-B3F-2	RC1C-002 (100A-RC1C-2-1) (100A-RC1C-3-1) (50A-RC1C-5)	25	21	21	3	70	102																																							
	KRC1C-121 (50A-RC1C-5)	15	47	16	12	90	102																																							



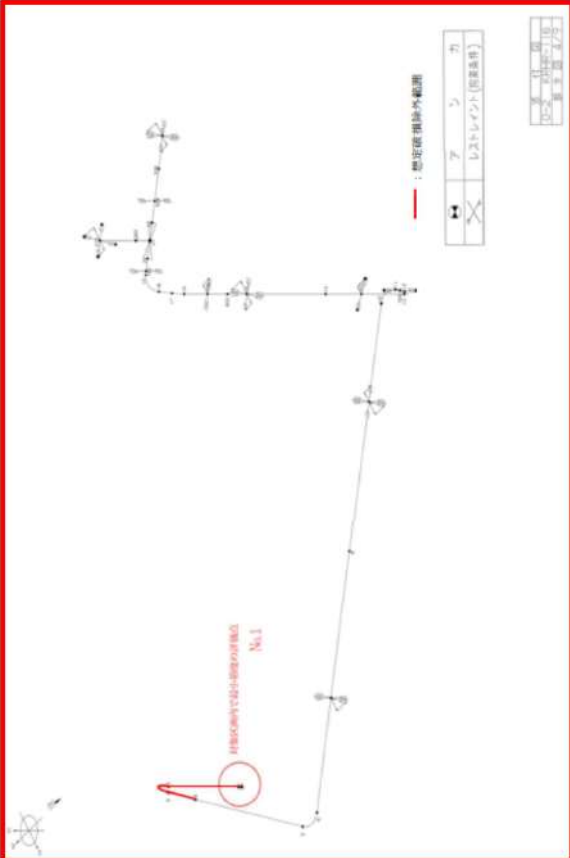
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1134 1189 1158">図1 HNCW-41 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1346 1134 1794 1158">図2 水消火系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1874 177 2136 272">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 863 2136 919">【女川】                  記載表現の相違</p>

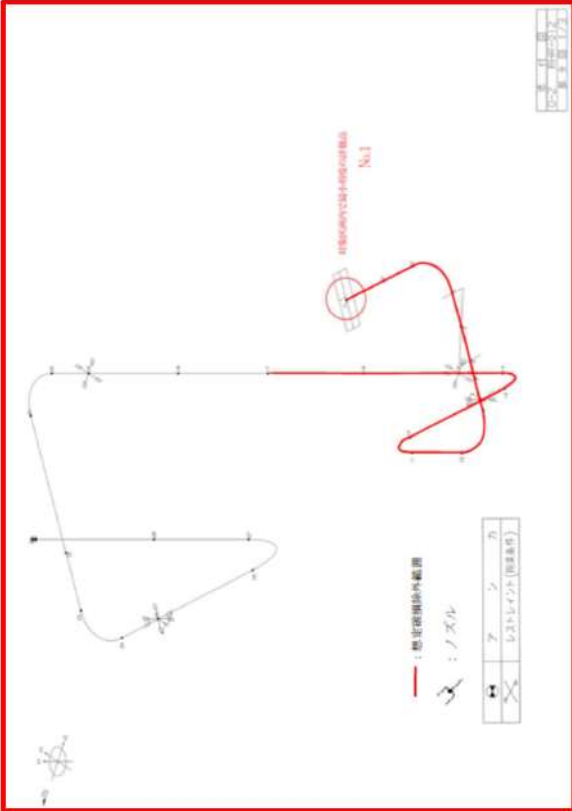
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1066 1191 1088">図2 RHR-007 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1881 178 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1881 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1881 248 2134 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

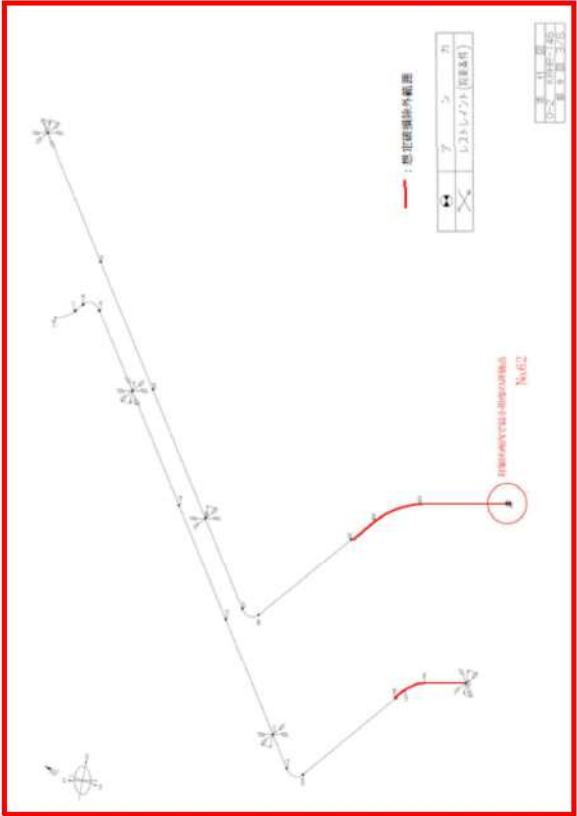
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1061 1198 1093">図3 KRHR-116 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1034 1191 1056">図4 RHR-012 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1937 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2136 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1029 1191 1054">図5 KRHR-146 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2130 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

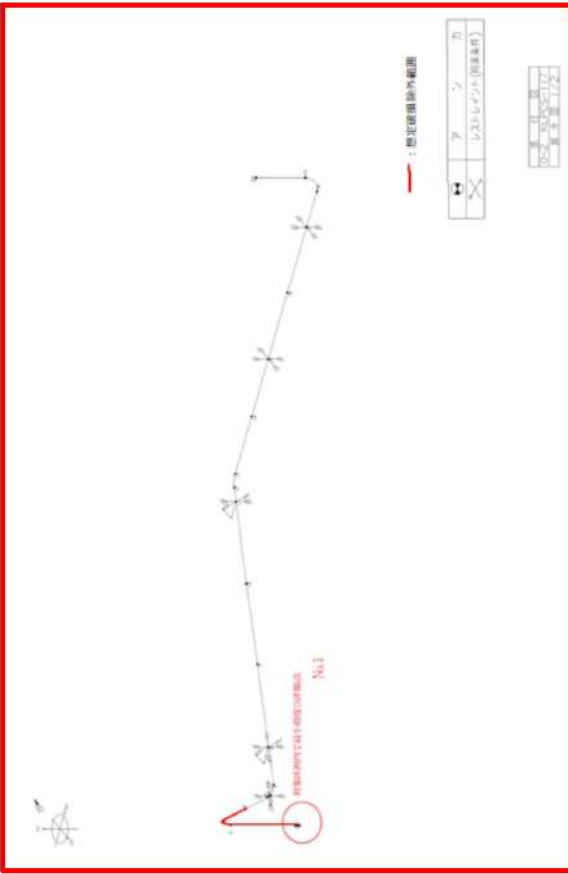
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図6 RHR-017 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p>【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

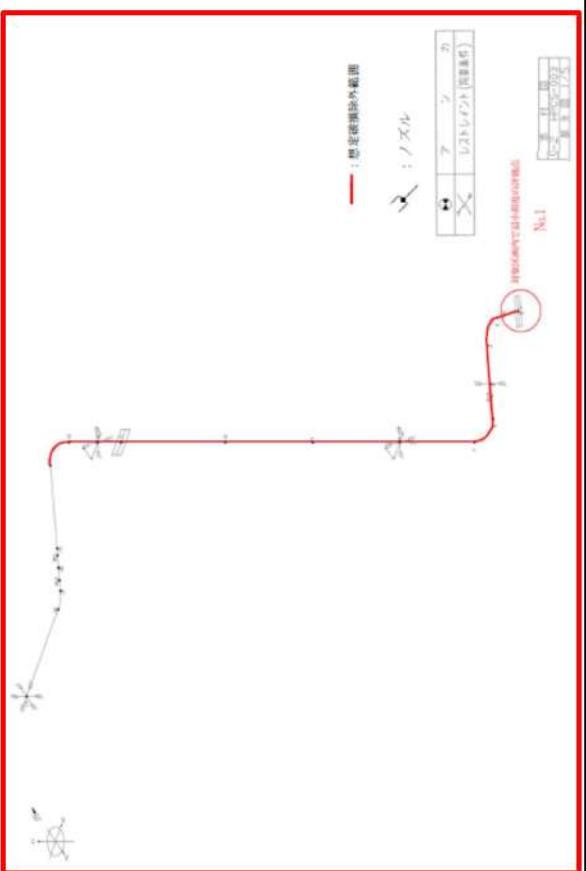
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1191 1088">図7 LPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1930 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

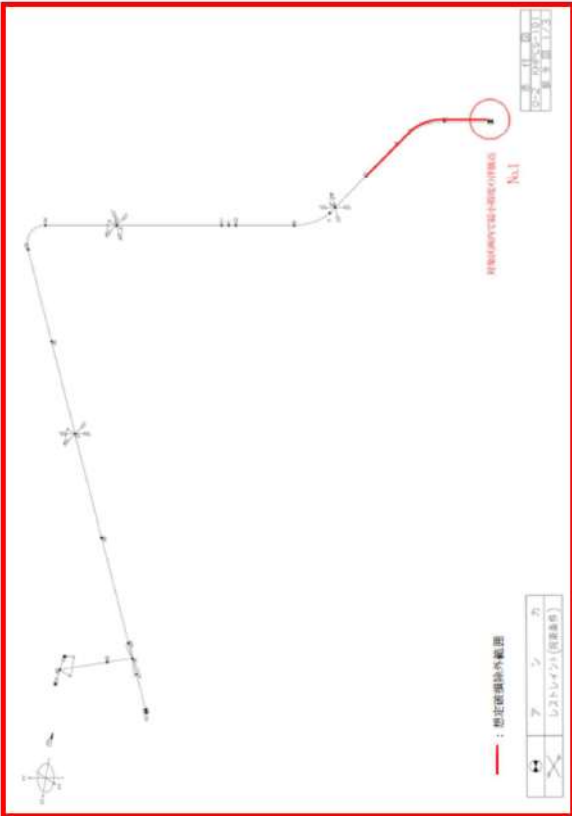
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 1066 1196 1090">図8 KLPCS-117 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 180 1933 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2128 272">応力評価の対象とした系統の相違</p>



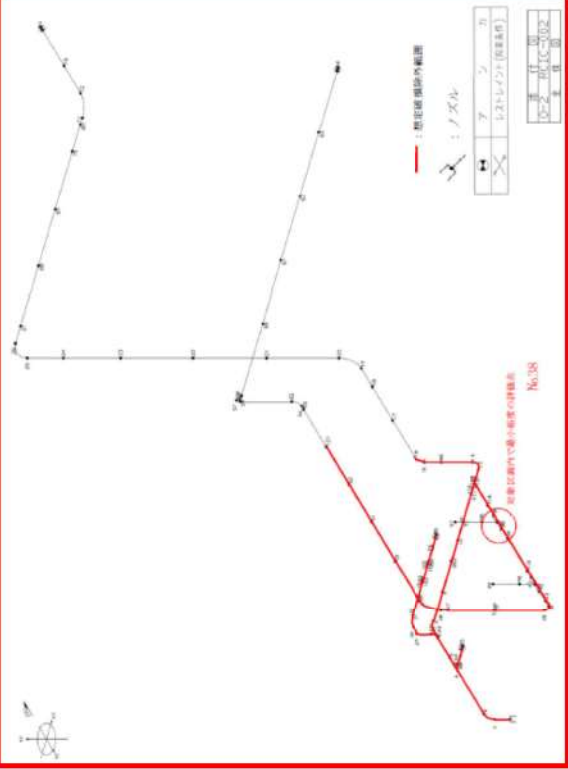
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図9 HPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p>【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p>

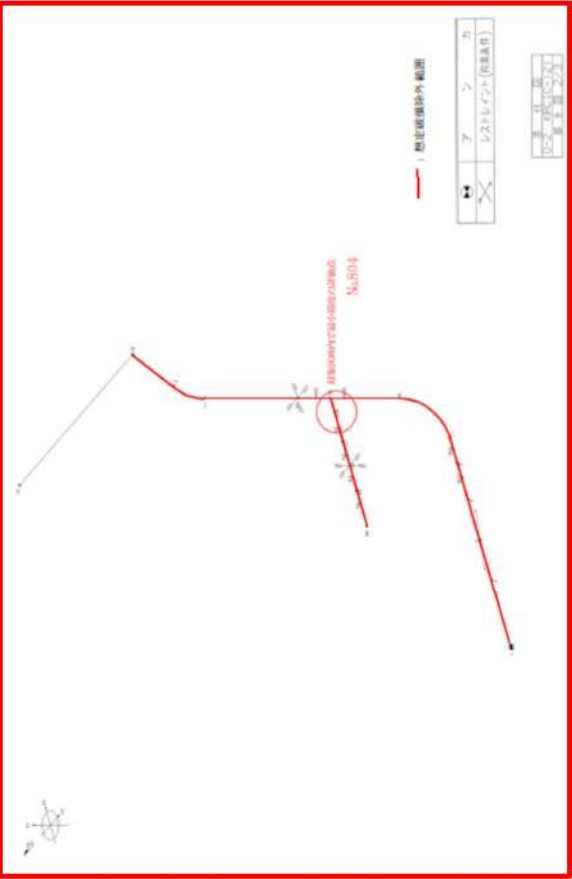
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1029 1200 1054">図10 KHPCS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2134 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="761 963 1196 986">図 11 RCIC-002 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1877 181 1935 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 2002 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1098 1200 1123">図12 KRCIC-121 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2128 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料15）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 10</p> <p>1. 減肉管理の概要</p> <p>「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」では、「2.2 減肉等による破損」の想定にあたっては、「注2）設計や管理と破損の想定について」のただし書きとして、「減肉対策として当該部分の肉厚の測定を非破壊検査によって定期的実施している等、当該部位の材料のき裂状況及び減肉状況を定期的に直接把握している場合は、破損による漏えいを確実に防止できることから、破損を想定しなくてもよい。」とあり、既に減肉状況を定期的に把握している系統配管については、減肉等による破損の想定にはあたらない。</p> <p>一方、減肉等による破損の想定を除外した系統配管については、これまでも減肉知見の拡充の観点より定期的な肉厚検査、配管の対策材への取替等を行ってきており、破損による漏えいを確実に防止できるものと判断しているが、今後も、現状検査範囲の継続的な監視を行うとともに、さらなる検査範囲の拡充を行っている。</p> <p>2. 検査範囲の拡充に伴うデータの扱い</p> <p>減肉は一定の期間内に進化した板厚の減少であるが、以下の理由から減肉かどうかの判断が容易でない場合が含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造時の板厚は公称値で調達されており、公差が含まれている。</li> <li>・そのため、最初の計測等では板厚減少の原因が加工時の公差によるもの（進行性はない）か、減肉によるものか判断できないものも含まれている。</li> <li>・そこで、現状の減肉管理では加工時の公差による板厚減少も減肉と一旦仮定し、複数回の測定を行っている。加工による板厚減少であれば評価上の減肉速度は測定により低下、余寿命はのびるため、減肉を判断することができる。</li> <li>・次頁以降に減肉等による破損の想定を除外した系統配管の保全状況の確認結果を示す。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 14, 15 の評価結果により想定破損除外を行う場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>女川2号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NH1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 13, 14 の評価結果により想定破損除外又は高エネルギー配管の貫通クラックを適用する場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外又は高エネルギー配管において貫通クラックを適用する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>泊発電所3号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NG1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管及び高エネルギー配管の貫通クラックを適用する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>          泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯と同様）  <a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>          炉型の違いによる規格の相違。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>          泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯と同様）  <a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大阪発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 代表部位の選定と検査計画</p> <p>(1) 考え方</p> <p>代表系統及び部位の測定は JSME の減肉管理の考え方を踏まえて決定している。考え方を図1に示す。</p> <div data-bbox="114 331 683 991" data-label="Diagram"> </div> <p>図1 代表系統及び部位の考え方</p> <p>(2) 高エネルギー配管</p> <p>減肉管理対象の考え方に沿って、具体的に以下の代表系統と部位を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統 補助蒸気配管</li> <li>・部位 流れあり：直管部、エルボ部</li> </ul> <p>(3) 低エネルギー配管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れのある腐食：直管部、エルボ部</li> <li>・流れのない腐食：直管部</li> </ul>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している HS 及び HSCR は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統及び高エネルギー配管において貫通クラックを適用する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）、主蒸気系（主蒸気管室外）、補助給水系、空調用冷水系及び原子炉補機冷却水系は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>              ・泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯と同様）              ・プラント設計による系統の相違</p> <p><u>記載方針の相違</u>              高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【大飯】  <u>記載方針の相違</u>              女川審査実績を反映し、女川と同様の内容にて検討対象系統を抽出する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

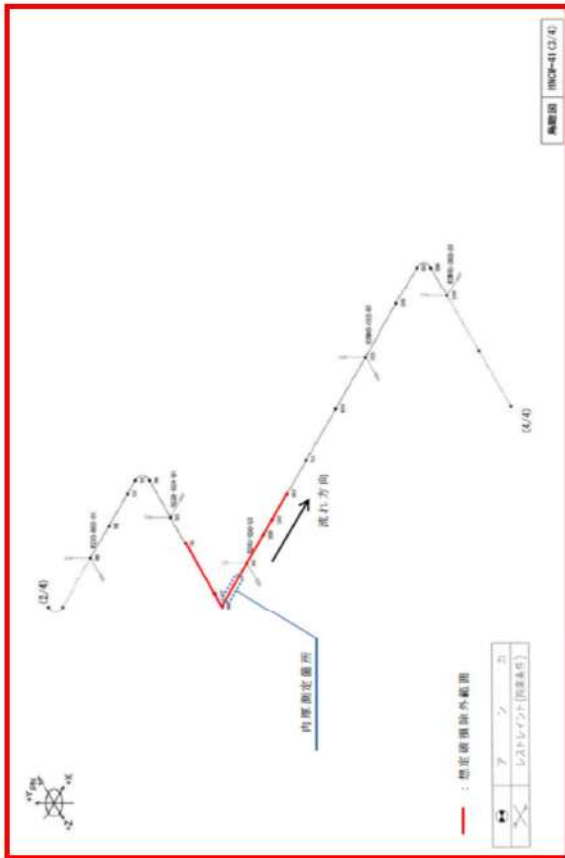
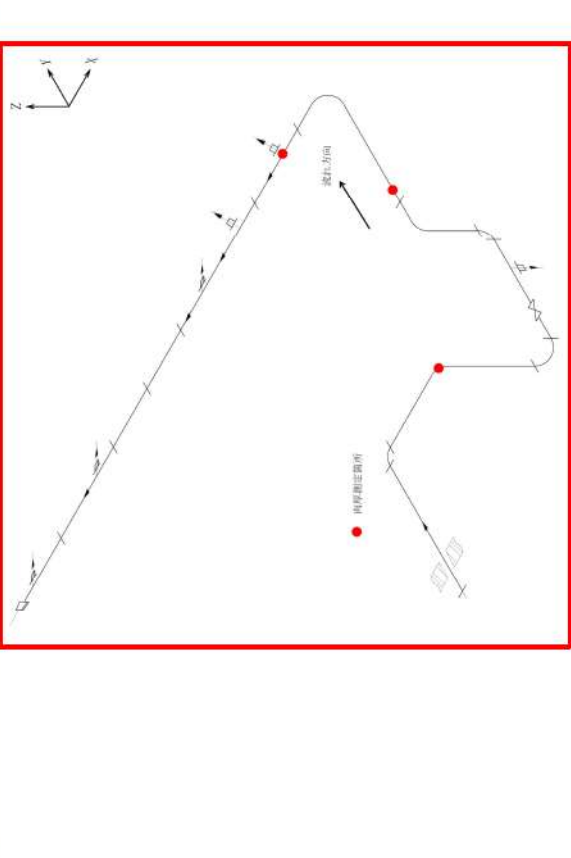
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>図2 代表系統及び部位の選定</p>	<p>(2) 材料                  女川2号炉の内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管は、すべて炭素鋼配管である。</p> <p>【柏崎刈羽6、7号炉】                  まとめ資料9条-別添1-補足19-12より抜粋</p> <p>(2)対象材料                  柏崎刈羽原子力発電所6号炉、7号炉の低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼および炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を補足第19.2.2-1表のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。補足第19.2.2-1表に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管については、対象外とする。</p> <table border="1" data-bbox="705 726 1254 981"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>(2) 対象材料</p> <p>泊発電所3号炉の高エネルギー配管材料及び低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼及び炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を表1のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。表1に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管のうち損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、対象外とする。</p> <p>表1 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</p> <table border="1" data-bbox="1288 726 1848 1045"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>【女川】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映。</p> <p>【柏崎】                  設備名称の相違                  設計方針の相違                  泊については高エネルギー配管も応力評価の対象としているため、その旨を反映している。(高エネルギー配管に応力評価を実施しているという観点で、大飯、女川と同様)                  記載方針の相違                  内面ライニング配管については、「損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、破損の想定を除外することができる」と溢水ガイドで定められているため、その旨を記載している。</p>
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>(3) 腐食モード                  配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映し、女川と同様に材料、腐食モード及び水質の観点から検討対象系統を抽出する。</p>																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

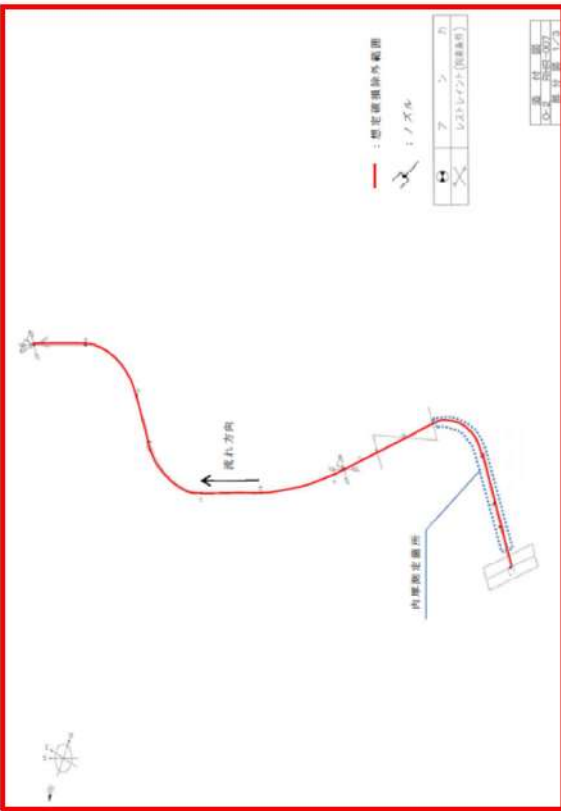
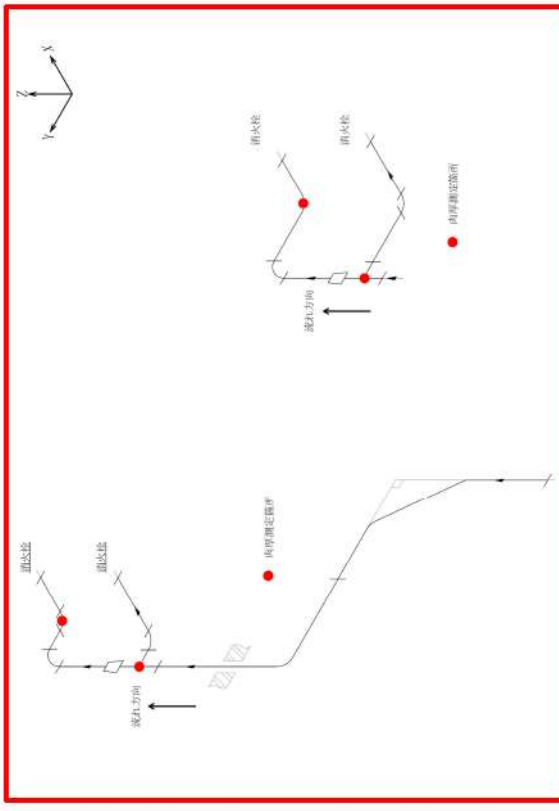
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<p>(4) 水質                      炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水源地は、<b>純水タンク、復水貯蔵タンク、サブプレッションプール</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表1に示し、また肉厚測定箇所を図1～図6に示す。</p> <p>表1 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="696 555 1267 740"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統</td> <td rowspan="5">想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定</td> </tr> <tr> <td>BHR</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPSC</td> <td rowspan="3">内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	HNCW	内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定	BHR		LPSC	内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。	HPCS	RCIC	<p>(4) 水質                      炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水源地は、<b>補助給水ビット、原子炉補機冷却水サージタンク、ろ過水タンク、空調用冷水膨張タンク</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表2に示し、また肉厚測定箇所を図1に示す。</p> <p>表2 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="1283 561 1854 671"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）</td> <td>想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	水消火系	内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      プラント設計による系統の相違</p>
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																			
HNCW	内包水は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定																			
BHR																					
LPSC	内包水は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。																				
HPCS																					
RCIC																					
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																			
水消火系	内包水はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定																			



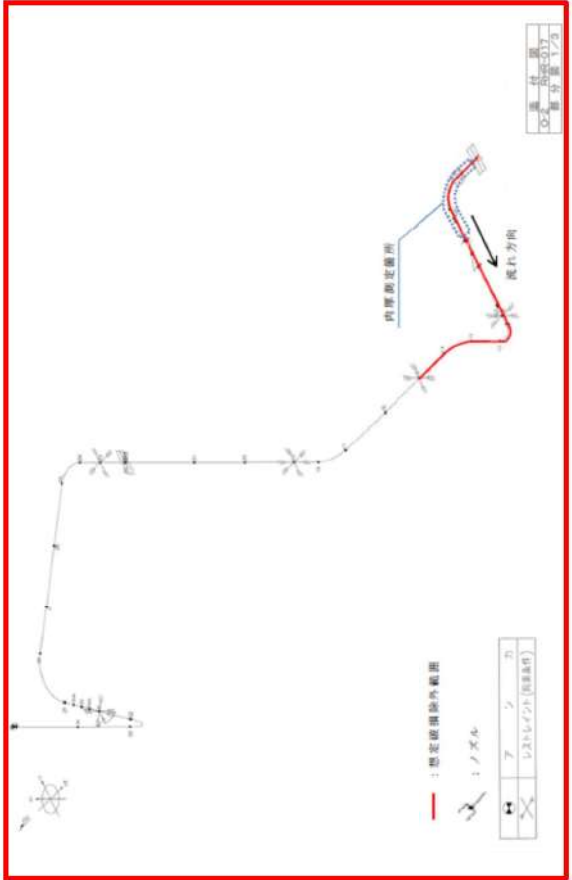
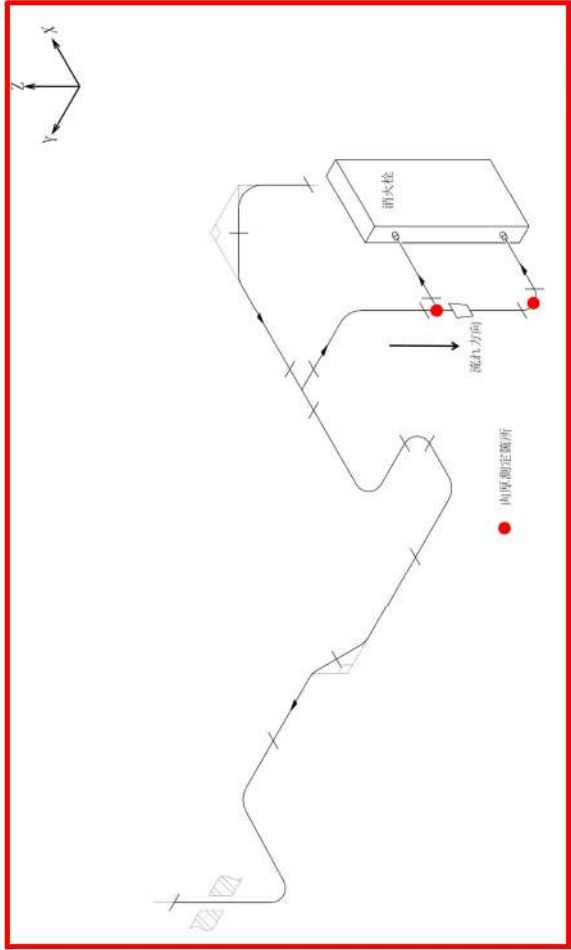
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図1 肉厚測定箇所 (HNCW)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (1/5)</p>	<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 311">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1029 1937 1053">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1061 2004 1085">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1093 2128 1220">女川では別々の系統を載せているので図 1～6 までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(6/5)とした。</p>

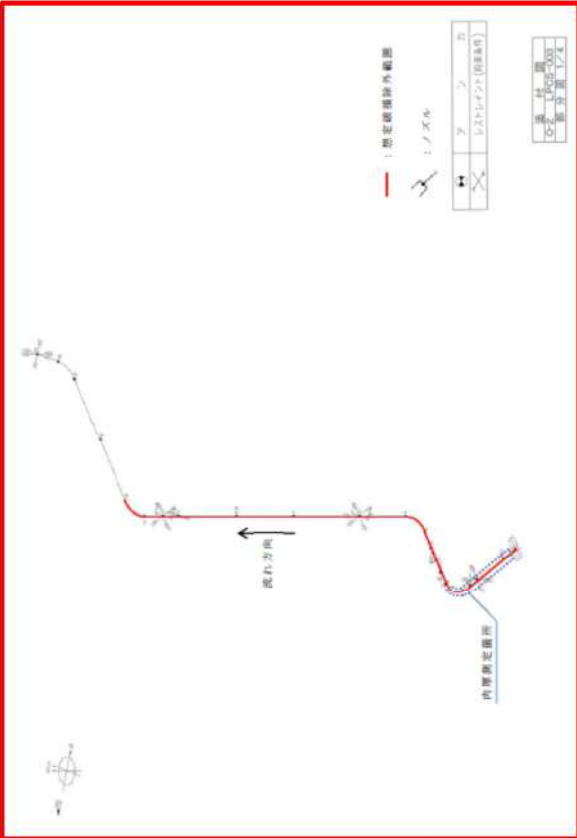
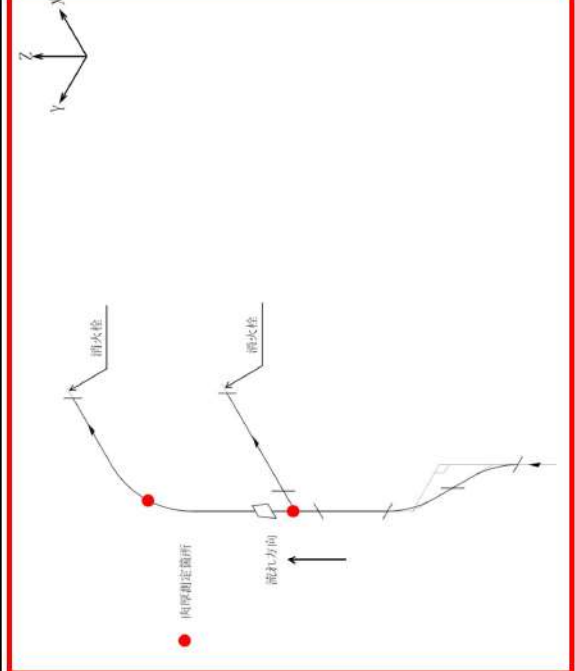
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="828 1029 1131 1061">図2 肉厚測定箇所（RHR(A), (B)）</p>	 <p data-bbox="1400 1029 1736 1061">図1 肉厚測定箇所（水消火系）(2/5)</p>	<p data-bbox="1870 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 303">プラント設計による対象システムの相違</p> <p data-bbox="1870 1029 1937 1053">【女川】</p> <p data-bbox="1870 1061 2004 1085">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1870 1093 2128 1220">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

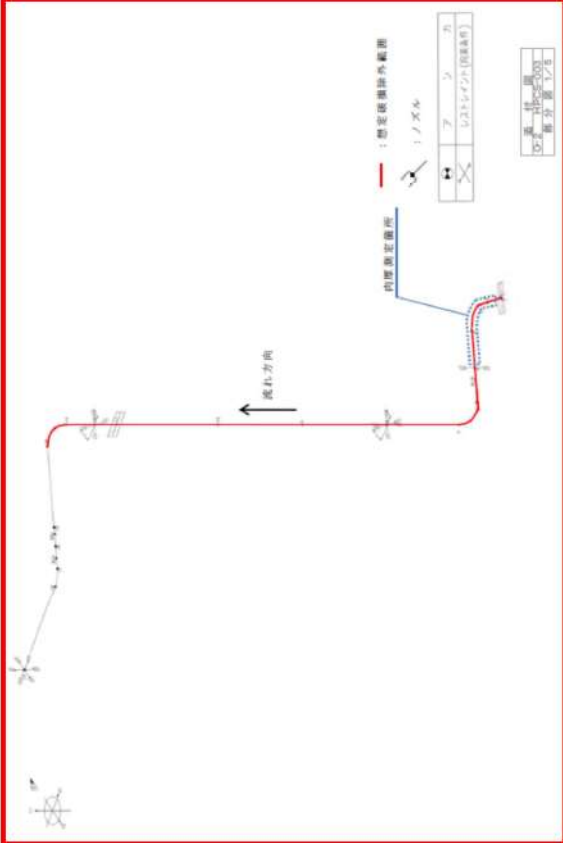
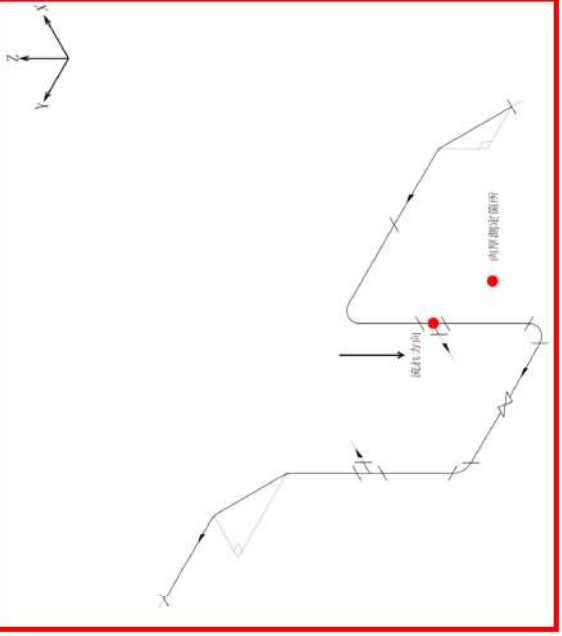
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="853 1198 1106 1225">図3 肉厚測定箇所 (RHR(C))</p>	 <p data-bbox="1400 1198 1733 1225">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (3/5)</p>	<p data-bbox="1874 177 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 245 2136 304">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1198 1935 1222">【女川】</p> <p data-bbox="1874 1235 1995 1259">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1874 1267 2136 1394">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

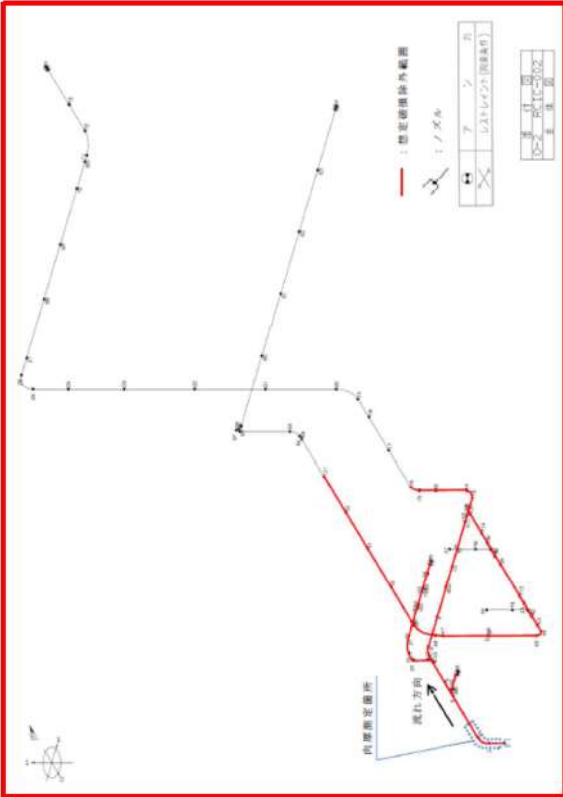
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図4 肉厚測定箇所 (LPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (4/5)</p>	<p data-bbox="1870 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 303">プラント設計による対象システムの相違</p> <p data-bbox="1870 1061 1937 1085">【女川】</p> <p data-bbox="1870 1093 2004 1117">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1870 1125 2128 1260">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

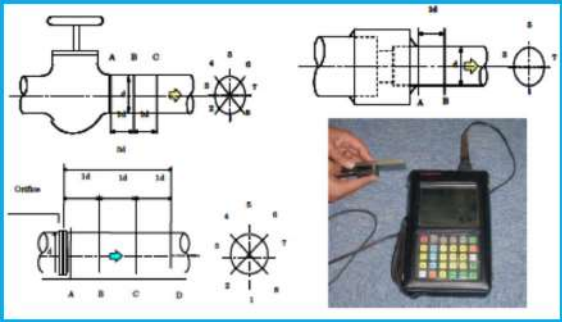
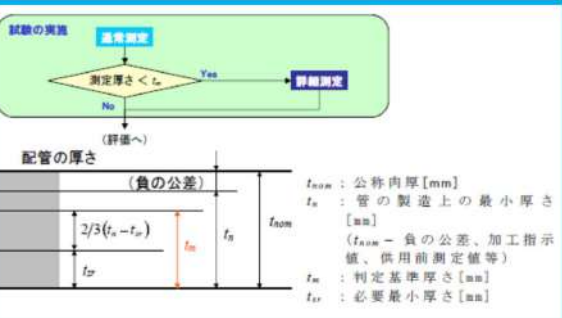
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図5 肉厚測定箇所 (HPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (5/5)</p>	<p data-bbox="1874 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 303">プラント設計による対象システムの相違</p> <p data-bbox="1874 1066 1937 1086">【女川】</p> <p data-bbox="1874 1101 2004 1121">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1874 1133 2136 1257">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="864 995 1099 1018">図6 肉厚測定箇所 (RCIC)</p>		<p data-bbox="1877 180 1933 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 213 1995 233">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2130 300">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 995 1933 1015">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1029 1995 1048">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1062 2130 1187">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 肉厚測定</p> <p>(1) 通常測定</p> <p>図6に示すように、定点における肉厚を、UT測定器を用いて、有資格者が測定を実施している。</p>  <p>図6 通常測定の測定部位の例と測定器</p> <p>(2) 詳細測定</p> <p>図7に示すように測定厚さが <math>t_m</math> より小さい場合は、詳細測定（図8）を実施する。</p>  <p>図7 肉厚測定フロー</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
 <p>図8 詳細測定の方法</p>			<p>【大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>3. 肉厚測定検査の確認結果</p> <p>(1) 高エネルギー配管</p> <p>高エネルギー配管のうち、応力評価を行い破損形状が貫通クラックとしている補助蒸気配管（許容応力は0.8Sa）については、JSME規格の対象外であるが、過去より配管の対策材への取替や、未対策材化部位の定期事業者検査における非破壊検査（肉厚測定）を実施し、減肉量を直接的かつ定期的に把握している。結果を表1に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表2に示す。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表3に示す。なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>追而【地震津波側審査の反映】</p> <p>破線部分は基準地震動確定後に反映する。</p> </div>	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川・大飯】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      配管の余寿命評価に必要となる対象システムの応力評価結果は詳細設計段階で正式な評価結果を示す方針としているため、肉厚測定結果についても詳細設計段階で提示することを記載している。  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>表1 補助蒸気配管の定期事業者検査（非破壊検査）実績(例)</p> <table border="1" data-bbox="112 957 672 1149"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回点検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>点検回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.5年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>23.5年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>23.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>26.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>27.4年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>25.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>20.0年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.2年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>22.4年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>21.6年</td><td>#11,14</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.0～5.9mm                  ※2 発生応力が0.8Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S-N61-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.5年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.5年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.7年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14	大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,13,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14	大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.6年	#11,14	<p>表2 肉厚測定結果</p> <table border="1" data-bbox="705 957 1265 1228"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号 (ライン番号)</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">測定値</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果 **</th> </tr> <tr> <th>低肉厚 (mm)</th> <th>小肉厚 (mm)</th> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>HNCF-P41-1</td><td>5.5</td><td>4.81</td><td>2.4</td><td>5.2</td><td>5.2</td><td><math>1.77 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-2-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>11.0</td><td>11.0</td><td><math>5.90 \times 10^{-7}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>10.9</td><td>10.9</td><td><math>1.18 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>良</td></tr> <tr><td></td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>11.3</td><td>11.3</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>9.9</td><td>9.9</td><td><math>2.36 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>良</td></tr> <tr><td>LPCS-2-1</td><td>17.4</td><td>15.22</td><td>6.71</td><td>15.5</td><td>15.5</td><td><math>1.12 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>69.5 良</td></tr> <tr><td>HPCS-2-1</td><td>25.4</td><td>22.22</td><td>16.01</td><td>22.2</td><td>22.2</td><td><math>1.89 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>37.4 良</td></tr> <tr><td>BCIC-2-1</td><td>13.5</td><td>11.81</td><td>6.25</td><td>12.2</td><td>12.2</td><td><math>7.67 \times 10^{-4}</math></td><td>**1</td><td>**2</td><td>88.6 良</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 公称肉厚データと今回測定データにより算出する方法。                  ※2 稼時間100万時間以上                  ※3 判定基準：配管の測定最小肉厚が必要以上確保されていること及び余寿命が1サイクル（1.2年）以上であること。（出典：「発電用原子力設備規格沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）JSME S-NH1-2006（以下JSME規格）」の「CA-5000評価」による）</p>	管理番号 (ライン番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定値		減肉率		余寿命 (年)	結果 **	低肉厚 (mm)	小肉厚 (mm)	減肉率 (mm/h)	算出 方法	HNCF-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	**1	**2	良	RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	11.0	$5.90 \times 10^{-7}$	**1	**2	良	RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	10.9	$1.18 \times 10^{-4}$	**1	**2	良		10.3	9.01	5.68	11.3	11.3	-	-	-	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	9.9	$2.36 \times 10^{-4}$	**1	**2	良	LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	15.5	$1.12 \times 10^{-4}$	**1	**2	69.5 良	HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	22.2	$1.89 \times 10^{-4}$	**1	**2	37.4 良	BCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	**1	**2	88.6 良	<p>表3 肉厚測定結果（水消火系）</p> <table border="1" data-bbox="1299 957 1848 1340"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出 方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果	減肉率 (mm/h)	算出 方法	1									2									3									4									5									6									7									8									9									10									11									12									
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間 <sup>※2</sup>	点検回数																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	24.5年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.5年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	23.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯3号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	27.4年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.0年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大飯4号炉	低納容積給気ユニット再熱コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.6年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																															
管理番号 (ライン番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定値		減肉率		余寿命 (年)	結果 **																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				低肉厚 (mm)	小肉厚 (mm)	減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																																														
HNCF-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	5.2	$1.77 \times 10^{-4}$	**1	**2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	11.0	$5.90 \times 10^{-7}$	**1	**2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	10.9	$1.18 \times 10^{-4}$	**1	**2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	10.3	9.01	5.68	11.3	11.3	-	-	-	良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	9.9	$2.36 \times 10^{-4}$	**1	**2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	15.5	$1.12 \times 10^{-4}$	**1	**2	69.5 良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	22.2	$1.89 \times 10^{-4}$	**1	**2	37.4 良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
BCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	12.2	$7.67 \times 10^{-4}$	**1	**2	88.6 良																																																																																																																																																																																																																																																																																												
管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果																																																																																																																																																																																																																																																																																													
					減肉率 (mm/h)	算出 方法																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
7																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
9																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
11																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
12																																																																																																																																																																																																																																																																																																					



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>(2)低エネルギー配管</p> <p>低エネルギー配管（破損なし：応力の上限は0.4Sa）のうち、炭素鋼配管は内部流体による全面腐食の可能性が考えられるが、低温域においては、酸素飽和の条件においてもその腐食量は軽微である。また、補助給水系統他について非破壊検査による肉厚測定を実施しており、腐食量を直接的に把握している。結果を表2、3に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p> <p>表2 大飯3号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 491 685 671"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯3号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>38</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>38</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>38</td><td>7.1mm</td><td>63.1年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>68</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>48</td><td>6.0mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大飯3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.1～7.2mm                  ※2 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p> <p>表3 大飯4号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="114 874 685 1054"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大飯4号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>38</td><td>7.6mm</td><td>38.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>38</td><td>7.6mm</td><td>74.2年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>88.7年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>68</td><td>7.1mm</td><td>77.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>48</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大飯4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> </tbody> </table> <p>※3 測定結果は5.1～7.3mm                  ※4 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大飯3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	38	7.6mm	50.7年	#16	大飯3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	38	7.6mm	50.7年	#16	大飯3号炉	消火水系	直管	38	7.1mm	63.1年	#16	大飯3号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	80.3年	#16	大飯3号炉	冷水系	直管	68	7.1mm	100年以上	#16	大飯3号炉	冷水系	エルボ	48	6.0mm	100年以上	#16	大飯3号炉	原子炉補機冷却系	直管	38	5.5mm	100年以上	#16	大飯3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	38	5.5mm	100年以上	#16	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大飯4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	38	7.6mm	38.0年	#15	大飯4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	38	7.6mm	74.2年	#15	大飯4号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	80.3年	#15	大飯4号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	88.7年	#15	大飯4号炉	冷水系	直管	68	7.1mm	77.0年	#15	大飯4号炉	冷水系	エルボ	48	7.1mm	100年以上	#15	大飯4号炉	原子炉補機冷却系	直管	38	5.5mm	100年以上	#15	大飯4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	38	5.5mm	100年以上	#15			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大飯3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	38	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	38	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	消火水系	直管	38	7.1mm	63.1年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	80.3年	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	冷水系	直管	68	7.1mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	冷水系	エルボ	48	6.0mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	原子炉補機冷却系	直管	38	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大飯3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	38	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大飯4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	38	7.6mm	38.0年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	38	7.6mm	74.2年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	80.3年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	消火水系	直管	38	5.5mm	88.7年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	冷水系	直管	68	7.1mm	77.0年	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	冷水系	エルボ	48	7.1mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	原子炉補機冷却系	直管	38	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大飯4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	38	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 17</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋・エリアの系統別溢水量算出結果を表1～9に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋の系統別溢水量算出結果を表1～11に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川は「海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア」、「軽油タンクエリア」があり、泊ではエリアとして記載している箇所はないため左記の記載とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
表1 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その1		表1 原子炉建屋原子炉棟及び付属棟 系統別溢水量					表1 原子炉建屋 系統別溢水量					【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。 ・女川では、「手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。 ・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。  【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。
<p>①異常の検知</p> <p>&lt;システム検知&gt;                  配管破損により、破損側封水注入流量が増加するため、健全側封水注入流量が低下し、封水注入流量低警報が発信（定格流量 1.5m<sup>3</sup>/h に対して警報が発信する）                  また、封水注入合計流量の増加により、封水注入アイソルタ差圧高警報が発信</p> <p>&lt;システム検知&gt;                  配管破損により、封水注入流量が低下し、封水注入流量低警報が発信（定格流量 1.5m<sup>3</sup>/h に対して警報が発信する）</p>	<p>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</p> <p>以下のパラメータから封水注入流量計上流配管からの漏えいと判断                  封水戻り流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS 測定値(R-21A/B)、封水注入フイロタ差圧、漏水注意等</p> <p>以下のパラメータから封水注入流量計下流配管からの漏えいと判断                  封水戻り流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS 測定値(R-21A/B)、封水注入フイロタ差圧、漏水注意等</p>	<p>③漏えい箇所の隔離等</p> <p>中央制御室において、封水注入ライン流量制御弁を遠隔手動閉止</p>	<p>合計時間 (①+②+③)</p> <p>11分</p>	<p>漏えい量</p> <p>漏えい量 21.5m<sup>3</sup>                  封水注入流量 7.2m<sup>3</sup>/h                  (1 ループ当たり 1.5m<sup>3</sup>/h)                  11分/60分×7.2m<sup>3</sup>/h = 1.4m<sup>3</sup>                  配管保有水量 20.4m<sup>3</sup>                  1.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=21.8m<sup>3</sup></p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2                  系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1                  系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)                  手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2                  系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1                  系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)                  手動隔離を期待</p>						
<p>想定範囲</p> <p>封水注入配管（貫通部～流量計）</p>	<p>封水注入配管（流量計～封水注入ライン流量制御弁）</p>					<p>B21 FDW 44 432 476 - (自動隔離)</p> <p>C12 CBD 22 31 53 ○</p> <p>C41 SLC 44 21 65 ○</p> <p>E11 RHR 46 191 237 ○</p> <p>E21 LPSC 11 265 266 ○</p> <p>F22 HPSC 44 351 395 ○</p> <p>E51 RCIC 11 179 190 ○</p> <p>G31 CLW 36 103 139 - (自動隔離)</p> <p>G41 PFC 90 70 160 ○</p> <p>K11 RD 55 0 55 -</p> <p>K12 LCW 33 0 33 -</p> <p>K13 HCW 33 0 33 -</p> <p>P11 MWP 11 30 41 ○</p> <p>P13 MWC 28 120 148 ○</p> <p>P14 FW 11 54 65 ○</p> <p>P15 FPMW 12 23 35 ○</p> <p>P24 HNCW 55 8 63 ○</p> <p>P25 HECW 33 8 41 ○</p> <p>P42 RCW 233 32 265 ○</p> <p>P45 BSW 176 182 358 ○</p> <p>P47 HPCW 22 32 54 ○</p> <p>P48 HPSW 22 64 86 ○</p> <p>P64 HWH 22 32 54 ○</p> <p>U43 FP 180 27 207 ○</p> <p>U63 MSC 33 0 33 -</p> <p>R43, R44 DGCW 22 9 31 ○</p> <p>R43, R44 DGLD 22 0 22 -</p> <p>R43, R44 DGDG 11 12 23 ○</p>	<p>化学体積制御系（充てん配管） 5.6 32 37.6 ○（中央制御室内での手動隔離）</p> <p>化学体積制御系（抽出配管） 11.9 8.6 20.5 ○（中央制御室内での手動隔離）</p> <p>主蒸気系（主蒸気管内） 81 393.1 474.1 ○（中央制御室内での手動隔離）</p> <p>主給水系 補助給水系（主蒸気管内） 15 627.3 642.3 ○（中央制御室内での手動隔離）</p> <p>蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管内） 81 216.8 297.8 ○（中央制御室内での手動隔離）</p> <p>補助蒸気系 1 2.7 3.7 -（自動隔離）</p>					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																							
表2 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系） その2		表2 制御建屋 系統別溢水量		表2 原子炉補助建屋 系統別溢水量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。</p> <p>・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。</p> <p>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事故の相対及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充てん配管（直通部～流路計）</td> <td>                     &lt;システム検知&gt;                      配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信                      0.5分                      通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して高警報 28m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する                 </td> <td>以下のパナメータから充てん配管からの漏えいと判断 WLT 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RCS 測定値(21A/B)等</td> <td>中央制御室において、充てんライントラップ弁を遠隔手動閉止1分 又は、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)</td> <td>12分</td> <td>                     漏えい量 31.5m<sup>3</sup>                      充てんポンプのランナウト流量 56.8m<sup>3</sup>/h                      12分/60分×56.8m<sup>3</sup>/h = 11.4m<sup>3</sup>                      配管保有水量 20.4m<sup>3</sup>                      11.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=31.8m<sup>3</sup> </td> </tr> <tr> <td>充てん配管（流量計～充てんポンプ）</td> <td>                     &lt;システム検知&gt;                      配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信                      0.5分                      (通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して低警報 8m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する)                 </td> <td>現場パトロールによる 充てんポンプ1台を遠隔手動停止 2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)</td> <td>中央制御室において、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)</td> <td>107分</td> <td>                     漏えい量 44.7m<sup>3</sup>                      充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m<sup>3</sup>/h                      107分/60分×13.6m<sup>3</sup>/h = 24.3m<sup>3</sup>                      配管保有水量 20.4m<sup>3</sup>                      24.3m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=44.7m<sup>3</sup> </td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事故の相対及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)		漏えい量	充てん配管（直通部～流路計）	<システム検知> 配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信 0.5分 通常の充てん流量 25m <sup>3</sup> /h に対して高警報 28m <sup>3</sup> /h であるため、速やかに警報が発信する	以下のパナメータから充てん配管からの漏えいと判断 WLT 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RCS 測定値(21A/B)等	中央制御室において、充てんライントラップ弁を遠隔手動閉止1分 又は、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	12分	漏えい量 31.5m <sup>3</sup> 充てんポンプのランナウト流量 56.8m <sup>3</sup> /h 12分/60分×56.8m <sup>3</sup> /h = 11.4m <sup>3</sup> 配管保有水量 20.4m <sup>3</sup> 11.4m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =31.8m <sup>3</sup>	充てん配管（流量計～充てんポンプ）	<システム検知> 配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信 0.5分 (通常の充てん流量 25m <sup>3</sup> /h に対して低警報 8m <sup>3</sup> /h であるため、速やかに警報が発信する)	現場パトロールによる 充てんポンプ1台を遠隔手動停止 2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	中央制御室において、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	107分	漏えい量 44.7m <sup>3</sup> 充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m <sup>3</sup> /h 107分/60分×13.6m <sup>3</sup> /h = 24.3m <sup>3</sup> 配管保有水量 20.4m <sup>3</sup> 24.3m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =44.7m <sup>3</sup>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P11</td> <td>M/WP</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P24</td> <td>HSCW</td> <td>22</td> <td>8</td> <td>30</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P25</td> <td>HECW</td> <td>33</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P62</td> <td>HS/HSCR</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>P64</td> <td>HWH</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>U43</td> <td>FP</td> <td>180</td> <td>27</td> <td>207</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>U63</td> <td>MSC</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>所内用水</td> <td>55</td> <td>13</td> <td>68</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	P11	M/WP	11	30	41	○	P24	HSCW	22	8	30	○	P25	HECW	33	8	41	○	P62	HS/HSCR	11	0	11	-	P64	HWH	22	32	54	○	U43	FP	180	27	207	○	U63	MSC	22	0	22	-	-	所内用水	55	13	68	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系 (充てん配管)</td> <td>5.6</td> <td>32</td> <td>37.6</td> <td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系 (抽出配管)</td> <td>11.9</td> <td>8.6</td> <td>20.5</td> <td>○ (中央制御室内での手動隔離)</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>1</td> <td>2.7</td> <td>3.7</td> <td>- (自動隔離)</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	化学体積制御系 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)	化学体積制御系 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)	補助蒸気系	1	2.7	3.7
想定範囲	①異常の検知	②事故の相対及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																																																																								
充てん配管（直通部～流路計）	<システム検知> 配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信 0.5分 通常の充てん流量 25m <sup>3</sup> /h に対して高警報 28m <sup>3</sup> /h であるため、速やかに警報が発信する	以下のパナメータから充てん配管からの漏えいと判断 WLT 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプ水位、RCS 測定値(21A/B)等	中央制御室において、充てんライントラップ弁を遠隔手動閉止1分 又は、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	12分	漏えい量 31.5m <sup>3</sup> 充てんポンプのランナウト流量 56.8m <sup>3</sup> /h 12分/60分×56.8m <sup>3</sup> /h = 11.4m <sup>3</sup> 配管保有水量 20.4m <sup>3</sup> 11.4m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =31.8m <sup>3</sup>																																																																																								
充てん配管（流量計～充てんポンプ）	<システム検知> 配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信 0.5分 (通常の充てん流量 25m <sup>3</sup> /h に対して低警報 8m <sup>3</sup> /h であるため、速やかに警報が発信する)	現場パトロールによる 充てんポンプ1台を遠隔手動停止 2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	中央制御室において、充てんポンプ1台を遠隔手動停止2分 (操作1分、停止1分、合わせて2分)	107分	漏えい量 44.7m <sup>3</sup> 充てんポンプのミニマムフローライン流量 13.6m <sup>3</sup> /h 107分/60分×13.6m <sup>3</sup> /h = 24.3m <sup>3</sup> 配管保有水量 20.4m <sup>3</sup> 24.3m <sup>3</sup> +20.4m <sup>3</sup> =44.7m <sup>3</sup>																																																																																								
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)																																																																																									
P11	M/WP	11	30	41	○																																																																																								
P24	HSCW	22	8	30	○																																																																																								
P25	HECW	33	8	41	○																																																																																								
P62	HS/HSCR	11	0	11	-																																																																																								
P64	HWH	22	32	54	○																																																																																								
U43	FP	180	27	207	○																																																																																								
U63	MSC	22	0	22	-																																																																																								
-	所内用水	55	13	68	○																																																																																								
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																									
化学体積制御系 (充てん配管)	5.6	32	37.6	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																																									
化学体積制御系 (抽出配管)	11.9	8.6	20.5	○ (中央制御室内での手動隔離)																																																																																									
補助蒸気系	1	2.7	3.7	- (自動隔離)																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由									
表3 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系）その3		表3 海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア 系統別溢水量		表3 循環水ポンプ建屋 系統別溢水量		【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違 ・女川では、「手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくとも、手動隔離を期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。									
想定範囲	①異常の検知 ＜システム検知＞ 配管破損によりVCT（11.3m <sup>3</sup> ）の保有水が減少しVCT水位が低下する。 VCT水位高警報（55%±1.5%）から原子炉補給開始水位（24%±1.5%）まで水位が低下し原子炉補給水間給音が現信 11.3m <sup>3</sup> ×（55.5%-22.5%）/100%÷32.0m <sup>3</sup> /h×60分=7.2分	②事象の判断及び漏えい箇所の特定 以下のパラメータから抽出ラインからの漏えいと判断 10分 温度センサ高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値（R-21A/B）、溜水注意等	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止 中央制御室において、抽出オリフイス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	合計時間 ①+②+③ 19分	漏えい量 漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフイスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h 19分/60分×32.0m <sup>3</sup> /h=10.2m <sup>3</sup> 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> 10.2m <sup>3</sup> +10.8m <sup>3</sup> =21.0m <sup>3</sup>		対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)
抽出配管／非再生冷却器入口 （貫通部～非再生冷却器）	抽出配管／非再生冷却器出口 （非再生冷却器～圧力制御弁）	N71	CF	660	1,394	2,054	○	循環水系	1420	1600	3020	○			
		P14	FW	11	77	88	○								
		P43	TCW	11	19	30	○								
		P45	RSW	55	146	201	○								
		P46	TSW	33	222	255	○								
		P48	HP-SW	11	40	51	○								
		P13	MWC	33	120	153	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表4 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主蒸気系）				表4 タービン建屋 系統別溢水量		女川は補足説明資料11「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」にタービン建屋における想定破損の溢水量を掲載しているが、本資料においては記載がないため、比較対象なしとする。	
<p>①漏えい箇所の特長</p> <p>以下のパラメータから漏えい箇所を特定</p> <p>SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力差、主蒸気・主給水配管差温度等</p>	<p>②漏えい箇所の特定</p> <p>中央制御室において、電動補助給水ライン流調弁、タービン補助給水ライン流調弁、補助給水ライン流調弁を遠隔手動閉止する。</p> <p>2分(1分/個)</p>	<p>③異常の検知</p> <p>&lt;システム検知&gt;</p> <p>主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報が発信</p> <p>また、主蒸気ライン圧力低により主給水閉弁が自動閉止</p> <p>10秒</p>	<p>④漏えい箇所の特長</p> <p>以下のパラメータから漏えい箇所を特定</p> <p>SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管差温度高警報等</p>	<p>⑤漏えい箇所の特定</p> <p>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認</p> <p>その後、電動補助給水ライン流調弁、タービン補助給水ライン流調弁、給水ライン流調弁を遠隔手動閉止</p> <p>1分</p> <p>(トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分)</p> <p>また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップの断線開+Tag 低により主給水閉弁は自動閉止</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m³) W2</p> <p>系統漏えい量 (m³) W1</p> <p>系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待</p>	<p>主蒸気及び給水系 126.98 0 126.98 -</p> <p>蒸気発生器 6.71 0 6.71 -</p> <p>ブローダウン系 10.436 0 10.436 -</p> <p>原子炉補給水系(脱塩水) 0.65 0 0.65 -</p> <p>復水系 2442.28 0 2442.28 -</p> <p>循環水系 77.434 1341.8 1419.234 ○</p> <p>軸受冷却系 150.67 0 150.67 -</p> <p>薬液注入装置 30.15 0 30.15 -</p> <p>排水処理設備 9.64 0 9.64 -</p> <p>タービン主給水ポンプ油系 130.12 0 130.12 -</p> <p>スチームコンバータ系 19.19 0 19.19 -</p> <p>タービン 4 0 4 -</p> <p>ランド蒸気系 3.43 0 3.43 -</p> <p>固定子冷却水供給装置 0.58 0 0.58 -</p>	<p>【大飯】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>
<p>想定範囲</p> <p>主蒸気管</p>	<p>主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁パイパス配管(主蒸気管分岐～隔離弁)、主蒸気ドレン配管(一般動)、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管(主蒸気管分岐～隔離弁へTE)</p>						
<p>漏えい量</p> <p>漏えい量 172.7m³</p> <p>主給水流量 200m³/h</p> <p>補助給水流量 430m³/h</p> <p>10秒/3600秒×200m³/h + 12分/60分×430m³/h = 91.7m³</p> <p>配管保有水量 15m³</p> <p>蒸気発生器保有水量 66m³</p> <p>91.7+15+66=172.7m³</p>	<p>漏えい量 280.1m³</p> <p>添付「蒸気負荷の異常な増加」(2020m³/h×4.4L-2×10% = 812m³/h)では2次系弁(主蒸気速がし弁、タービンパイパス弁)の1弁の差開を包摂しているため、812m³/hを保守的に使用</p> <p>補助給水流量 430m³/h</p> <p>11分*/60分×812m³/h + 7分/60分×430m³/h = 199.1m³</p> <p>配管保有水量 15m³</p> <p>蒸気発生器保有水量 66m³</p> <p>199.1+15+66=280.1m³</p> <p>※全系統差開(0.6分/個)を90秒</p>						
<p>合計時間</p> <p>(①+②+③)</p> <p>12分2秒</p>			<p>合計時間</p> <p>17分</p>				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																		
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (1/2)				表5 出入管理建屋 系統別溢水量		<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主給水管 (貫通部～ 逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒</td> <td>以下のパラメータから漏えい箇所を特定 隔離する蒸気発生器を10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)</td> <td>12分8秒</td> <td>漏えい量175.5m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 15秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h + 12分/60分×430m<sup>3</sup>/h = 94.5m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>主給水管 (逆止弁～上流)</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒</td> <td>自動隔離のため判断時 同なし 0分</td> <td>自動隔離のため操作時 同なし 0分</td> <td>110秒</td> <td>漏えい量77.1m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 110秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h = 62.1m<sup>3</sup> 配管保有水 15m<sup>3</sup> 62.1+15=77.1m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)		漏えい量	主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから漏えい箇所を特定 隔離する蒸気発生器を10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>	主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時 同なし 0分	自動隔離のため操作時 同なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系 (反応水)</td> <td>5.0</td> <td>242.4</td> <td>247.2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17.0</td> <td>235.2</td> <td>252.2</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○	原子炉補給水系 (反応水)	5.0	242.4	247.2	○	飲料水系	17.0	235.2	252.2
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																			
主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから漏えい箇所を特定 隔離する蒸気発生器を10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>																																			
主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時 同なし 0分	自動隔離のため操作時 同なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>																																			
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待																																				
水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○																																				
原子炉補給水系 (反応水)	5.0	242.4	247.2	○																																				
飲料水系	17.0	235.2	252.2	○																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由															
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (2/2)				表6 電気建屋 系統別溢水量																	
想定範囲 主給水バイパス 配管 (下流分岐～ 制御弁)	①異常の検知 <システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に発信 0分	②事象の判断及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配管 室温度等	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 中央制御室において、 原子炉トリップ操作を 行いトリップ後の状況 を確認 5分 また、原子炉手動トリ ップ操作後約60秒で原 子炉トリップしゃ断器 開+Tavg 低により主給 水制御弁は自動閉止 60秒	合計時間 (①+②+③)  11分	漏えい量 漏えい量387.2m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 11分/60分×2030m <sup>3</sup> /h =372.2m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 372.2m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =387.2m <sup>3</sup>																
主給水バイパス 配管 (制御弁～ 上流分岐)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁 の自動閉止 110秒	以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、SG 水位低による原子 炉トリップ、主蒸気・主 給水配管室温度等	中央制御室において、 主給水ポンプ2台を遠 隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、 停止5分、合わせて7 分)	17分50秒	漏えい量618.4m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 1070秒/3600秒× 2030m <sup>3</sup> /h=603.4m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 603.4m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =618.4m <sup>3</sup>																
				表6 電気建屋 系統別溢水量		【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.0</td> <td>40.0</td> <td>65.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○		25.0	40.0	65.0		【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔 離までの漏えい量を算出してい る。泊でも同様の算出を実施して いるが、本資料内では、女川と同 様の形でまとめる。別途、補足説 明資料2「保有水量・系統別溢水 量算出要領」にて、大飯と同様に 算出した結果を記載する。
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待																	
水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	○																	
	25.0	40.0	65.0																		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由									
表6 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（蒸気発生器ローダウン系）		表4 軽油タンクエリア 系統別溢水量													
想定範囲 蒸気発生器ローダウン配管（貫通部～隔離弁）	①異常の検知 <システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	②事象の判断及び漏えい箇所の特 以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止 中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認し、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 （トリップ後の状況確認5分、操作2分（1分/組）合わせて7分） また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップし、断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	漏えい量 漏えい量247.8m <sup>3</sup> 限界流量707m <sup>3</sup> /h（口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より） 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×707m <sup>3</sup> /h+7分*60分×430m <sup>3</sup> /h=179.8m <sup>3</sup> 配管保有水量2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 179.8m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.8m <sup>3</sup> ※合計時間（10分+60秒） 漏えい量231.6m <sup>3</sup> 限界流量707m <sup>3</sup> /h（口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より） 107秒/2600秒×707m <sup>3</sup> /h=21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>	合計時間 (①)+(②)+(③) 17分	107秒									
蒸気発生器ローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるプロローグインライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため判断時間なし 0分	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）	R43、R44	DGDO	11	12	23	○	【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。  【大飯】 記載方針の相違 大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>表7 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助給水系）</p> <table border="1" data-bbox="168 215 622 1388"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器閉+Tavg低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>17分</td> <td>漏えい量294.7m<sup>3</sup> 限界流量892m<sup>3</sup>/h (口径38、SG圧力61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 補助給水流量430m<sup>3</sup>/h 11分<sup>※</sup>/60分×892m<sup>3</sup>/h+7分<sup>※</sup>/60分×430m<sup>3</sup>/h =213.7m<sup>3</sup> 配管保有水量15.0m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 213.7m<sup>3</sup>+15m<sup>3</sup>+66m<sup>3</sup> =294.7m<sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)</td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器閉+Tavg低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量294.7m <sup>3</sup> 限界流量892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分 <sup>※</sup> /60分×892m <sup>3</sup> /h+7分 <sup>※</sup> /60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)	<p>表5 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））系 統別溢水量</p> <table border="1" data-bbox="698 239 1270 367"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P24</td> <td>HNCW</td> <td>33</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P64</td> <td>HWH</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)	P24	HNCW	33	8	41	○	P64	HWH	22	32	54	○		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大飯】  <u>記載方針の相違</u>                  大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																												
補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器閉+Tavg低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量294.7m <sup>3</sup> 限界流量892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分 <sup>※</sup> /60分×892m <sup>3</sup> /h+7分 <sup>※</sup> /60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)																												
対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)																												
P24	HNCW	33	8	41	○																												
P64	HWH	22	32	54	○																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>表8 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助蒸気系）</p> <table border="1" data-bbox="280 209 517 1393"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>&lt;温度検知&gt; 温度センサ（60℃）の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分</td> <td>自動隔離のため判断時間 なし 0分</td> <td>③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 自動隔離のため判断時間 なし 0分</td> <td>5分</td> <td>漏えい量3.7m<sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m<sup>3</sup>/h（定格発生蒸気量 30t/hより）5分/60分× 31.3m<sup>3</sup>/h=2.7m<sup>3</sup> 配管保有水量1.0 m<sup>3</sup> 2.7m<sup>3</sup>+1.0 m<sup>3</sup>=3.7m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサ（60℃）の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 自動隔離のため判断時間 なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h（定格発生蒸気量 30t/hより）5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0 m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0 m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>		<p>表7 原子炉建屋系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1290 225 1854 371"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気体廃棄物処理系</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>0.1</td> <td>0</td> <td>0.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量（Wの合計値）=0.6m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—	空調用冷水系	0.1	0	0.1	—	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大飯】  <u>記載方針の相違</u>                      大飯では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大飯と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																									
補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサ（60℃）の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 自動隔離のため判断時間 なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h（定格発生蒸気量 30t/hより）5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0 m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0 m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>																									
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																										
気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—																										
空調用冷水系	0.1	0	0.1	—																										

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																											
	<p>表6 タービン建屋 (管理区域) 系統別溢水量 (地震起因)</p> <table border="1" data-bbox="696 526 1272 1189"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m³) W2</th> <th>系統漏えい量 (m³) W1</th> <th>系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>RD</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>55</td><td>0</td><td>55</td></tr> <tr><td>N21</td><td>C, FDW</td><td>649</td><td>496</td><td>1,145</td></tr> <tr><td>N22</td><td>HD</td><td>330</td><td>0</td><td>330</td></tr> <tr><td>N26</td><td>CF</td><td>132</td><td>0</td><td>132</td></tr> <tr><td>N27</td><td>CD</td><td>209</td><td>0</td><td>209</td></tr> <tr><td>N32</td><td>EHC</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>N34</td><td>LO</td><td>198</td><td>0</td><td>198</td></tr> <tr><td>N44</td><td>SWC</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>N71</td><td>CW</td><td>1,200</td><td>2,770</td><td>3,970</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MUWC</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HHH</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量 (Wの合計値) = 6,843m³</p>	対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	K11	RD	11	0	11	K12	LCW	22	0	22	K13	HCW	22	0	22	K17	SD	22	0	22	K21	SS	55	0	55	N21	C, FDW	649	496	1,145	N22	HD	330	0	330	N26	CF	132	0	132	N27	CD	209	0	209	N32	EHC	11	0	11	N34	LO	198	0	198	N44	SWC	22	0	22	N71	CW	1,200	2,770	3,970	P11	MUWP	11	0	11	P13	MUWC	33	0	33	P14	FW	11	0	11	P24	HNCW	110	0	110	P42	RCW	66	0	66	P43	TCW	231	0	231	P62	HS/HSCR	19	0	19	P64	HHH	33	0	33	U43	FP	180	0	180	<p>表8 原子炉補助建屋 系統別溢水量 (地震起因)</p> <table border="1" data-bbox="1279 223 1861 438"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m³) W2</th> <th>系統漏えい量 (m³) W1</th> <th>系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>化学体積制御系</td><td>0.3</td><td>0</td><td>0.3</td><td>—</td></tr> <tr><td>液体廃棄物処理系</td><td>2.5</td><td>0</td><td>2.5</td><td>—</td></tr> <tr><td>廃液蒸発装置 (洗淨排水装置含む)</td><td>0.5</td><td>0</td><td>0.5</td><td>—</td></tr> <tr><td>セメント固化装置</td><td>18.4</td><td>0</td><td>18.4</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量 (Wの合計値) = 21.7m³</p>	対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	化学体積制御系	0.3	0	0.3	—	液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—	廃液蒸発装置 (洗淨排水装置含む)	0.5	0	0.5	—	セメント固化装置	18.4	0	18.4	—	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊のタービン建屋には管理区域がないため、比較対象なしとし、女川のタービン建屋 (非管理区域) と泊のタービン建屋を比較する。</p>
対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)																																																																																																																																											
K11	RD	11	0	11																																																																																																																																										
K12	LCW	22	0	22																																																																																																																																										
K13	HCW	22	0	22																																																																																																																																										
K17	SD	22	0	22																																																																																																																																										
K21	SS	55	0	55																																																																																																																																										
N21	C, FDW	649	496	1,145																																																																																																																																										
N22	HD	330	0	330																																																																																																																																										
N26	CF	132	0	132																																																																																																																																										
N27	CD	209	0	209																																																																																																																																										
N32	EHC	11	0	11																																																																																																																																										
N34	LO	198	0	198																																																																																																																																										
N44	SWC	22	0	22																																																																																																																																										
N71	CW	1,200	2,770	3,970																																																																																																																																										
P11	MUWP	11	0	11																																																																																																																																										
P13	MUWC	33	0	33																																																																																																																																										
P14	FW	11	0	11																																																																																																																																										
P24	HNCW	110	0	110																																																																																																																																										
P42	RCW	66	0	66																																																																																																																																										
P43	TCW	231	0	231																																																																																																																																										
P62	HS/HSCR	19	0	19																																																																																																																																										
P64	HHH	33	0	33																																																																																																																																										
U43	FP	180	0	180																																																																																																																																										
対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																										
化学体積制御系	0.3	0	0.3	—																																																																																																																																										
液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—																																																																																																																																										
廃液蒸発装置 (洗淨排水装置含む)	0.5	0	0.5	—																																																																																																																																										
セメント固化装置	18.4	0	18.4	—																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
	<p>表7 タービン建屋（非管理区域）系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="701 220 1270 539"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P11</td><td>MUF</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P46</td><td>TSW</td><td>99</td><td>75</td><td>174</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> <tr><td>U63</td><td>MSC</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値) = 824m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	P11	MUF	11	0	11	P14	FW	11	0	11	P24	HNCW	110	0	110	P42	RCW	66	0	66	P43	TCW	231	0	231	P46	TSW	99	75	174	P62	HS/HSCR	19	0	19	U43	FP	180	0	180	U63	MSC	22	0	22	<p>表9 タービン建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1283 220 1854 778"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気及び給水系</td><td>126.98</td><td>0</td><td>126.98</td><td>—</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>6.71</td><td>0</td><td>6.71</td><td>—</td></tr> <tr><td>ブローダウン系</td><td>10.436</td><td>0</td><td>10.436</td><td>—</td></tr> <tr><td>原子炉補給水系(脱塩水)</td><td>0.65</td><td>0</td><td>0.65</td><td>—</td></tr> <tr><td>補助蒸気系</td><td>2442.28</td><td>0</td><td>2442.17</td><td>—</td></tr> <tr><td>復水系</td><td>77.434</td><td>28367</td><td>28444.43</td><td>○</td></tr> <tr><td>循環水系</td><td>150.67</td><td>0</td><td>143.72</td><td>—</td></tr> <tr><td>軸受冷却系</td><td>30.15</td><td>0</td><td>30.15</td><td>—</td></tr> <tr><td>薬液注入装置</td><td>9.64</td><td>0</td><td>9.64</td><td>—</td></tr> <tr><td>排水処理設備</td><td>130.12</td><td>0</td><td>130.12</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン動主給水</td><td>19.19</td><td>0</td><td>19.19</td><td>—</td></tr> <tr><td>ポンプ油系</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>—</td></tr> <tr><td>スチーム</td><td>3.43</td><td>0</td><td>3.43</td><td>—</td></tr> <tr><td>コンバータ系</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン</td><td>40979.47</td><td>0</td><td>40979.47</td><td>—</td></tr> <tr><td>グラント蒸気系</td><td>3.43</td><td>0</td><td>3.43</td><td>—</td></tr> <tr><td>固定子冷却水供給装置</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> <tr><td>密封油処理装置</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 40979.47m<sup>3</sup>  <small>※ タービン建屋周辺の屋外タンク保有水量9600m<sup>3</sup>含む</small></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	主蒸気及び給水系	126.98	0	126.98	—	蒸気発生器	6.71	0	6.71	—	ブローダウン系	10.436	0	10.436	—	原子炉補給水系(脱塩水)	0.65	0	0.65	—	補助蒸気系	2442.28	0	2442.17	—	復水系	77.434	28367	28444.43	○	循環水系	150.67	0	143.72	—	軸受冷却系	30.15	0	30.15	—	薬液注入装置	9.64	0	9.64	—	排水処理設備	130.12	0	130.12	—	タービン動主給水	19.19	0	19.19	—	ポンプ油系	4	0	4	—	スチーム	3.43	0	3.43	—	コンバータ系	0.58	0	0.58	—	タービン	40979.47	0	40979.47	—	グラント蒸気系	3.43	0	3.43	—	固定子冷却水供給装置	0.58	0	0.58	—	密封油処理装置	0.58	0	0.58	—	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          泊のタービン建屋には管理区域はないため、管理区域と非管理区域の識別はしない。</p> <p>設計方針の相違          ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。女川では、地震の手動隔離に期待していない。</p> <p>・女川では、「手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。</p> <p>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																																																																																																																
P11	MUF	11	0	11																																																																																																																																															
P14	FW	11	0	11																																																																																																																																															
P24	HNCW	110	0	110																																																																																																																																															
P42	RCW	66	0	66																																																																																																																																															
P43	TCW	231	0	231																																																																																																																																															
P46	TSW	99	75	174																																																																																																																																															
P62	HS/HSCR	19	0	19																																																																																																																																															
U43	FP	180	0	180																																																																																																																																															
U63	MSC	22	0	22																																																																																																																																															
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																															
主蒸気及び給水系	126.98	0	126.98	—																																																																																																																																															
蒸気発生器	6.71	0	6.71	—																																																																																																																																															
ブローダウン系	10.436	0	10.436	—																																																																																																																																															
原子炉補給水系(脱塩水)	0.65	0	0.65	—																																																																																																																																															
補助蒸気系	2442.28	0	2442.17	—																																																																																																																																															
復水系	77.434	28367	28444.43	○																																																																																																																																															
循環水系	150.67	0	143.72	—																																																																																																																																															
軸受冷却系	30.15	0	30.15	—																																																																																																																																															
薬液注入装置	9.64	0	9.64	—																																																																																																																																															
排水処理設備	130.12	0	130.12	—																																																																																																																																															
タービン動主給水	19.19	0	19.19	—																																																																																																																																															
ポンプ油系	4	0	4	—																																																																																																																																															
スチーム	3.43	0	3.43	—																																																																																																																																															
コンバータ系	0.58	0	0.58	—																																																																																																																																															
タービン	40979.47	0	40979.47	—																																																																																																																																															
グラント蒸気系	3.43	0	3.43	—																																																																																																																																															
固定子冷却水供給装置	0.58	0	0.58	—																																																																																																																																															
密封油処理装置	0.58	0	0.58	—																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																		
	<p>表8 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））系統別                      溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="696 236 1272 726"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th></th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>ED</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>1,232</td><td>0</td><td>1,232</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>616</td><td>0</td><td>616</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>99</td><td>0</td><td>99</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>979</td><td>0</td><td>979</td></tr> <tr><td>K22</td><td>CONW</td><td>88</td><td>23</td><td>111</td></tr> <tr><td>K23</td><td>SOL<sup>※1</sup></td><td>44</td><td>8</td><td>52</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MDFP</td><td>11</td><td>60</td><td>71</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MDFC</td><td>33</td><td>120</td><td>153</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>54</td><td>65</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>55</td><td>8</td><td>63</td></tr> <tr><td>P25</td><td>HECW</td><td>33(S 貯水)</td><td>8</td><td>41</td></tr> <tr><td>P42</td><td>BCW</td><td>121<sup>※2</sup></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>P42</td><td>BCW</td><td>209(S 貯水含有)<sup>※3</sup></td><td>32</td><td>241</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>33</td><td>32</td><td>65</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>27</td><td>207</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 休止設備であり現在保有水はないが、保有水があるものとして評価する。                      ※2 BCW(A)及びBCW(B)の常用系保有水量の合計                      ※3 常用系と非常用系の保有水量合計(保有水量が多いBCW(A)で評価)                      地震起因による溢水量(W2の合計値(S 貯水は除く))=3,557m<sup>3</sup></p>	対象系統		系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	K11	ED	33	0	33	K12	LCW	1,232	0	1,232	K13	HCW	616	0	616	K17	SD	99	0	99	K21	SS	979	0	979	K22	CONW	88	23	111	K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52	P11	MDFP	11	60	71	P13	MDFC	33	120	153	P14	FW	11	54	65	P24	HNCW	55	8	63	P25	HECW	33(S 貯水)	8	41	P42	BCW	121 <sup>※2</sup>	—	—	P42	BCW	209(S 貯水含有) <sup>※3</sup>	32	241	P62	HS/HSCR	22	0	22	P64	HWH	33	32	65	U43	FP	180	27	207	<p>表10 出入管理建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1279 863 1861 1050"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を要す</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td><td>5</td><td>335.7</td><td>340.7</td><td>○</td></tr> <tr><td>水消火系</td><td>25</td><td>656.5</td><td>681.5</td><td>○</td></tr> <tr><td>飲料水系</td><td>17</td><td>25.8</td><td>42.8</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 1065.0m<sup>3</sup></p> <p>表11 電気建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1279 1102 1861 1289"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を要す</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td><td>5</td><td>0</td><td>5</td><td>—</td></tr> <tr><td>水消火系</td><td>25</td><td>656.5</td><td>681.5</td><td>○</td></tr> <tr><td>飲料水系</td><td>17</td><td>25.8</td><td>42.8</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 729.3m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を要す	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を要す	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	<p>【女川】                      設計方針の相違                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】                      設計方針の相違                      炉型の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統		系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																																																																																																	
K11	ED	33	0	33																																																																																																																																	
K12	LCW	1,232	0	1,232																																																																																																																																	
K13	HCW	616	0	616																																																																																																																																	
K17	SD	99	0	99																																																																																																																																	
K21	SS	979	0	979																																																																																																																																	
K22	CONW	88	23	111																																																																																																																																	
K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52																																																																																																																																	
P11	MDFP	11	60	71																																																																																																																																	
P13	MDFC	33	120	153																																																																																																																																	
P14	FW	11	54	65																																																																																																																																	
P24	HNCW	55	8	63																																																																																																																																	
P25	HECW	33(S 貯水)	8	41																																																																																																																																	
P42	BCW	121 <sup>※2</sup>	—	—																																																																																																																																	
P42	BCW	209(S 貯水含有) <sup>※3</sup>	32	241																																																																																																																																	
P62	HS/HSCR	22	0	22																																																																																																																																	
P64	HWH	33	32	65																																																																																																																																	
U43	FP	180	27	207																																																																																																																																	
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を要す																																																																																																																																	
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○																																																																																																																																	
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																	
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																	
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を要す																																																																																																																																	
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—																																																																																																																																	
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																	
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<p>表9 補助ボイラー建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="707 223 1263 539"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P11</td><td>11</td><td>13</td><td>24</td></tr> <tr><td>P43</td><td>22</td><td>47</td><td>69</td></tr> <tr><td>P61</td><td>33</td><td>44</td><td>77</td></tr> <tr><td>P61</td><td>33</td><td>134</td><td>167</td></tr> <tr><td>P61</td><td>22</td><td>27</td><td>49</td></tr> <tr><td>P62</td><td>11</td><td>24</td><td>35</td></tr> <tr><td>P64</td><td>22</td><td>21</td><td>43</td></tr> <tr><td>U43</td><td>143</td><td>140</td><td>283</td></tr> <tr><td>U63</td><td>22</td><td>12</td><td>34</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値)= 319m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	P11	11	13	24	P43	22	47	69	P61	33	44	77	P61	33	134	167	P61	22	27	49	P62	11	24	35	P64	22	21	43	U43	143	140	283	U63	22	12	34		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																								
P11	11	13	24																																								
P43	22	47	69																																								
P61	33	44	77																																								
P61	33	134	167																																								
P61	22	27	49																																								
P62	11	24	35																																								
P64	22	21	43																																								
U43	143	140	283																																								
U63	22	12	34																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉 添付資料 1. 4. 1-2

大飯3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(1/7)

評価項目	評価内容	評価結果	備考	備考1	評価項目		備考
					① 評価項目	② 評価結果	
① 設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化 ・設備の劣化	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0
	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1
	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2
	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3
	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4
	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5
	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6
	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7
	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8
	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9
	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10
	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11
	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12
	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13
	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14
200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	

備考欄記載事項 (緑字は本局規定に基づき記載)

① 設備の劣化  
 ・設備の劣化 (注: 1は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 2は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 3は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 4は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 5は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 6は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 7は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 8は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 9は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 10は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 11は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 12は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 13は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 14は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 15は設備の劣化を示す)

女川原子力発電所2号炉 添付資料 18

想定破損による没水影響評価結果

評価項目	評価内容	評価結果	備考	備考1	評価項目		備考
					① 評価項目	② 評価結果	
200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1
200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2
200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3
200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4
200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5
200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6
200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7
200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8
200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9
200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10
200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11
200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12
200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13
200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14
200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15

備考欄記載事項 (緑字は本局規定に基づき記載)

① 設備の劣化  
 ・設備の劣化 (注: 1は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 2は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 3は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 4は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 5は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 6は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 7は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 8は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 9は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 10は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 11は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 12は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 13は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 14は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 15は設備の劣化を示す)

泊発電所3号炉 添付資料 17

想定破損による没水影響評価結果

表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (1/7)

評価項目	評価内容	評価結果	備考	備考1	評価項目		備考
					① 評価項目	② 評価結果	
200-0	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0	200-0
200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1	200-1
200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2	200-2
200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3	200-3
200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4	200-4
200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5	200-5
200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6	200-6
200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7	200-7
200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8	200-8
200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9	200-9
200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10	200-10
200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11	200-11
200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12	200-12
200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13	200-13
200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14	200-14
200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15	200-15

備考欄記載事項 (緑字は本局規定に基づき記載)

① 設備の劣化  
 ・設備の劣化 (注: 1は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 2は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 3は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 4は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 5は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 6は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 7は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 8は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 9は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 10は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 11は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 12は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 13は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 14は設備の劣化を示す)  
 ・設備の劣化 (注: 15は設備の劣化を示す)

相違理由

【女川】【大飯】  
 記載表現の相違  
 【大飯】  
 記載方針の相違  
 ・大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。  
 ・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。  
 ・泊と同様のまとめ方をしている。先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。  
 【女川】  
 記載方針の相違  
 ・女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多く区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。  
 ・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。  
 ・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる評価結果の相違













赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																																																																																													
大飯3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(4/7)																				表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)										<p>【女川】【大飯】  <u>記載表現の相違</u>                      【大飯】  <u>記載方針の相違</u>                      ・大飯は、それぞれの系統の配管の破断箇所ごとに溢水影響評価をまとめている。                      ・一方、泊はそれぞれの系統において、最も溢水量が大きくなる破断箇所を選定した上で、その溢水量を用いて破断する配管が設置されているすべての区画の評価を実施している。評価結果としての相違はない。                      ・泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。                      【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      ・女川は想定破損による溢水源が泊と比較して多いこと、溢水源が多くの区画に設置されていることから、各区画の溢水源のうち最も大きいものに対して、溢水による伝播を確認した結果を記載する。                      ・泊は、多くの配管に対して、応力評価を実施することにより想定破損除外を適用し、溢水源を限定しているため、系統ごとに結果をまとめているが、没水影響評価で確認している内容に相違はない。                      ・泊では、開口部からの流下で水位上昇が抑制される評価に該当する場合、表の備考欄に記載する。  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>																																																																																																																																																																																																																																													
<p>(9)化学体積削減系 (抽出配管)                      ①破断の発生位置                      ・高エネルギー配管任意点 (以下は破断位置の例を示す)                      ・高エネルギー配管 (原子炉冷却系) 17.1 (m)                      ②没水量                      ・標準時間: 19分 抽出配管/再生冷却器入口 (貫通部~再生冷却器) 抽出配管/再生冷却器出口 (再生冷却器~圧力調整弁)                      ・没水量: 21.0</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区域区分</th> <th>区画</th> <th>破断位置</th> <th>没水量 [m]</th> <th>配管径 [mm]</th> <th>配管種別</th> <th>配管材料</th> <th>配管径 [mm]</th> <th>配管種別</th> <th>防振対策設備</th> <th>防振係数</th> <th>影響評価</th> <th>備考1</th> <th>備考2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">3号炉 原子炉 周辺建屋</td> <td rowspan="10">17.1</td> <td rowspan="10">3BP-2</td> <td>3A, 3B 抽出配管用水ポンプ</td> <td>21.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.023</td> <td>0.47</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系ピット上の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン</td> <td>21.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.023</td> <td>0.55</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン</td> <td>21.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.022</td> <td>0.85</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン</td> <td>21.0</td> <td>901.4</td> <td>0.00</td> <td>0.022</td> <td>0.83</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン</td> <td>21.0</td> <td>87.7</td> <td>0.00</td> <td>0.240</td> <td>0.89</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.037</td> <td>0.31</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.037</td> <td>0.71</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5, 6</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>715.4</td> <td>0.00</td> <td>0.030</td> <td>1.12</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-5, 6, 7</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>856.5</td> <td>0.00</td> <td>0.025</td> <td>1.10</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3BP-9</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>175.0</td> <td>0.00</td> <td>0.120</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> <tr> <td>3.5</td> <td>3BP-10</td> <td>3A 安全監視室冷却ファン</td> <td>21.0</td> <td>195.3</td> <td>0.00</td> <td>0.108</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉冷却系の安全設備</td> </tr> </tbody> </table>										建屋	区域区分	区画	破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	配管材料	配管径 [mm]	配管種別	防振対策設備	防振係数	影響評価	備考1	備考2	3号炉 原子炉 周辺建屋	17.1	3BP-2	3A, 3B 抽出配管用水ポンプ	21.0		901.9	0.00	0.023	0.47	③<④	○				原子炉冷却系ピット上の安全設備	3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.9	0.00	0.023	0.55	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.9	0.00	0.022	0.85	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.4	0.00	0.022	0.83	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	87.7	0.00	0.240	0.89	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3BP-5	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	583.0	0.00	0.037	0.31	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3BP-5	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	583.0	0.00	0.037	0.71	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3BP-5, 6	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	715.4	0.00	0.030	1.12	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3BP-5, 6, 7	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	856.5	0.00	0.025	1.10	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3BP-9	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	175.0	0.00	0.120	0.50	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	3.5	3BP-10	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	195.3	0.00	0.108	0.50	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備	<table border="1"> <thead> <tr> <th>破断位置</th> <th>没水量 [m]</th> <th>配管径 [mm]</th> <th>配管種別</th> <th>防振係数</th> <th>影響評価</th> <th>備考1</th> <th>備考2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3BP-2</td> <td>21.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.47</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>21.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.31</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-9</td> <td>21.0</td> <td>175.0</td> <td>0.00</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-10</td> <td>21.0</td> <td>195.3</td> <td>0.00</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	防振係数	影響評価	備考1	備考2	3BP-2	21.0	901.9	0.00	0.47	③<④			3BP-5	21.0	583.0	0.00	0.31	③<④			3BP-9	21.0	175.0	0.00	0.50	③<④			3BP-10	21.0	195.3	0.00	0.50	③<④			<p>(10)化学体積削減系 (抽出配管)                      ・標準時間: 16分 (体積削減タンク未使用・高圧)                      ・没水量: 20.0 (標準時間) 抽出配管/再生冷却器入口 (貫通部~再生冷却器) 抽出配管/再生冷却器出口 (再生冷却器~圧力調整弁)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>破断位置</th> <th>没水量 [m]</th> <th>配管径 [mm]</th> <th>配管種別</th> <th>防振係数</th> <th>影響評価</th> <th>備考1</th> <th>備考2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3BP-2</td> <td>20.0</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.47</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-5</td> <td>20.0</td> <td>583.0</td> <td>0.00</td> <td>0.31</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-9</td> <td>20.0</td> <td>175.0</td> <td>0.00</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3BP-10</td> <td>20.0</td> <td>195.3</td> <td>0.00</td> <td>0.50</td> <td>③&lt;④</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	防振係数	影響評価	備考1	備考2	3BP-2	20.0	901.9	0.00	0.47	③<④			3BP-5	20.0	583.0	0.00	0.31	③<④			3BP-9	20.0	175.0	0.00	0.50	③<④			3BP-10	20.0	195.3	0.00	0.50	③<④		
建屋	区域区分	区画	破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	配管材料	配管径 [mm]	配管種別	防振対策設備	防振係数	影響評価	備考1	備考2																																																																																																																																																																																																																																																													
3号炉 原子炉 周辺建屋	17.1	3BP-2	3A, 3B 抽出配管用水ポンプ	21.0	901.9	0.00	0.023	0.47	③<④	○				原子炉冷却系ピット上の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																													
			3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.9	0.00	0.023	0.55	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																													
			3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.9	0.00	0.022	0.85	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																													
			3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	901.4	0.00	0.022	0.83	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																													
			3A, 3B 上り蒸気発生器注入ライン	21.0	87.7	0.00	0.240	0.89	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																													
			3BP-5	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	583.0	0.00	0.037	0.31	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																												
			3BP-5	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	583.0	0.00	0.037	0.71	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																												
			3BP-5, 6	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	715.4	0.00	0.030	1.12	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																												
			3BP-5, 6, 7	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	856.5	0.00	0.025	1.10	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																												
			3BP-9	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	175.0	0.00	0.120	0.50	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																												
3.5	3BP-10	3A 安全監視室冷却ファン	21.0	195.3	0.00	0.108	0.50	③<④	○				原子炉冷却系の安全設備																																																																																																																																																																																																																																																														
破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	防振係数	影響評価	備考1	備考2																																																																																																																																																																																																																																																																				
3BP-2	21.0	901.9	0.00	0.47	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-5	21.0	583.0	0.00	0.31	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-9	21.0	175.0	0.00	0.50	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-10	21.0	195.3	0.00	0.50	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
破断位置	没水量 [m]	配管径 [mm]	配管種別	防振係数	影響評価	備考1	備考2																																																																																																																																																																																																																																																																				
3BP-2	20.0	901.9	0.00	0.47	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-5	20.0	583.0	0.00	0.31	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-9	20.0	175.0	0.00	0.50	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						
3BP-10	20.0	195.3	0.00	0.50	③<④																																																																																																																																																																																																																																																																						







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">原子炉設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12">緊急停止機能 (ECS) の詳細</td> </tr> <tr> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の構成</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の構成</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の構成</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の構成</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12">緊急停止機能 (ECS) の動作</td> </tr> <tr> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の動作</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の動作</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の動作</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の動作</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="12">緊急停止機能 (ECS) の保守</td> </tr> <tr> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の保守</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の保守</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の保守</td> <td colspan="3">緊急停止機能 (ECS) の保守</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	原子炉設備												緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECS) の詳細												緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECS) の動作												緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECS) の保守												緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>・泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A、B、C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。（大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方）</li> <li>・泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。（大飯と同様）</li> </ul>
原子炉設備																																																																																																																																																			
緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)																																																																																																																																									
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								
緊急停止機能 (ECS) の詳細																																																																																																																																																			
緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成			緊急停止機能 (ECS) の構成																																																																																																																																										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								
緊急停止機能 (ECS) の動作																																																																																																																																																			
緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作			緊急停止機能 (ECS) の動作																																																																																																																																										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								
緊急停止機能 (ECS) の保守																																																																																																																																																			
緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守			緊急停止機能 (ECS) の保守																																																																																																																																										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																								





赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
大阪3号炉 想定破損による溢水影響評価結果(7/7)				表1 没水影響評価結果整理表 (想定破損) (7/7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>① 設備の名称・設備の位置・設備の仕様                  ② 設備の容量・設備の出力                  ③ 設備の構造・設備の材質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区域区分</th> <th>質量 [kg]</th> <th>高さ [m]</th> <th>設置位置</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>設置面積 [㎡]</th> <th>設置位置</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>設置面積 [㎡]</th> <th>設置位置</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>設置面積 [㎡]</th> <th>設置位置</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>設置面積 [㎡]</th> <th>設置位置</th> <th>設置高さ [m]</th> <th>設置面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御室</td> <td>300-5</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.000</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>管理区域</td> <td>300-6</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>30号炉</td> <td>300-5.0</td> <td>3.7</td> <td>904.2</td> <td>0.00</td> <td>0.006</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>31号炉</td> <td>300-5.10</td> <td>3.7</td> <td>901.4</td> <td>0.00</td> <td>0.006</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>32号炉</td> <td>300-5.1</td> <td>3.7</td> <td>901.3</td> <td>0.00</td> <td>0.000</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>33号炉</td> <td>300-5.2</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>34号炉</td> <td>300-5.3</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>35号炉</td> <td>300-5.4</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>36号炉</td> <td>300-5.5</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>37号炉</td> <td>300-5.6</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>38号炉</td> <td>300-5.7</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>39号炉</td> <td>300-5.8</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>40号炉</td> <td>300-5.9</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>41号炉</td> <td>300-5.10</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>42号炉</td> <td>300-5.11</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>43号炉</td> <td>300-5.12</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>44号炉</td> <td>300-5.13</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>45号炉</td> <td>300-5.14</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>46号炉</td> <td>300-5.15</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>47号炉</td> <td>300-5.16</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>48号炉</td> <td>300-5.17</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>49号炉</td> <td>300-5.18</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>50号炉</td> <td>300-5.19</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>51号炉</td> <td>300-5.20</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>52号炉</td> <td>300-5.21</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>53号炉</td> <td>300-5.22</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>54号炉</td> <td>300-5.23</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>55号炉</td> <td>300-5.24</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>56号炉</td> <td>300-5.25</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>57号炉</td> <td>300-5.26</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>58号炉</td> <td>300-5.27</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>59号炉</td> <td>300-5.28</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>60号炉</td> <td>300-5.29</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>61号炉</td> <td>300-5.30</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>62号炉</td> <td>300-5.31</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>63号炉</td> <td>300-5.32</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>64号炉</td> <td>300-5.33</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>65号炉</td> <td>300-5.34</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>66号炉</td> <td>300-5.35</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>67号炉</td> <td>300-5.36</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>68号炉</td> <td>300-5.37</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>69号炉</td> <td>300-5.38</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>70号炉</td> <td>300-5.39</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>71号炉</td> <td>300-5.40</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>72号炉</td> <td>300-5.41</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>73号炉</td> <td>300-5.42</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>74号炉</td> <td>300-5.43</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>75号炉</td> <td>300-5.44</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>76号炉</td> <td>300-5.45</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>77号炉</td> <td>300-5.46</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>78号炉</td> <td>300-5.47</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>79号炉</td> <td>300-5.48</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>80号炉</td> <td>300-5.49</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>81号炉</td> <td>300-5.50</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>82号炉</td> <td>300-5.51</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>83号炉</td> <td>300-5.52</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>84号炉</td> <td>300-5.53</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>85号炉</td> <td>300-5.54</td> <td>3.7</td> <td>901.9</td> <td>0.00</td> <td>0.004</td> <td>0.00</td> <td>30.300</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.0</td></tr></tbody></table>		機器	区域区分	質量 [kg]	高さ [m]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	制御室	300-5	3.7	901.9	0.00	0.000	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	管理区域	300-6	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30号炉	300-5.0	3.7	904.2	0.00	0.006	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	31号炉	300-5.10	3.7	901.4	0.00	0.006	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	32号炉	300-5.1	3.7	901.3	0.00	0.000	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33号炉	300-5.2	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34号炉	300-5.3	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35号炉	300-5.4	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	36号炉	300-5.5	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	37号炉	300-5.6	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	38号炉	300-5.7	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	39号炉	300-5.8	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40号炉	300-5.9	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	41号炉	300-5.10	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	42号炉	300-5.11	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	43号炉	300-5.12	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	44号炉	300-5.13	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	45号炉	300-5.14	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	46号炉	300-5.15	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	47号炉	300-5.16	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	48号炉	300-5.17	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49号炉	300-5.18	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50号炉	300-5.19	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	51号炉	300-5.20	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52号炉	300-5.21	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	53号炉	300-5.22	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	54号炉	300-5.23	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	55号炉	300-5.24	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	56号炉	300-5.25	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	57号炉	300-5.26	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	58号炉	300-5.27	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	59号炉	300-5.28	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	60号炉	300-5.29	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61号炉	300-5.30	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	62号炉	300-5.31	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	63号炉	300-5.32	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	64号炉	300-5.33	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	65号炉	300-5.34	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	66号炉	300-5.35	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	67号炉	300-5.36	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	68号炉	300-5.37	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	69号炉	300-5.38	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	70号炉	300-5.39	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	71号炉	300-5.40	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	72号炉	300-5.41	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	73号炉	300-5.42	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	74号炉	300-5.43	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75号炉	300-5.44	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	76号炉	300-5.45	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77号炉	300-5.46	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	78号炉	300-5.47	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	79号炉	300-5.48	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	80号炉	300-5.49	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	81号炉	300-5.50	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	82号炉	300-5.51	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	83号炉	300-5.52	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	84号炉	300-5.53	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	85号炉	300-5.54	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.0
機器	区域区分	質量 [kg]	高さ [m]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]	設置位置	設置高さ [m]	設置面積 [㎡]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
制御室	300-5	3.7	901.9	0.00	0.000	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
管理区域	300-6	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
30号炉	300-5.0	3.7	904.2	0.00	0.006	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
31号炉	300-5.10	3.7	901.4	0.00	0.006	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
32号炉	300-5.1	3.7	901.3	0.00	0.000	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
33号炉	300-5.2	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
34号炉	300-5.3	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
35号炉	300-5.4	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
36号炉	300-5.5	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
37号炉	300-5.6	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
38号炉	300-5.7	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
39号炉	300-5.8	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
40号炉	300-5.9	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
41号炉	300-5.10	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
42号炉	300-5.11	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
43号炉	300-5.12	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
44号炉	300-5.13	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
45号炉	300-5.14	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
46号炉	300-5.15	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
47号炉	300-5.16	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
48号炉	300-5.17	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
49号炉	300-5.18	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
50号炉	300-5.19	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
51号炉	300-5.20	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
52号炉	300-5.21	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
53号炉	300-5.22	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
54号炉	300-5.23	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
55号炉	300-5.24	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
56号炉	300-5.25	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
57号炉	300-5.26	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
58号炉	300-5.27	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
59号炉	300-5.28	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
60号炉	300-5.29	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
61号炉	300-5.30	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
62号炉	300-5.31	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
63号炉	300-5.32	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
64号炉	300-5.33	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
65号炉	300-5.34	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
66号炉	300-5.35	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
67号炉	300-5.36	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
68号炉	300-5.37	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
69号炉	300-5.38	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
70号炉	300-5.39	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
71号炉	300-5.40	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
72号炉	300-5.41	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
73号炉	300-5.42	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
74号炉	300-5.43	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
75号炉	300-5.44	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
76号炉	300-5.45	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
77号炉	300-5.46	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
78号炉	300-5.47	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
79号炉	300-5.48	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
80号炉	300-5.49	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
81号炉	300-5.50	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
82号炉	300-5.51	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
83号炉	300-5.52	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
84号炉	300-5.53	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
85号炉	300-5.54	3.7	901.9	0.00	0.004	0.00	30.300	0.00	0.00	0.00	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由				
大飯4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(2/6)																																		
種別	区分	区画	区画番号	①設備名	②設備位置	③設備容量	④設備高さ	⑤設置位置	⑥備考	備考2																								
種別	区分	区画	区画番号	①設備名	②設備位置	③設備容量	④設備高さ	⑤設置位置	⑥備考	備考2																								
4号炉 原子炉 想定破損	28.0	17.1	40B-1	31.8	273.3	0.09	0.114	-	-																							【大飯】 設計方針の相違 大飯はツインプラント。  【女川】 設計方針の相違 プラント設計の違いによる評価結果の相違		
				40B-3	31.8	908.4	0.09	0.036	44.0	0.47	③<④	○	使用済燃料ボックスの安全確保																					
				40B-5	31.8	908.4	0.09	0.036	44.0	0.52	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-5.4	31.8	1039.4	0.09	0.032	40.0	0.66	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-7	31.8	1039.5	0.09	0.032	40.0	0.82	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-8	31.8	875.6	0.09	0.364	44.0	0.78	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-9	31.8	169.7	0.09	0.188	44.0	0.78	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-7	31.8	28.4	0.05	1.256	40.0	0.65	③<④	○*	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-3	31.8	28.4	0.05	1.256	40.0	0.65	③<④	○*	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-9	31.8	28.0	0.05	1.198	40.0	0.29	③<④	○*	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-10	31.8	32.9	0.05	0.100*	40.0	1.03	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-11	31.8	827.7	0.09	0.061	40.0	0.72	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-11	31.8	827.7	0.09	0.061	40.0	0.72	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-7.11	31.8	564.1	0.09	0.068	40.0	0.29	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
				40B-11.12	31.8	675.0	0.09	0.068	40.0	1.08	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																					
40B-11.12.13	31.8	802.1	0.09	0.040	40.0	1.11	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																									
40B-14	31.8	167.2	0.09	0.191	40.0	0.50	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																									
40B-15	31.8	185.9	0.09	0.172	40.0	0.50	③<④	○	原子炉冷却系圧力調整弁の安全確保																									
⑦-⑧破損 - 発生量: 31.82																																		

設備名	設備位置	設備容量	設置位置	備考
40B-2-3	140	32.7	4.6	
40B-2-4	140	20.3	0.3	
40B-7	140	302.9	0.3	
40B-7	140	65.0	0.3	
40B-7	140	121.1	0.3	

備考  
 1. 設備名は設備の名称を示す。同一設備は同一名称とする。  
 2. 設置位置は設備の設置位置を示す。  
 3. 設備容量は設備の容量を示す。  
 4. 備考欄に記載されている内容は、設備の仕様や設置条件を示す。  
 5. 設備の仕様や設置条件は、設備の仕様書や設置条件書に記載されている。



















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉

【参考】  
伊方発電所3号炉

添付資料15

項目	大飯発電所3号炉	伊方発電所3号炉
1. 設備	...	...
2. 運用	...	...
3. 体制	...	...

女川原子力発電所2号炉

添付資料16

項目	設備	仕様	備考
1. 設備	...	...	...
2. 運用	...	...	...
3. 体制	...	...	...

泊発電所3号炉

添付資料17

想定破損による没水影響評価結果

表1 没水影響評価結果整理表（想定破損）（1/7）

想定破損	発生率	影響度	評価結果			備考
			DB適合性	DB適合率	DB適合率	
...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...

相違理由

【女川】  
設計方針の相違  
プラント設計の違いによる評価結果の相違

【参考】【伊方】  
記載方針の相違  
泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後（9-別添1-添17-25）に伊方の評価結果を掲載する。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 標準型機                      基本設計図番： 01-1F-12                      基本型： HPCW</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉容器</th> <th colspan="2">原子炉格納容器</th> <th colspan="2">原子炉冷却系</th> <th colspan="2">原子炉圧力調整</th> <th colspan="2">原子炉監視</th> </tr> <tr> <th>設計1 ADGAL (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計2 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計3 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計4 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計5 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計6 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計7 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計8 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計9 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計10 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計11 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計12 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> <th>設計13 ADGRI (参照) (A) (PCE)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力調整</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉監視</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉設備		原子炉本体		原子炉容器		原子炉格納容器		原子炉冷却系		原子炉圧力調整		原子炉監視		設計1 ADGAL (参照) (A) (PCE)	設計2 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計3 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計4 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計5 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計6 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計7 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計8 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計9 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計10 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計11 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計12 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計13 ADGRI (参照) (A) (PCE)	原子炉圧力調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備				原子炉本体		原子炉容器		原子炉格納容器		原子炉冷却系		原子炉圧力調整		原子炉監視																																																																								
		設計1 ADGAL (参照) (A) (PCE)	設計2 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計3 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計4 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計5 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計6 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計7 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計8 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計9 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計10 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計11 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計12 ADGRI (参照) (A) (PCE)	設計13 ADGRI (参照) (A) (PCE)																																																																								
原子炉圧力調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																									
原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																									
原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																									
原子炉監視	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉
Table with columns for equipment name, model, and various technical specifications.

女川原子力発電所2号炉
Table with columns for equipment name, model, and various technical specifications.

泊発電所3号炉
Table 1: 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (2/7)
Table with columns for equipment name, model, and various technical specifications.

相違理由
【女川】
設計方針の相違
プラント設計の違いによる評価結果の相違
【参考】【伊方】
記載方針の相違
泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">新設設備: 審査記録</td> <td colspan="2">審査済設備: 審査記録</td> </tr> <tr> <td>加圧軽水炉</td> <td>炉心炉心</td> <td>加圧軽水炉</td> <td>炉心炉心</td> </tr> <tr> <td>加圧軽水炉</td> <td>炉心炉心</td> <td>加圧軽水炉</td> <td>炉心炉心</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="1285 177 1868 1497"></td> <td data-bbox="1874 177 2136 1497"> <p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> </td> </tr> </table>	新設設備: 審査記録		審査済設備: 審査記録		加圧軽水炉	炉心炉心	加圧軽水炉	炉心炉心	加圧軽水炉	炉心炉心	加圧軽水炉	炉心炉心	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> </table>				審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備		緊急停止設備	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新設設備: 審査記録		審査済設備: 審査記録																																																																																																																										
加圧軽水炉	炉心炉心	加圧軽水炉	炉心炉心																																																																																																																									
加圧軽水炉	炉心炉心	加圧軽水炉	炉心炉心																																																																																																																									
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> <th colspan="2">審査済設備</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> <td>緊急停止設備 (ECS)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心炉心</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> <tr> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> <td>炉心炉心 (炉心炉心)</td> </tr> </table>				審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備		緊急停止設備	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>														
審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備		審査済設備																																																																																																																				
緊急停止設備	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)																																																																																																																			
	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)	緊急停止設備 (ECS)																																																																																																																			
炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
炉心炉心	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			
	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)	炉心炉心 (炉心炉心)																																																																																																																			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 標準型機                      基本設計図番： 01-12-11                      基本型番： 010000</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">監視項目</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> <th>監視項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> <tr> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> <td>監視項目</td> </tr> </tbody> </table> </div>	監視項目		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
監視項目				原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備																																																	
		監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																		
監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目	監視項目																																																		





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(5/7)</p>	<p>表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(5/7)</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】                  記載方針の相違                  泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">原子炉設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> <td colspan="2">緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECS)</td> </tr> </table> </div>	緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)		緊急停止機能 (ECS)																													
緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)																												
緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)																												
緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)	緊急停止機能 (ECS)																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表(想定破損) (6/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備 区分</th> <th rowspan="2">1/F [4]</th> <th rowspan="2">2/F [4]</th> <th rowspan="2">3/F [4]</th> <th rowspan="2">4/F [4]</th> <th rowspan="2">5/F [4]</th> <th rowspan="2">6/F [4]</th> <th rowspan="2">7/F [4]</th> <th rowspan="2">8/F [4]</th> <th rowspan="2">9/F [4]</th> <th rowspan="2">10/F [4]</th> <th rowspan="2">11/F [4]</th> <th rowspan="2">12/F [4]</th> <th rowspan="2">13/F [4]</th> <th rowspan="2">14/F [4]</th> <th rowspan="2">15/F [4]</th> <th rowspan="2">16/F [4]</th> <th rowspan="2">17/F [4]</th> <th rowspan="2">18/F [4]</th> <th rowspan="2">19/F [4]</th> <th rowspan="2">20/F [4]</th> <th rowspan="2">21/F [4]</th> <th rowspan="2">22/F [4]</th> <th rowspan="2">23/F [4]</th> <th rowspan="2">24/F [4]</th> <th rowspan="2">25/F [4]</th> <th rowspan="2">26/F [4]</th> <th rowspan="2">27/F [4]</th> <th rowspan="2">28/F [4]</th> <th rowspan="2">29/F [4]</th> <th rowspan="2">30/F [4]</th> <th rowspan="2">31/F [4]</th> <th rowspan="2">32/F [4]</th> <th rowspan="2">33/F [4]</th> <th rowspan="2">34/F [4]</th> <th rowspan="2">35/F [4]</th> <th rowspan="2">36/F [4]</th> <th rowspan="2">37/F [4]</th> <th rowspan="2">38/F [4]</th> <th rowspan="2">39/F [4]</th> <th rowspan="2">40/F [4]</th> <th rowspan="2">41/F [4]</th> <th rowspan="2">42/F [4]</th> <th rowspan="2">43/F [4]</th> <th rowspan="2">44/F [4]</th> <th rowspan="2">45/F [4]</th> <th rowspan="2">46/F [4]</th> <th rowspan="2">47/F [4]</th> <th rowspan="2">48/F [4]</th> <th rowspan="2">49/F [4]</th> <th rowspan="2">50/F [4]</th> <th rowspan="2">51/F [4]</th> <th rowspan="2">52/F [4]</th> <th rowspan="2">53/F [4]</th> <th rowspan="2">54/F [4]</th> <th rowspan="2">55/F [4]</th> <th rowspan="2">56/F [4]</th> <th rowspan="2">57/F [4]</th> <th rowspan="2">58/F [4]</th> <th rowspan="2">59/F [4]</th> <th rowspan="2">60/F [4]</th> <th rowspan="2">61/F [4]</th> <th rowspan="2">62/F [4]</th> <th rowspan="2">63/F [4]</th> <th rowspan="2">64/F [4]</th> <th rowspan="2">65/F [4]</th> <th rowspan="2">66/F [4]</th> <th rowspan="2">67/F [4]</th> <th rowspan="2">68/F [4]</th> <th rowspan="2">69/F [4]</th> <th rowspan="2">70/F [4]</th> <th rowspan="2">71/F [4]</th> <th rowspan="2">72/F [4]</th> <th rowspan="2">73/F [4]</th> <th rowspan="2">74/F [4]</th> <th rowspan="2">75/F [4]</th> <th rowspan="2">76/F [4]</th> <th rowspan="2">77/F [4]</th> <th rowspan="2">78/F [4]</th> <th rowspan="2">79/F [4]</th> <th rowspan="2">80/F [4]</th> <th rowspan="2">81/F [4]</th> <th rowspan="2">82/F [4]</th> <th rowspan="2">83/F [4]</th> <th rowspan="2">84/F [4]</th> <th rowspan="2">85/F [4]</th> <th rowspan="2">86/F [4]</th> <th rowspan="2">87/F [4]</th> <th rowspan="2">88/F [4]</th> <th rowspan="2">89/F [4]</th> <th rowspan="2">90/F [4]</th> <th rowspan="2">91/F [4]</th> <th rowspan="2">92/F [4]</th> <th rowspan="2">93/F [4]</th> <th rowspan="2">94/F [4]</th> <th rowspan="2">95/F [4]</th> <th rowspan="2">96/F [4]</th> <th rowspan="2">97/F [4]</th> <th rowspan="2">98/F [4]</th> <th rowspan="2">99/F [4]</th> <th rowspan="2">100/F [4]</th> <th rowspan="2">101/F [4]</th> <th rowspan="2">102/F [4]</th> <th rowspan="2">103/F [4]</th> <th rowspan="2">104/F [4]</th> <th rowspan="2">105/F [4]</th> <th rowspan="2">106/F [4]</th> <th rowspan="2">107/F [4]</th> <th rowspan="2">108/F [4]</th> <th rowspan="2">109/F [4]</th> <th rowspan="2">110/F [4]</th> <th rowspan="2">111/F [4]</th> <th rowspan="2">112/F [4]</th> <th rowspan="2">113/F [4]</th> <th rowspan="2">114/F [4]</th> <th rowspan="2">115/F [4]</th> <th rowspan="2">116/F [4]</th> <th rowspan="2">117/F [4]</th> <th rowspan="2">118/F [4]</th> <th rowspan="2">119/F [4]</th> <th rowspan="2">120/F [4]</th> <th rowspan="2">121/F [4]</th> <th rowspan="2">122/F [4]</th> <th rowspan="2">123/F [4]</th> <th rowspan="2">124/F [4]</th> <th rowspan="2">125/F [4]</th> <th rowspan="2">126/F [4]</th> <th rowspan="2">127/F [4]</th> <th rowspan="2">128/F [4]</th> <th rowspan="2">129/F [4]</th> <th rowspan="2">130/F [4]</th> <th rowspan="2">131/F [4]</th> <th rowspan="2">132/F [4]</th> <th rowspan="2">133/F [4]</th> <th rowspan="2">134/F [4]</th> <th rowspan="2">135/F [4]</th> <th rowspan="2">136/F [4]</th> <th rowspan="2">137/F [4]</th> <th rowspan="2">138/F [4]</th> <th rowspan="2">139/F [4]</th> <th rowspan="2">140/F [4]</th> <th rowspan="2">141/F [4]</th> <th rowspan="2">142/F [4]</th> <th rowspan="2">143/F [4]</th> <th rowspan="2">144/F [4]</th> <th rowspan="2">145/F [4]</th> <th rowspan="2">146/F [4]</th> <th rowspan="2">147/F [4]</th> <th rowspan="2">148/F [4]</th> <th rowspan="2">149/F [4]</th> <th rowspan="2">150/F [4]</th> <th rowspan="2">151/F [4]</th> <th rowspan="2">152/F [4]</th> <th rowspan="2">153/F [4]</th> <th rowspan="2">154/F [4]</th> <th rowspan="2">155/F [4]</th> <th rowspan="2">156/F [4]</th> <th rowspan="2">157/F [4]</th> <th rowspan="2">158/F [4]</th> <th rowspan="2">159/F [4]</th> <th rowspan="2">160/F [4]</th> <th rowspan="2">161/F [4]</th> <th rowspan="2">162/F [4]</th> <th rowspan="2">163/F [4]</th> <th rowspan="2">164/F [4]</th> <th rowspan="2">165/F [4]</th> <th rowspan="2">166/F [4]</th> <th rowspan="2">167/F [4]</th> <th rowspan="2">168/F [4]</th> <th rowspan="2">169/F [4]</th> <th rowspan="2">170/F [4]</th> <th rowspan="2">171/F [4]</th> <th rowspan="2">172/F [4]</th> <th rowspan="2">173/F [4]</th> <th rowspan="2">174/F [4]</th> <th rowspan="2">175/F [4]</th> <th rowspan="2">176/F [4]</th> <th rowspan="2">177/F [4]</th> <th rowspan="2">178/F [4]</th> <th rowspan="2">179/F [4]</th> <th rowspan="2">180/F [4]</th> <th rowspan="2">181/F [4]</th> <th rowspan="2">182/F [4]</th> <th rowspan="2">183/F [4]</th> <th rowspan="2">184/F [4]</th> <th rowspan="2">185/F [4]</th> <th rowspan="2">186/F [4]</th> <th rowspan="2">187/F [4]</th> <th rowspan="2">188/F [4]</th> <th rowspan="2">189/F [4]</th> <th rowspan="2">190/F [4]</th> <th rowspan="2">191/F [4]</th> <th rowspan="2">192/F [4]</th> <th rowspan="2">193/F [4]</th> <th rowspan="2">194/F [4]</th> <th rowspan="2">195/F [4]</th> <th rowspan="2">196/F [4]</th> <th rowspan="2">197/F [4]</th> <th rowspan="2">198/F [4]</th> <th rowspan="2">199/F [4]</th> <th rowspan="2">200/F [4]</th> <th rowspan="2">201/F [4]</th> <th rowspan="2">202/F [4]</th> <th rowspan="2">203/F [4]</th> <th rowspan="2">204/F [4]</th> <th rowspan="2">205/F [4]</th> <th rowspan="2">206/F [4]</th> <th rowspan="2">207/F [4]</th> <th rowspan="2">208/F [4]</th> <th rowspan="2">209/F [4]</th> <th rowspan="2">210/F [4]</th> <th rowspan="2">211/F [4]</th> <th rowspan="2">212/F [4]</th> <th rowspan="2">213/F [4]</th> <th rowspan="2">214/F [4]</th> <th rowspan="2">215/F [4]</th> <th rowspan="2">216/F [4]</th> <th rowspan="2">217/F [4]</th> <th rowspan="2">218/F [4]</th> <th rowspan="2">219/F [4]</th> <th rowspan="2">220/F [4]</th> <th rowspan="2">221/F [4]</th> <th rowspan="2">222/F [4]</th> <th rowspan="2">223/F [4]</th> <th rowspan="2">224/F [4]</th> <th rowspan="2">225/F [4]</th> <th rowspan="2">226/F [4]</th> <th rowspan="2">227/F [4]</th> <th rowspan="2">228/F [4]</th> <th rowspan="2">229/F [4]</th> <th rowspan="2">230/F [4]</th> <th rowspan="2">231/F [4]</th> <th rowspan="2">232/F [4]</th> <th rowspan="2">233/F [4]</th> <th rowspan="2">234/F [4]</th> <th rowspan="2">235/F [4]</th> <th rowspan="2">236/F [4]</th> <th rowspan="2">237/F [4]</th> <th rowspan="2">238/F [4]</th> <th rowspan="2">239/F [4]</th> <th rowspan="2">240/F [4]</th> <th rowspan="2">241/F [4]</th> <th rowspan="2">242/F [4]</th> <th rowspan="2">243/F [4]</th> <th rowspan="2">244/F [4]</th> <th rowspan="2">245/F [4]</th> <th rowspan="2">246/F [4]</th> <th rowspan="2">247/F [4]</th> <th rowspan="2">248/F [4]</th> <th rowspan="2">249/F [4]</th> <th rowspan="2">250/F [4]</th> <th rowspan="2">251/F [4]</th> <th rowspan="2">252/F [4]</th> <th rowspan="2">253/F [4]</th> <th rowspan="2">254/F [4]</th> <th rowspan="2">255/F [4]</th> <th rowspan="2">256/F [4]</th> <th rowspan="2">257/F [4]</th> <th rowspan="2">258/F [4]</th> <th rowspan="2">259/F [4]</th> <th rowspan="2">260/F [4]</th> <th rowspan="2">261/F [4]</th> <th rowspan="2">262/F [4]</th> <th rowspan="2">263/F [4]</th> <th rowspan="2">264/F [4]</th> <th rowspan="2">265/F [4]</th> <th rowspan="2">266/F [4]</th> <th rowspan="2">267/F [4]</th> <th rowspan="2">268/F [4]</th> <th rowspan="2">269/F [4]</th> <th rowspan="2">270/F [4]</th> <th rowspan="2">271/F [4]</th> <th rowspan="2">272/F [4]</th> <th rowspan="2">273/F [4]</th> <th rowspan="2">274/F [4]</th> <th rowspan="2">275/F [4]</th> <th rowspan="2">276/F [4]</th> <th rowspan="2">277/F [4]</th> <th rowspan="2">278/F [4]</th> <th rowspan="2">279/F [4]</th> <th rowspan="2">280/F [4]</th> <th rowspan="2">281/F [4]</th> <th rowspan="2">282/F [4]</th> <th rowspan="2">283/F [4]</th> <th rowspan="2">284/F [4]</th> <th rowspan="2">285/F [4]</th> <th rowspan="2">286/F [4]</th> <th rowspan="2">287/F [4]</th> <th rowspan="2">288/F [4]</th> <th rowspan="2">289/F [4]</th> <th rowspan="2">290/F [4]</th> <th rowspan="2">291/F [4]</th> <th rowspan="2">292/F [4]</th> <th rowspan="2">293/F [4]</th> <th rowspan="2">294/F [4]</th> <th rowspan="2">295/F [4]</th> <th rowspan="2">296/F [4]</th> <th rowspan="2">297/F [4]</th> <th rowspan="2">298/F [4]</th> <th rowspan="2">299/F [4]</th> <th rowspan="2">300/F [4]</th> <th rowspan="2">301/F [4]</th> <th rowspan="2">302/F [4]</th> <th rowspan="2">303/F [4]</th> <th rowspan="2">304/F [4]</th> <th rowspan="2">305/F [4]</th> <th rowspan="2">306/F [4]</th> <th rowspan="2">307/F [4]</th> <th rowspan="2">308/F [4]</th> <th rowspan="2">309/F [4]</th> <th rowspan="2">310/F [4]</th> <th rowspan="2">311/F [4]</th> <th rowspan="2">312/F [4]</th> <th rowspan="2">313/F [4]</th> <th rowspan="2">314/F [4]</th> <th rowspan="2">315/F [4]</th> <th rowspan="2">316/F [4]</th> <th rowspan="2">317/F [4]</th> <th rowspan="2">318/F [4]</th> <th rowspan="2">319/F [4]</th> <th rowspan="2">320/F [4]</th> <th rowspan="2">321/F [4]</th> <th rowspan="2">322/F [4]</th> <th rowspan="2">323/F [4]</th> <th rowspan="2">324/F [4]</th> <th rowspan="2">325/F [4]</th> <th rowspan="2">326/F [4]</th> <th rowspan="2">327/F [4]</th> <th rowspan="2">328/F [4]</th> <th rowspan="2">329/F [4]</th> <th rowspan="2">330/F [4]</th> <th rowspan="2">331/F [4]</th> <th rowspan="2">332/F [4]</th> <th rowspan="2">333/F [4]</th> <th rowspan="2">334/F [4]</th> <th rowspan="2">335/F [4]</th> <th rowspan="2">336/F [4]</th> <th rowspan="2">337/F [4]</th> <th rowspan="2">338/F [4]</th> <th rowspan="2">339/F [4]</th> <th rowspan="2">340/F [4]</th> <th rowspan="2">341/F [4]</th> <th rowspan="2">342/F [4]</th> <th rowspan="2">343/F [4]</th> <th rowspan="2">344/F [4]</th> <th rowspan="2">345/F [4]</th> <th rowspan="2">346/F [4]</th> <th rowspan="2">347/F [4]</th> <th rowspan="2">348/F [4]</th> <th rowspan="2">349/F [4]</th> <th rowspan="2">350/F [4]</th> <th rowspan="2">351/F [4]</th> <th rowspan="2">352/F [4]</th> <th rowspan="2">353/F [4]</th> <th rowspan="2">354/F [4]</th> <th rowspan="2">355/F [4]</th> <th rowspan="2">356/F [4]</th> <th rowspan="2">357/F [4]</th> <th rowspan="2">358/F [4]</th> <th rowspan="2">359/F [4]</th> <th rowspan="2">360/F [4]</th> <th rowspan="2">361/F [4]</th> <th rowspan="2">362/F [4]</th> <th rowspan="2">363/F [4]</th> <th rowspan="2">364/F [4]</th> <th rowspan="2">365/F [4]</th> <th rowspan="2">366/F [4]</th> <th rowspan="2">367/F [4]</th> <th rowspan="2">368/F [4]</th> <th rowspan="2">369/F [4]</th> <th rowspan="2">370/F [4]</th> <th rowspan="2">371/F [4]</th> <th rowspan="2">372/F [4]</th> <th rowspan="2">373/F [4]</th> <th rowspan="2">374/F [4]</th> <th rowspan="2">375/F [4]</th> <th rowspan="2">376/F [4]</th> <th rowspan="2">377/F [4]</th> <th rowspan="2">378/F [4]</th> <th rowspan="2">379/F [4]</th> <th rowspan="2">380/F [4]</th> <th rowspan="2">381/F [4]</th> <th rowspan="2">382/F [4]</th> <th rowspan="2">383/F [4]</th> <th rowspan="2">384/F [4]</th> <th rowspan="2">385/F [4]</th> <th rowspan="2">386/F [4]</th> <th rowspan="2">387/F [4]</th> <th rowspan="2">388/F [4]</th> <th rowspan="2">389/F [4]</th> <th rowspan="2">390/F [4]</th> <th rowspan="2">391/F [4]</th> <th rowspan="2">392/F [4]</th> <th rowspan="2">393/F [4]</th> <th rowspan="2">394/F [4]</th> <th rowspan="2">395/F [4]</th> <th rowspan="2">396/F [4]</th> <th rowspan="2">397/F [4]</th> <th rowspan="2">398/F [4]</th> <th rowspan="2">399/F [4]</th> <th rowspan="2">400/F [4]</th> <th rowspan="2">401/F [4]</th> <th rowspan="2">402/F [4]</th> <th rowspan="2">403/F [4]</th> <th rowspan="2">404/F [4]</th> <th rowspan="2">405/F [4]</th> <th rowspan="2">406/F [4]</th> <th rowspan="2">407/F [4]</th> <th rowspan="2">408/F [4]</th> <th rowspan="2">409/F [4]</th> <th rowspan="2">410/F [4]</th> <th rowspan="2">411/F [4]</th> <th rowspan="2">412/F [4]</th> <th rowspan="2">413/F [4]</th> <th rowspan="2">414/F [4]</th> <th rowspan="2">415/F [4]</th> <th rowspan="2">416/F [4]</th> <th rowspan="2">417/F [4]</th> <th rowspan="2">418/F [4]</th> <th rowspan="2">419/F [4]</th> <th rowspan="2">420/F [4]</th> <th rowspan="2">421/F [4]</th> <th rowspan="2">422/F [4]</th> <th rowspan="2">423/F [4]</th> <th rowspan="2">424/F [4]</th> <th rowspan="2">425/F [4]</th> <th rowspan="2">426/F [4]</th> <th rowspan="2">427/F [4]</th> <th rowspan="2">428/F [4]</th> <th rowspan="2">429/F [4]</th> <th rowspan="2">430/F [4]</th> <th rowspan="2">431/F [4]</th> <th rowspan="2">432/F [4]</th> <th rowspan="2">433/F [4]</th> <th rowspan="2">434/F [4]</th> <th rowspan="2">435/F [4]</th> <th rowspan="2">436/F [4]</th> <th rowspan="2">437/F [4]</th> <th rowspan="2">438/F [4]</th> <th rowspan="2">439/F [4]</th> <th rowspan="2">440/F [4]</th> <th rowspan="2">441/F [4]</th> <th rowspan="2">442/F [4]</th> <th rowspan="2">443/F [4]</th> <th rowspan="2">444/F [4]</th> <th rowspan="2">445/F [4]</th> <th rowspan="2">446/F [4]</th> <th rowspan="2">447/F [4]</th> <th rowspan="2">448/F [4]</th> <th rowspan="2">449/F [4]</th> <th rowspan="2">450/F [4]</th> <th rowspan="2">451/F [4]</th> <th rowspan="2">452/F [4]</th> <th rowspan="2">453/F [4]</th> <th rowspan="2">454/F [4]</th> <th rowspan="2">455/F [4]</th> <th rowspan="2">456/F [4]</th> <th rowspan="2">457/F [4]</th> <th rowspan="2">458/F [4]</th> <th rowspan="2">459/F [4]</th> <th rowspan="2">460/F [4]</th> <th rowspan="2">461/F [4]</th> <th rowspan="2">462/F [4]</th> <th rowspan="2">463/F [4]</th> <th rowspan="2">464/F [4]</th> <th rowspan="2">465/F [4]</th> <th rowspan="2">466/F [4]</th> <th rowspan="2">467/F [4]</th> <th rowspan="2">468/F [4]</th> <th rowspan="2">469/F [4]</th> <th rowspan="2">470/F [4]</th> <th rowspan="2">471/F [4]</th> <th rowspan="2">472/F [4]</th> <th rowspan="2">473/F [4]</th> <th rowspan="2">474/F [4]</th> <th rowspan="2">475/F [4]</th> <th rowspan="2">476/F [4]</th> <th rowspan="2">477/F [4]</th> <th rowspan="2">478/F [4]</th> <th rowspan="2">479/F [4]</th> <th rowspan="2">480/F [4]</th> <th rowspan="2">481/F [4]</th> <th rowspan="2">482/F [4]</th> <th rowspan="2">483/F [4]</th> <th rowspan="2">484/F [4]</th> <th rowspan="2">485/F [4]</th> <th rowspan="2">486/F [4]</th> <th rowspan="2">487/F [4]</th> <th rowspan="2">488/F [4]</th> <th rowspan="2">489/F [4]</th> <th rowspan="2">490/F [4]</th> <th rowspan="2">491/F [4]</th> <th rowspan="2">492/F [4]</th> <th rowspan="2">493/F [4]</th> <th rowspan="2">494/F [4]</th> <th rowspan="2">495/F [4]</th> <th rowspan="2">496/F [4]</th> <th rowspan="2">497/F [4]</th> <th rowspan="2">498/F [4]</th> <th rowspan="2">499/F [4]</th> <th rowspan="2">500/F [4]</th> <th rowspan="2">501/F [4]</th> <th rowspan="2">502/F [4]</th> <th rowspan="2">503/F [4]</th> <th rowspan="2">504/F [4]</th> <th rowspan="2">505/F [4]</th> <th rowspan="2">506/F [4]</th> <th rowspan="2">507/F [4]</th> <th rowspan="2">508/F [4]</th> <th rowspan="2">509/F [4]</th> <th rowspan="2">510/F [4]</th> <th rowspan="2">511/F [4]</th> <th rowspan="2">512/F [4]</th> <th rowspan="2">513/F [4]</th> <th rowspan="2">514/F [4]</th> <th rowspan="2">515/F [4]</th> <th rowspan="2">516/F [4]</th> <th rowspan="2">517/F [4]</th> <th rowspan="2">518/F [4]</th> <th rowspan="2">519/F [4]</th> <th rowspan="2">520/F [4]</th> <th rowspan="2">521/F [4]</th> <th rowspan="2">522/F [4]</th> <th rowspan="2">523/F [4]</th> <th rowspan="2">524/F [4]</th> <th rowspan="2">525/F [4]</th> <th rowspan="2">526/F [4]</th> <th rowspan="2">527/F [4]</th> <th rowspan="2">528/F [4]</th> <th rowspan="2">529/F [4]</th> <th rowspan="2">530/F [4]</th> <th rowspan="2">531/F [4]</th> <th rowspan="2">532/F [4]</th> <th rowspan="2">533/F [4]</th> <th rowspan="2">534/F [4]</th> <th rowspan="2">535/F [4]</th> <th rowspan="2">536/F [4]</th> <th rowspan="2">537/F [4]</th> <th rowspan="2">538/F [4]</th> <th rowspan="2">539/F [4]</th> <th rowspan="2">540/F [4]</th> <th rowspan="2">541/F [4]</th> <th rowspan="2">542/F [4]</th> <th rowspan="2">543/F [4]</th> <th rowspan="2">544/F [4]</th> <th rowspan="2">545/F [4]</th> <th rowspan="2">546/F [4]</th> <th rowspan="2">547/F [4]</th> <th rowspan="2">548/F [4]</th> <th rowspan="2">549/F [4]</th> <th rowspan="2">550/F [4]</th> <th rowspan="2">551/F [4]</th> <th rowspan="2">552/F [4]</th> <th rowspan="2">553/F [4]</th> <th rowspan="2">554/F [4]</th> <th rowspan="2">555/F [4]</th> <th rowspan="2">556/F [4]</th> <th rowspan="2">557/F [4]</th> <th rowspan="2">558/F [4]</th> <th rowspan="2">559/F [4]</th> <th rowspan="2">560/F [4]</th> <th rowspan="2">561/F [4]</th> <th rowspan="2">562/F [4]</th> <th rowspan="2">563/F [4]</th> <th rowspan="2">564/F [4]</th> <th rowspan="2">565/F [4]</th> <th rowspan="2">566/F [4]</th> <th rowspan="2">567/F [4]</th> <th rowspan="2">568/F [4]</th> <th rowspan="2">569/F [4]</th> <th rowspan="2">570/F [4]</th> <th rowspan="2">571/F [4]</th> <th rowspan="2">572/F [4]</th> <th rowspan="2">573/F [4]</th> <th rowspan="2">574/F [4]</th> <th rowspan="2">575/F [4]</th> <th rowspan="2">576/F [4]</th> <th rowspan="2">577/F [4]</th> <th rowspan="2">578/F [4]</th> <th rowspan="2">579/F [4]</th> <th rowspan="2">580/F [4]</th> <th rowspan="2">581/F [4]</th> <th rowspan="2">582/F [4]</th> <th rowspan="2">583/F [4]</th> <th rowspan="2">584/F [4]</th> <th rowspan="2">585/F [4]</th> <th rowspan="2">586/F [4]</th> <th rowspan="2">587/F [4]</th> <th rowspan="2">588/F [4]</th> <th rowspan="2">589/F [4]</th> <th rowspan="2">590/F [4]</th> <th rowspan="2">591/F [4]</th> <th rowspan="2">592/F [4]</th> <th rowspan="2">593/F [4]</th> <th rowspan="2">594/F [4]</th> <th rowspan="2">595/F [4]</th> <th rowspan="2">596/F [4]</th> <th rowspan="2">597/F [4]</th> <th rowspan="2">598/F [4]</th> <th rowspan="2">599/F [4]</th> <th rowspan="2">600/F [4]</th> <th rowspan="2">601/F [4]</th> <th rowspan="2">602/F [4]</th> <th rowspan="2">603/F [4]</th> <th rowspan="2">604/F [4]</th> <th rowspan="2">605/F [4]</th> <th rowspan="2">606/F [4]</th> <th rowspan="2">607/F [4]</th> <th rowspan="2">608/F [4]</th> <th rowspan="2">609/F [4]</th> <th rowspan="2">610/F [4]</th> <th rowspan="2">611/F [4]</th> <th rowspan="2">612/F [4]</th> <th rowspan="2">613/F [4]</th> <th rowspan="2">614/F [4]</th> <th rowspan="2">615/F [4]</th> <th rowspan="2">616/F [4]</th> <th rowspan="2">617/F [4]</th> <th rowspan="2">618/F [4]</th> <th rowspan="2">619/F [4]</th> <th rowspan="2">620/F [4]</th> <th rowspan="2">621/F [4]</th> <th rowspan="2">622/F [4]</th> <th rowspan="2">623/F [4]</th> <th rowspan="2">624/F [4]</th> <th rowspan="2">625/F [4]</th> <th rowspan="2">626/F [4]</th> <th rowspan="2">627/F [4]</th> <th rowspan="2">628/F [4]</th> <th rowspan="2">629/F [4]</th> <th rowspan="2">630/F [4]</th> <th rowspan="2">631/F [4]</th> <th rowspan="2">632/F [4]</th> <th rowspan="2">633/F [4]</th> <th rowspan="2">634/F [4]</th> <th rowspan="2">635/F [4]</th> <th rowspan="2">636/F [4]</th> <th rowspan="2">637/F [4]</th> <th rowspan="2">638/F [4]</th> <th rowspan="2">639/F [4]</th> <th rowspan="2">640/F [4]</th> <th rowspan="2">641/F [4]</th> <th rowspan="2">642/F [4]</th> <th rowspan="2">643/F [4]</th> <th rowspan="2">644/F [4]</th> <th rowspan="2">645/F [4]</th> <th rowspan="2">646/F [4]</th> <th rowspan="2">647/F [4]</th> <th rowspan="2">648/F [4]</th> <th rowspan="2">649/F [4]</th> <th rowspan="2">650/F [4]</th> <th rowspan="2">651/F [4]</th> <th rowspan="2">652/F [4]</th> <th rowspan="2">653/F [4]</th> <th rowspan="2">654/F [4]</th> <th rowspan="2">655/F [4]</th> <th rowspan="2">656/F [4]</th> <th rowspan="2">657/F [4]</th> <th rowspan="2">658/F [4]</th> <th rowspan="2">659/F [4]</th> <th rowspan="2">660/F [4]</th> <th rowspan="2">661/F [4]</th> <th rowspan="2">662/F [4]</th> <th rowspan="2">663/F [4]</th> <th rowspan="2">664/F [4]</th> <th rowspan="2">665/F [4]</th> <th rowspan="2">666/F [4]</th> <th rowspan="2">667/F [4]</th> <th rowspan="2">668/F [4]</th> <th rowspan="2">669/F [4]</th> <th rowspan="2">670/F [4]</th> <th rowspan="2">671/F [4]</th> <th rowspan="2">672/F [4]</th> <th rowspan="2">673/F [4]</th> <th rowspan="2">674/F [4]</th> <th rowspan="2">675/F [4]</th> <th rowspan="2">676/F [4]</th> <th rowspan="2">677/F [4]</th> <th rowspan="2">678/F [4]</th> <th rowspan="2">679/F [4]</th> <th rowspan="2">680/F [4]</th> <th rowspan="2">681/F [4]</th> <th rowspan="2">682/F [4]</th> <th rowspan="2">683/F [4]</th> <th rowspan="2">684/F [4]</th> <th rowspan="2">685/F [4]</th> <th rowspan="2">686/F [4]</th> <th rowspan="2">687/F [4]</th> <th rowspan="2">688/F [4]</th> <th rowspan="2">689/F [4]</th> <th rowspan="2">690/F [4]</th> <th rowspan="2">691/F [4]</th> <th rowspan="2">692/F [4]</th> <th rowspan="2">693/F [4]</th> <th rowspan="2">694/F [4]</th> <th rowspan="2">695/F [4]</th> <th rowspan="2">696/F [4]</th> <th rowspan="2">697/F [4]</th> <th rowspan="2">698/F [4]</th> <th rowspan="2">699/F [4]</th> <th rowspan="2">700/F [4]</th> <th rowspan="2">701/F [4]</th> <th rowspan="2">702/F [4]</th> <th rowspan="2">703/F [4]</th> <th rowspan="2">704/F [4]</th> <th rowspan="2">705/F [4]</th> <th rowspan="2">706/F [4]</th> <th rowspan="2">707</th></tr></thead></table>	設備 区分	1/F [4]	2/F [4]	3/F [4]	4/F [4]	5/F [4]	6/F [4]	7/F [4]	8/F [4]	9/F [4]	10/F [4]	11/F [4]	12/F [4]	13/F [4]	14/F [4]	15/F [4]	16/F [4]	17/F [4]	18/F [4]	19/F [4]	20/F [4]	21/F [4]	22/F [4]	23/F [4]	24/F [4]	25/F [4]	26/F [4]	27/F [4]	28/F [4]	29/F [4]	30/F [4]	31/F [4]	32/F [4]	33/F [4]	34/F [4]	35/F [4]	36/F [4]	37/F [4]	38/F [4]	39/F [4]	40/F [4]	41/F [4]	42/F [4]	43/F [4]	44/F [4]	45/F [4]	46/F [4]	47/F [4]	48/F [4]	49/F [4]	50/F [4]	51/F [4]	52/F [4]	53/F [4]	54/F [4]	55/F [4]	56/F [4]	57/F [4]	58/F [4]	59/F [4]	60/F [4]	61/F [4]	62/F [4]	63/F [4]	64/F [4]	65/F [4]	66/F [4]	67/F [4]	68/F [4]	69/F [4]	70/F [4]	71/F [4]	72/F [4]	73/F [4]	74/F [4]	75/F [4]	76/F [4]	77/F [4]	78/F [4]	79/F [4]	80/F [4]	81/F [4]	82/F [4]	83/F [4]	84/F [4]	85/F [4]	86/F [4]	87/F [4]	88/F [4]	89/F [4]	90/F [4]	91/F [4]	92/F [4]	93/F [4]	94/F [4]	95/F [4]	96/F [4]	97/F [4]	98/F [4]	99/F [4]	100/F [4]	101/F [4]	102/F [4]	103/F [4]	104/F [4]	105/F [4]	106/F [4]	107/F [4]	108/F [4]	109/F [4]	110/F [4]	111/F [4]	112/F [4]	113/F [4]	114/F [4]	115/F [4]	116/F [4]	117/F [4]	118/F [4]	119/F [4]	120/F [4]	121/F [4]	122/F [4]	123/F [4]	124/F [4]	125/F [4]	126/F [4]	127/F [4]	128/F [4]	129/F [4]	130/F [4]	131/F [4]	132/F [4]	133/F [4]	134/F [4]	135/F [4]	136/F [4]	137/F [4]	138/F [4]	139/F [4]	140/F [4]	141/F [4]	142/F [4]	143/F [4]	144/F [4]	145/F [4]	146/F [4]	147/F [4]	148/F [4]	149/F [4]	150/F [4]	151/F [4]	152/F [4]	153/F [4]	154/F [4]	155/F [4]	156/F [4]	157/F [4]	158/F [4]	159/F [4]	160/F [4]	161/F [4]	162/F [4]	163/F [4]	164/F [4]	165/F [4]	166/F [4]	167/F [4]	168/F [4]	169/F [4]	170/F [4]	171/F [4]	172/F [4]	173/F [4]	174/F [4]	175/F [4]	176/F [4]	177/F [4]	178/F [4]	179/F [4]	180/F [4]	181/F [4]	182/F [4]	183/F [4]	184/F [4]	185/F [4]	186/F [4]	187/F [4]	188/F [4]	189/F [4]	190/F [4]	191/F [4]	192/F [4]	193/F [4]	194/F [4]	195/F [4]	196/F [4]	197/F [4]	198/F [4]	199/F [4]	200/F [4]	201/F [4]	202/F [4]	203/F [4]	204/F [4]	205/F [4]	206/F [4]	207/F [4]	208/F [4]	209/F [4]	210/F [4]	211/F [4]	212/F [4]	213/F [4]	214/F [4]	215/F [4]	216/F [4]	217/F [4]	218/F [4]	219/F [4]	220/F [4]	221/F [4]	222/F [4]	223/F [4]	224/F [4]	225/F [4]	226/F [4]	227/F [4]	228/F [4]	229/F [4]	230/F [4]	231/F [4]	232/F [4]	233/F [4]	234/F [4]	235/F [4]	236/F [4]	237/F [4]	238/F [4]	239/F [4]	240/F [4]	241/F [4]	242/F [4]	243/F [4]	244/F [4]	245/F [4]	246/F [4]	247/F [4]	248/F [4]	249/F [4]	250/F [4]	251/F [4]	252/F [4]	253/F [4]	254/F [4]	255/F [4]	256/F [4]	257/F [4]	258/F [4]	259/F [4]	260/F [4]	261/F [4]	262/F [4]	263/F [4]	264/F [4]	265/F [4]	266/F [4]	267/F [4]	268/F [4]	269/F [4]	270/F [4]	271/F [4]	272/F [4]	273/F [4]	274/F [4]	275/F [4]	276/F [4]	277/F [4]	278/F [4]	279/F [4]	280/F [4]	281/F [4]	282/F [4]	283/F [4]	284/F [4]	285/F [4]	286/F [4]	287/F [4]	288/F [4]	289/F [4]	290/F [4]	291/F [4]	292/F [4]	293/F [4]	294/F [4]	295/F [4]	296/F [4]	297/F [4]	298/F [4]	299/F [4]	300/F [4]	301/F [4]	302/F [4]	303/F [4]	304/F [4]	305/F [4]	306/F [4]	307/F [4]	308/F [4]	309/F [4]	310/F [4]	311/F [4]	312/F [4]	313/F [4]	314/F [4]	315/F [4]	316/F [4]	317/F [4]	318/F [4]	319/F [4]	320/F [4]	321/F [4]	322/F [4]	323/F [4]	324/F [4]	325/F [4]	326/F [4]	327/F [4]	328/F [4]	329/F [4]	330/F [4]	331/F [4]	332/F [4]	333/F [4]	334/F [4]	335/F [4]	336/F [4]	337/F [4]	338/F [4]	339/F [4]	340/F [4]	341/F [4]	342/F [4]	343/F [4]	344/F [4]	345/F [4]	346/F [4]	347/F [4]	348/F [4]	349/F [4]	350/F [4]	351/F [4]	352/F [4]	353/F [4]	354/F [4]	355/F [4]	356/F [4]	357/F [4]	358/F [4]	359/F [4]	360/F [4]	361/F [4]	362/F [4]	363/F [4]	364/F [4]	365/F [4]	366/F [4]	367/F [4]	368/F [4]	369/F [4]	370/F [4]	371/F [4]	372/F [4]	373/F [4]	374/F [4]	375/F [4]	376/F [4]	377/F [4]	378/F [4]	379/F [4]	380/F [4]	381/F [4]	382/F [4]	383/F [4]	384/F [4]	385/F [4]	386/F [4]	387/F [4]	388/F [4]	389/F [4]	390/F [4]	391/F [4]	392/F [4]	393/F [4]	394/F [4]	395/F [4]	396/F [4]	397/F [4]	398/F [4]	399/F [4]	400/F [4]	401/F [4]	402/F [4]	403/F [4]	404/F [4]	405/F [4]	406/F [4]	407/F [4]	408/F [4]	409/F [4]	410/F [4]	411/F [4]	412/F [4]	413/F [4]	414/F [4]	415/F [4]	416/F [4]	417/F [4]	418/F [4]	419/F [4]	420/F [4]	421/F [4]	422/F [4]	423/F [4]	424/F [4]	425/F [4]	426/F [4]	427/F [4]	428/F [4]	429/F [4]	430/F [4]	431/F [4]	432/F [4]	433/F [4]	434/F [4]	435/F [4]	436/F [4]	437/F [4]	438/F [4]	439/F [4]	440/F [4]	441/F [4]	442/F [4]	443/F [4]	444/F [4]	445/F [4]	446/F [4]	447/F [4]	448/F [4]	449/F [4]	450/F [4]	451/F [4]	452/F [4]	453/F [4]	454/F [4]	455/F [4]	456/F [4]	457/F [4]	458/F [4]	459/F [4]	460/F [4]	461/F [4]	462/F [4]	463/F [4]	464/F [4]	465/F [4]	466/F [4]	467/F [4]	468/F [4]	469/F [4]	470/F [4]	471/F [4]	472/F [4]	473/F [4]	474/F [4]	475/F [4]	476/F [4]	477/F [4]	478/F [4]	479/F [4]	480/F [4]	481/F [4]	482/F [4]	483/F [4]	484/F [4]	485/F [4]	486/F [4]	487/F [4]	488/F [4]	489/F [4]	490/F [4]	491/F [4]	492/F [4]	493/F [4]	494/F [4]	495/F [4]	496/F [4]	497/F [4]	498/F [4]	499/F [4]	500/F [4]	501/F [4]	502/F [4]	503/F [4]	504/F [4]	505/F [4]	506/F [4]	507/F [4]	508/F [4]	509/F [4]	510/F [4]	511/F [4]	512/F [4]	513/F [4]	514/F [4]	515/F [4]	516/F [4]	517/F [4]	518/F [4]	519/F [4]	520/F [4]	521/F [4]	522/F [4]	523/F [4]	524/F [4]	525/F [4]	526/F [4]	527/F [4]	528/F [4]	529/F [4]	530/F [4]	531/F [4]	532/F [4]	533/F [4]	534/F [4]	535/F [4]	536/F [4]	537/F [4]	538/F [4]	539/F [4]	540/F [4]	541/F [4]	542/F [4]	543/F [4]	544/F [4]	545/F [4]	546/F [4]	547/F [4]	548/F [4]	549/F [4]	550/F [4]	551/F [4]	552/F [4]	553/F [4]	554/F [4]	555/F [4]	556/F [4]	557/F [4]	558/F [4]	559/F [4]	560/F [4]	561/F [4]	562/F [4]	563/F [4]	564/F [4]	565/F [4]	566/F [4]	567/F [4]	568/F [4]	569/F [4]	570/F [4]	571/F [4]	572/F [4]	573/F [4]	574/F [4]	575/F [4]	576/F [4]	577/F [4]	578/F [4]	579/F [4]	580/F [4]	581/F [4]	582/F [4]	583/F [4]	584/F [4]	585/F [4]	586/F [4]	587/F [4]	588/F [4]	589/F [4]	590/F [4]	591/F [4]	592/F [4]	593/F [4]	594/F [4]	595/F [4]	596/F [4]	597/F [4]	598/F [4]	599/F [4]	600/F [4]	601/F [4]	602/F [4]	603/F [4]	604/F [4]	605/F [4]	606/F [4]	607/F [4]	608/F [4]	609/F [4]	610/F [4]	611/F [4]	612/F [4]	613/F [4]	614/F [4]	615/F [4]	616/F [4]	617/F [4]	618/F [4]	619/F [4]	620/F [4]	621/F [4]	622/F [4]	623/F [4]	624/F [4]	625/F [4]	626/F [4]	627/F [4]	628/F [4]	629/F [4]	630/F [4]	631/F [4]	632/F [4]	633/F [4]	634/F [4]	635/F [4]	636/F [4]	637/F [4]	638/F [4]	639/F [4]	640/F [4]	641/F [4]	642/F [4]	643/F [4]	644/F [4]	645/F [4]	646/F [4]	647/F [4]	648/F [4]	649/F [4]	650/F [4]	651/F [4]	652/F [4]	653/F [4]	654/F [4]	655/F [4]	656/F [4]	657/F [4]	658/F [4]	659/F [4]	660/F [4]	661/F [4]	662/F [4]	663/F [4]	664/F [4]	665/F [4]	666/F [4]	667/F [4]	668/F [4]	669/F [4]	670/F [4]	671/F [4]	672/F [4]	673/F [4]	674/F [4]	675/F [4]	676/F [4]	677/F [4]	678/F [4]	679/F [4]	680/F [4]	681/F [4]	682/F [4]	683/F [4]	684/F [4]	685/F [4]	686/F [4]	687/F [4]	688/F [4]	689/F [4]	690/F [4]	691/F [4]	692/F [4]	693/F [4]	694/F [4]	695/F [4]	696/F [4]	697/F [4]	698/F [4]	699/F [4]	700/F [4]	701/F [4]	702/F [4]	703/F [4]	704/F [4]	705/F [4]	706/F [4]	707
設備 区分	1/F [4]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(7/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>① 設備</th> <th>② 構造</th> <th>③ 材質</th> <th>④ 寸法</th> <th>⑤ 重量</th> <th>⑥ 設置位置</th> <th>⑦ 浸水高さ</th> <th>⑧ 浸水時間</th> <th>⑨ 浸水圧力</th> <th>⑩ 浸水方向</th> <th>⑪ 浸水速度</th> <th>⑫ 浸水温度</th> <th>⑬ 浸水成分</th> <th>⑭ 浸水状態</th> <th>⑮ 浸水影響</th> <th>⑯ 浸水対策</th> <th>⑰ 浸水対策の有無</th> <th>⑱ 浸水対策の補正</th> <th>⑲ 浸水対策の補正率</th> <th>⑳ 浸水対策の補正率</th> <th>㉑ 浸水対策の補正率</th> <th>㉒ 浸水対策の補正率</th> <th>㉓ 浸水対策の補正率</th> <th>㉔ 浸水対策の補正率</th> <th>㉕ 浸水対策の補正率</th> <th>㉖ 浸水対策の補正率</th> <th>㉗ 浸水対策の補正率</th> <th>㉘ 浸水対策の補正率</th> <th>㉙ 浸水対策の補正率</th> <th>㉚ 浸水対策の補正率</th> <th>㉛ 浸水対策の補正率</th> <th>㉜ 浸水対策の補正率</th> <th>㉝ 浸水対策の補正率</th> <th>㉞ 浸水対策の補正率</th> <th>㉟ 浸水対策の補正率</th> <th>㊱ 浸水対策の補正率</th> <th>㊲ 浸水対策の補正率</th> <th>㊳ 浸水対策の補正率</th> <th>㊴ 浸水対策の補正率</th> <th>㊵ 浸水対策の補正率</th> <th>㊶ 浸水対策の補正率</th> <th>㊷ 浸水対策の補正率</th> <th>㊸ 浸水対策の補正率</th> <th>㊹ 浸水対策の補正率</th> <th>㊺ 浸水対策の補正率</th> <th>㊻ 浸水対策の補正率</th> <th>㊼ 浸水対策の補正率</th> <th>㊽ 浸水対策の補正率</th> <th>㊾ 浸水対策の補正率</th> <th>㊿ 浸水対策の補正率</th> </tr> </thead></table> <p>表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(7/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>① 設備</th> <th>② 構造</th> <th>③ 材質</th> <th>④ 寸法</th> <th>⑤ 重量</th> <th>⑥ 設置位置</th> <th>⑦ 浸水高さ</th> <th>⑧ 浸水時間</th> <th>⑨ 浸水圧力</th> <th>⑩ 浸水方向</th> <th>⑪ 浸水速度</th> <th>⑫ 浸水温度</th> <th>⑬ 浸水成分</th> <th>⑭ 浸水状態</th> <th>⑮ 浸水影響</th> <th>⑯ 浸水対策</th> <th>⑰ 浸水対策の有無</th> <th>⑱ 浸水対策の補正</th> <th>⑲ 浸水対策の補正率</th> <th>⑳ 浸水対策の補正率</th> <th>㉑ 浸水対策の補正率</th> <th>㉒ 浸水対策の補正率</th> <th>㉓ 浸水対策の補正率</th> <th>㉔ 浸水対策の補正率</th> <th>㉕ 浸水対策の補正率</th> <th>㉖ 浸水対策の補正率</th> <th>㉗ 浸水対策の補正率</th> <th>㉘ 浸水対策の補正率</th> <th>㉙ 浸水対策の補正率</th> <th>㉚ 浸水対策の補正率</th> <th>㉛ 浸水対策の補正率</th> <th>㉜ 浸水対策の補正率</th> <th>㉝ 浸水対策の補正率</th> <th>㉞ 浸水対策の補正率</th> <th>㉟ 浸水対策の補正率</th> <th>㊱ 浸水対策の補正率</th> <th>㊲ 浸水対策の補正率</th> <th>㊳ 浸水対策の補正率</th> <th>㊴ 浸水対策の補正率</th> <th>㊵ 浸水対策の補正率</th> <th>㊶ 浸水対策の補正率</th> <th>㊷ 浸水対策の補正率</th> <th>㊸ 浸水対策の補正率</th> <th>㊹ 浸水対策の補正率</th> <th>㊺ 浸水対策の補正率</th> <th>㊻ 浸水対策の補正率</th> <th>㊼ 浸水対策の補正率</th> <th>㊽ 浸水対策の補正率</th> <th>㊾ 浸水対策の補正率</th> <th>㊿ 浸水対策の補正率</th> </tr> </thead></table>	機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率	機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率	<p>表1 浸水影響評価結果整理表（想定破損）(7/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>① 設備</th> <th>② 構造</th> <th>③ 材質</th> <th>④ 寸法</th> <th>⑤ 重量</th> <th>⑥ 設置位置</th> <th>⑦ 浸水高さ</th> <th>⑧ 浸水時間</th> <th>⑨ 浸水圧力</th> <th>⑩ 浸水方向</th> <th>⑪ 浸水速度</th> <th>⑫ 浸水温度</th> <th>⑬ 浸水成分</th> <th>⑭ 浸水状態</th> <th>⑮ 浸水影響</th> <th>⑯ 浸水対策</th> <th>⑰ 浸水対策の有無</th> <th>⑱ 浸水対策の補正</th> <th>⑲ 浸水対策の補正率</th> <th>⑳ 浸水対策の補正率</th> <th>㉑ 浸水対策の補正率</th> <th>㉒ 浸水対策の補正率</th> <th>㉓ 浸水対策の補正率</th> <th>㉔ 浸水対策の補正率</th> <th>㉕ 浸水対策の補正率</th> <th>㉖ 浸水対策の補正率</th> <th>㉗ 浸水対策の補正率</th> <th>㉘ 浸水対策の補正率</th> <th>㉙ 浸水対策の補正率</th> <th>㉚ 浸水対策の補正率</th> <th>㉛ 浸水対策の補正率</th> <th>㉜ 浸水対策の補正率</th> <th>㉝ 浸水対策の補正率</th> <th>㉞ 浸水対策の補正率</th> <th>㉟ 浸水対策の補正率</th> <th>㊱ 浸水対策の補正率</th> <th>㊲ 浸水対策の補正率</th> <th>㊳ 浸水対策の補正率</th> <th>㊴ 浸水対策の補正率</th> <th>㊵ 浸水対策の補正率</th> <th>㊶ 浸水対策の補正率</th> <th>㊷ 浸水対策の補正率</th> <th>㊸ 浸水対策の補正率</th> <th>㊹ 浸水対策の補正率</th> <th>㊺ 浸水対策の補正率</th> <th>㊻ 浸水対策の補正率</th> <th>㊼ 浸水対策の補正率</th> <th>㊽ 浸水対策の補正率</th> <th>㊾ 浸水対策の補正率</th> <th>㊿ 浸水対策の補正率</th> </tr> </thead></table>	機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率	<p>相違理由</p> <p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】                  記載方針の相違                  泊と同様のまとめ方を行っている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率																																																																																																										
機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率																																																																																																										
機器名	① 設備	② 構造	③ 材質	④ 寸法	⑤ 重量	⑥ 設置位置	⑦ 浸水高さ	⑧ 浸水時間	⑨ 浸水圧力	⑩ 浸水方向	⑪ 浸水速度	⑫ 浸水温度	⑬ 浸水成分	⑭ 浸水状態	⑮ 浸水影響	⑯ 浸水対策	⑰ 浸水対策の有無	⑱ 浸水対策の補正	⑲ 浸水対策の補正率	⑳ 浸水対策の補正率	㉑ 浸水対策の補正率	㉒ 浸水対策の補正率	㉓ 浸水対策の補正率	㉔ 浸水対策の補正率	㉕ 浸水対策の補正率	㉖ 浸水対策の補正率	㉗ 浸水対策の補正率	㉘ 浸水対策の補正率	㉙ 浸水対策の補正率	㉚ 浸水対策の補正率	㉛ 浸水対策の補正率	㉜ 浸水対策の補正率	㉝ 浸水対策の補正率	㉞ 浸水対策の補正率	㉟ 浸水対策の補正率	㊱ 浸水対策の補正率	㊲ 浸水対策の補正率	㊳ 浸水対策の補正率	㊴ 浸水対策の補正率	㊵ 浸水対策の補正率	㊶ 浸水対策の補正率	㊷ 浸水対策の補正率	㊸ 浸水対策の補正率	㊹ 浸水対策の補正率	㊺ 浸水対策の補正率	㊻ 浸水対策の補正率	㊼ 浸水対策の補正率	㊽ 浸水対策の補正率	㊾ 浸水対策の補正率	㊿ 浸水対策の補正率																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>設計種別： 原子力発電所                      設計者： 株式会社 電力中央研究所                      設計年度： 平成10年度                      設計書名： 女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">設計者</th> <th colspan="2">設計年度</th> <th colspan="2">設計書名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>原子力発電所</td> <td>設計者</td> <td>株式会社 電力中央研究所</td> <td>設計年度</td> <td>平成10年度</td> <td>設計書名</td> <td>女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">設計者</th> <th colspan="2">設計年度</th> <th colspan="2">設計書名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>原子力発電所</td> <td>設計者</td> <td>株式会社 電力中央研究所</td> <td>設計年度</td> <td>平成10年度</td> <td>設計書名</td> <td>女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表</td> </tr> </tbody> </table>	設計種別		設計者		設計年度		設計書名		設計種別	原子力発電所	設計者	株式会社 電力中央研究所	設計年度	平成10年度	設計書名	女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表	設計種別		設計者		設計年度		設計書名		設計種別	原子力発電所	設計者	株式会社 電力中央研究所	設計年度	平成10年度	設計書名	女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別		設計者		設計年度		設計書名																													
設計種別	原子力発電所	設計者	株式会社 電力中央研究所	設計年度	平成10年度	設計書名	女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表																												
設計種別		設計者		設計年度		設計書名																													
設計種別	原子力発電所	設計者	株式会社 電力中央研究所	設計年度	平成10年度	設計書名	女川原子力発電所2号炉DB基準適合性比較表																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> </tr> <tr> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> <th>炉内設備</th> <th>炉外設備</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> <td>設備名</td> </tr> <tr> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> <td>設備容量</td> </tr> <tr> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> <td>設置位置</td> </tr> <tr> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> <td>設置年次</td> </tr> <tr> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> <td>製造年次</td> </tr> <tr> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> <td>製造メーカー</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> </tr> <tr> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> <td>規格</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> <td>備考</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：設備名は設備の型式・仕様・メーカー名を記載し、同一の型式・仕様・メーカー名を持つ複数の設備がある場合は、設備名に「1」～「n」を付して区別する。また、同一の型式・仕様・メーカー名を持つ複数の設備がある場合は、設備名に「1」～「n」を付して区別する。</p> <p>注：設置位置は、炉内設備は「炉内」を、炉外設備は「炉外」を、それぞれ「炉内」または「炉外」で示す。</p> <p>注：設置年次は、設備の設置された年次を示す。</p> <p>注：製造年次は、設備の製造された年次を示す。</p> <p>注：製造メーカーは、設備の製造メーカーを示す。</p> <p>注：型式は、設備の型式を示す。</p> <p>注：規格は、設備の規格を示す。</p> <p>注：備考は、設備に関するその他の事項を示す。</p>	炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備																																																																																																																																																					
炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備																																																																																																																																																				
設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名																																																																																																																																																				
炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備	炉内設備	炉外設備																																																																																																																																																				
設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名	設備名																																																																																																																																																				
設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量	設備容量																																																																																																																																																				
設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置	設置位置																																																																																																																																																				
設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次	設置年次																																																																																																																																																				
製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次	製造年次																																																																																																																																																				
製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー	製造メーカー																																																																																																																																																				
型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">原子炉設備</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子炉本体</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子炉格納容器</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子炉冷却系</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">原子炉駆動機</td> </tr> <tr> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> <td>炉心</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> <td>炉心駆動機</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	原子炉設備												原子炉本体			原子炉格納容器			原子炉冷却系			原子炉駆動機			炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備																																																																																																																																																																											
原子炉本体			原子炉格納容器			原子炉冷却系			原子炉駆動機																																																																																																																																																																		
炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心	炉心																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機	炉心駆動機																																																																																																																																																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																





泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"> <small>資料種別</small> 設計書  <small>基本図面記号</small> 女川原子力発電所2号炉  <small>図名</small> 図2                 </td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> <td colspan="2"> <small>原子炉設備</small>                      原子炉設備（圧力容器）                 </td> </tr> </table>	<small>資料種別</small> 設計書 <small>基本図面記号</small> 女川原子力発電所2号炉 <small>図名</small> 図2		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
<small>資料種別</small> 設計書 <small>基本図面記号</small> 女川原子力発電所2号炉 <small>図名</small> 図2		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）																																			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																		
<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）																																			
<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）		<small>原子炉設備</small> 原子炉設備（圧力容器）																																			









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">設計仕様</th> </tr> </thead> </table> <p style="font-size: small;">                 注： 設備仕様書に「同一の機器種別がある場合は同一の機器種別を示す」と記載されている場合は、同一の機器種別を示す。また、同一の機器種別を示す場合は、同一の機器種別を示す。また、同一の機器種別を示す場合は、同一の機器種別を示す。             </p>	設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様				<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様																																										
設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様																																										
設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様																																										
設計仕様			設計仕様			設計仕様			設計仕様																																										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">計装設備</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> <tr> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> <td>炉内監視装置</td> <td>監視装置</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     備考：本表は適合性比較のための比較表であり、本表に記載のない設備は、本表に記載のない設備であることを示す。                      A：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）                      B：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）                      C：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）                      D：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）                 </p> </div>	炉内設備		炉外設備		計装設備		その他		品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		計装設備		その他																																																					
品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																				
炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置																																																				
炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置																																																				
炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置																																																				
炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置																																																				
炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置	炉内監視装置	監視装置																																																				





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備略号</td> <td colspan="2">炉内設備</td> <td colspan="2">炉外設備</td> <td colspan="2">設備</td> <td colspan="2">記号</td> <td colspan="2">記号</td> <td colspan="2">記号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">H-MB1F-4</td> <td colspan="2">LPUS</td> <td colspan="2">LPUS</td> <td colspan="2">LPUS</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備容量</td> <td colspan="2">設備容量</td> <td colspan="2">設備容量</td> <td colspan="2">設備容量</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備型式</td> <td colspan="2">設備型式</td> <td colspan="2">設備型式</td> <td colspan="2">設備型式</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備製造</td> <td colspan="2">設備製造</td> <td colspan="2">設備製造</td> <td colspan="2">設備製造</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備設置</td> <td colspan="2">設備設置</td> <td colspan="2">設備設置</td> <td colspan="2">設備設置</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備使用</td> <td colspan="2">設備使用</td> <td colspan="2">設備使用</td> <td colspan="2">設備使用</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備保守</td> <td colspan="2">設備保守</td> <td colspan="2">設備保守</td> <td colspan="2">設備保守</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備廃止</td> <td colspan="2">設備廃止</td> <td colspan="2">設備廃止</td> <td colspan="2">設備廃止</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備その他</td> <td colspan="2">設備その他</td> <td colspan="2">設備その他</td> <td colspan="2">設備その他</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備備考</td> <td colspan="2">設備備考</td> <td colspan="2">設備備考</td> <td colspan="2">設備備考</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> <td colspan="2">C</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">             備考 1. 設備名は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。2. 設備の型式は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。3. 設備の容量は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。4. 設備の位置は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。5. 設備の仕様は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。6. 設備の製造は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。7. 設備の設置は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。8. 設備の使用は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。9. 設備の保守は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。10. 設備の廃止は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。11. 設備のその他は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。12. 設備の備考は、設備の型式・容量・位置・設置場所・設置時期・設置者等の情報を記載する。         </p>	設備略号		炉内設備		炉外設備		設備		記号		記号		記号		H-MB1F-4		LPUS		LPUS		LPUS		A		B		C		設備名		設備名		設備名		設備名		A		B		C		設備容量		設備容量		設備容量		設備容量		A		B		C		設備型式		設備型式		設備型式		設備型式		A		B		C		設備位置		設備位置		設備位置		設備位置		A		B		C		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		A		B		C		設備製造		設備製造		設備製造		設備製造		A		B		C		設備設置		設備設置		設備設置		設備設置		A		B		C		設備使用		設備使用		設備使用		設備使用		A		B		C		設備保守		設備保守		設備保守		設備保守		A		B		C		設備廃止		設備廃止		設備廃止		設備廃止		A		B		C		設備その他		設備その他		設備その他		設備その他		A		B		C		設備備考		設備備考		設備備考		設備備考		A		B		C			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備略号		炉内設備		炉外設備		設備		記号		記号		記号																																																																																																																																																																																											
H-MB1F-4		LPUS		LPUS		LPUS		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備名		設備名		設備名		設備名		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備容量		設備容量		設備容量		設備容量		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備型式		設備型式		設備型式		設備型式		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備位置		設備位置		設備位置		設備位置		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備製造		設備製造		設備製造		設備製造		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備設置		設備設置		設備設置		設備設置		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備使用		設備使用		設備使用		設備使用		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備保守		設備保守		設備保守		設備保守		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備廃止		設備廃止		設備廃止		設備廃止		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備その他		設備その他		設備その他		設備その他		A		B		C																																																																																																																																																																																											
設備備考		設備備考		設備備考		設備備考		A		B		C																																																																																																																																																																																											







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">                 備考：設備名称が異なるが、同一の設備である場合は、同一の型式を記載する。また、同一の型式であるが、設備名称が異なる場合は、同一の型式を記載する。また、同一の型式であるが、設備名称が異なる場合は、同一の型式を記載する。また、同一の型式であるが、設備名称が異なる場合は、同一の型式を記載する。             </p>	炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備		炉内設備		炉外設備																																									
設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式	設備名	型式																																								
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備																																								
炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備																																								









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">取立設備</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> </tr> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> </tr> <tr> <th colspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備種別</td> <td>設備名称</td> <td>規格</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>規格</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>規格</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> <td>型式</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">備考：本表は、本発電所に設置されている設備の取立設備から、本表に記載されている設備の取立設備と、本表に記載されている設備の取立設備とを比較し、相違の有無を判断する。本表に記載されている設備の取立設備は、本表に記載されている設備の取立設備と、本表に記載されている設備の取立設備とを比較し、相違の有無を判断する。</p>	設備種別		取立設備		規格		型式		型式		型式		設備名称		規格		型式		型式		型式		型式		設備名称		規格		型式		型式		型式		型式		設備種別	設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		取立設備		規格		型式		型式		型式																																																																	
設備名称		規格		型式		型式		型式		型式																																																																	
設備名称		規格		型式		型式		型式		型式																																																																	
設備種別	設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式																																																																
設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式																																																																
設備名称	規格	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 普通設備                      設計者： 株式会社                      設計年度： 平成20年度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> <th colspan="2">普通設備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> <td>設計種別</td> <td>普通設備</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> </tr> <tr> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> <td>設計年度</td> <td>平成20年度</td> </tr> </tbody> </table> </div>	設計種別		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備		普通設備																																																																					
項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																																																				
設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備	設計種別	普通設備																																																																				
設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社	設計者	株式会社																																																																				
設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度	設計年度	平成20年度																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設計図書 設計書 M-1110-3 H/FCS</td> <td colspan="2">凡例 □：訂正必要 ●：訂正済</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計</td> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> <td>C</td> <td>-</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>種別名称</td> </tr> </table>   <p style="font-size: small;">備考：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ①：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ②：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ③：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ④：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑤：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑥：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑦：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑧：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑨：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。                  ⑩：図面記載内容が「図」の記載内容と異なる場合は、図面記載内容が優先する。</p> </div>	設計図書 設計書 M-1110-3 H/FCS		凡例 □：訂正必要 ●：訂正済		設備名	設計	A	B	設備番号	種別名称	C	-	設備名	設備番号	種別名称	設備名	設備番号	種別名称	設備名	設備番号	種別名称	設備名	設備番号	種別名称	設備名	設備番号	種別名称	設備名	設備番号	種別名称		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計図書 設計書 M-1110-3 H/FCS		凡例 □：訂正必要 ●：訂正済																															
設備名	設計	A	B																														
設備番号	種別名称	C	-																														
設備名	設備番号	種別名称																															
設備名	設備番号	種別名称																															
設備名	設備番号	種別名称																															
設備名	設備番号	種別名称																															
設備名	設備番号	種別名称																															
設備名	設備番号	種別名称																															















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="12">原子炉施設</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">大飯発電所3/4号炉</th> <th colspan="4">原子炉建屋</th> <th colspan="4">原子炉格納容器</th> <th colspan="4">原子炉冷却系</th> </tr> <tr> <th>構造</th> <th>設備</th> <th>材料</th> <th>仕様</th> <th>構造</th> <th>設備</th> <th>材料</th> <th>仕様</th> <th>構造</th> <th>設備</th> <th>材料</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却系</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉施設												項目	大飯発電所3/4号炉	原子炉建屋				原子炉格納容器				原子炉冷却系				構造	設備	材料	仕様	構造	設備	材料	仕様	構造	設備	材料	仕様	原子炉建屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉建屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉施設																																																																																																																													
項目	大飯発電所3/4号炉	原子炉建屋				原子炉格納容器				原子炉冷却系																																																																																																																			
		構造	設備	材料	仕様	構造	設備	材料	仕様	構造	設備	材料	仕様																																																																																																																
原子炉建屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																
原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																
原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																
原子炉建屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																
原子炉格納容器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																
原子炉冷却系	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備種別</td> <td colspan="2">規定設備名</td> <td colspan="2">規格</td> <td colspan="2">型式</td> <td colspan="2">凡例</td> <td colspan="2">設置</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">H.C.W.(A)</td> <td colspan="2">H.C.W.(A)</td> <td colspan="2">H.C.W.(A)</td> <td colspan="2">A</td> <td colspan="2">B</td> </tr> <tr> <td>設備位置</td> <td>設備番号</td> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> <td>設備名</td> <td>設備番号</td> </tr> <tr> <td>3号炉</td> <td>001</td> <td>3号炉</td> <td>001</td> <td>3号炉</td> <td>001</td> <td>3号炉</td> <td>001</td> <td>3号炉</td> <td>001</td> <td>3号炉</td> <td>001</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                 備考： 設備名は原則として同一の型式設備が4桁の設備番号で表示されるが、本表は設備名が異なる場合、同一の設備番号でも異なる設備名で表示している。また、同一の設備番号でも異なる設備名で表示している場合は、同一の設備番号でも異なる設備名で表示している。また、同一の設備番号でも異なる設備名で表示している場合は、同一の設備番号でも異なる設備名で表示している。             </p> </div>	設備種別		規定設備名		規格		型式		凡例		設置		設備名		H.C.W.(A)		H.C.W.(A)		H.C.W.(A)		A		B		設備位置	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		規定設備名		規格		型式		凡例		設置																																									
設備名		H.C.W.(A)		H.C.W.(A)		H.C.W.(A)		A		B																																									
設備位置	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号	設備名	設備番号																																								
3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001	3号炉	001																																								

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> <td style="width: 25%;">                     審査種別                      審査種別名称                      審査種別                      審査種別                 </td> </tr> </table> </div>	原子力発電所				審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子力発電所															
審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別												
審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別	審査種別 審査種別名称 審査種別 審査種別												

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">設計仕様</td> <td colspan="2">凡例</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>凡例</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>凡例</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>設備名</td> <td>設計仕様</td> <td>凡例</td> <td>設計仕様</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     備考：本表は設計仕様と設備仕様との相違を比較するもので、設計仕様と設備仕様との相違が認められる場合は、設備仕様と設計仕様との相違を比較するものと見做す。また、設備仕様と設計仕様との相違が認められる場合は、設備仕様と設計仕様との相違を比較するものと見做す。                 </p> </div>	設備仕様		設計仕様		凡例		設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様	設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様	設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様		<p><b>【女川】</b></p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備仕様		設計仕様		凡例																							
設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様																						
設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様																						
設備名	設計仕様	設備名	設計仕様	凡例	設計仕様																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 標準仕様                      設計者： 株式会社                      設計者： 株式会社</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設計種別</th> <th colspan="2">標準仕様</th> <th colspan="2">標準仕様</th> <th colspan="2">標準仕様</th> <th colspan="2">標準仕様</th> <th colspan="2">標準仕様</th> <th colspan="2">標準仕様</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> <th>標準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計種別</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> <td>標準仕様</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> <td>株式会社</td> </tr> </tbody> </table> </div>	設計種別		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		項目	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	設計種別	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	設計者	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	設計者	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様		標準仕様																																																													
項目	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様																																																												
設計種別	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様	標準仕様																																																												
設計者	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社																																																												
設計者	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社	株式会社																																																												









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価種別： 緊急準備                      緊急停止状態： 非正常停止                      緊急停止： 停炉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> <th colspan="2">緊急停止状態</th> </tr> <tr> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> </tr> <tr> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> <th>緊急停止状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> <td>緊急停止状態</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態		緊急停止状態																																															
緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態																																														
緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態																																														
緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態	緊急停止状態																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">熱交換器</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備区分</td> <td colspan="2">B-1(主冷却系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備種別</td> <td colspan="2">U.C.W. (圧力容器)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">B-1(主冷却系)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">                 材質：SUS316L                  構造：圧力容器                  用途：主冷却系             </td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備寸法</td> <td colspan="2">                 高さ：約10m                  直径：約1.5m             </td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備重量</td> <td colspan="2">約100t</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備製造</td> <td colspan="2">日立製作所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備設置</td> <td colspan="2">2000年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備更新</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備廃止</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備点検</td> <td colspan="2">定期点検あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備保守</td> <td colspan="2">定期保守あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備修理</td> <td colspan="2">修理あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備故障</td> <td colspan="2">故障あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備事故</td> <td colspan="2">事故あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備災害</td> <td colspan="2">災害あり</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設備その他</td> <td colspan="2">その他</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                 備考：設備仕様等については、図面・仕様書等に基づき記載している。図面・仕様書等とは異なる場合は、図面・仕様書等に優先する。また、図面・仕様書等にない場合は、実地調査等に基づき記載している。             </p> </div>	設備名		熱交換器		設備区分		B-1(主冷却系)		設備種別		U.C.W. (圧力容器)		設備位置		B-1(主冷却系)		設備仕様		材質：SUS316L 構造：圧力容器 用途：主冷却系		設備寸法		高さ：約10m 直径：約1.5m		設備重量		約100t		設備製造		日立製作所		設備設置		2000年		設備更新		なし		設備廃止		なし		設備点検		定期点検あり		設備保守		定期保守あり		設備修理		修理あり		設備故障		故障あり		設備事故		事故あり		設備災害		災害あり		設備その他		その他			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備名		熱交換器																																																																									
設備区分		B-1(主冷却系)																																																																									
設備種別		U.C.W. (圧力容器)																																																																									
設備位置		B-1(主冷却系)																																																																									
設備仕様		材質：SUS316L 構造：圧力容器 用途：主冷却系																																																																									
設備寸法		高さ：約10m 直径：約1.5m																																																																									
設備重量		約100t																																																																									
設備製造		日立製作所																																																																									
設備設置		2000年																																																																									
設備更新		なし																																																																									
設備廃止		なし																																																																									
設備点検		定期点検あり																																																																									
設備保守		定期保守あり																																																																									
設備修理		修理あり																																																																									
設備故障		故障あり																																																																									
設備事故		事故あり																																																																									
設備災害		災害あり																																																																									
設備その他		その他																																																																									





